

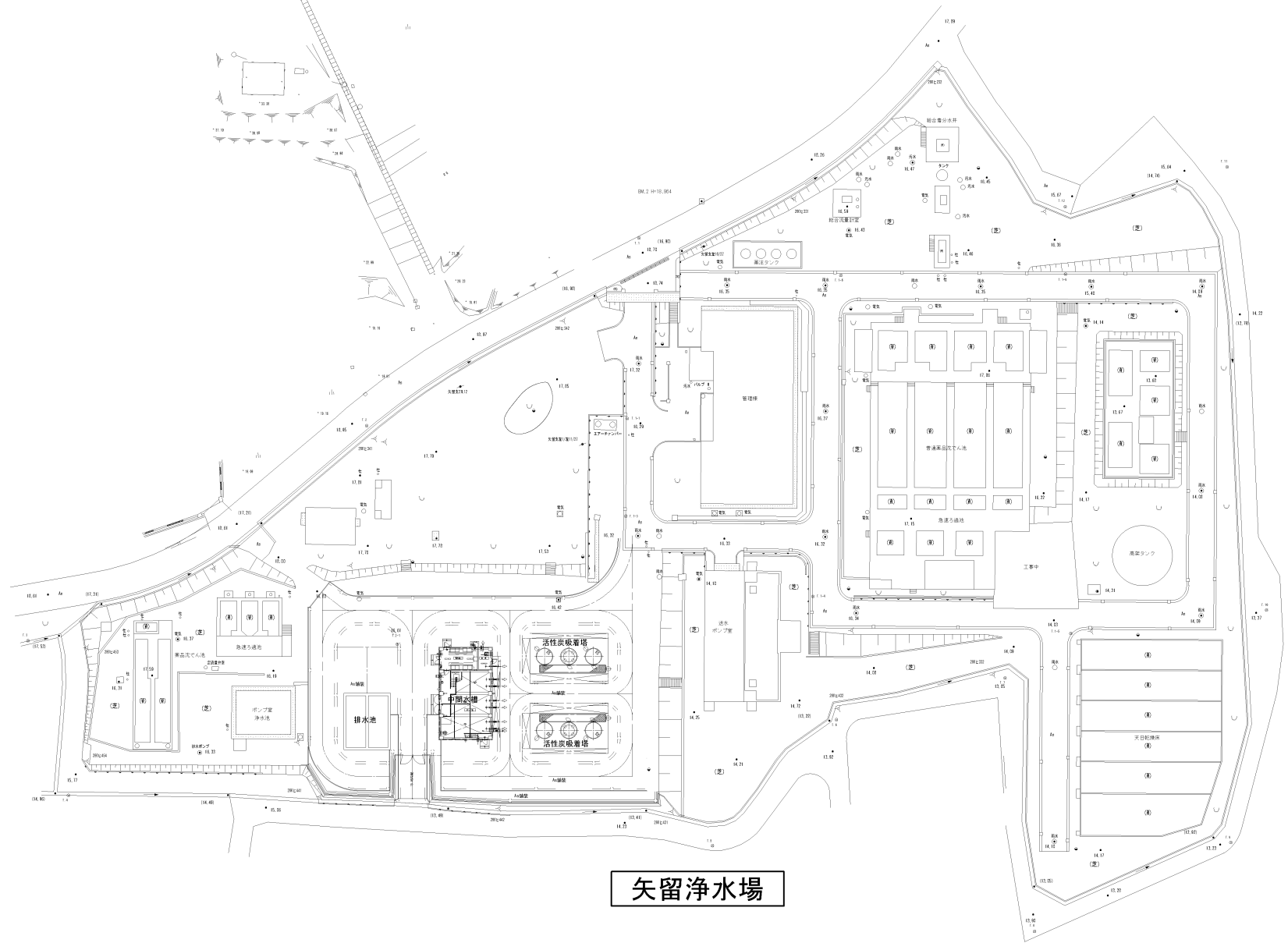
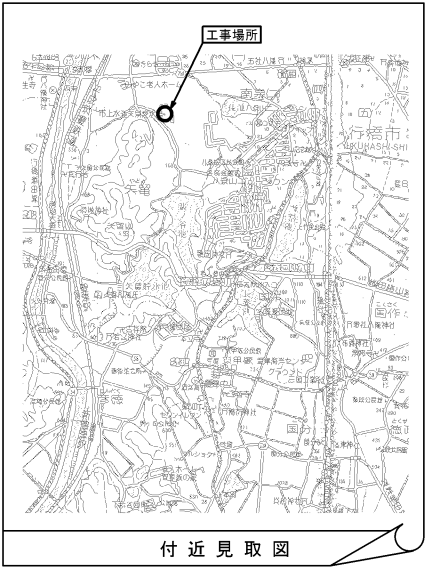
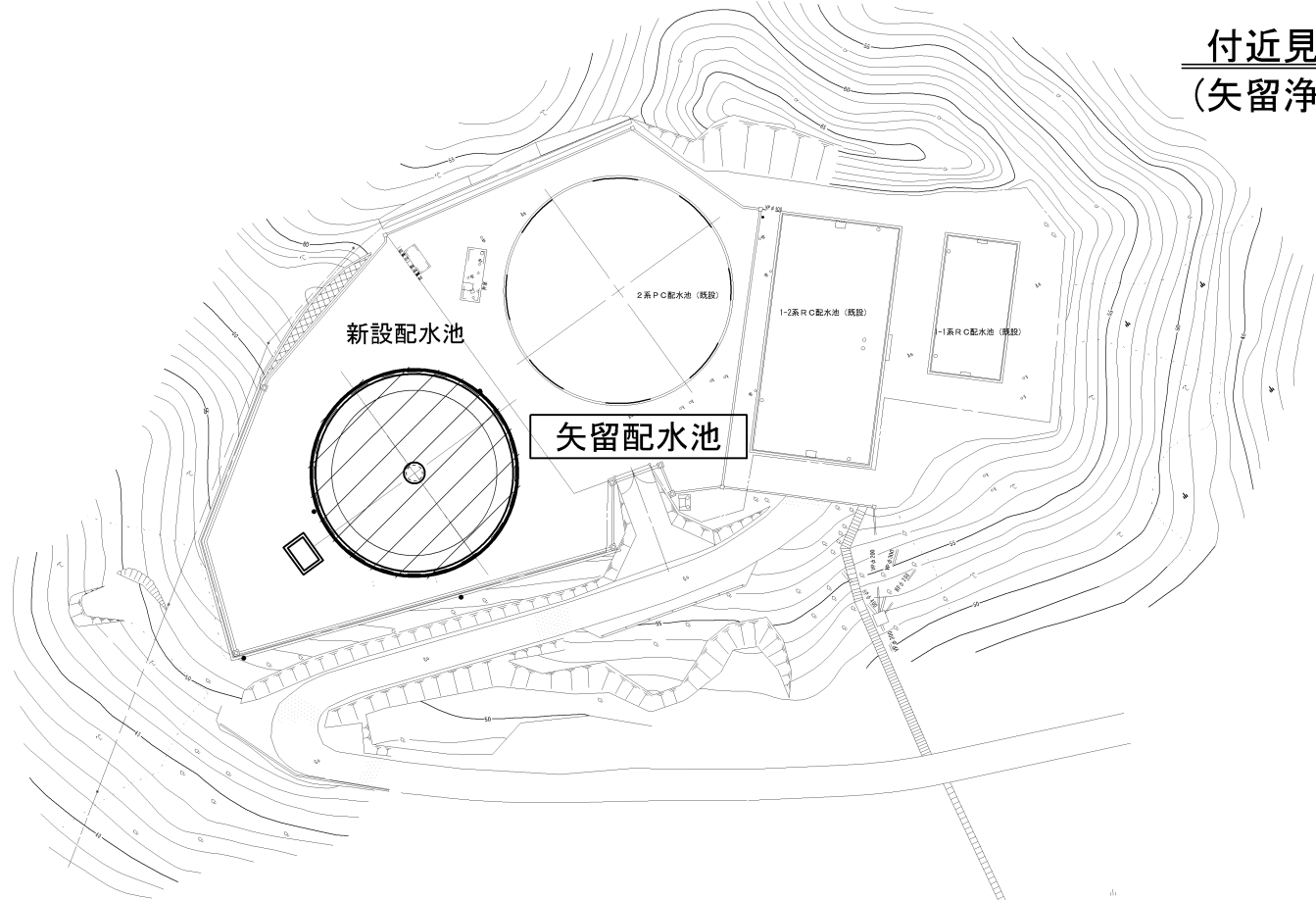
矢留配水池築造工事

設計図

行橋市環境水道部上水道課

図 面 目 録											
番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考	番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考	番号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
	【共通図】			R-25	新配水池 鉄筋加工図（４）	図示		P-12	土留工標準図	1/20	
G-1	付近見取図・一般平面図	1/600	矢留浄水場・矢留配水池	R-26	新配水池 地盤改良図	1/100					
G-2	計画配置平面図	1/300		R-27	新配水池 土工図	1/100			【電気設備図】		
G-3	計画配置断面図	1/200						E-1	一般平面図	1：600	
	【配水池図】				【電動弁室図】			E-2	システム構成図	NTS	
R-1	新配水池 一般構造図	1/150		V-1	電動弁室 構造図	1/50		E-3	計装フローシート図	NTS	
R-2	新配水池 付帯設備図（１）	図示		V-2	電動弁室 部分詳細図	図示		E-4	単線結線図	NTS	
R-3	新配水池 付帯設備図（２）	図示		V-3	電動弁室 付帯配管図	1/50		E-5	盤改良図	NTS	
R-4	新配水池 付帯設備図（３）	図示		V-4	電動弁室 構造関係共通図（１）	－		E-6	配水池電動弁現場盤姿図	NTS	
R-5	新配水池 付帯設備図（４）	図示		V-5	電動弁室 構造関係共通図（２）	－		E-7	全体配線図	1：400	
R-6	新配水池 付帯設備図（５）	図示		V-6	電動弁室 構造関係共通図（３）	－		E-8	浄水場配線図	1：300	
R-7	新配水池 付帯設備図（６）	図示		V-7	電動弁室 構造関係共通図（４）	－		E-9	管理棟配線図	1：100	
R-8	新配水池 付帯配管図（１）	1/100		V-8	電動弁室 構造関係共通図（５）	－		E-10	配線系統図	NTS	
R-9	新配水池 付帯配管図（２）	1/100		V-9	電動弁室 底板配筋図	1/50		E-11	全体配線図（撤去）	1：400	
R-10	新配水池 付帯配管図（３）	1/100		V-10	電動弁室 壁配筋図	1/50		E-12	浄水場配線図（撤去）	1：300	
R-11	新配水池 P C鋼材配置図	図示		V-11	電動弁室 頂版配筋図	1/50		E-13	管理棟配線図（撤去）	1：100	
R-12	新配水池 側壁配筋図	図示		V-12	電動弁室 土工図	1/100		E-14	配線系統図（撤去）	NTS	
R-13	新配水池 基礎版配筋図（１）	図示			【場内配管図】				【防犯設備図】		
R-14	新配水池 基礎版配筋図（２）	図示		P-1	場内配管平面図	1/200		ES-1	防犯設備構内配線図	1：300	
R-15	新配水池 基礎版配筋図（３）	図示		P-2	配管断面図（１）	1/100		ES-2	主回路単線図	NTS, 1：10	
R-16	新配水池 水底板配筋図	図示		P-3	配管断面図（２）	1/100					
R-17	新配水池 柱配筋図	図示		P-4	配管断面図（３）	1/100					
R-18	新配水池 中央シャフト配筋図（１）	図示		P-5	弁室詳細図	1/10					
R-19	新配水池 中央シャフト配筋図（２）	図示		P-6	土工配管平面図(1)	1/100					
R-20	新配水池 屋根歩廊配筋図（１）	図示		P-7	土工配管平面図(2)	1/100					
R-21	新配水池 屋根歩廊配筋図（２）	図示		P-8	土工配管平面図(3)	1/100					
R-22	新配水池 鉄筋加工図（１）	図示		P-9	土工断面図(1)	1/40					
R-23	新配水池 鉄筋加工図（２）	図示		P-10	土工断面図(2)	1/40					
R-24	新配水池 鉄筋加工図（３）	図示		P-11	不断水分岐掘削・復旧図	1/40					

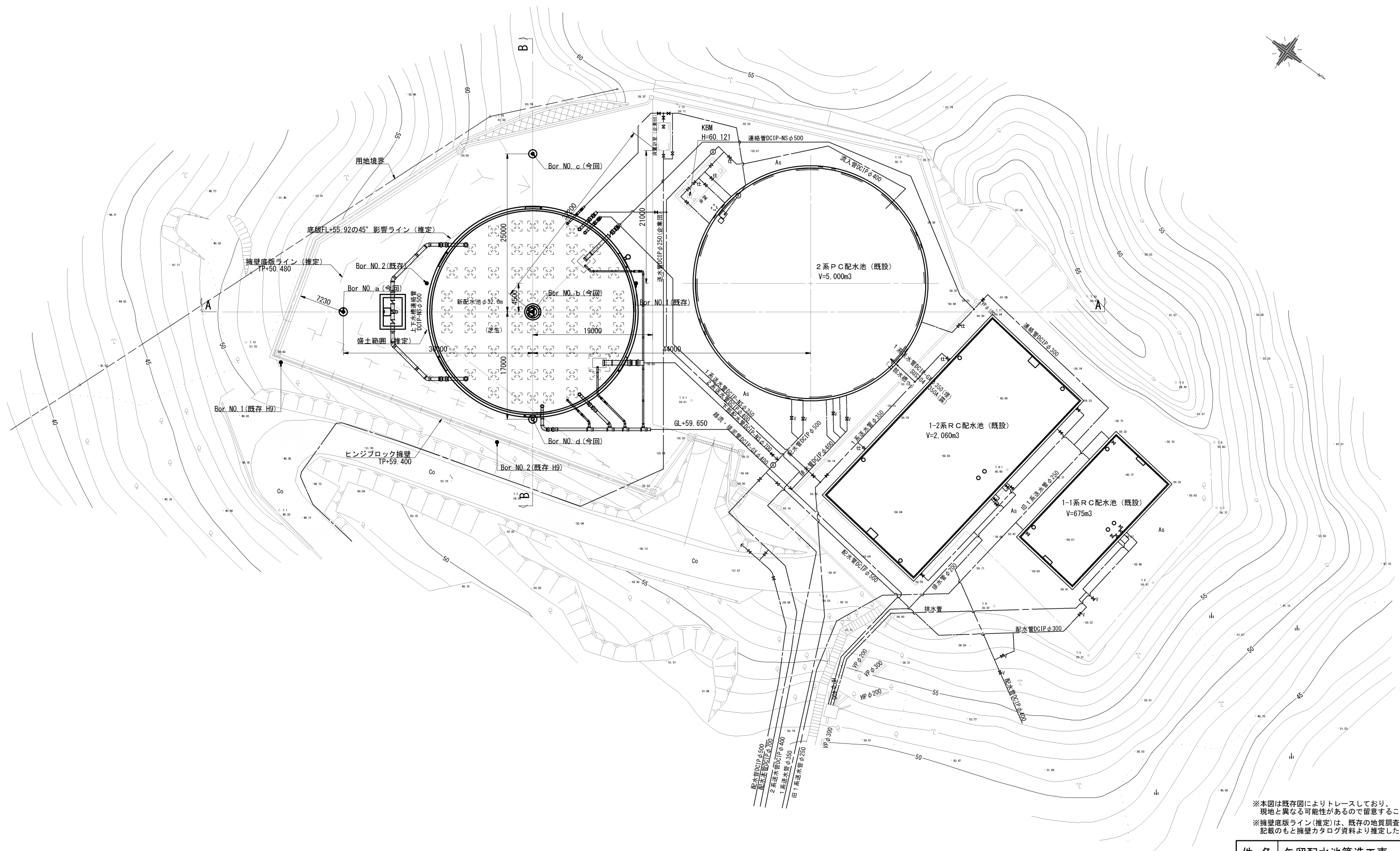
付近見取図・一般平面図
(矢留浄水場・矢留配水池)



※本図は既存図よりトレースしており、
現地と異なる可能性があるので留意すること。

件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	付近見取図・一般平面図 (矢留浄水場・矢留配水池)			G-1
縮 尺	1/600	承 認	設 計	製 図
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

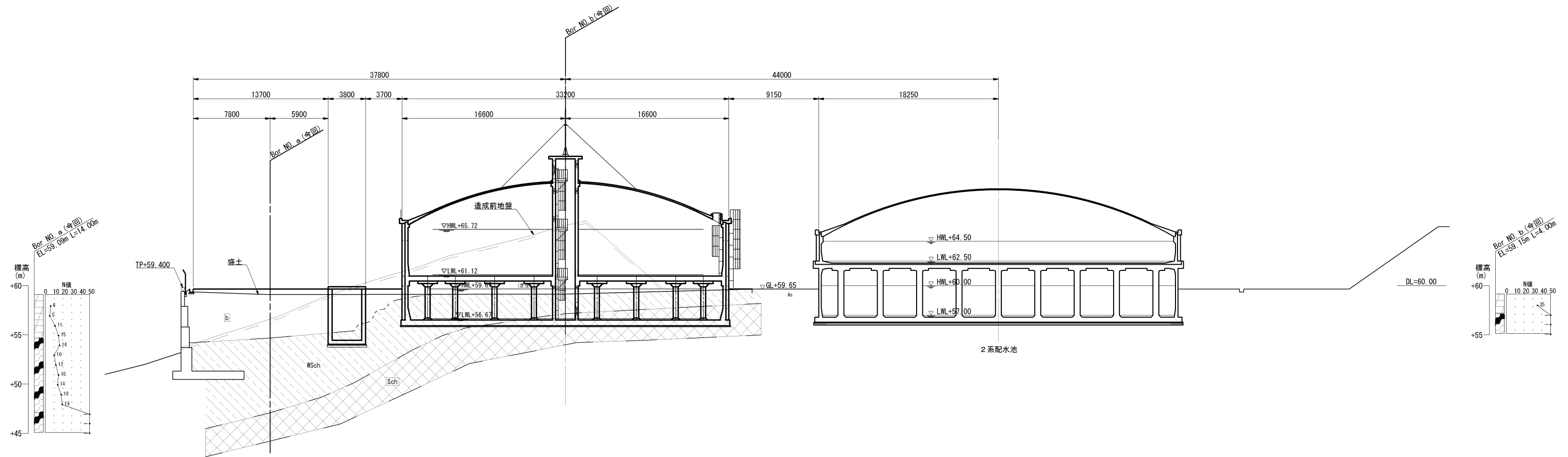
計画配置平面図（下部水槽）



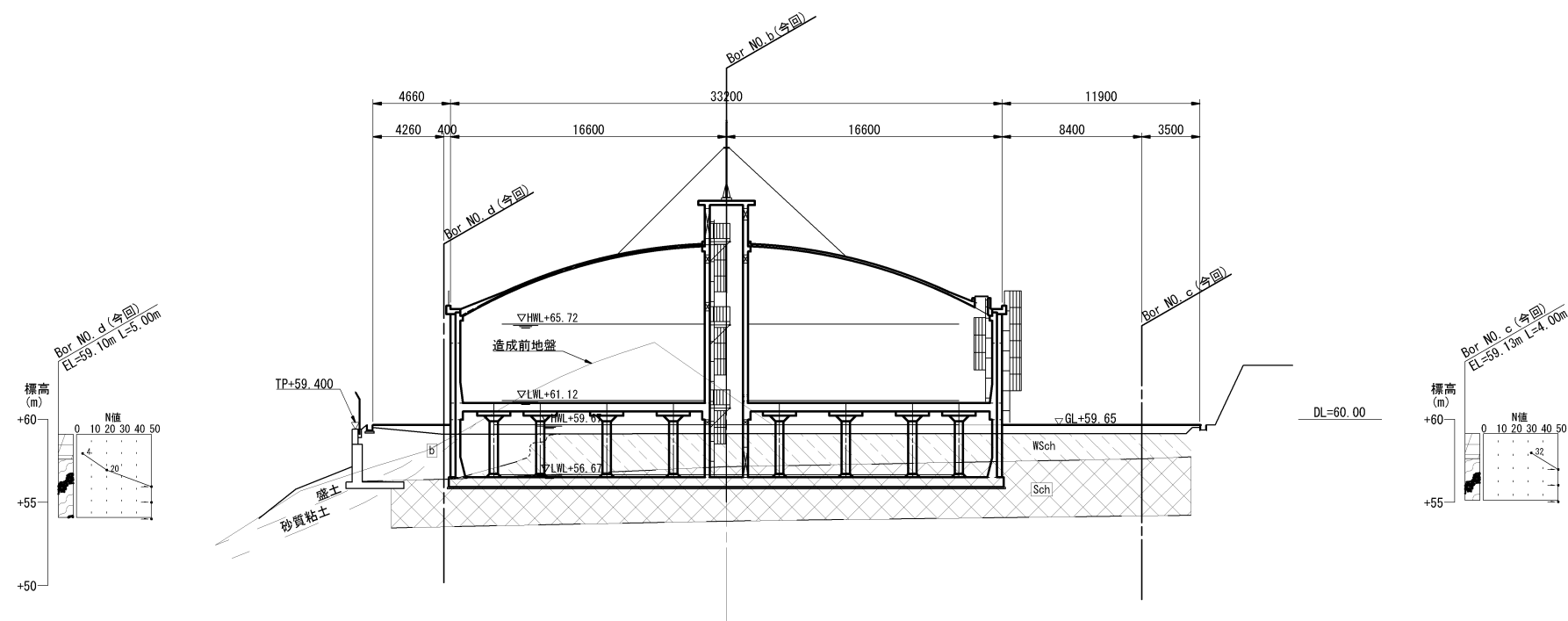
※本図は既存図によりトレースしており、
現地と異なる可能性があるので留意すること。
※擁壁底版ライン(推定)は、既存の地質調査報告書に
記載のもと擁壁カタログ資料より推定した。

件名	矢留配水池築造工事			
図名	計画配置平面図 (下部水槽)			G-2
縮尺	1/300	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

計画配置断面図



A - A断面 S=1:200



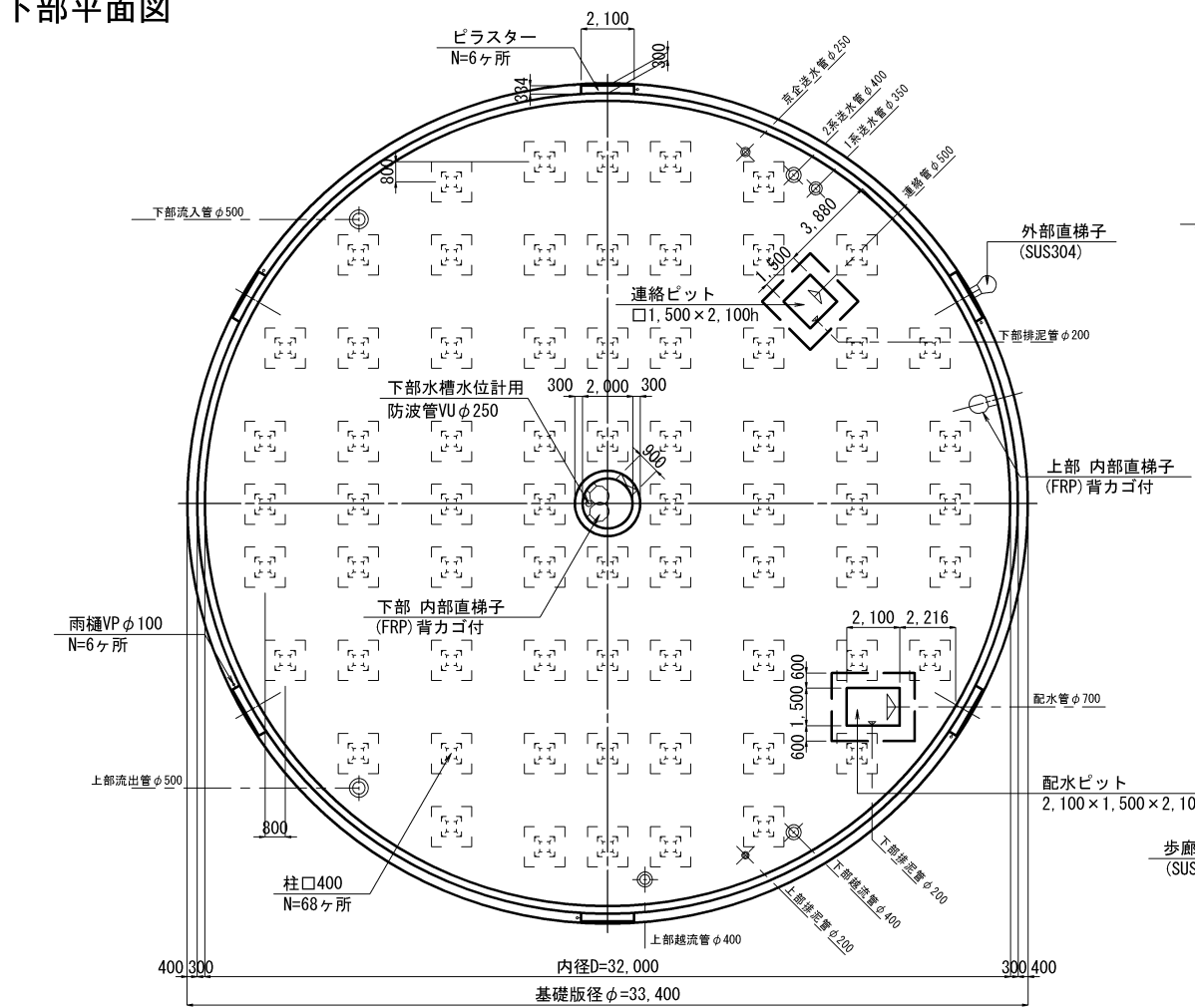
B - B断面 S=1:200

※本図は既存図によりトレースしており、
現地と異なる可能性があるので留意すること。

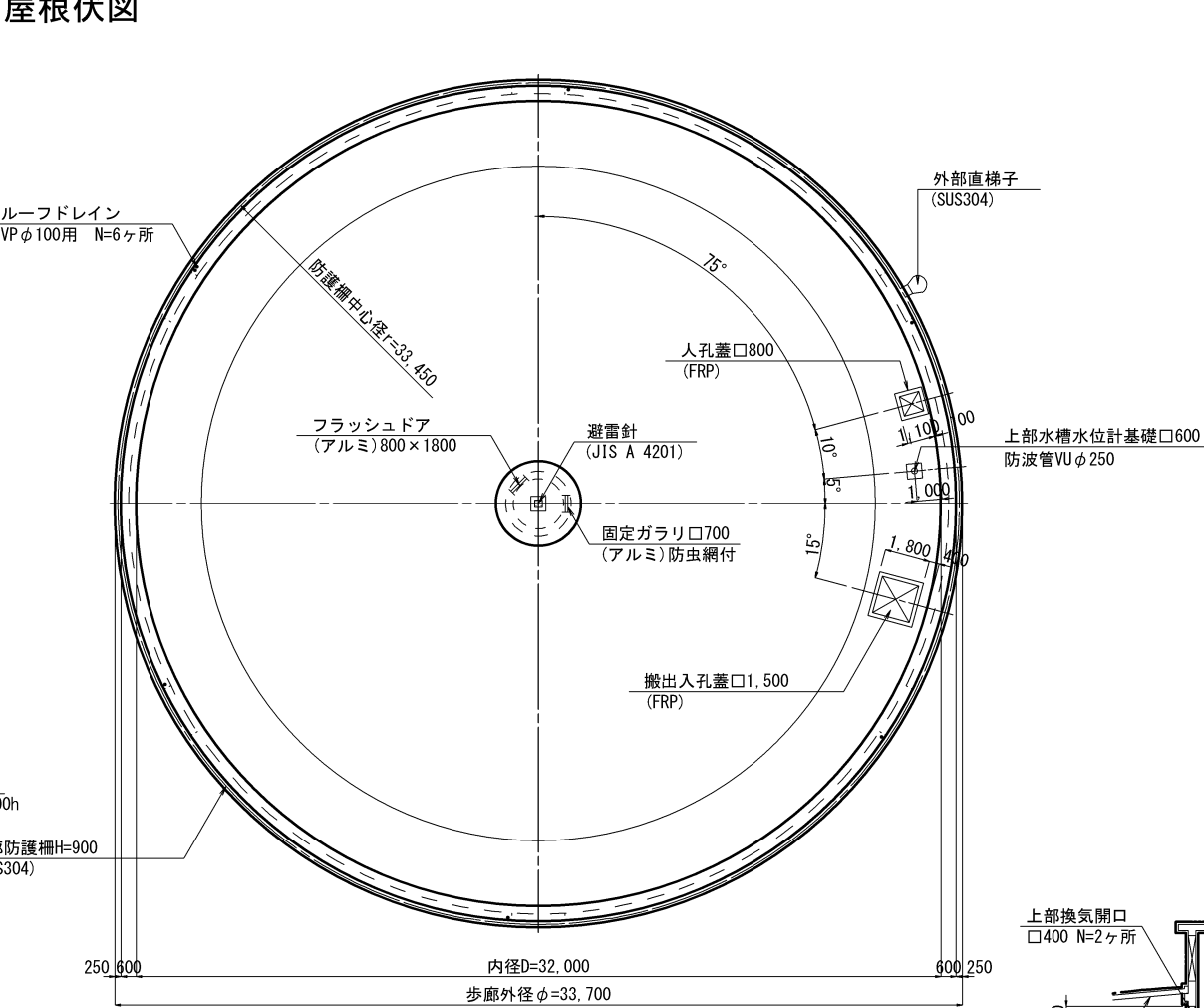
件名	矢留配水池築造工事			
図名	計画配置断面図			G-3
縮尺	1/200	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

新配水池 一般構造図 S=1:150

下部平面図



屋根伏図



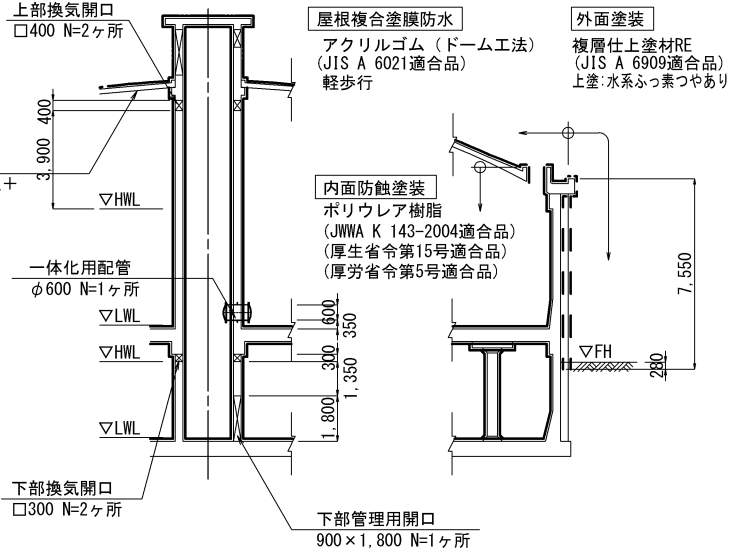
《設計条件》上下部合計必要容量 V = 6,000m³

	上部	下部	一体化 (将来)
有効容量 Ve (m ³)	3,668	2,359	6,742
内 径 D (m)	32.000	32.000	32.000
全 水 深 H (m)	4.750	3.150	9.200
有効水深 He (m)	4.600	3.000	9.050

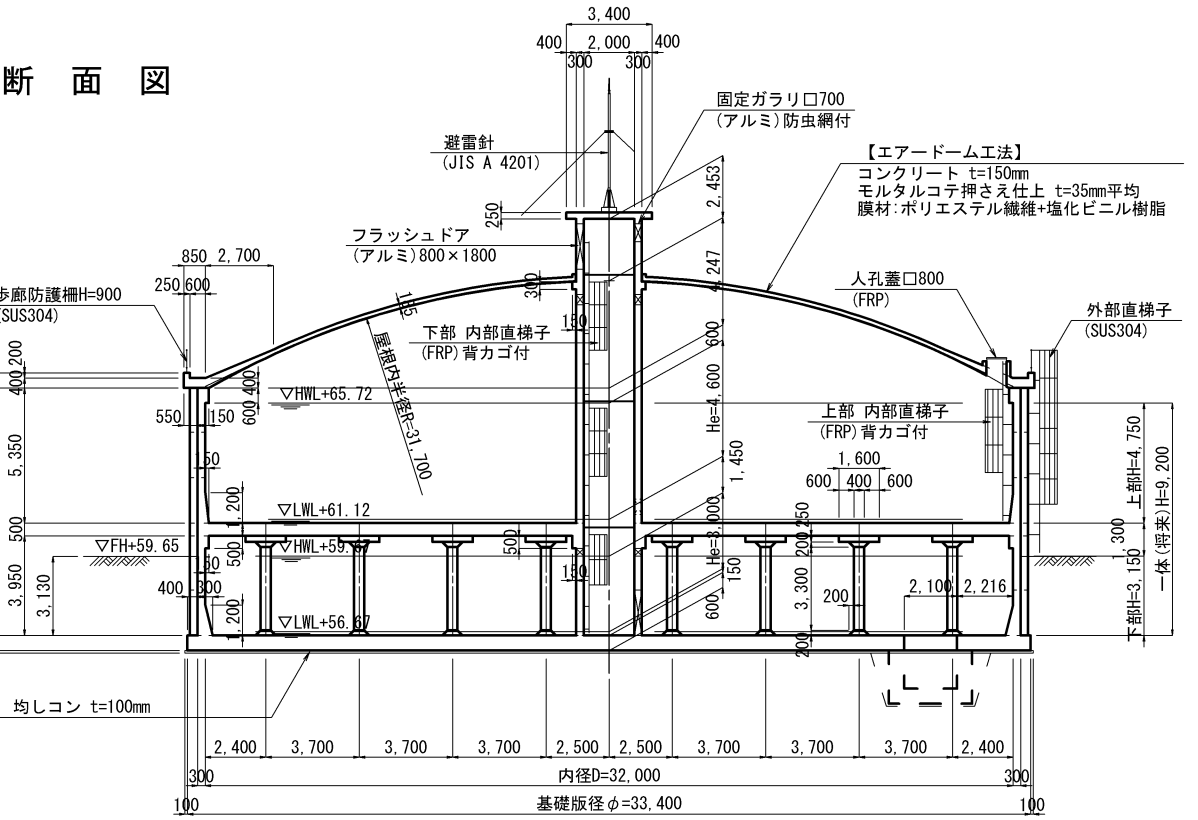
コンクリートの設計基準強度	
屋根歩廊 σ _{ck} (N/mm ²)	24- 8-25 (20)N
側 壁 σ _{ck} (N/mm ²)	36-10-25 (20)N
シャフト σ _{ck} (N/mm ²)	24-10-25 (20)N
水 底 版 σ _{ck} (N/mm ²)	30- 8-25 (20)N
柱 σ _{ck} (N/mm ²)	24-10-25 (20)N
基 礎 版 σ _{ck} (N/mm ²)	30- 8-25 (20)N
均しコン σ _{ck} (N/mm ²)	18- 8-25 (20)BB

鉄 筋 種 別	
SD345	
P C 鋼 材	
横 締	SWPR19L 1S28.6
縦 締	SBPR930/1080 1B32B1

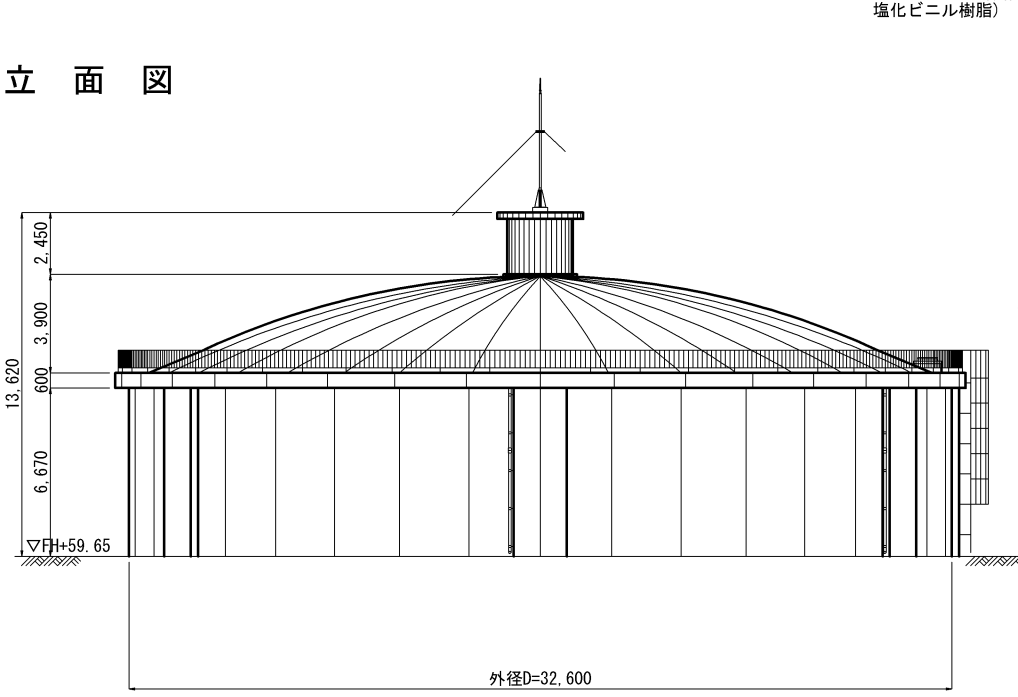
塗装概念図



断面図



立面図

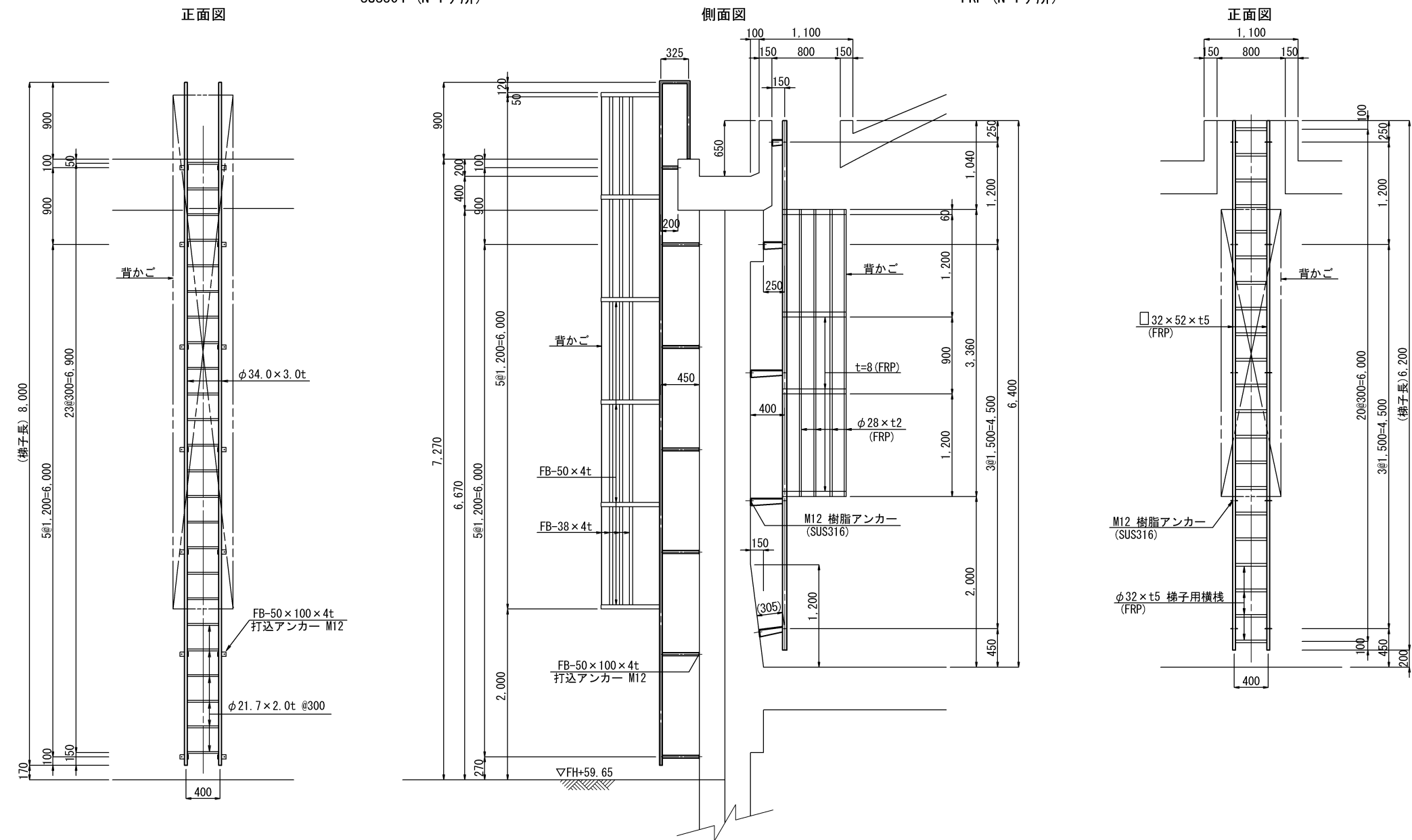


件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	新配水池 一般構造図			R-1
縮 尺	1/150	承 認	設 計	製 図
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

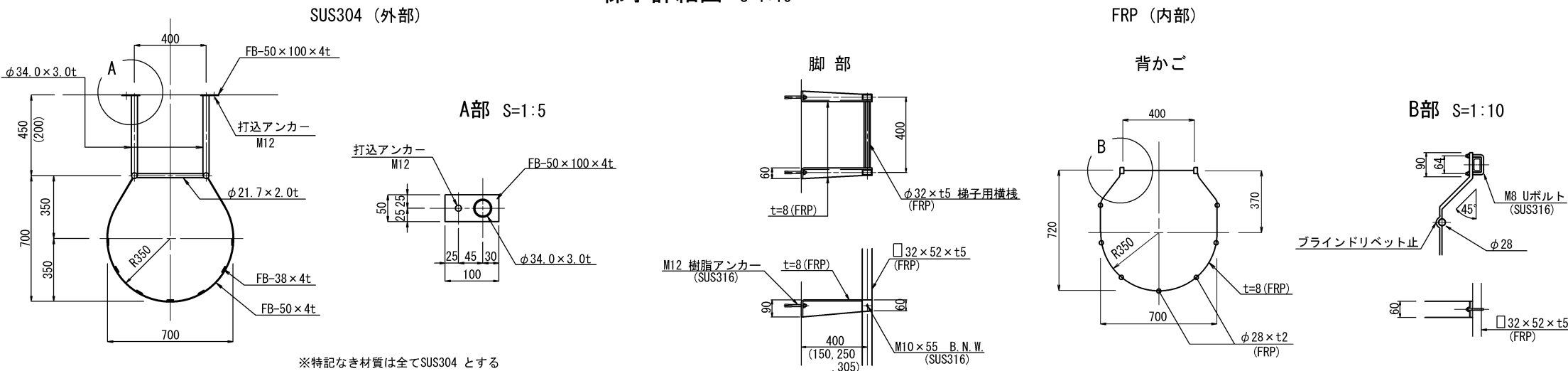
新配水池 付帯設備図(1)

外部直梯子 S=1:30
SUS304 (N=1ヶ所)

内部直梯子 S=1:30
FRP (N=1ヶ所)



梯子詳細図 S=1:15

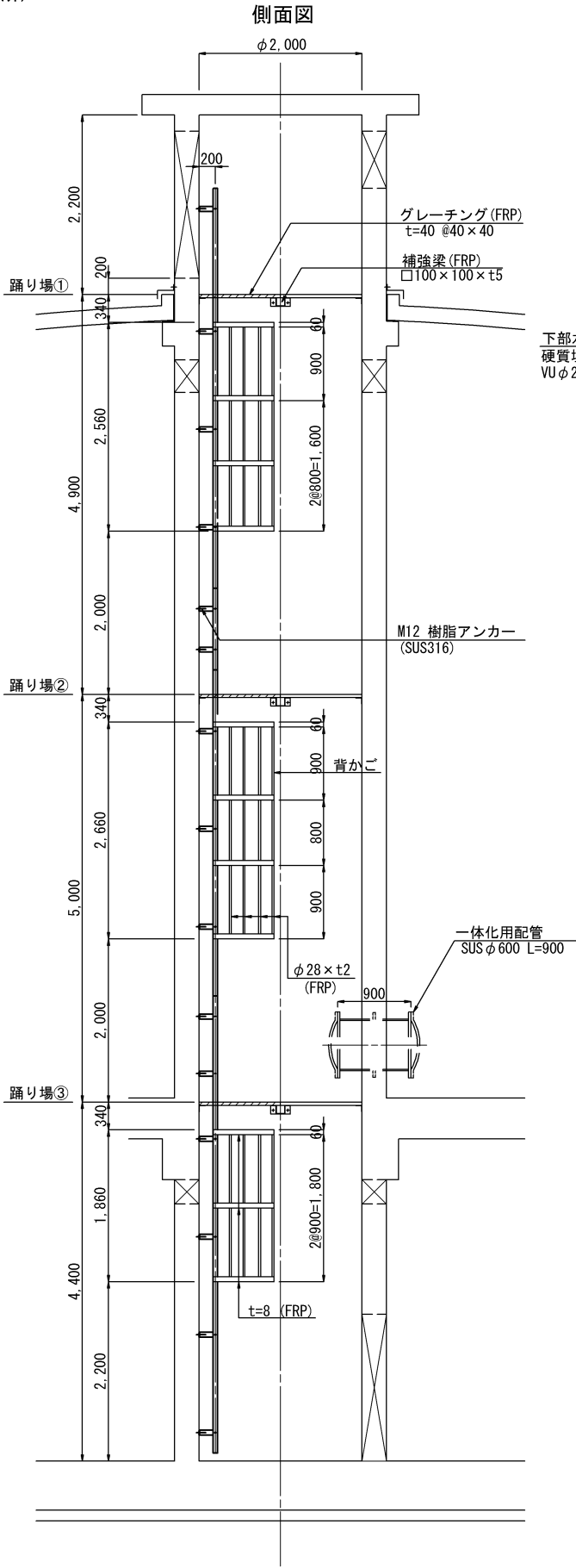
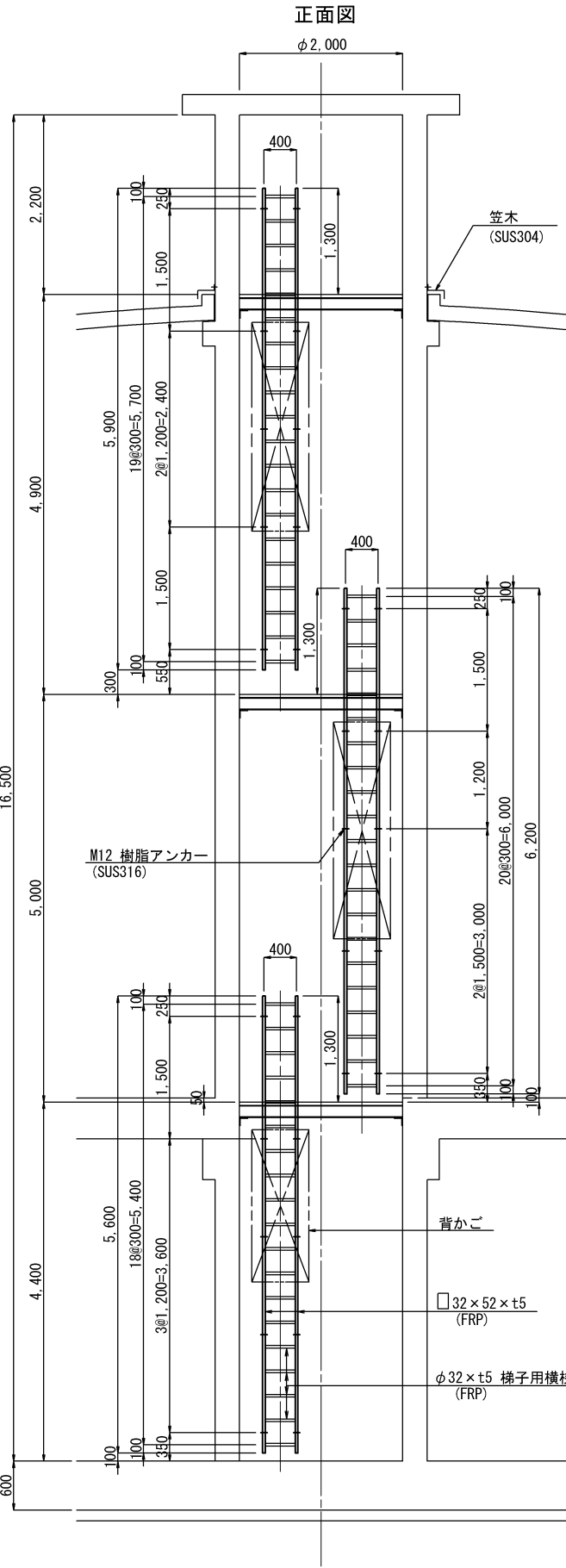


※特記なき材質は全てSUS304 とする

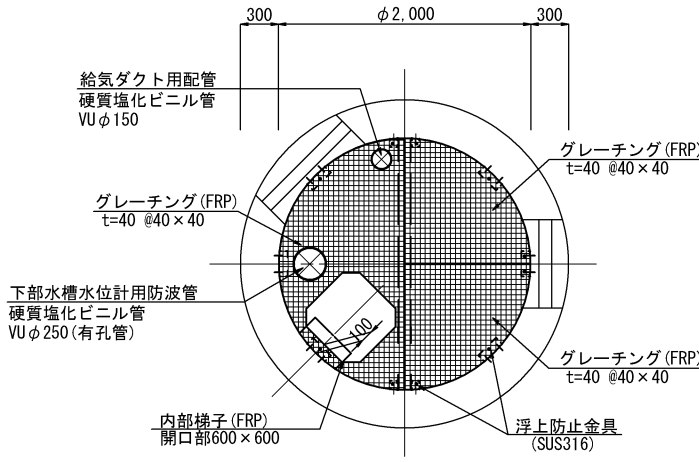
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	新配水池 付帯設備図(1)					R-2
縮 尺	図 示		承 認	設 計	製 図	
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

新配水池 付帯設備図(2)

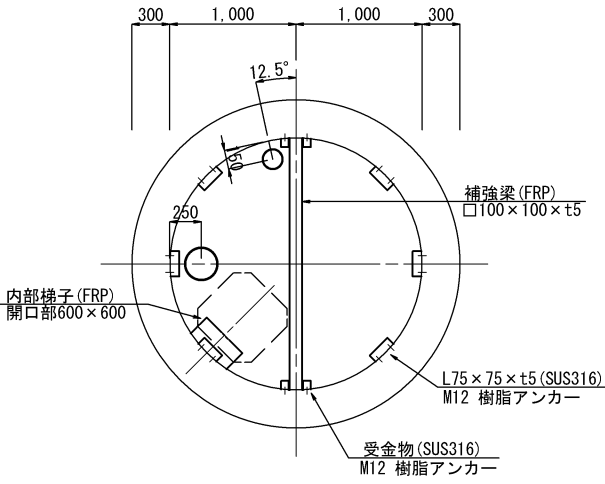
シャフト部梯子 S=1:40
FRP (N=1ヶ所)



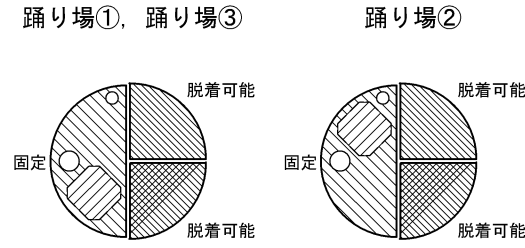
踊り場平面図 S=1:30
(踊り場①)



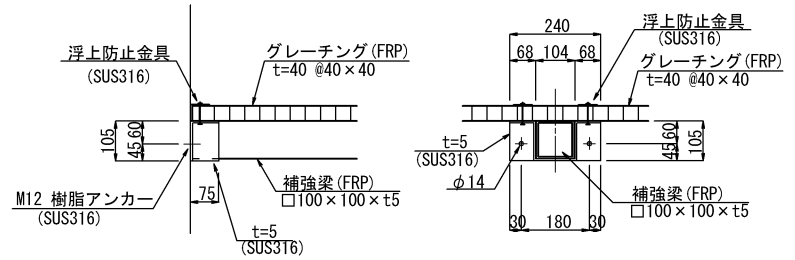
補強梁・受金物平面図 S=1:30



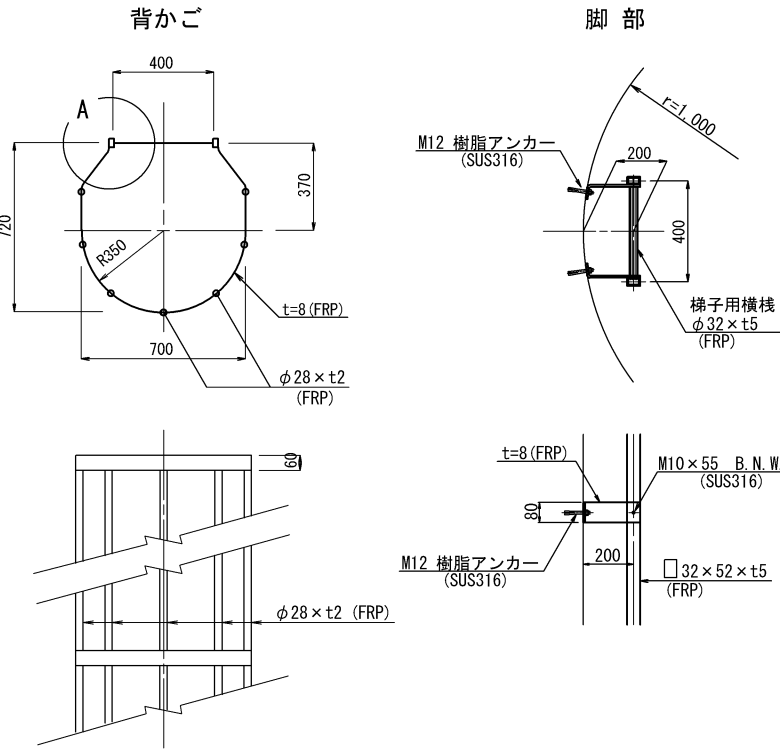
グレーチング (3分割)



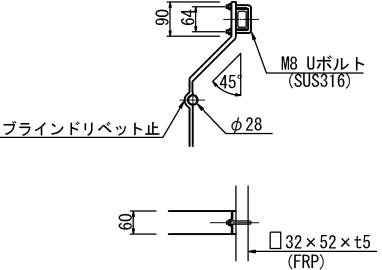
補強梁・受金物詳細図 S=1:10



梯子詳細図 S=1:15
脚部



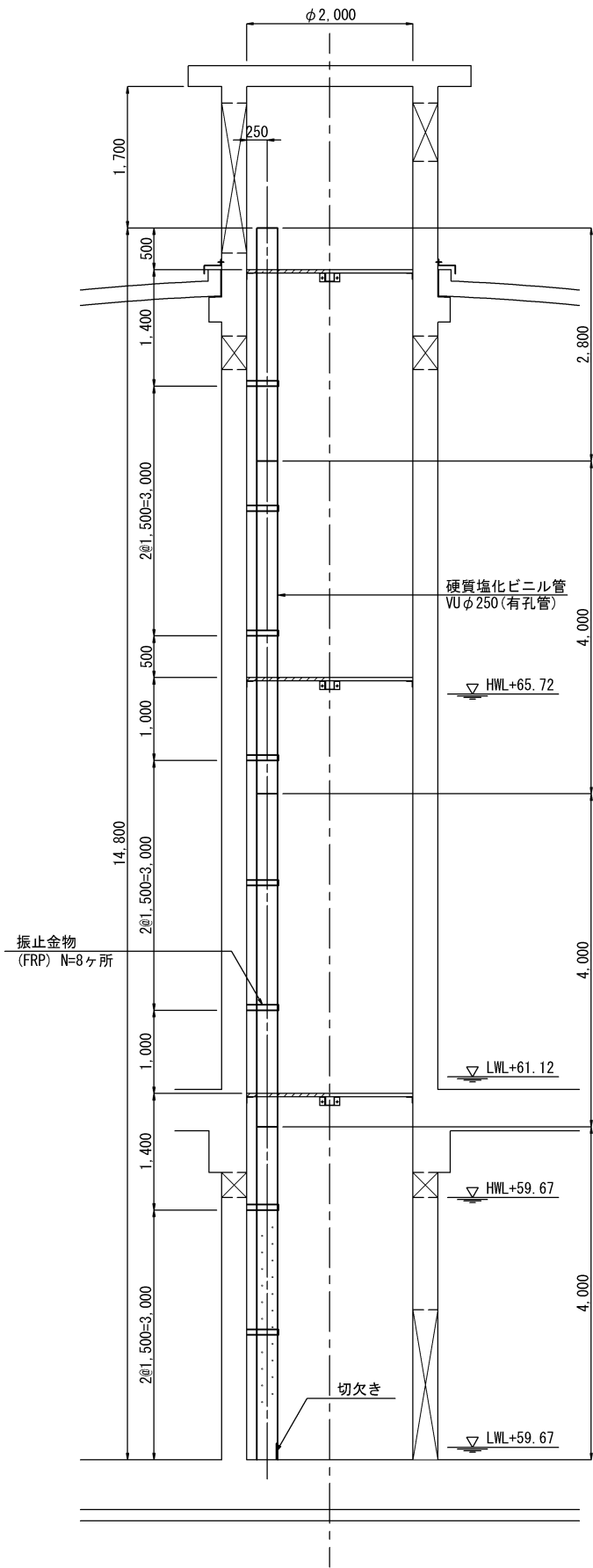
A部 S=1:10



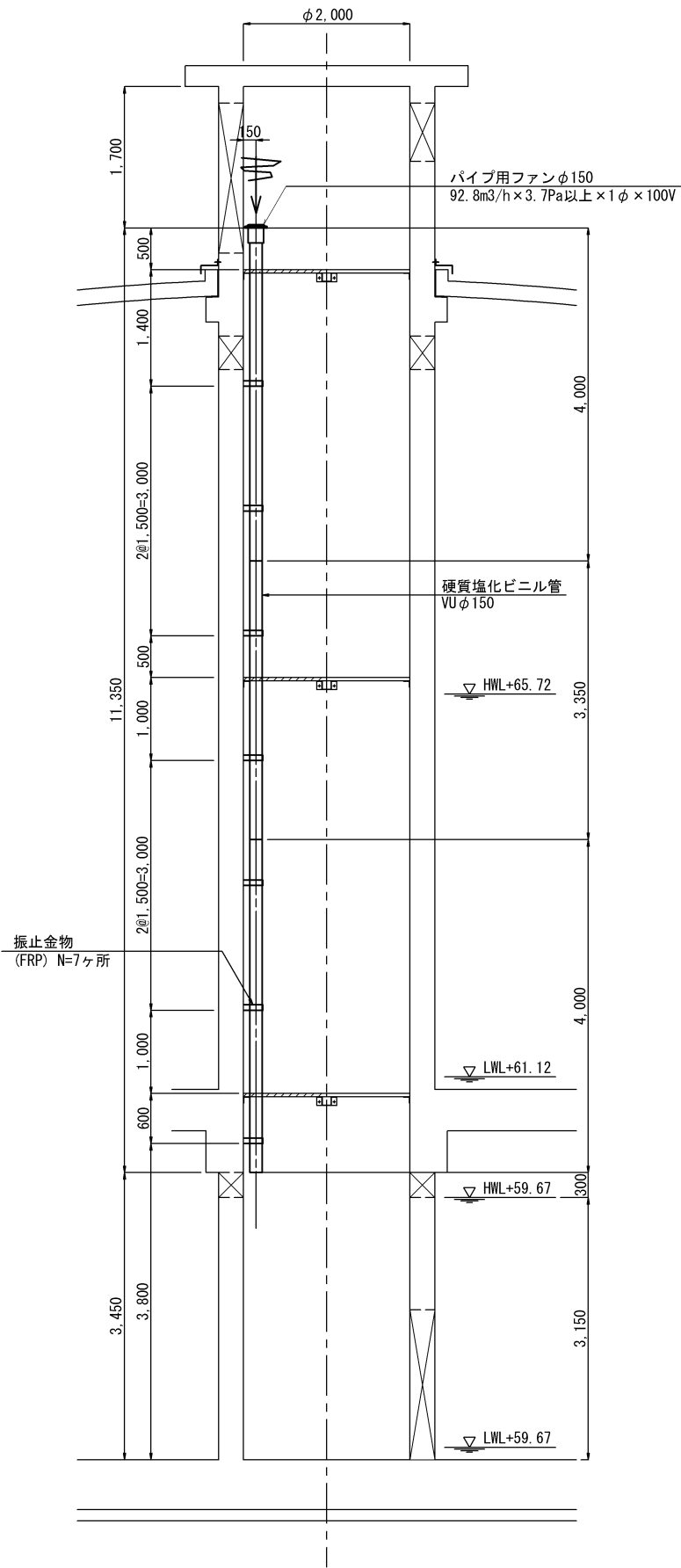
件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 付帯設備図(2)	R-3		
縮尺	図示	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

新配水池 付帯設備図(3)

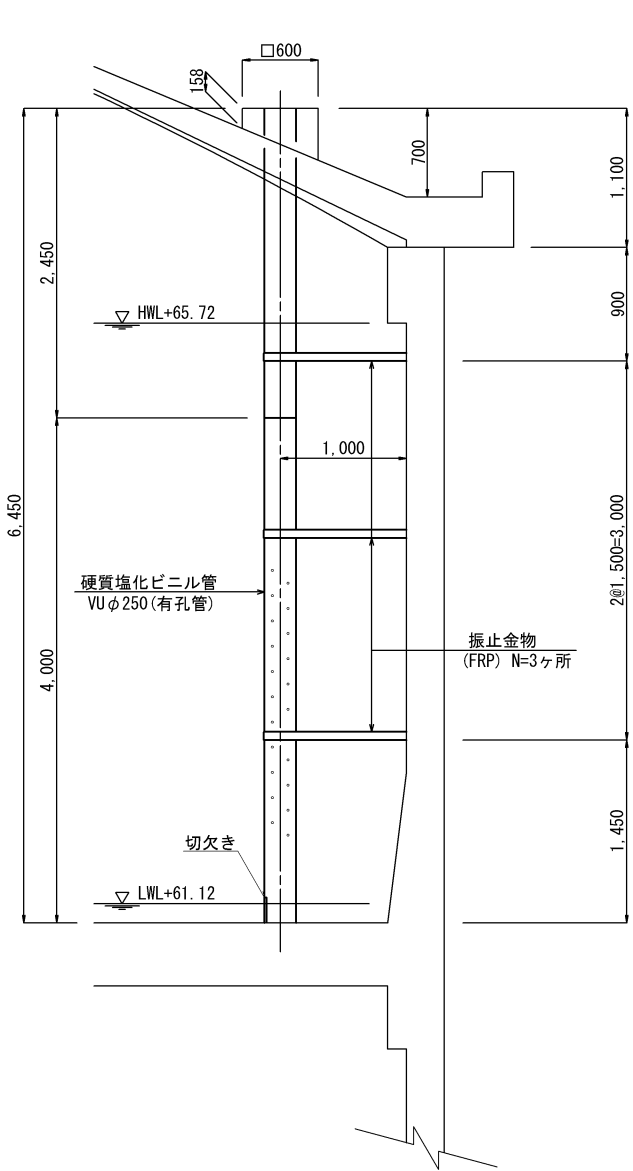
下部水槽水位計用防波管 S=1:40
VU250 有孔管 (1ヶ所)



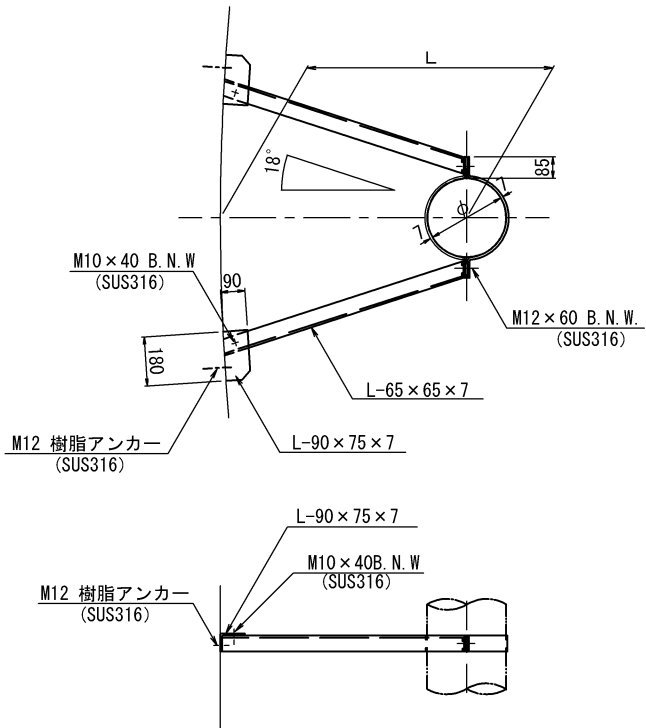
給気ダクト用配管 S=1:40
VU150 (1ヶ所)



上部水槽水位計用防波管 S=1:30
VU250 有孔管 (1ヶ所)



管振止金物 (FRP) NOSCALE



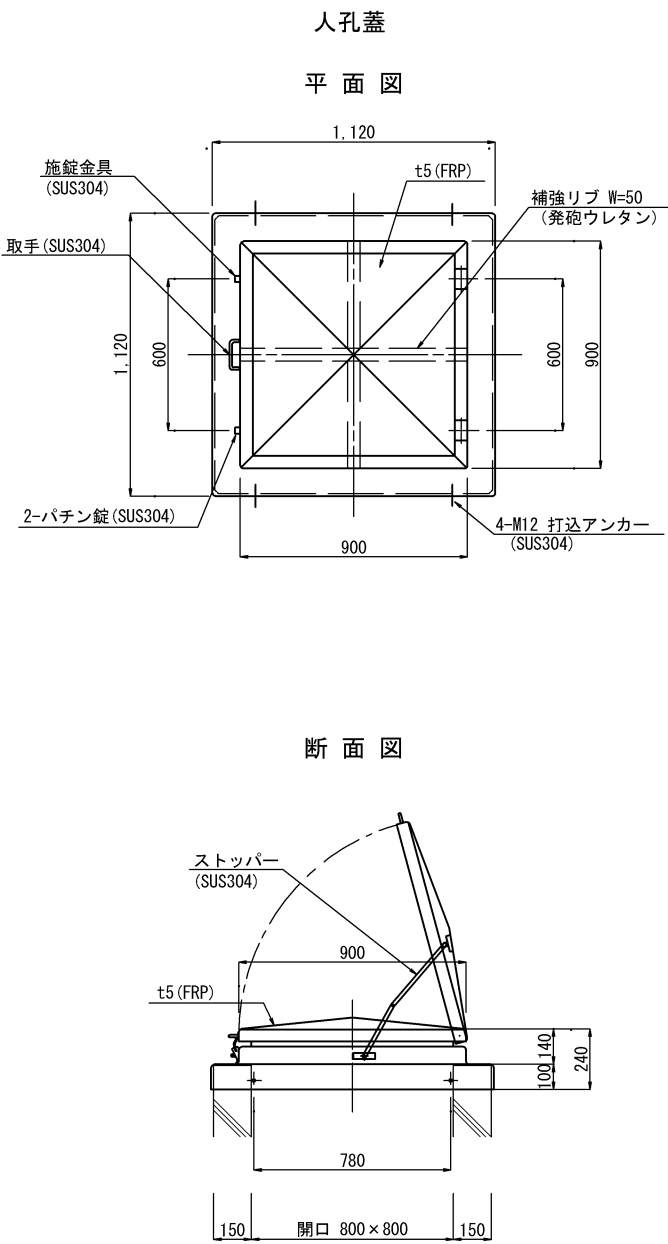
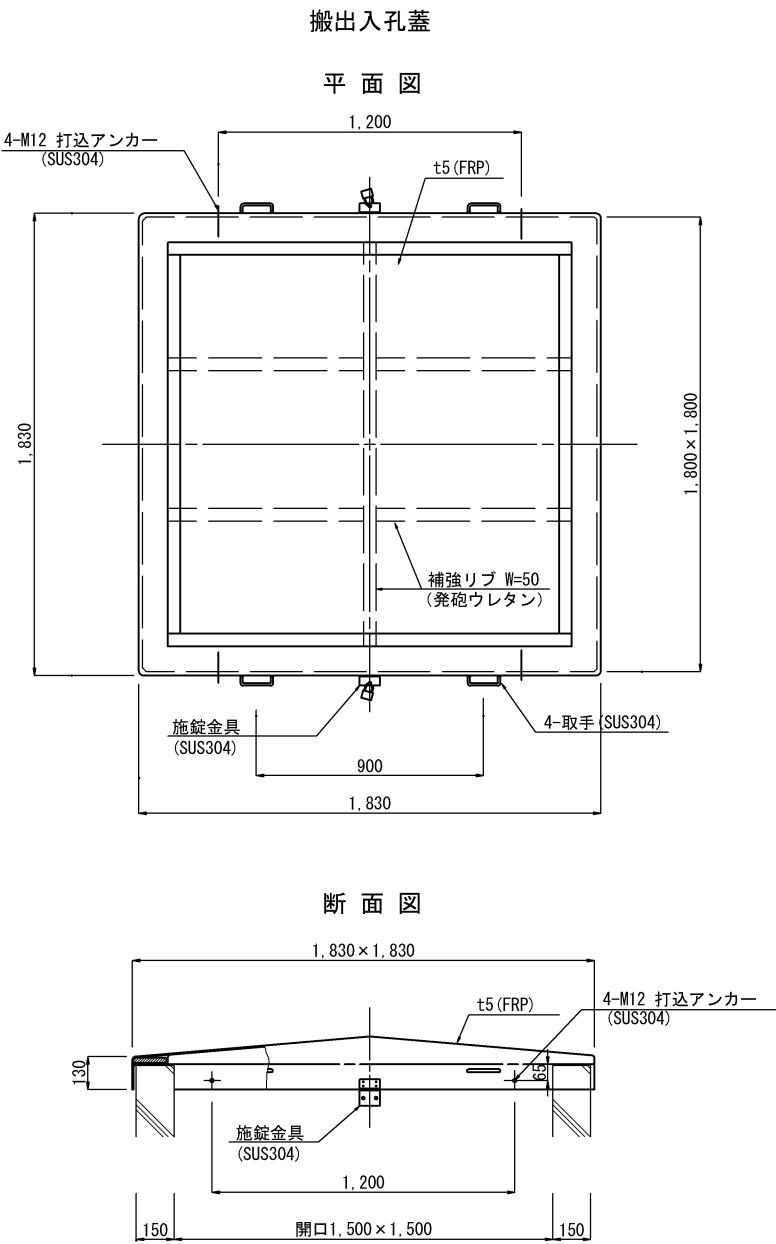
※特記なき材質はFRPとする。

呼 径	離れ L	数 量	摘 要
φ 250	L=1000	3	上部水槽水位計防波管
φ 250	L= 250	8	下部水槽水位計防波管
φ 150	L= 150	7	給気ダクト用配管

件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 付帯設備図(3)				R-4
縮 尺	図示	承	設	製	
平成 29 年 月 日	認	計	図		
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

新配水池 付帯設備図(4)

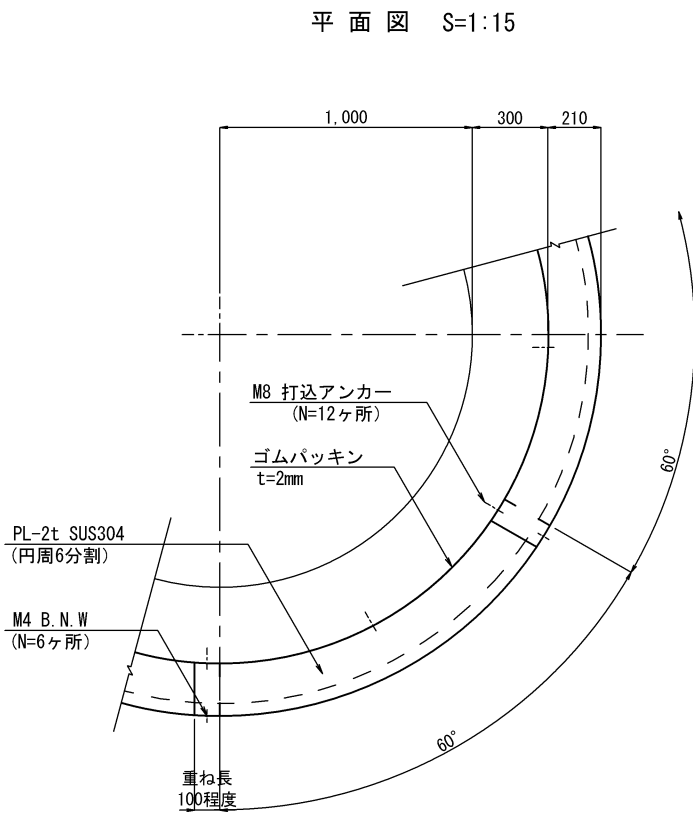
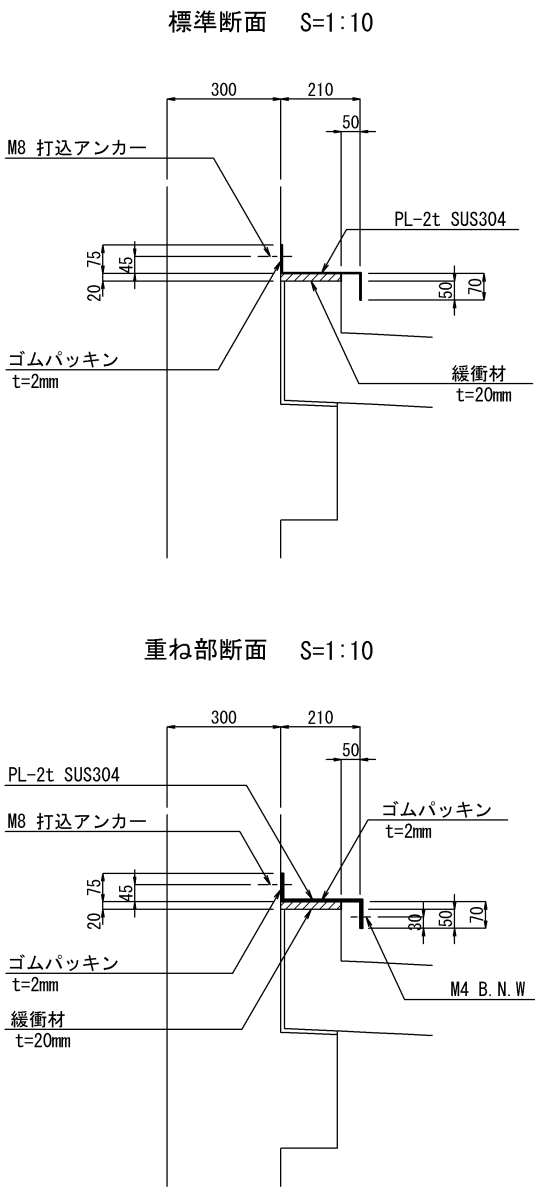
開口部蓋 (FRP) S=1:15
(各1ヶ所)



建 具 表			
符号・数量	AG1 N = 1	AD1 N = 1	
名称・形式	固定ガラリ	アルミフラッシュ片開きドア	
材質・仕上げ	アルミ・A2 (JIS H 8602-2010)	アルミ・A2 (JIS H 8602-2010)	
金 物	アルミ製水切板	握玉付シンリンダー本締錠	
	SUS製防虫網	丁番、ドアチェック	
備 考	付属金物一式	付属金物一式	
	防水ガラリ 開口率30%以上	耐風圧性: S-5 気密性: A-3 水密性: VV-4 枠見込み: 70mm	
姿 図			

※ 上表の寸法は基準を示すもので、施工に際しては現場による。

笠木詳細図 (SUS304)

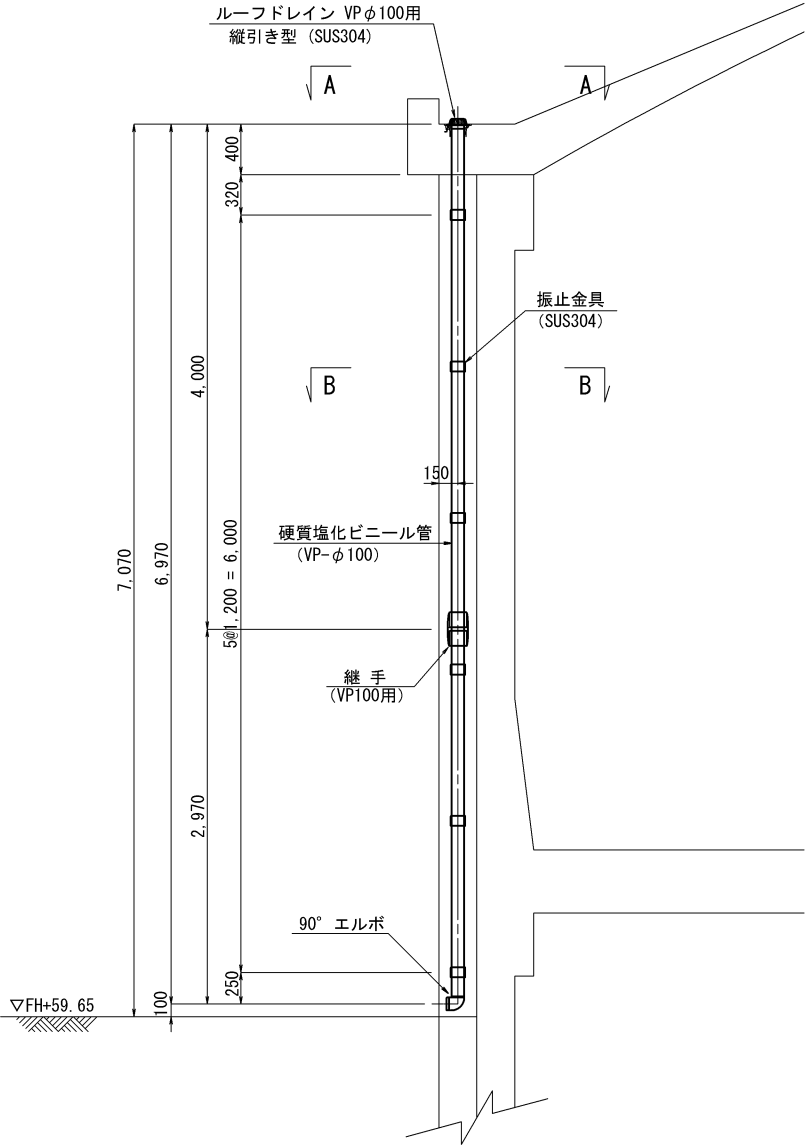


件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 付帯設備図(4)			R-5	
縮 尺	図示	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

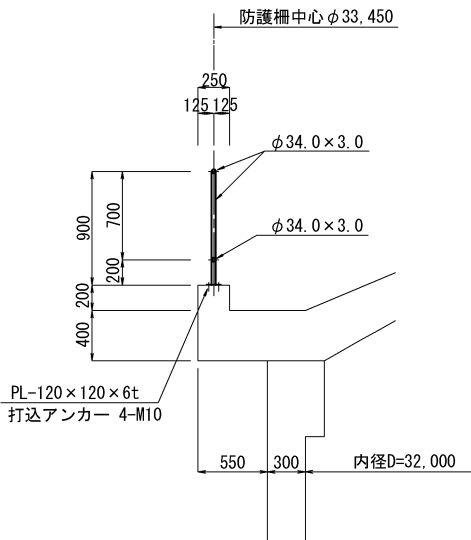
新配水池 付帯設備図(5)

雨 樋 (VP φ100) S=1:30
(N=6ヶ所)

断 面 図

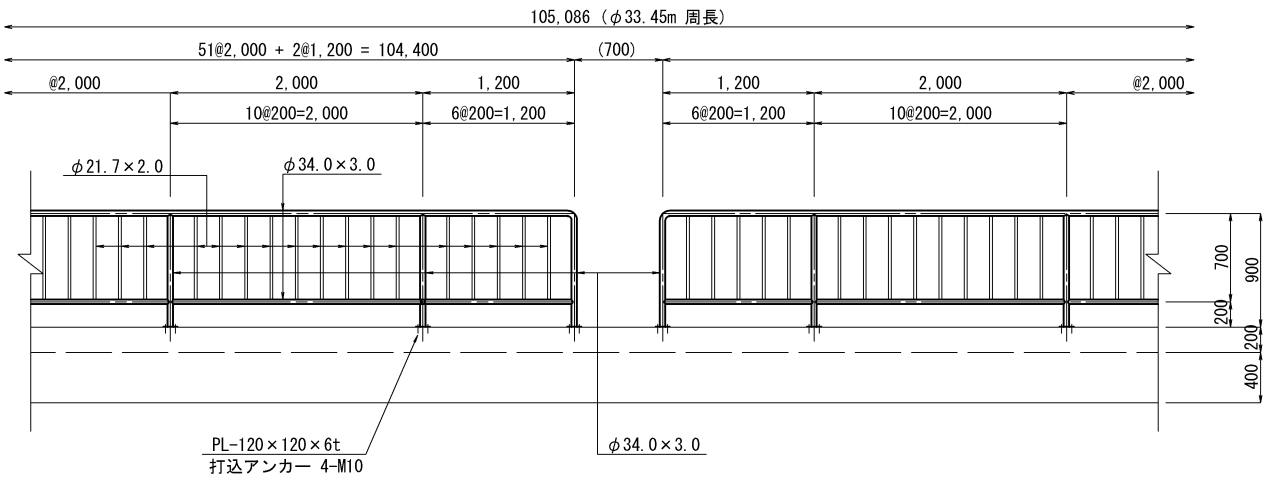


断 面 図



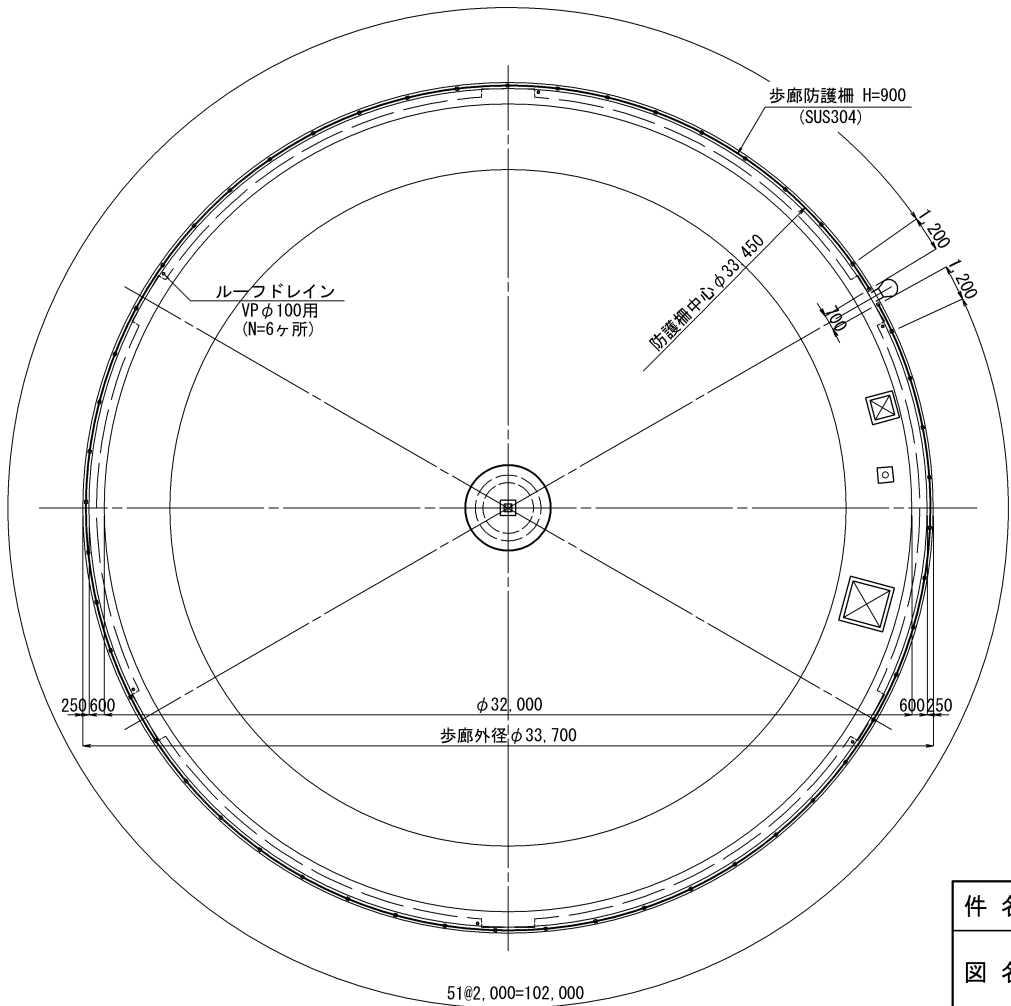
歩廊防護柵 (SUS304) S=1:30

展 開 図 (防護柵中心 φ33,450)

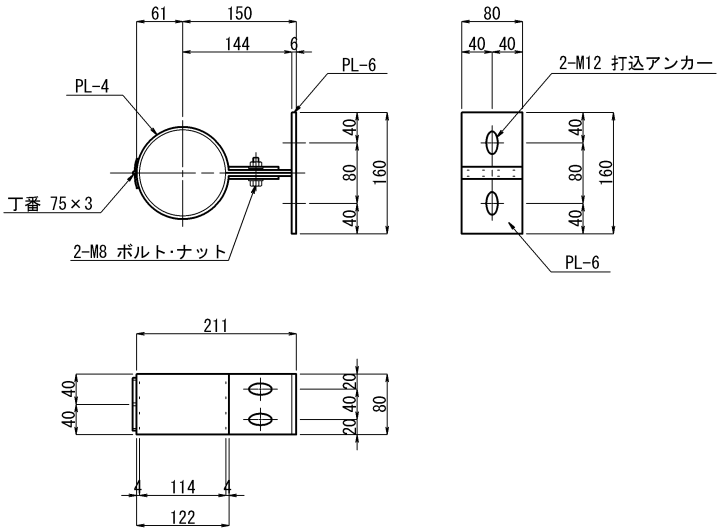
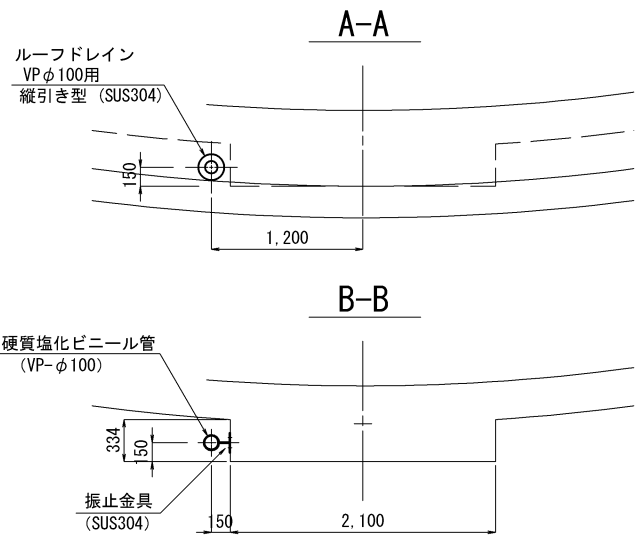


※特記なき部材は、全てSUS304とする。

平 面 図 S=1:150



雨樋振止金物 (SUS304) S=1:5



※ボルト・ナット及びアンカーボルトはすべてSUS304とする。

件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	新配水池 付帯設備図(5)	R-6		
縮 尺	図示	承 認	設 計	製 図
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

避雷針設置工（参考図）

番号	記号	名 称
1		突針 国土交通省型 LR1
2		ダイヒカップリング(黄鋼製)
3		支持管 (ステンレス管(SUS304)) 48.6φ(3t)×3m
4		支持管取付台 (ステンレス製)
5		支線取付金物 (ステンレス製) 支持管4方用(48.6φ)・埋込用 支線ワイヤー 6φ(ステンレス製) 支線附属品 (ステンレス製)
6		構造体受雷部利用 手摺(SUS304) (手摺間の電気的接続は JIS A 4201:2003に基づき、建築工事とする)
7		銅受雷導線 銅引下げ導線 2.0×13本 取付金物(黄鋼製) 水平φ=600、垂直φ=1,000 A-鉄骨用 B-床用コンクリートブロック C-コンクリート用
8		十字型接続端子(黄鋼製クロムメッキ)
9		I型接続端子(黄鋼製クロムメッキ)
10		手摺用接続端子(ステンレス製、端子：黄鋼製クロムメッキ)
11		保護管 VE28×4m 取付金物(黄鋼製) 垂直φ=1,000 コンクリート用
12		端子BOX・2端子 露出用・TB-SS1
13		地中埋設地線鋼線 2.0×13本
14		接地極鋼線 2.0×19本
15		分岐端子(黄鋼製クロムめっき)
保護レベル		Ⅲ

保 護 レベル	回転球体法 R (m)	保護角法 h (m)					メッシュ法 幅 (m)
		20	30	45	60	60超過	
		$\alpha (^{\circ})$	$\alpha (^{\circ})$	$\alpha (^{\circ})$	$\alpha (^{\circ})$		
Ⅲ	45	45	35	25	*	*	15

* 回転球体法及びメッシュ法を適用する。

※ JIS-A4201-2003の規定に基づく。

"	取付金物（黄銅製）	基直@=1,000
"	コンクリート用	
子BOX・2端子	露出用・TB-SS1	
中埋設地線鋼線	2.0×13本	
地極鋼線	2.0×19本	
"	分岐端子（黄銅製クロムめっき）	

III

(断面図)

R=450

ΔFH+59.65

600.900

6.670

500

300

内径D=32,000

1,000以上

側壁外径φ32,600

⑦B

⑧

⑩

Technical drawing of a support structure for a power line. The main drawing shows a vertical support pipe with various components labeled: 突針 (Pointing needle), ダイヒカップリング (Die coupling), 支線取付金具 (4方用) (Branch line fitting (4-way)), ワイヤークリップ (Wire clip), 支線ファイヤー (φ6) (Branch line fire (φ6)), 導線引出金物 (支持管用) (Conductor引出 fitting (support pipe use)), 支持管取付台 (Support pipe fitting base), 銅受雷導線 2.0×13 (Copper lightning receiving conductor 2.0×13), T型接続端子 (T-type connection terminal), アンカーボルト M16 L=200 (Anchor bolt M16 L=200). Dimensions include 400, 3,000, 3,400, 500, 12, 600, and 9t リブ (9t rib). A detail drawing at the bottom shows the support pipe fitting base with dimensions: 4-φ22, 50, 200, 50, 150, 300, 150, 600, 50, 200, 50, 150, 300, 150, 600.

平面圖 S=1:150

12

13

14

15

側壁外徑 $\phi 22,600$

Technical drawing showing a cross-section of a roof structure. The drawing includes a dome section on the left and a side elevation on the right. Key dimensions and labels are as follows:

- Labels:** 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15.
- Dimensions:**
 - 2,450 (Height of the dome section)
 - 200 (Height of the dome base)
 - 3,000 (Height of the dome base)
 - 3,500 (Height of the side elevation)
 - 1,000 (Height of the side elevation base)
 - 500 (Height of the side elevation base)
- Curvature:** R=45m (Radius of curvature for the dome and side elevation).

屋根伏図 S=1:150

構造体受雷部利用
(歩廊防護柵 (SUS304))

半径中心
φ33,450

避雷針
(JIS規格)

1 2 3 4

5

6

7

8

9

10

11

600 600

内径φ32,000

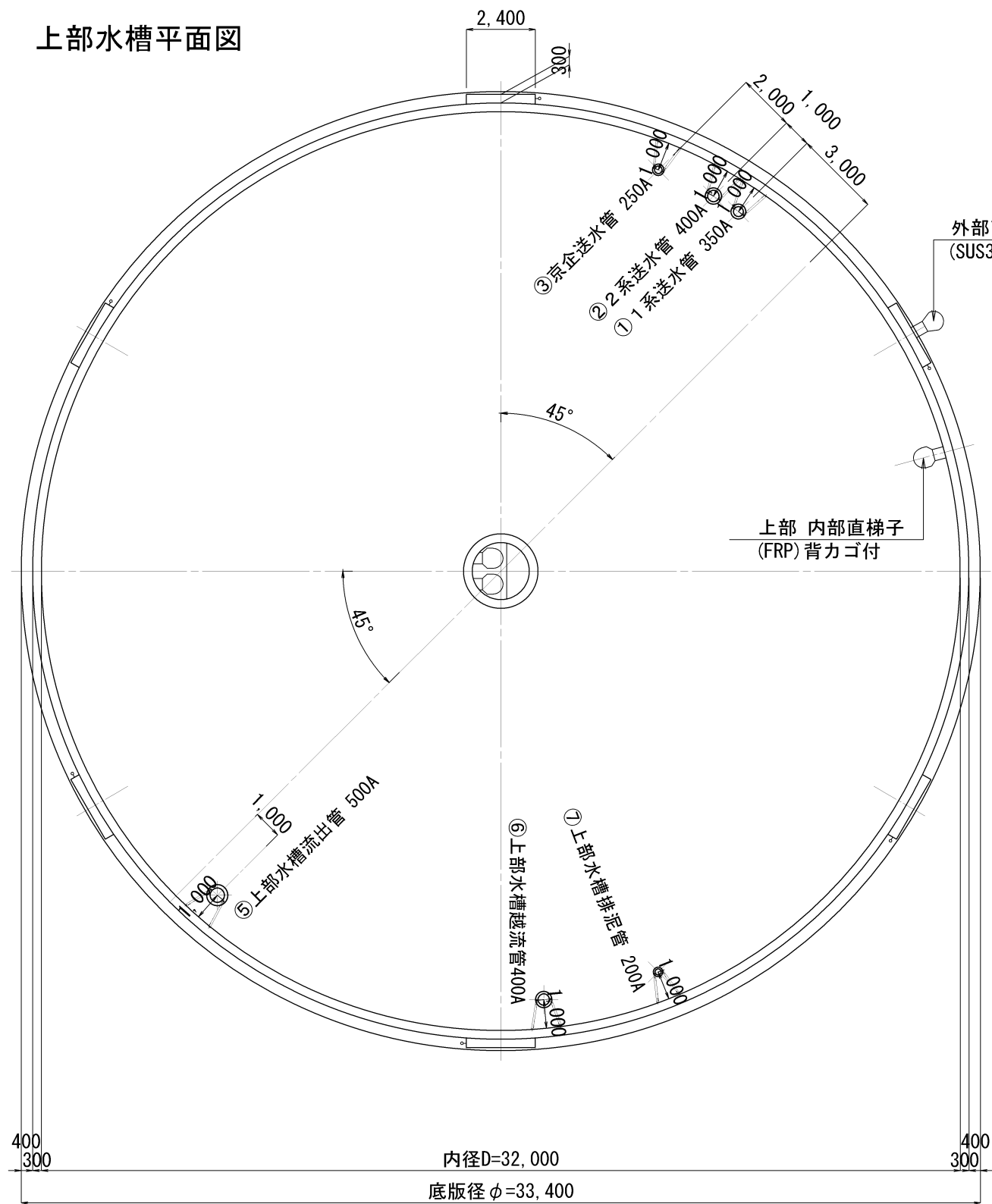
250 600

件名	矢留配水
図名	新配水
縮尺	図示

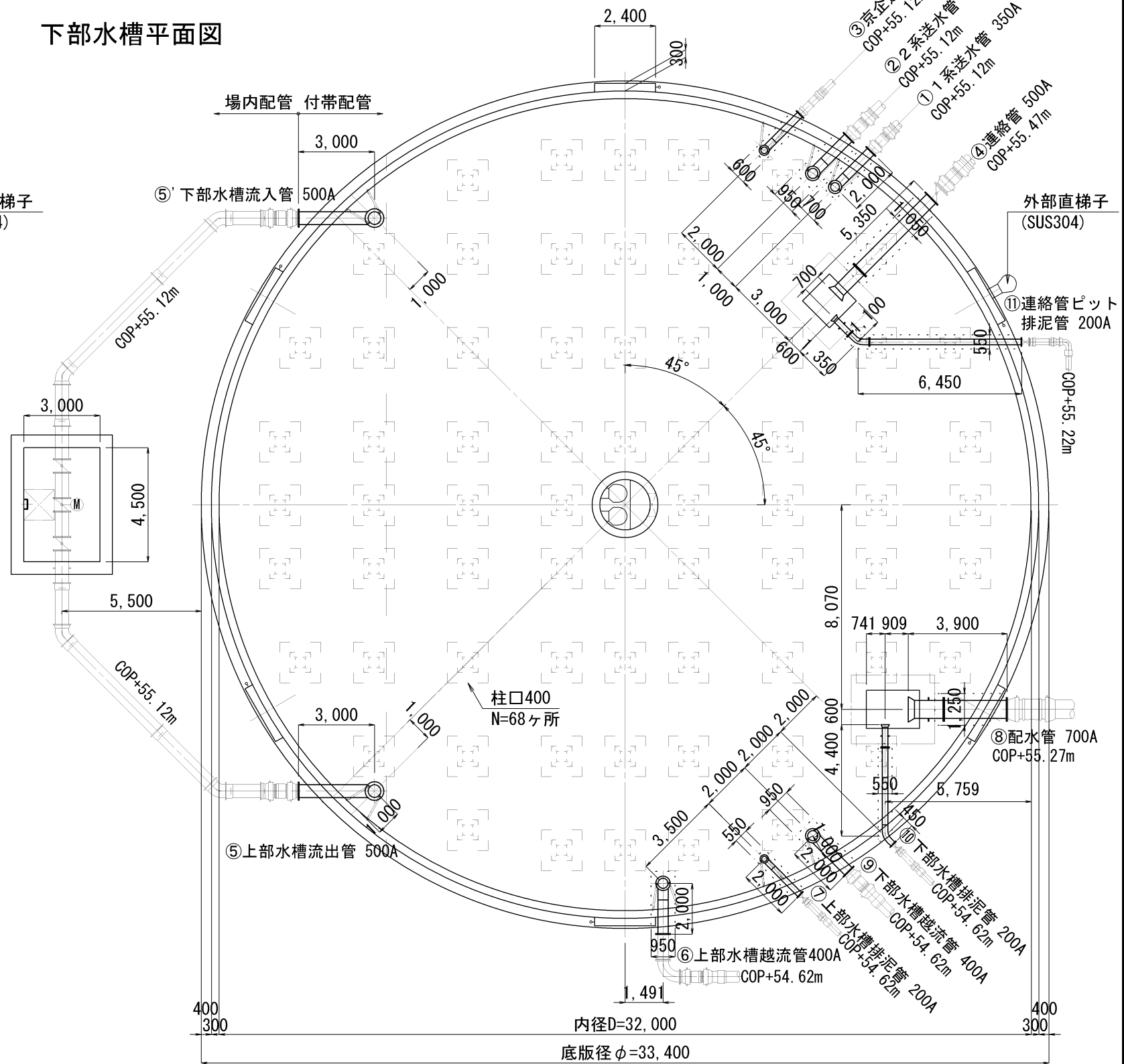
件 名							矢留配水池築造工事		
図 名		新配水池 付帯設備図(6)					R-7		
縮 尺		図 示		承 認	設 計	製 図			
平成 29 年 月 日				認	計	図			
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課									

新配水池 付帯配管図(1)

上部水槽平面図



下部水槽平面図

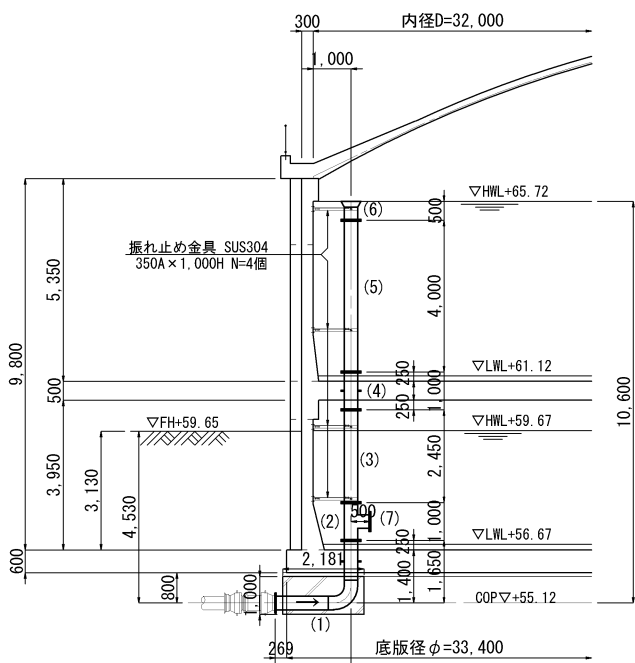


※躯体貫通配管壁外側の第1フランジまでを配水池付帯配管とし、
それ以降の2次側配管を場内配管とする。

件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 付帯配管図(1)	R-8		
縮尺	1/100	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

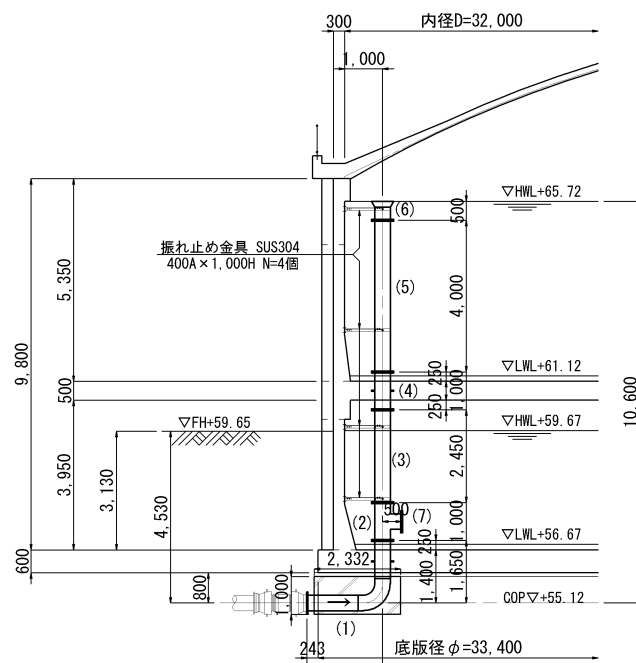
新配水池 付帯配管図(2)

① 1系送水管 350A



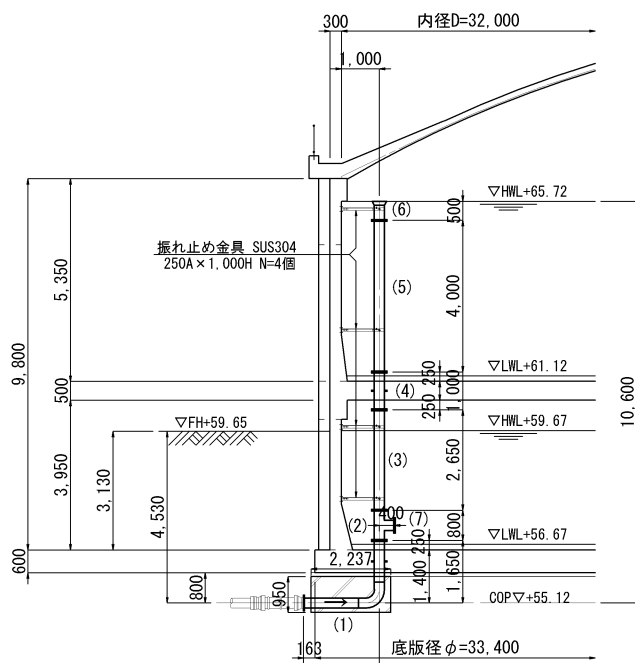
① 1系送水管 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	350A×7.5KF 90° ×2,000L×1,650L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 3フランジT字管	350A×7.5KF 1,000L×500L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	350A×7.5KF 2,450L	
(4)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	350A×7.5KF 1,000L	バドル付
(5)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	350A×7.5KF 4,000L	
(6)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	350A×7.5KF 500L	
(7)	SUS-TP, Sch5S フランジ蓋	350A×7.5KF	

② 2系送水管 400A



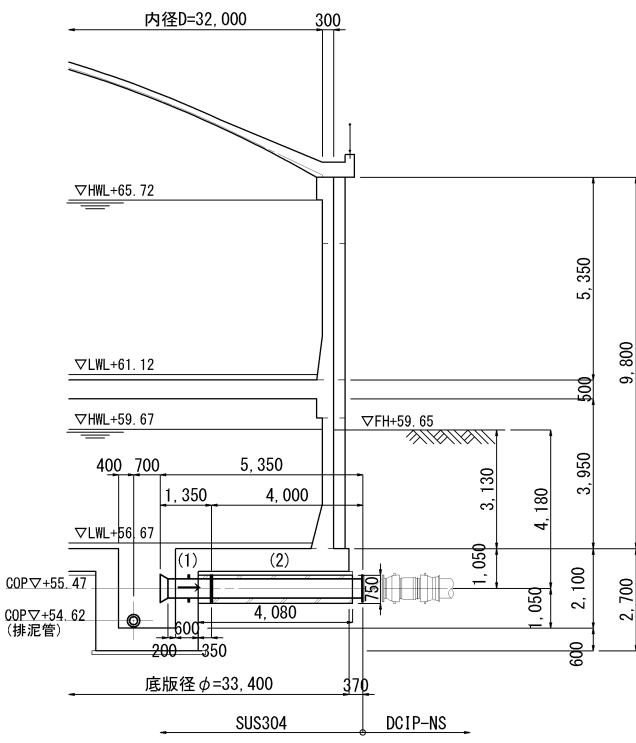
② 2系送水管 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	400A×7.5KF 90° ×2,000L×1,650L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 3フランジT字管	400A×7.5KF 1,000L×500L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 2,450L	
(4)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 1,000L	バドル付
(5)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 4,000L	
(6)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	400A×7.5KF 500L	
(7)	SUS-TP, Sch5S フランジ蓋	400A×7.5KF	

③ 企業団送水管 250A



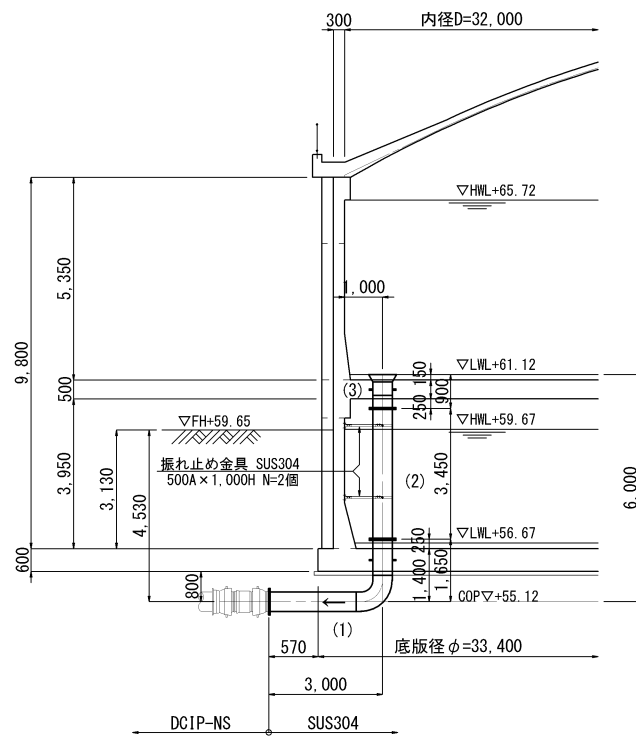
③ 企業団送水管 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	250A×7.5KF 90° ×2,000L×1,650L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 3フランジT字管	250A×7.5KF 800L×400L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	250A×7.5KF 2,650L	
(4)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	250A×7.5KF 1,000L	バドル付
(5)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	250A×7.5KF 4,000L	
(6)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	250A×7.5KF 500L	
(7)	SUS-TP, Sch5S フランジ蓋	250A×7.5KF	

④ 連絡管 500A



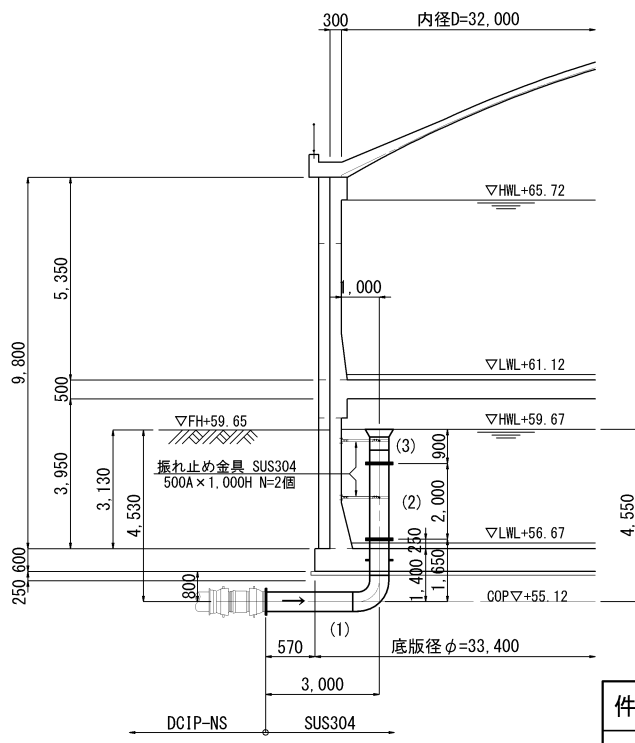
④ 連絡管 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	500A×7.5KF 1,350L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	500A×7.5KF 4,000L	

⑤ 上下水槽連絡管 500A
(上部水槽流出管)



⑤ 上下水槽連絡管 (上部水槽流出管) 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	500A×7.5KF 90° ×3,000L×1,650L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	500A×7.5KF 3,450L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	500A×7.5KF 900L	バドル付

⑤' 上下水槽連絡管 500A
(下部水槽流入管)

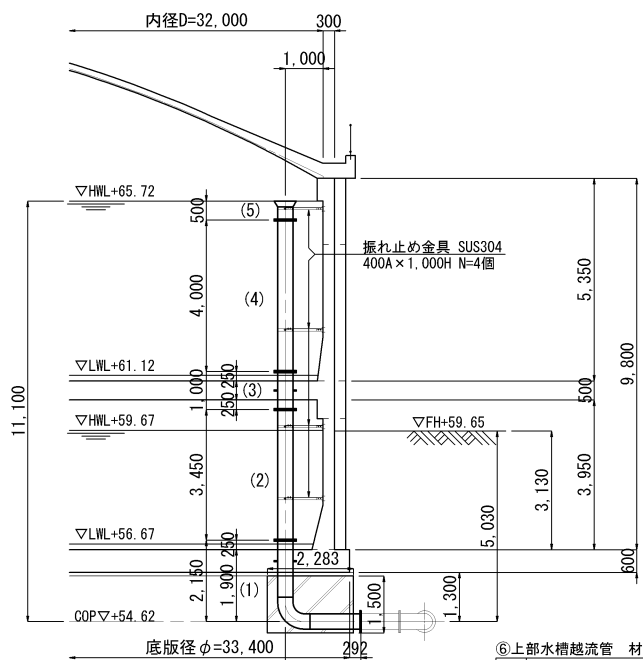


⑤ 上下水槽連絡管 (下部水槽流入管) 材料表			
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	500A×7.5KF 90° ×3,000L×1,650L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	500A×7.5KF 2,000L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	500A×7.5KF 900L	

件 名 矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 付帯配管図(2)			R-9
	縮 尺	1/100	承 認	設 計
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

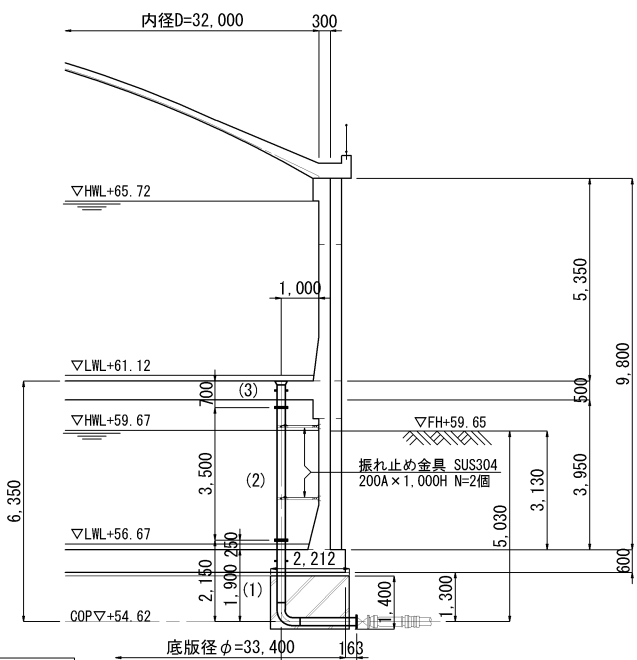
新配水池 付帯配管図(3)

⑥上部水槽越流管 400A



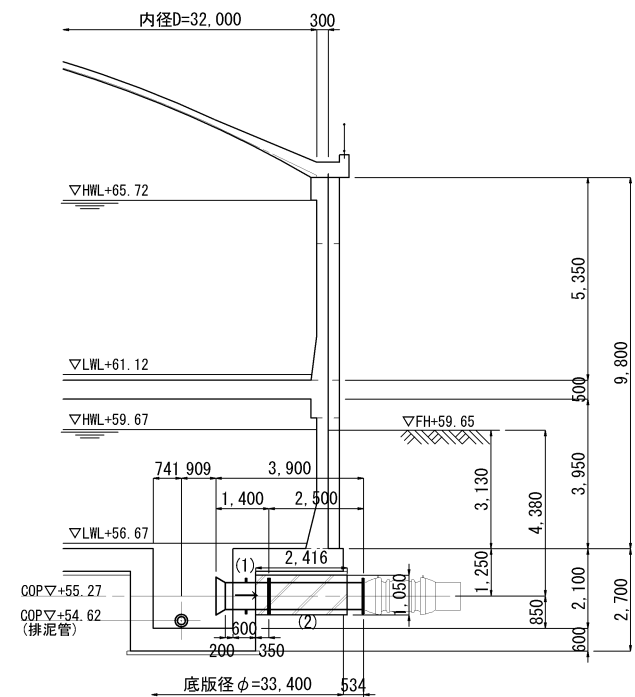
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	400A×7.5KF 90° ×2,000L×2,150L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 3,450L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 1,000L	バドル付
(4)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 4,000L	
(5)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	400A×7.5KF 500L	

⑦上部水槽排泥管 200A



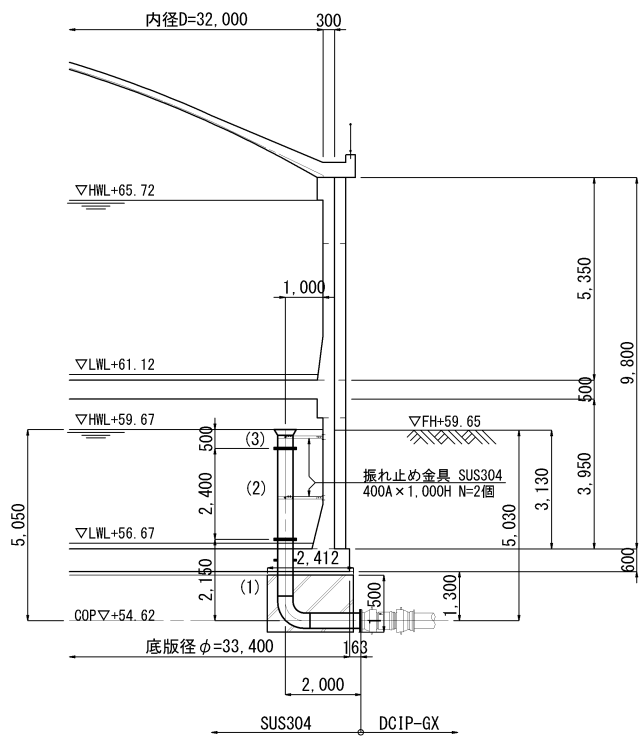
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	200A×7.5KF 90° ×2,000L×2,150L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	200A×7.5KF 3,500L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	200A×7.5KF 700L	バドル付

⑧配水管 700A
(下部水槽流出管)



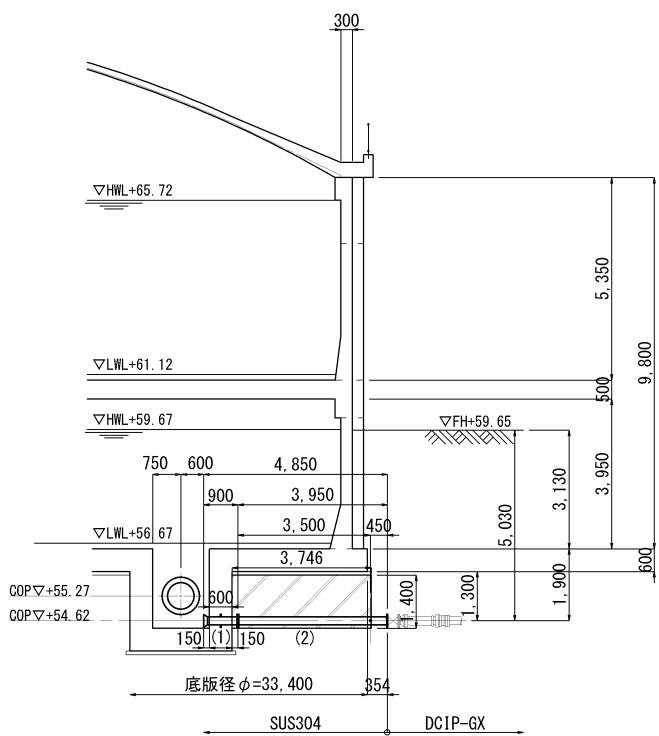
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	700A×7.5KF 1,400L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	700A×7.5KF 2,500L	

⑨下部水槽越流管 400A



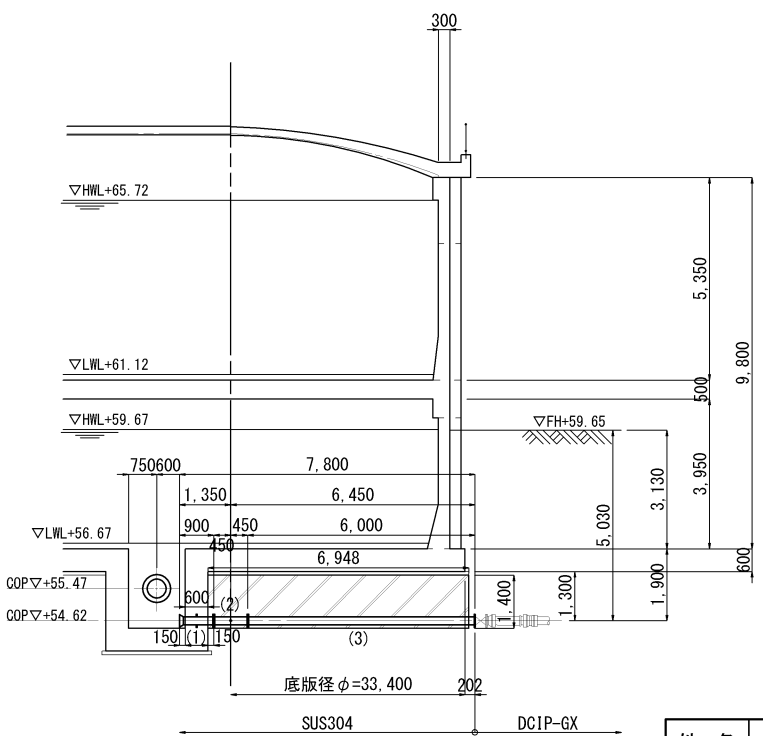
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	400A×7.5KF 90° ×2,000L×2,150L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	400A×7.5KF 2,400L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	400A×7.5KF 500L	

⑩下部水槽排泥管 200A



番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	200A×7.5KF 900L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	200A×7.5KF 45° ×3,500L×450L	

⑪連絡管ピット排泥管 200A



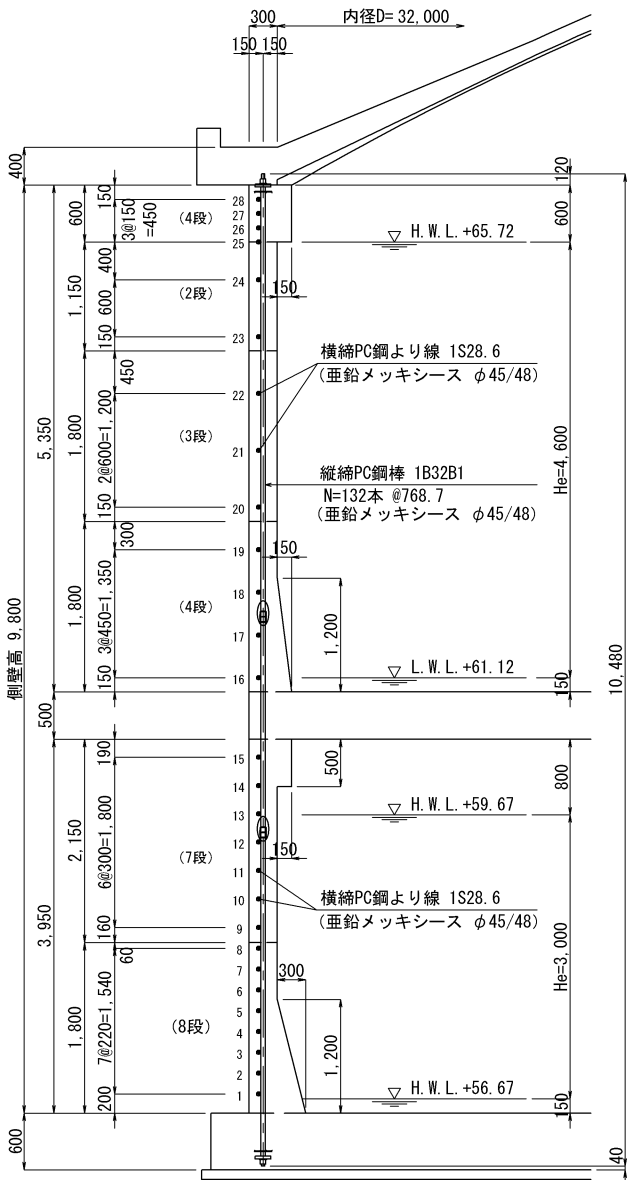
番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
(1)	SUS-TP, Sch5S 片フランジラップ管	200A×7.5KF 900L	バドル付
(2)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ曲管	200A×7.5KF 45° ×450L×450L	
(3)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	200A×7.5KF 6,000L	

件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	新配水池 付帯配管図(3)	R-10		
縮 尺	1/100	承 認	設 計	製 図
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

新配水池 PC鋼材配置図

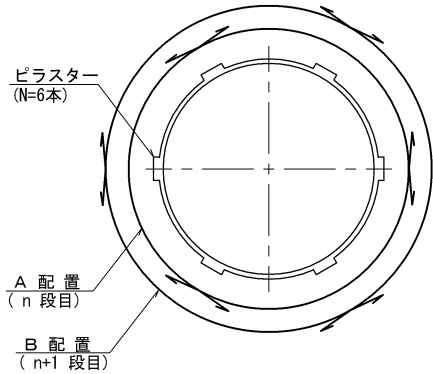
PC鋼材配置図 S=1:40

断面図

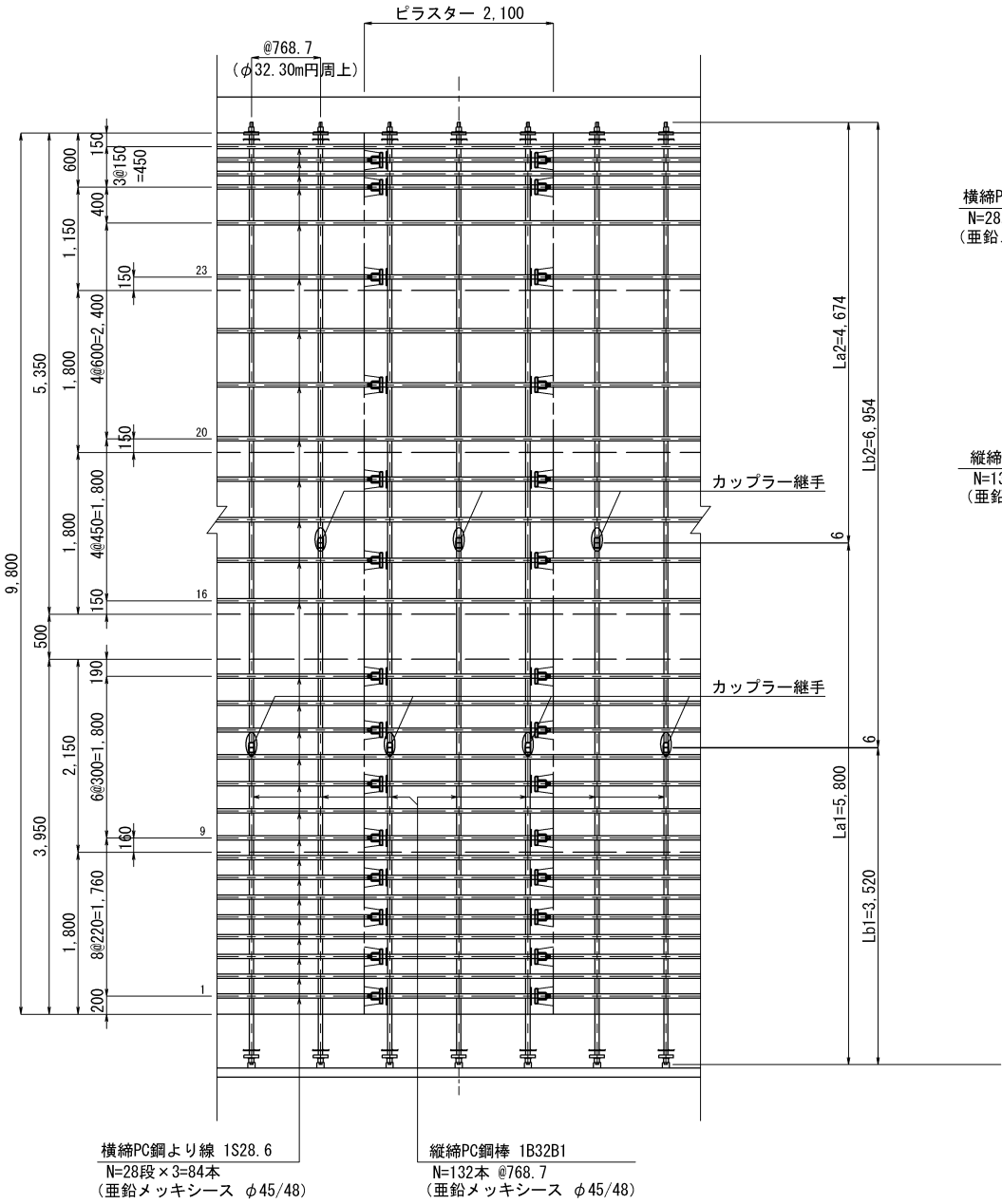


PCストランド平面配置図

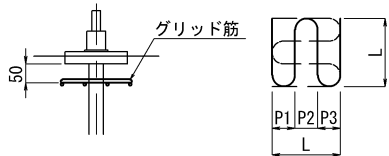
側壁部PCストランドは、A・B交互に配置する。
N=28段×3=84本



展開図



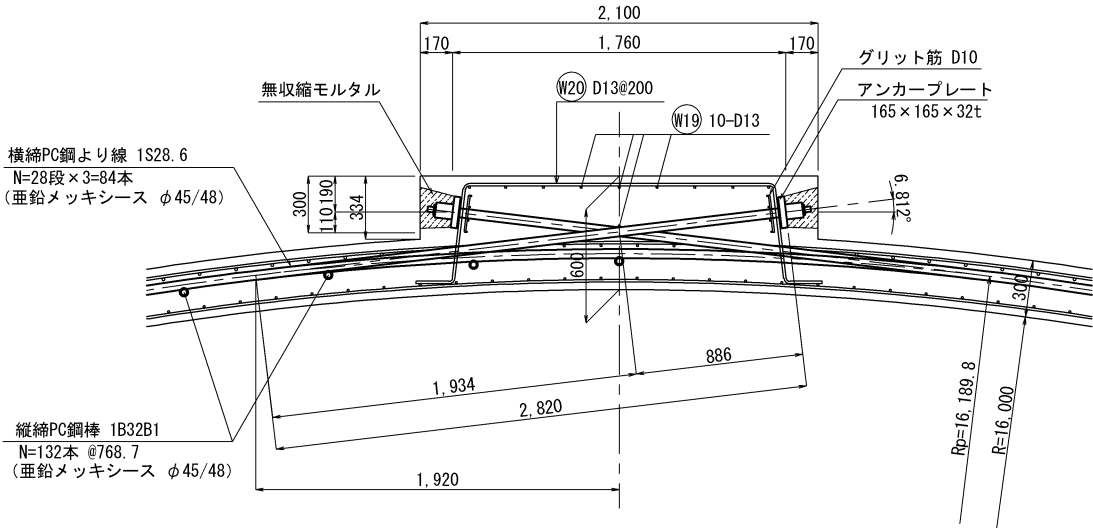
グリッド筋詳細図



一覧表

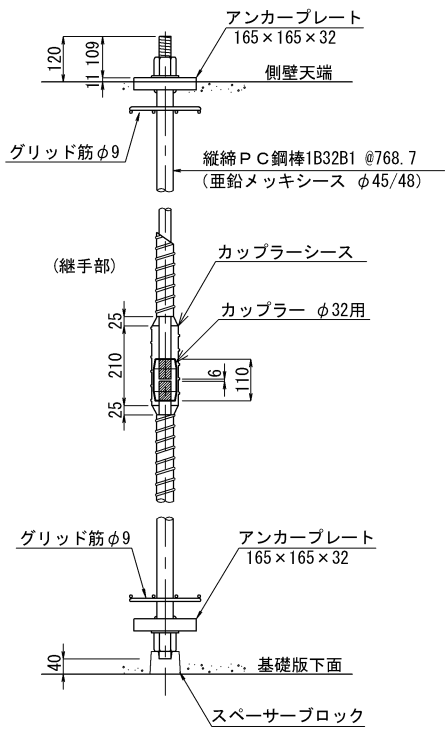
PC鋼材	P1	P2	P3	L	グリッド筋径
1B32B1	60	60	60	180	φ9
1S28.6	60	70	60	190	D10

横締定着部詳細図 S=1:20
(ピラスター)



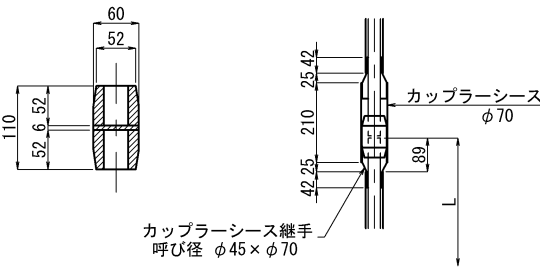
注) 鉄筋がPC鋼材や定着具等に干渉する場合は、
鉄筋量が不足しない範囲で鉄筋を移動させること。

縦締定着部詳細図 S=1:10



部品詳細図

カップラー S=1:5 カップラーシース S=1:10
(φ32用) (φ32用)



件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 PC鋼材配置図				R-11
縮 尺	図 示		承認	設計	製 図
平成 29 年 月 日					
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

新配水池 側壁配筋図

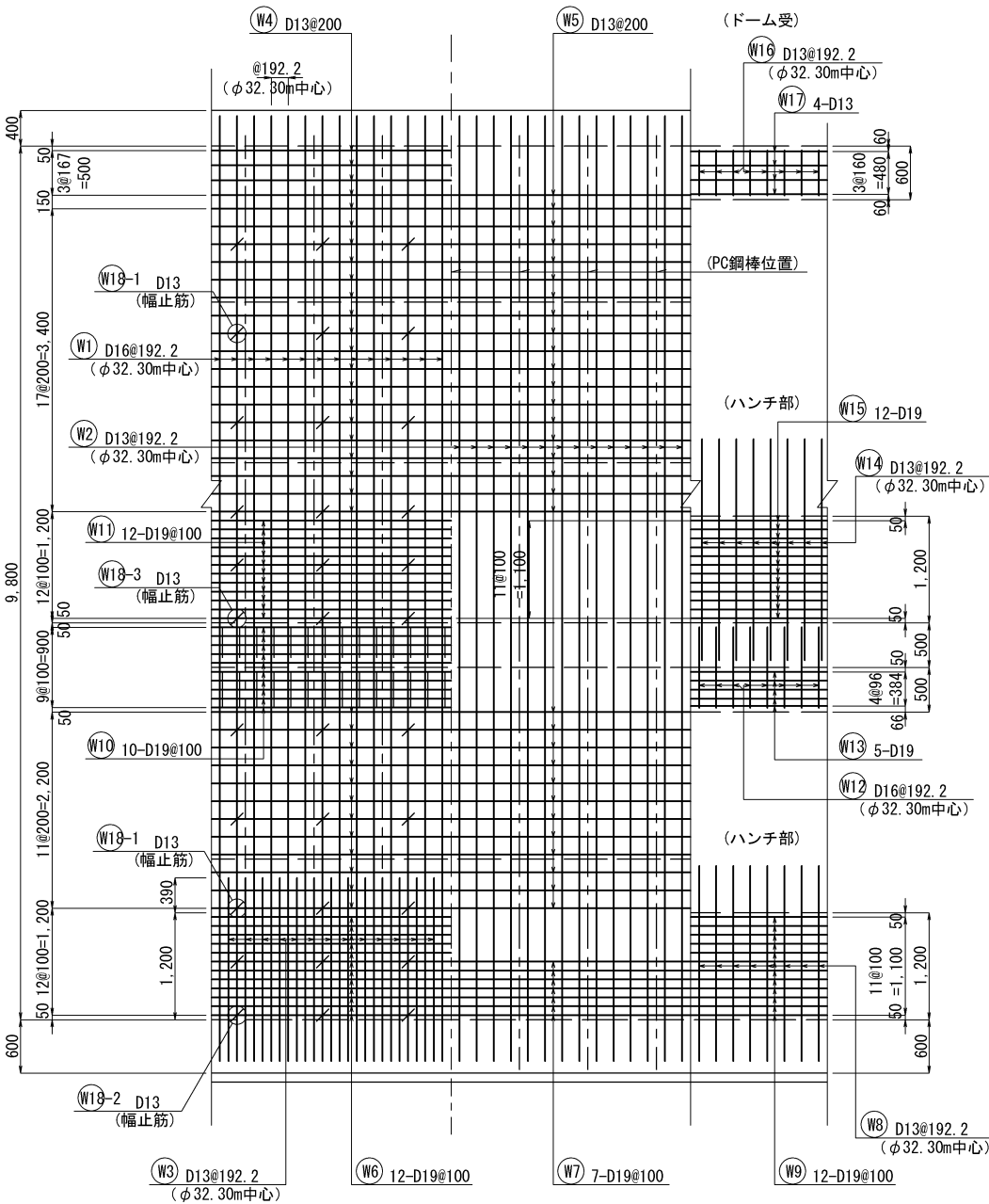
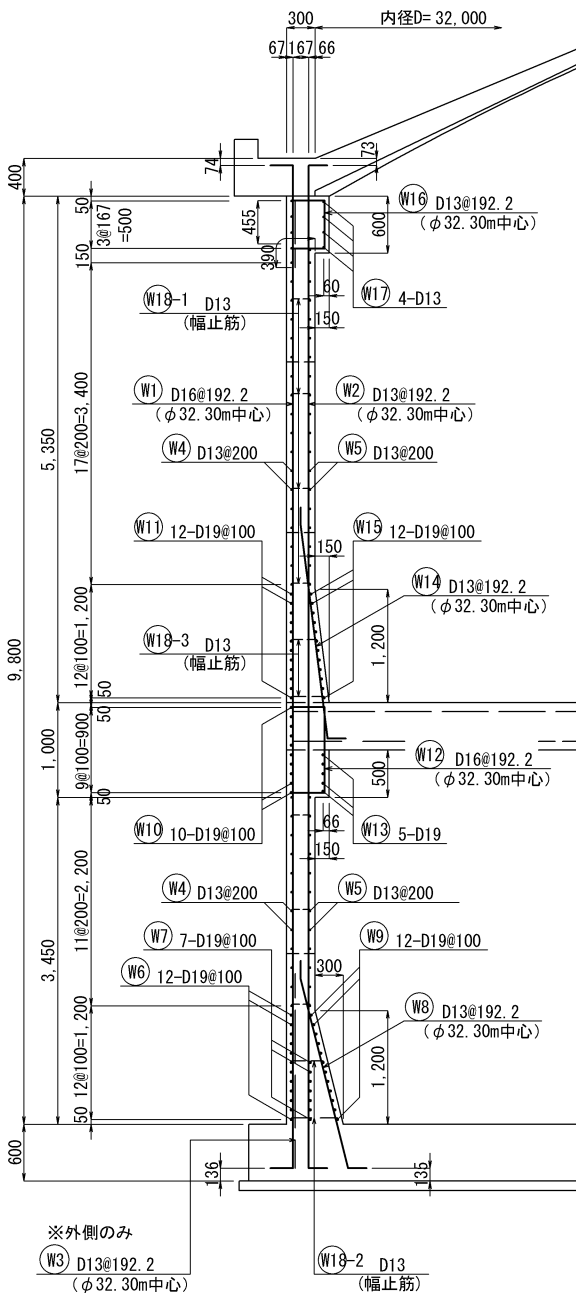
側壁配筋図 S=1:40

断面図

展開図

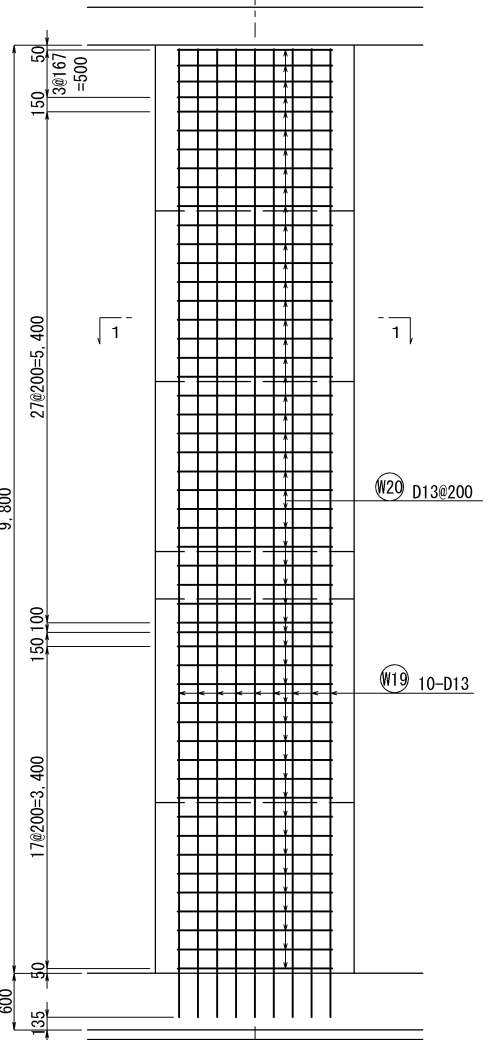
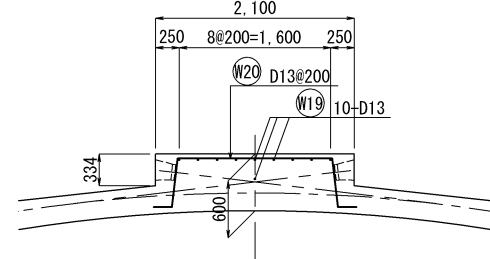
外側

内側



ピラスター (N=6ヶ所)

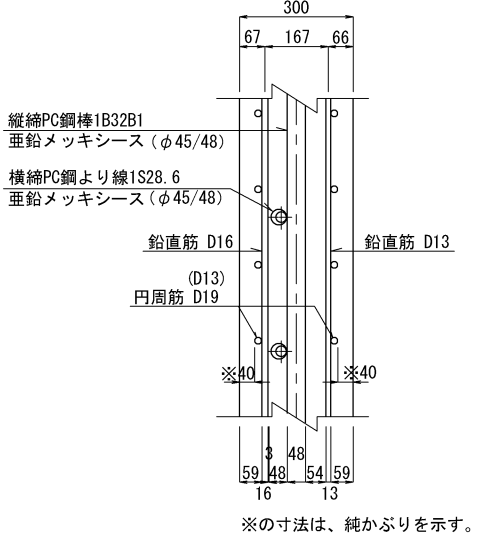
1-1



断面詳細図 S=1:10

外側

内側

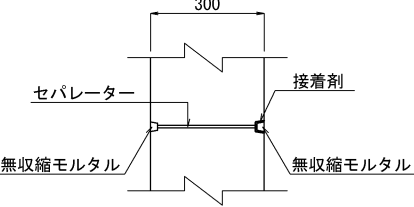


木コン跡処理

(内側のみ)

外側

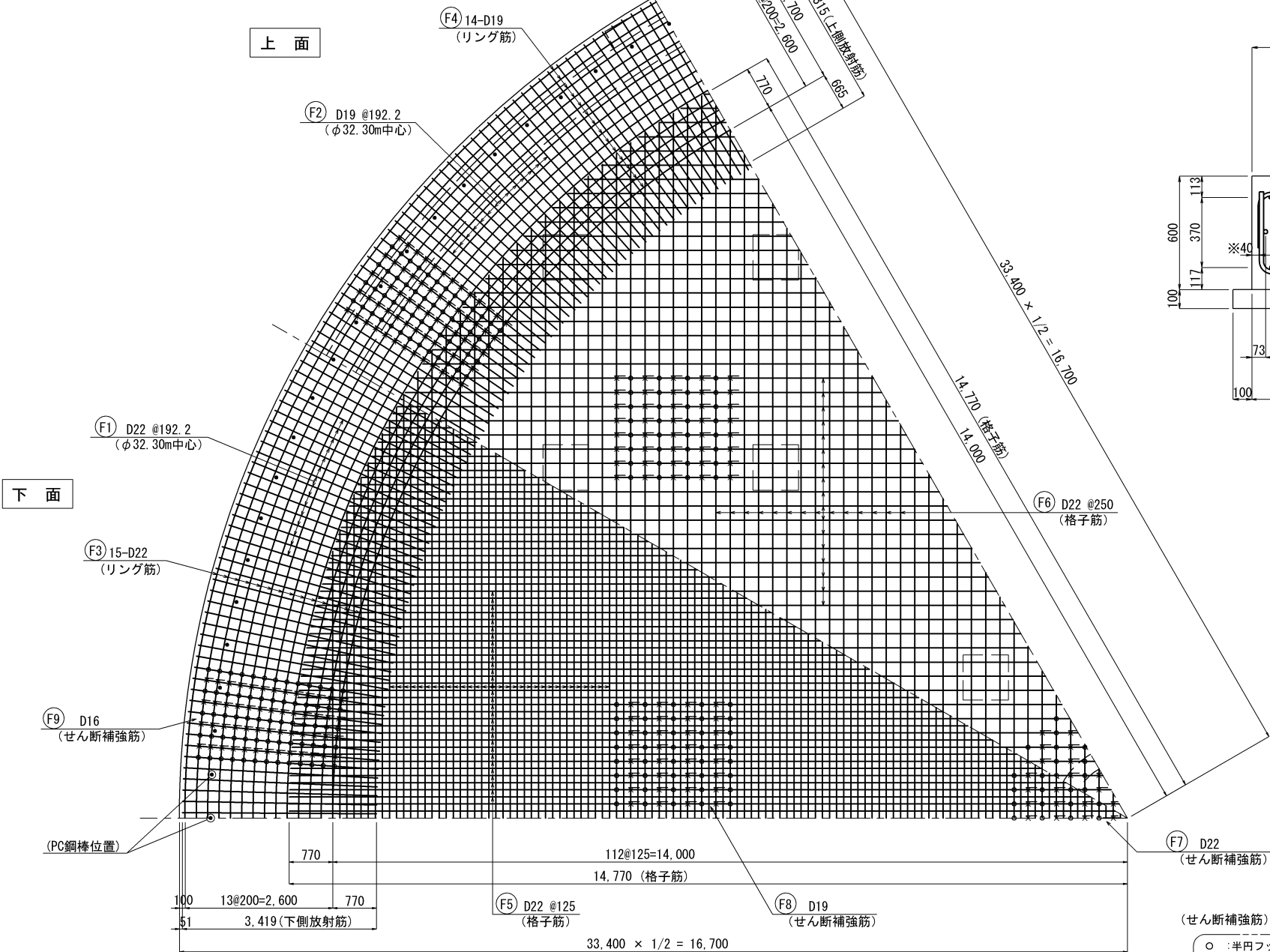
内側



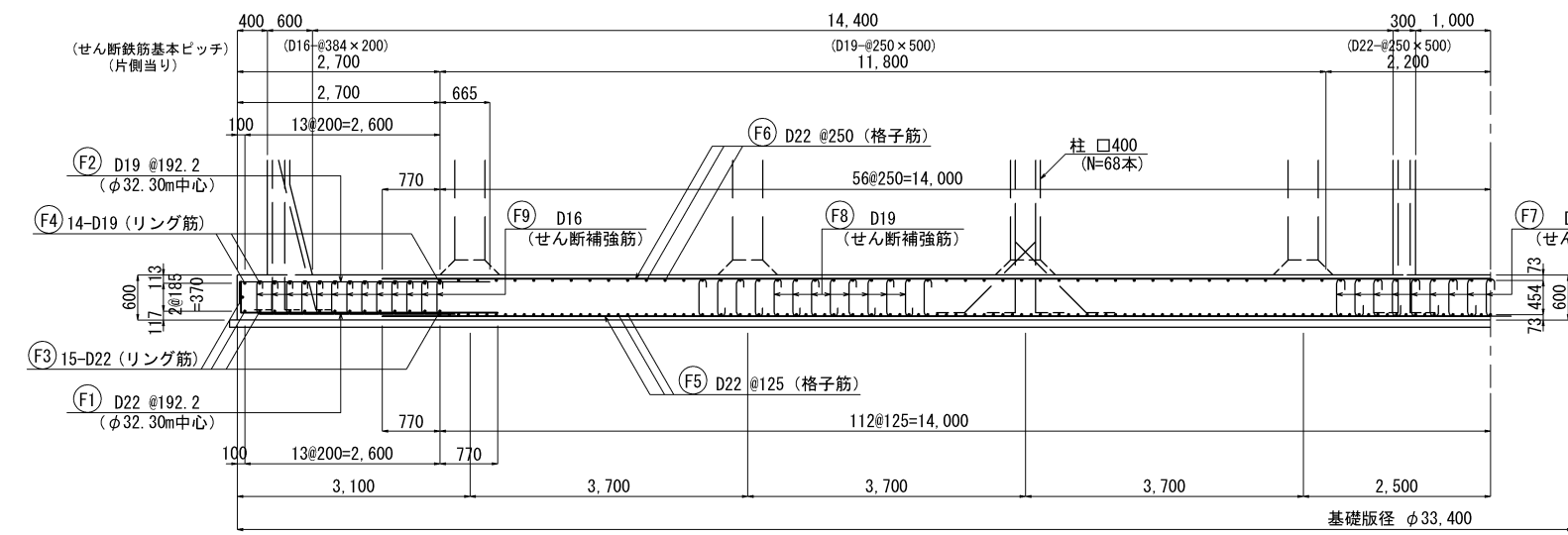
件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 側壁配筋図				R-12
縮 尺	図 示	承 認	設 計	製 図	
平成 29 年 月 日					
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

新配水池 基礎版配筋図(1)

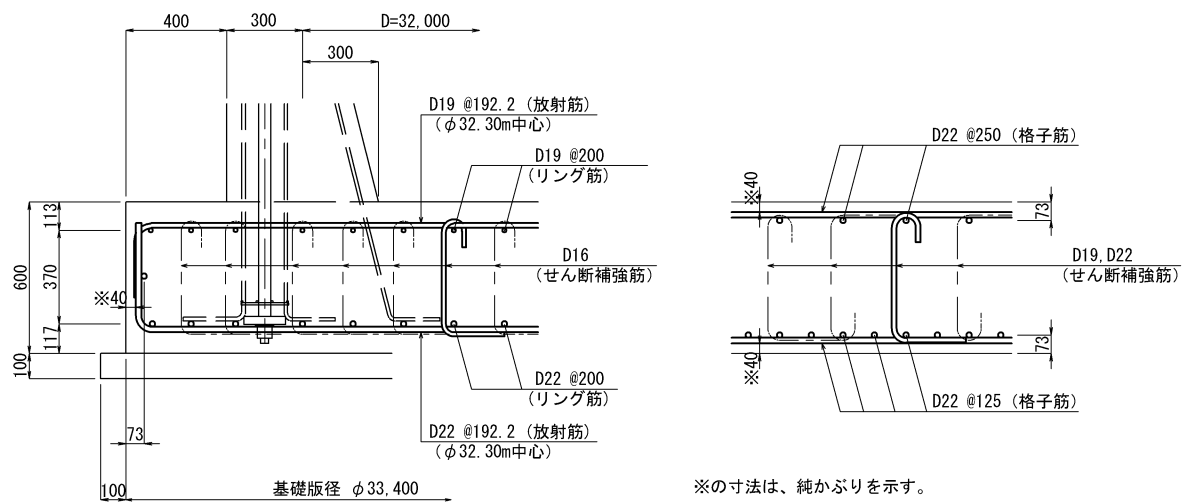
平面図 S=1:50



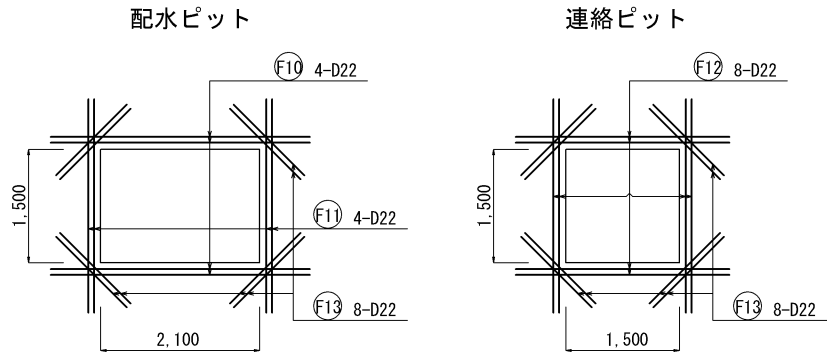
断面図 S=1:50



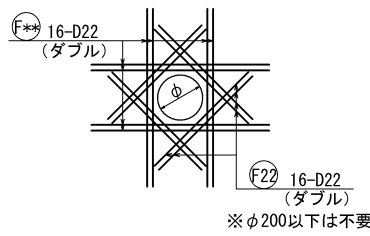
断面詳細図 S=1:15



開口部補強筋 S=1:50
(N=各1ヶ所)



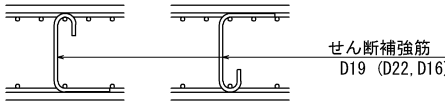
配管補強筋



記号	φ	径	本数	摘要
F14	350	D22	16	① 1系送水管
F15	400	D22	16	② 2系送水管
F16	250	D22	16	③ 京企送水管
F17	500	D22	16	⑤ 上部流出管
F18	500	D22	16	⑤' 下部流入管
F19	400	D22	16	⑥ 上部越流管
F20	200	D22	16	⑦ 上部排泥管
F21	400	D22	16	⑨ 下部越流管
F22		D22	112	

せん断補強筋

注) せん断補強筋は、半円フック側が上下交互になるように配置する。

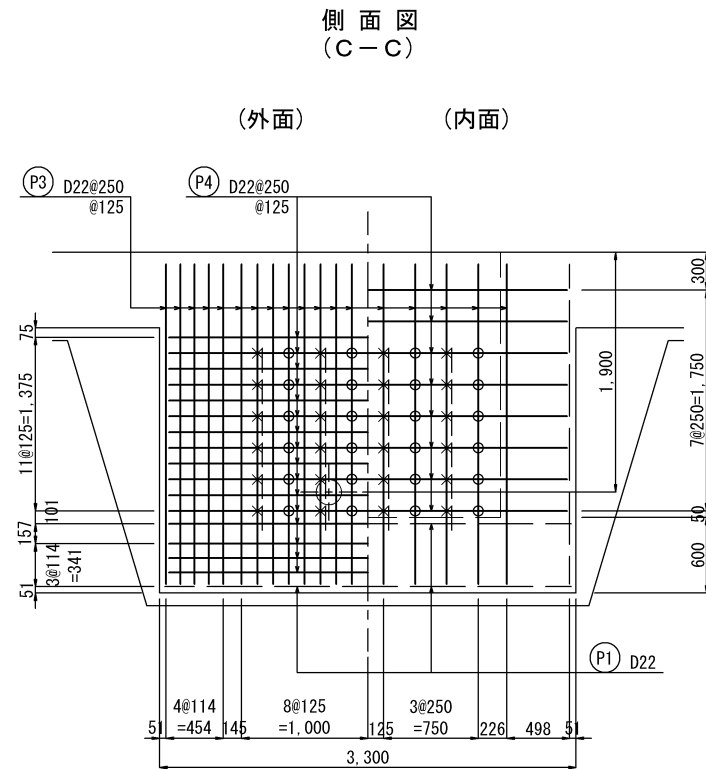
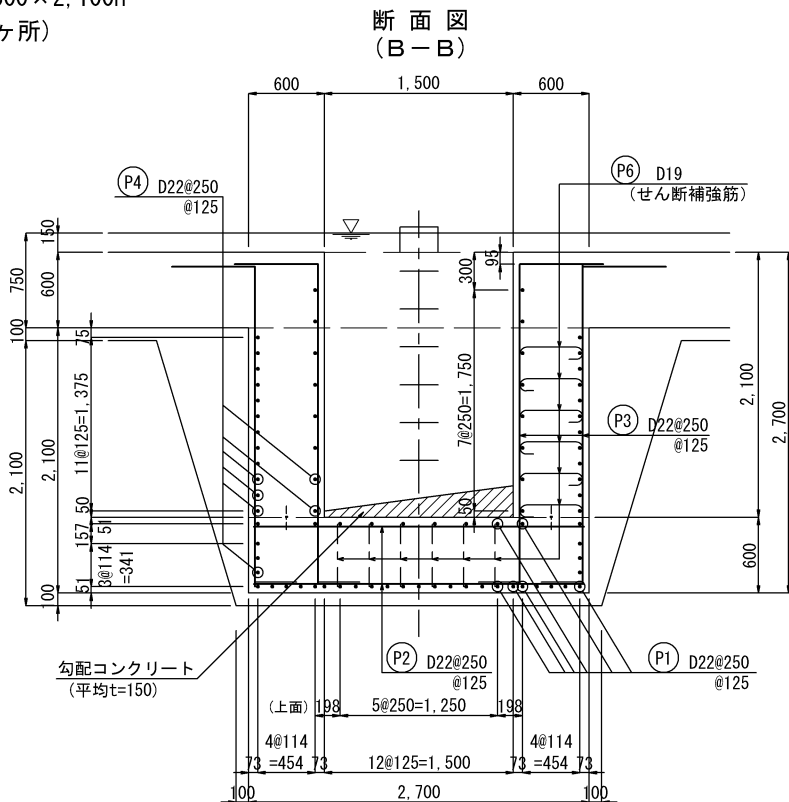
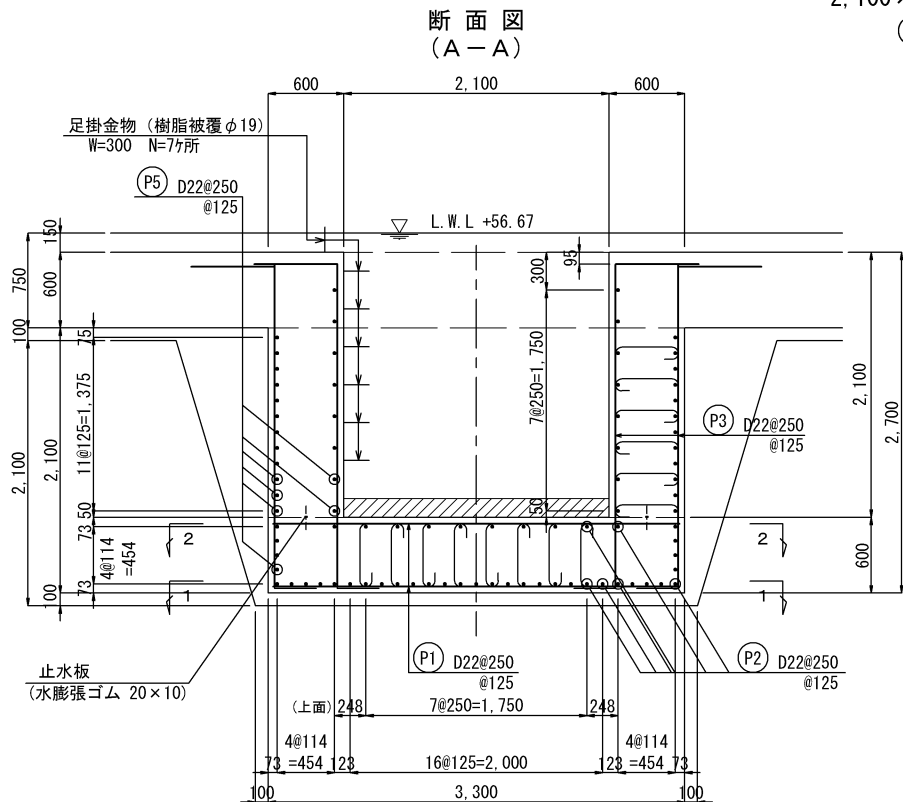


件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 基礎版配筋図(1)			R-13
縮尺	図示	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

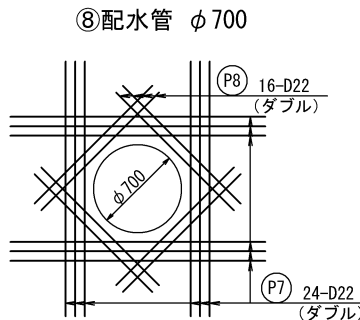
新配水池 基礎版配筋図(2)

ピット配筋図(1) S=1:30

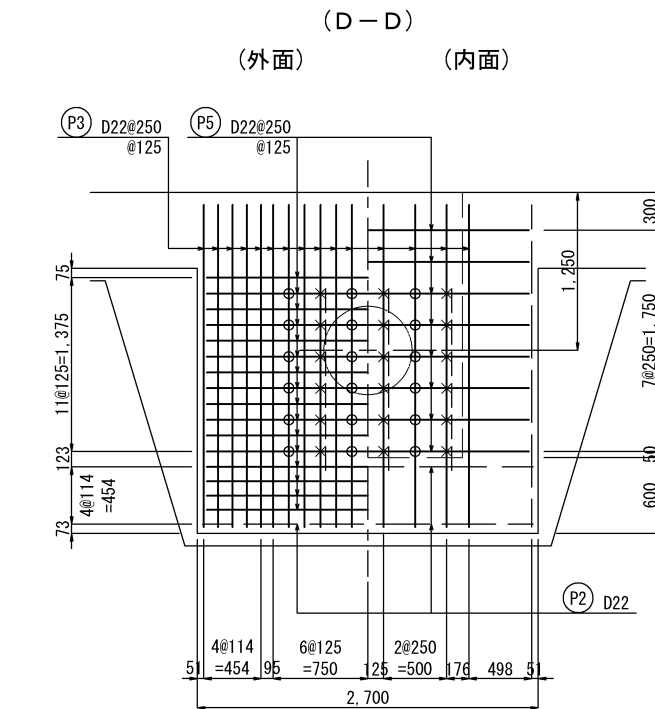
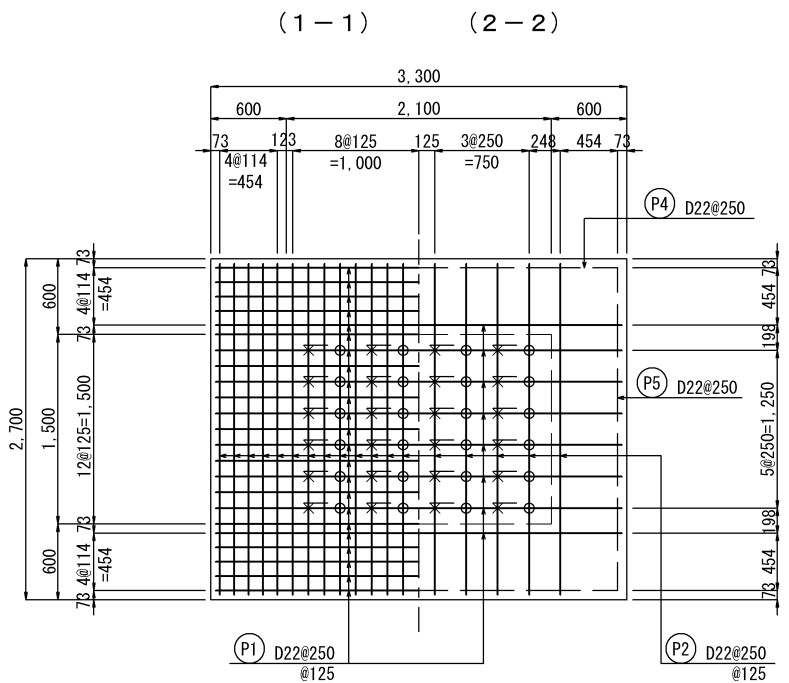
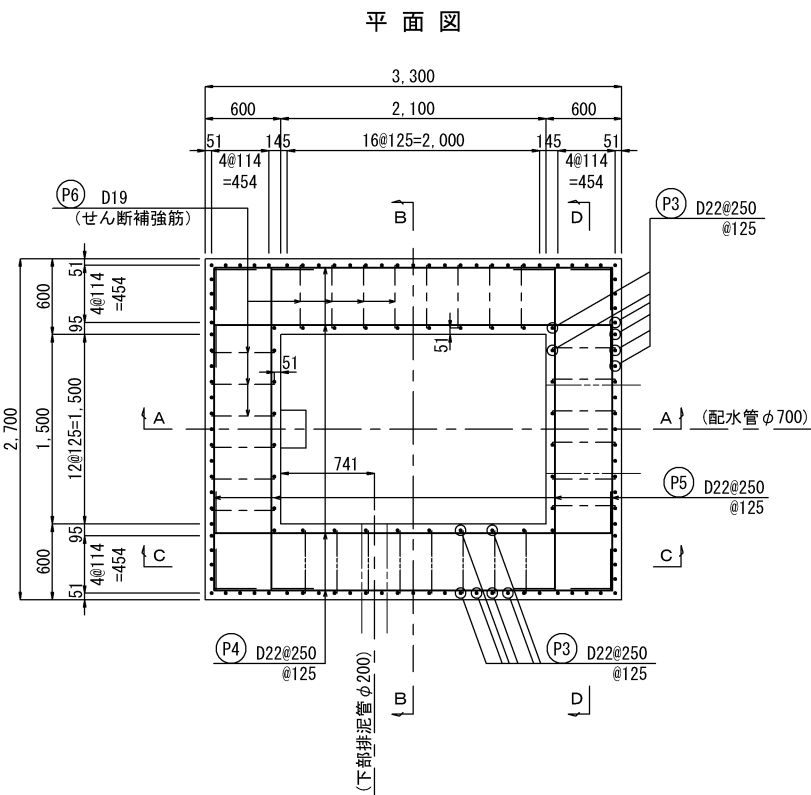
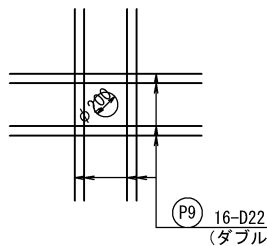
配水ピット
2,100×1,500×2,100h
(N=1ヶ所)



配管補強筋 S=1:30
(各1ヶ所)



⑩排泥管 φ200



(せん断補強筋)
○ : 半円フック側
× : 直角曲げ側

注) せん断補強筋は、半円フック側が
交互になるように配置する。

件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 基礎版配筋図(2)			R-14
縮尺	図示	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

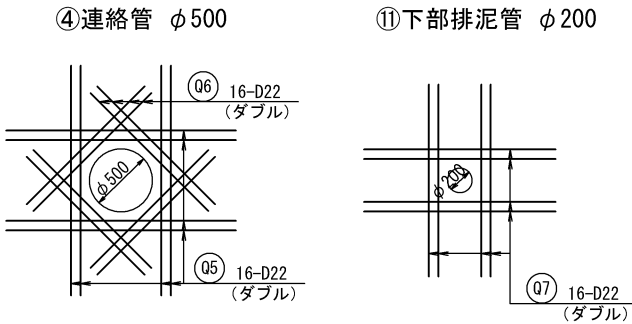
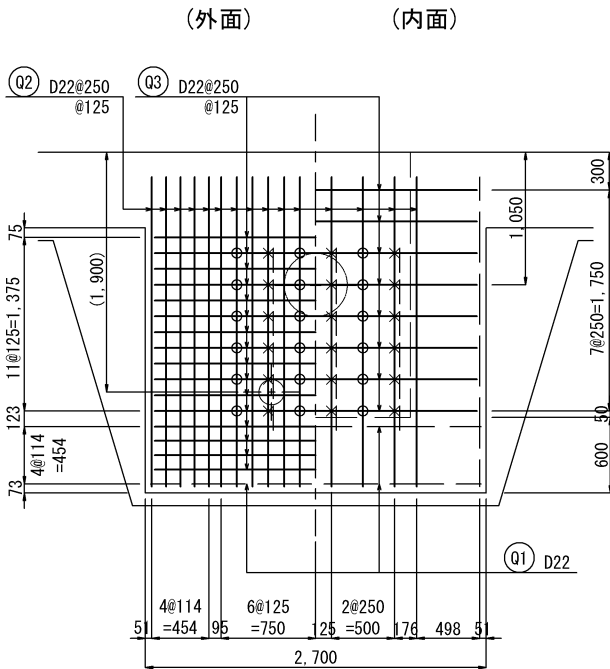
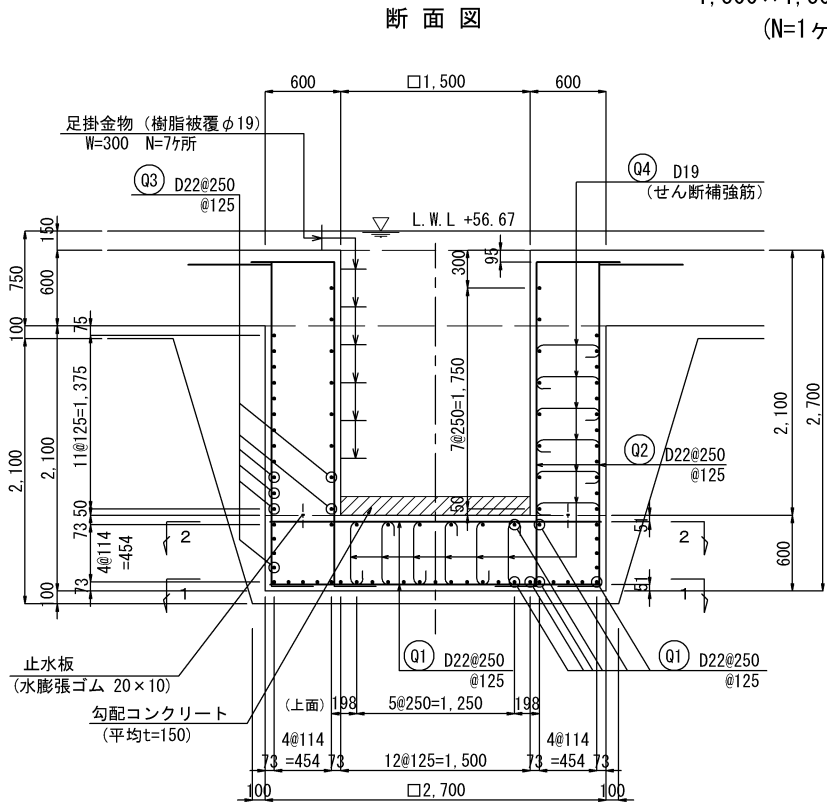
新配水池 基礎版配筋図(3)

ピット配筋図(2) S=1:30

連絡ピット
1,500×1,500×2,100h
(N=1ヶ所)

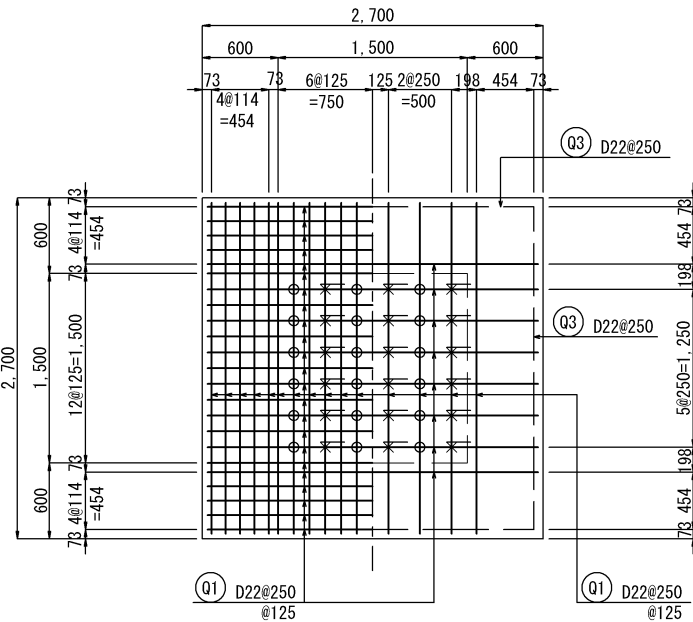
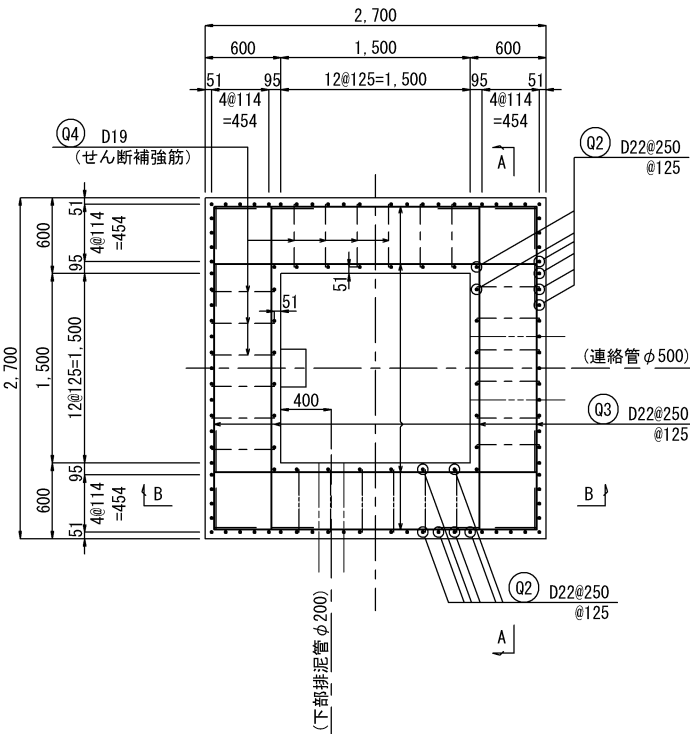
A-A (B-B)

配管補強筋 S=1:30
(各1ヶ所)



平面図

(1-1) (2-2)

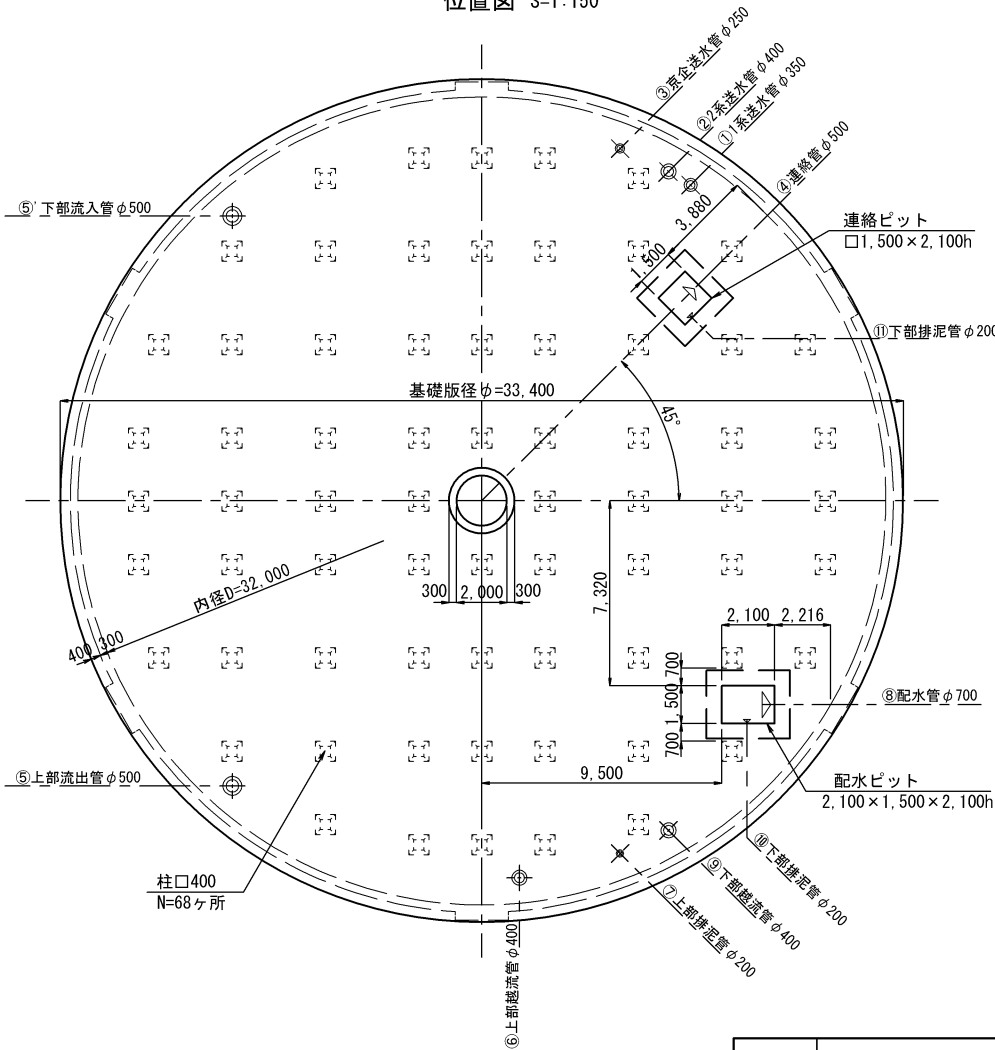


(せん断補強筋)

○ : 半円フック側
× : 直角曲げ側

注) せん断補強筋は、半円フック側が
交互になるように配置する。

位置図 S=1:150

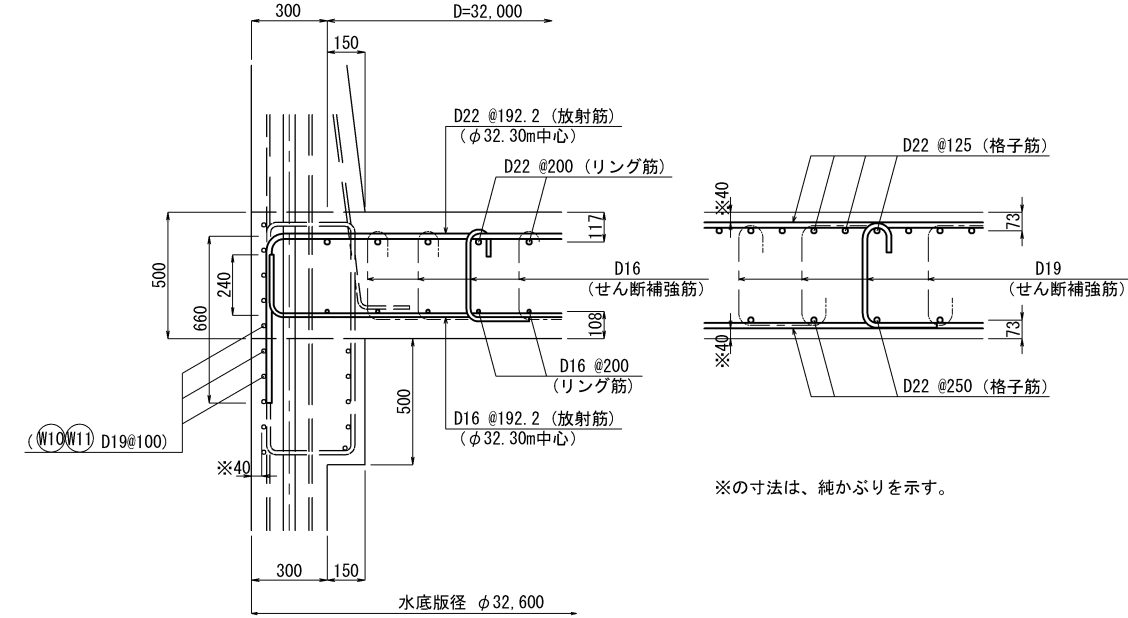
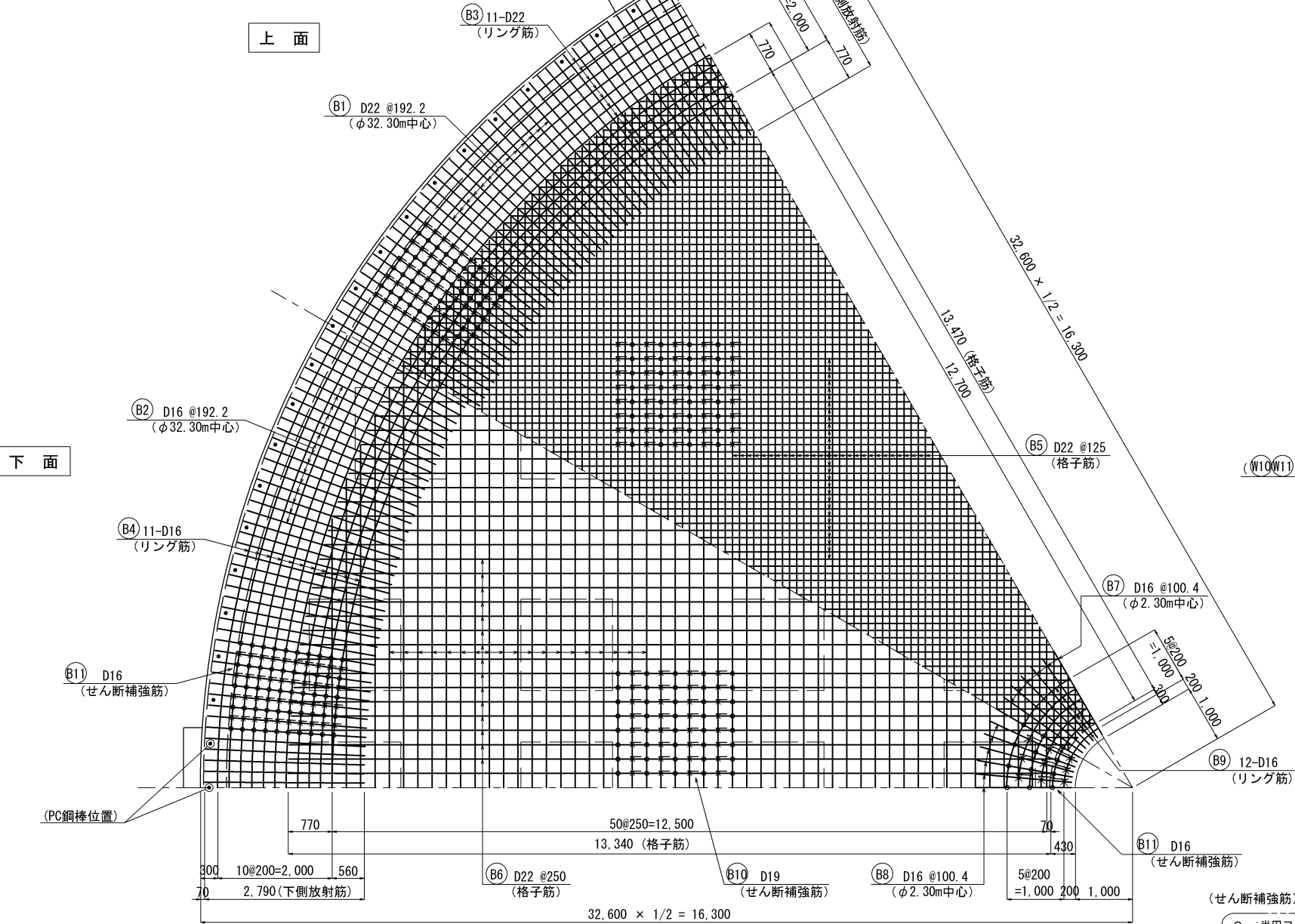


件 名		矢留配水池築造工事				
図 名		新配水池 基礎版配筋図(3)			R-15	
縮 尺		図 示	承 認	設 計	製 図	
平成 29 年		月	日	承認	設計	製図
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

新配水池 水底版配筋図

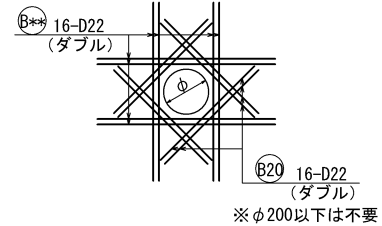
平面図 S=1:50

断面詳細図 S=1:15



断面図 S=1:50

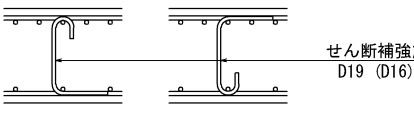
配管補強筋



記号	φ	径	本数	摘要
B14	350	D22	16	① 1系送水管
B15	400	D22	16	② 2系送水管
B16	250	D22	16	③ 京企送水管
B17	500	D22	16	⑤ 上部流出管
B18	400	D22	16	⑥ 上部越流管
B19	200	D22	16	⑦ 上部排泥管
B20		D22	80	

せん断補強筋

注) せん断補強筋は、半円フック側が上下交互になるように配置する。

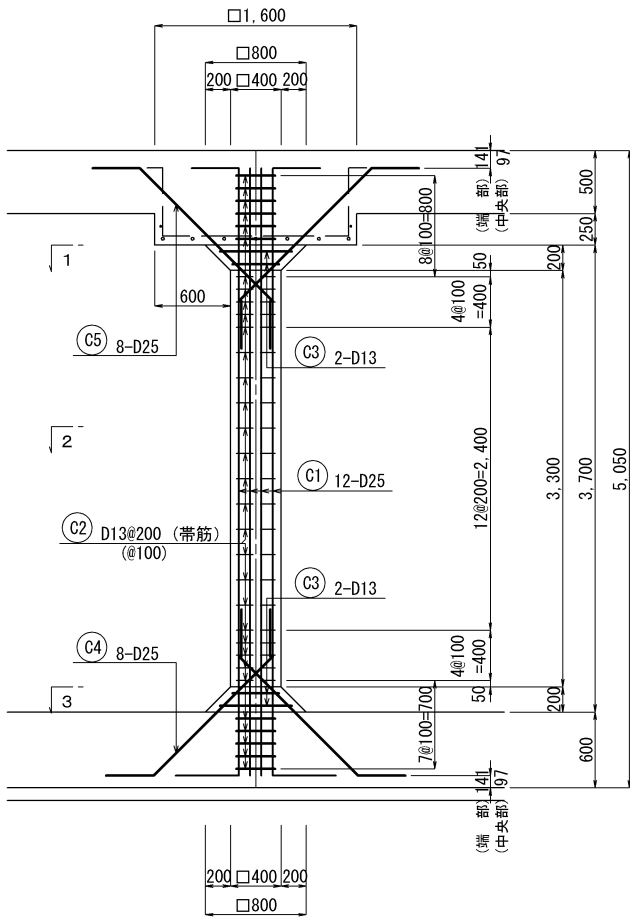


件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 水底版配筋図	R-16		
縮尺	図示	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

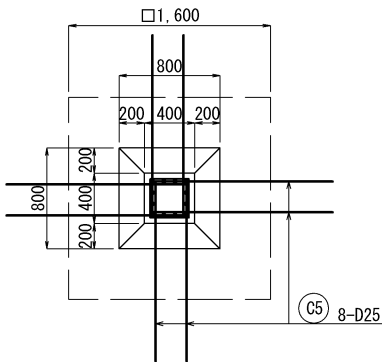
新配水池 柱配筋図

柱配筋図 S=1:30
(N=68本)

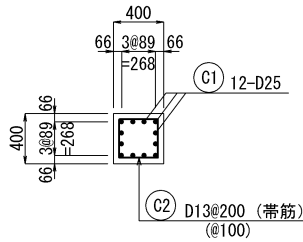
側面図



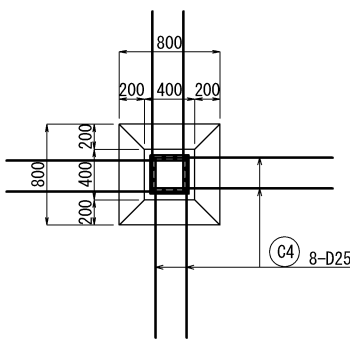
断面図
(1-1)



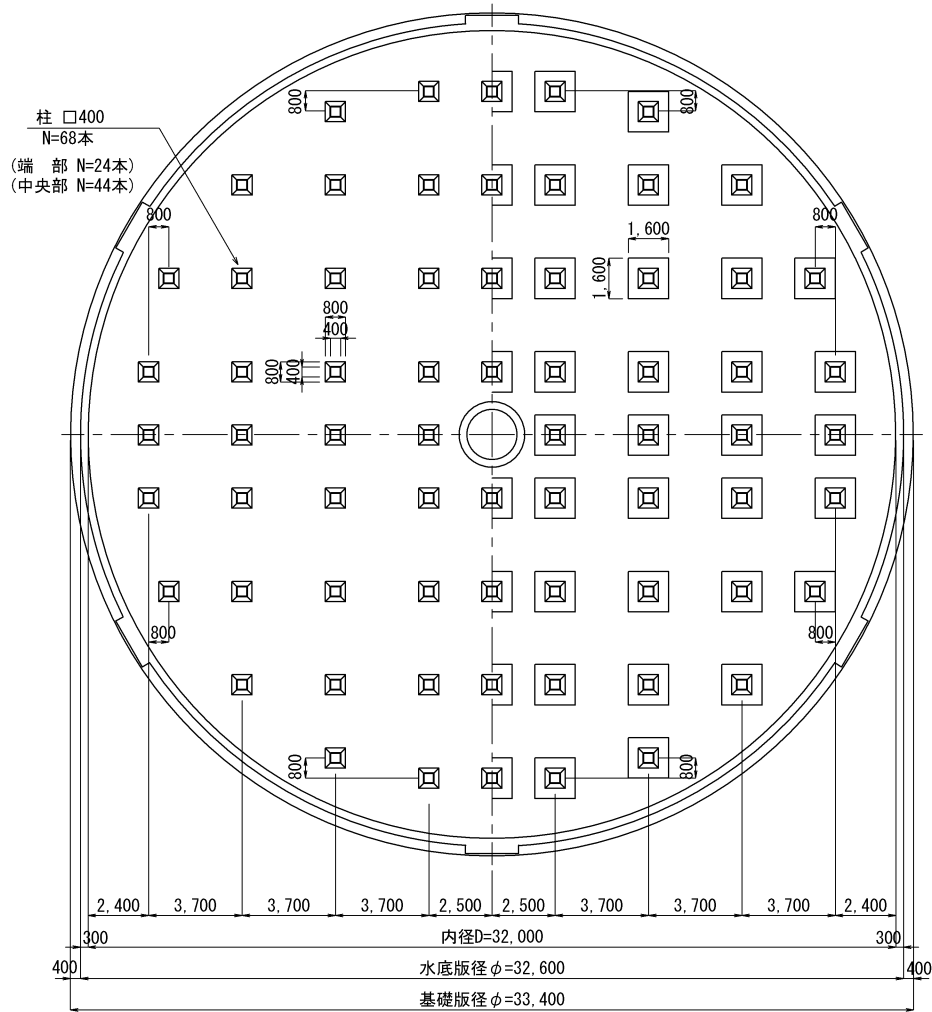
(2-2)



(3-3)



位置図 S=1:150

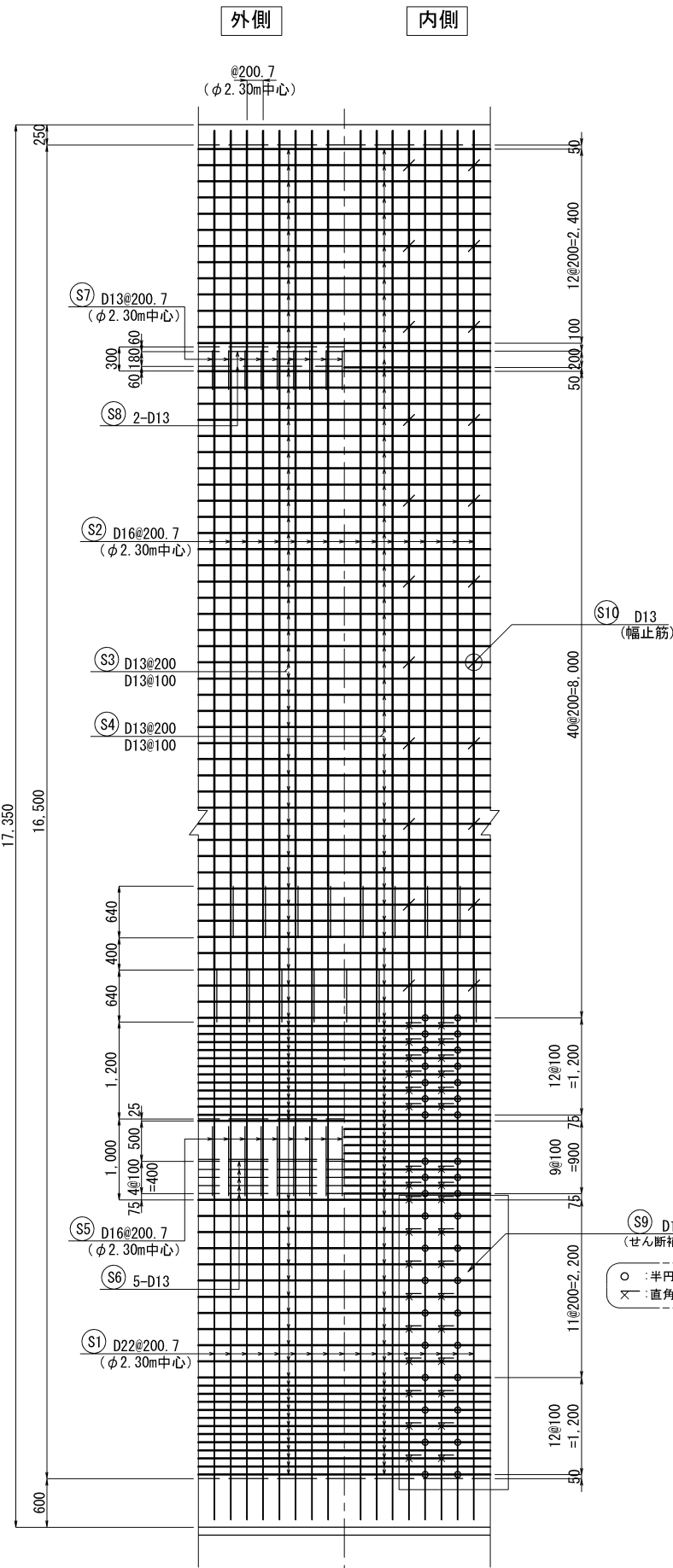
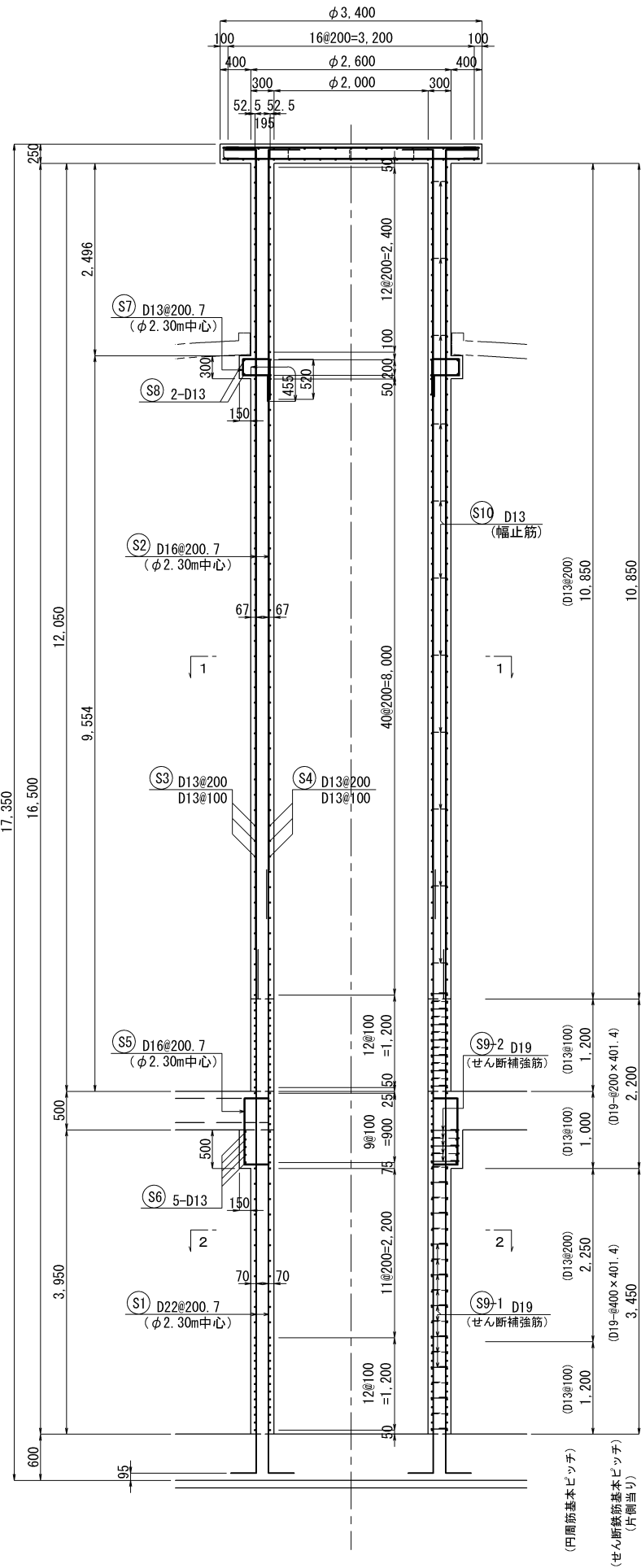


件名	矢留配水池築造工事				
図名	新配水池 柱配筋図				R-17
縮尺	図示	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

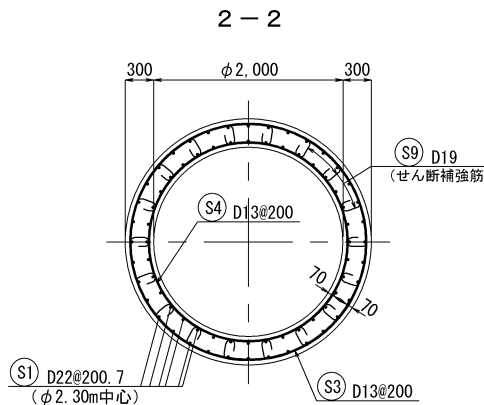
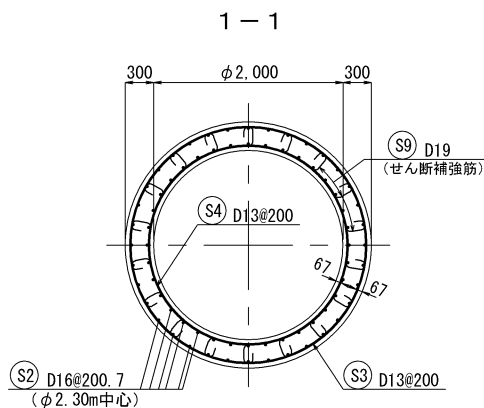
新配水池 中央シャフト配筋図(1)

断面図 S=1:40

展開図 S=1:40

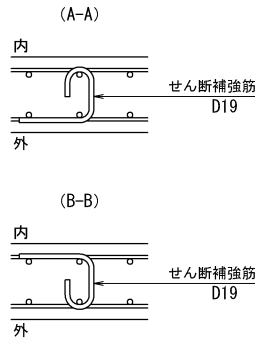


平面図 S=1:40

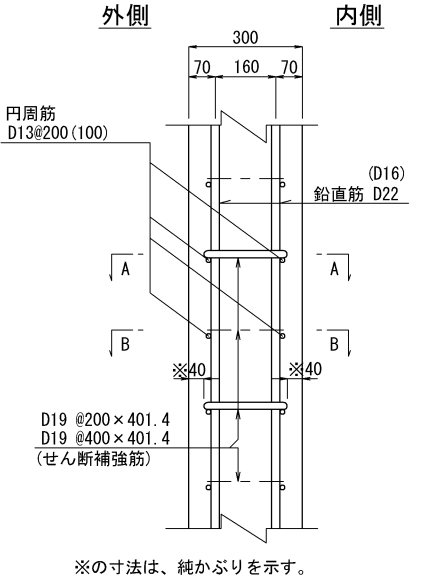


せん断補強筋

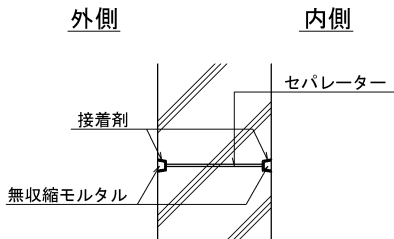
注) せん断補強筋は、半円フック側が
内外交互になるように配置する。



断面詳細図 S=1:10

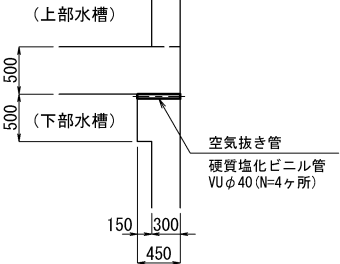


木コン跡処理
(内外共)



空気抜き管

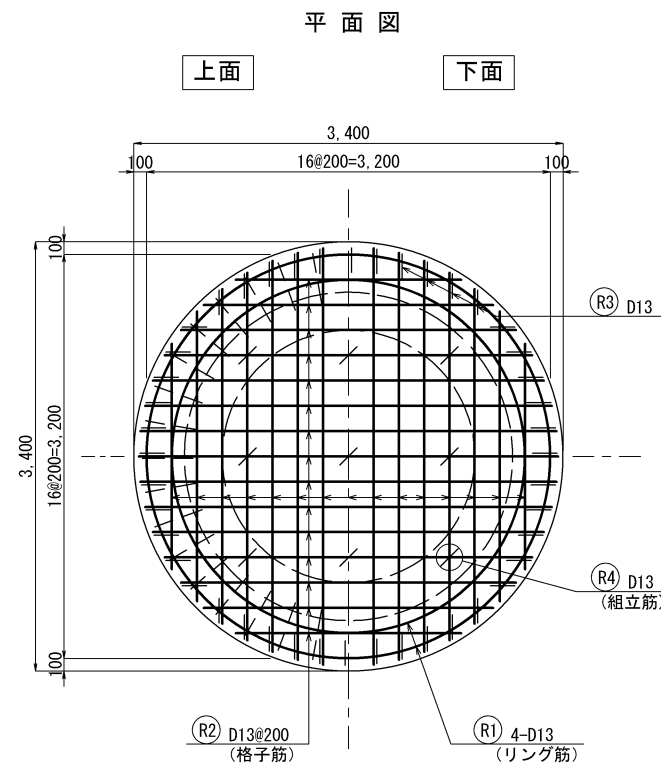
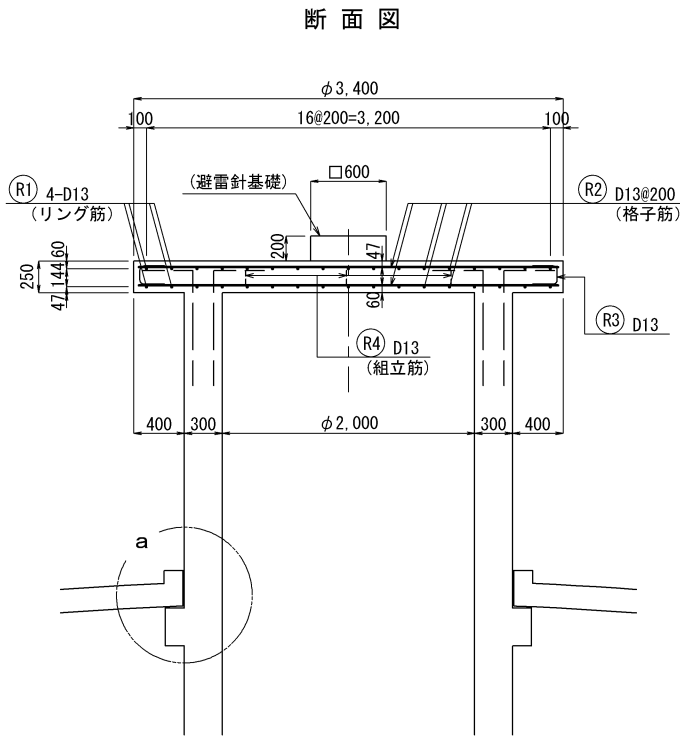
注) 空気抜き管は、鉄筋と干渉しない
位置に配置すること。



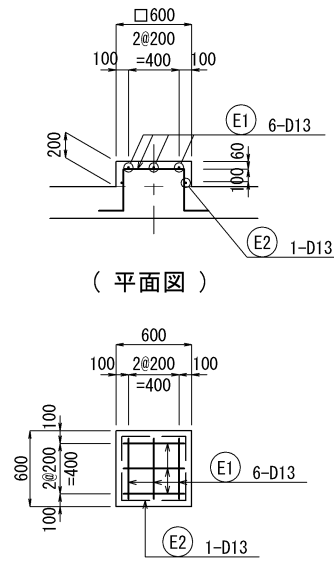
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	新配水池 中央シャフト配筋図(1)					R-18
縮 尺	図 示	承 認	設 計	製 図		
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

新配水池 中央シャフト配筋図(2)

屋根スラブ配筋図 S=1:30

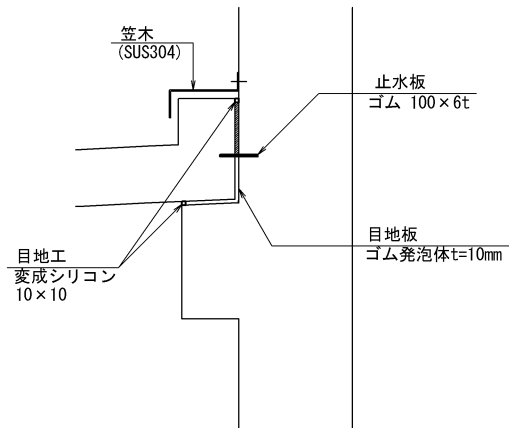


避雷針基礎配筋図 S=1:30

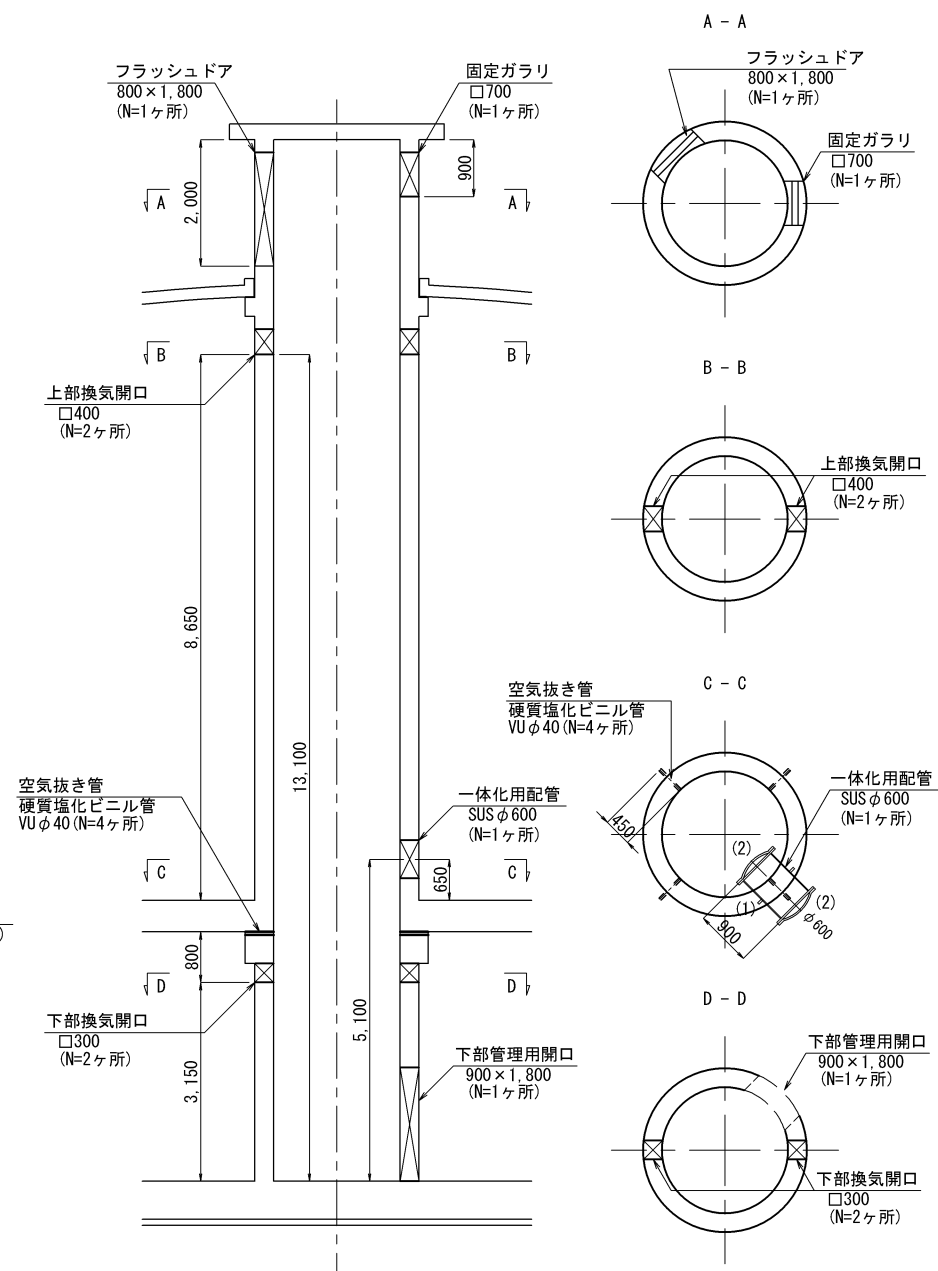


屋根接合部詳細図 S=1:10

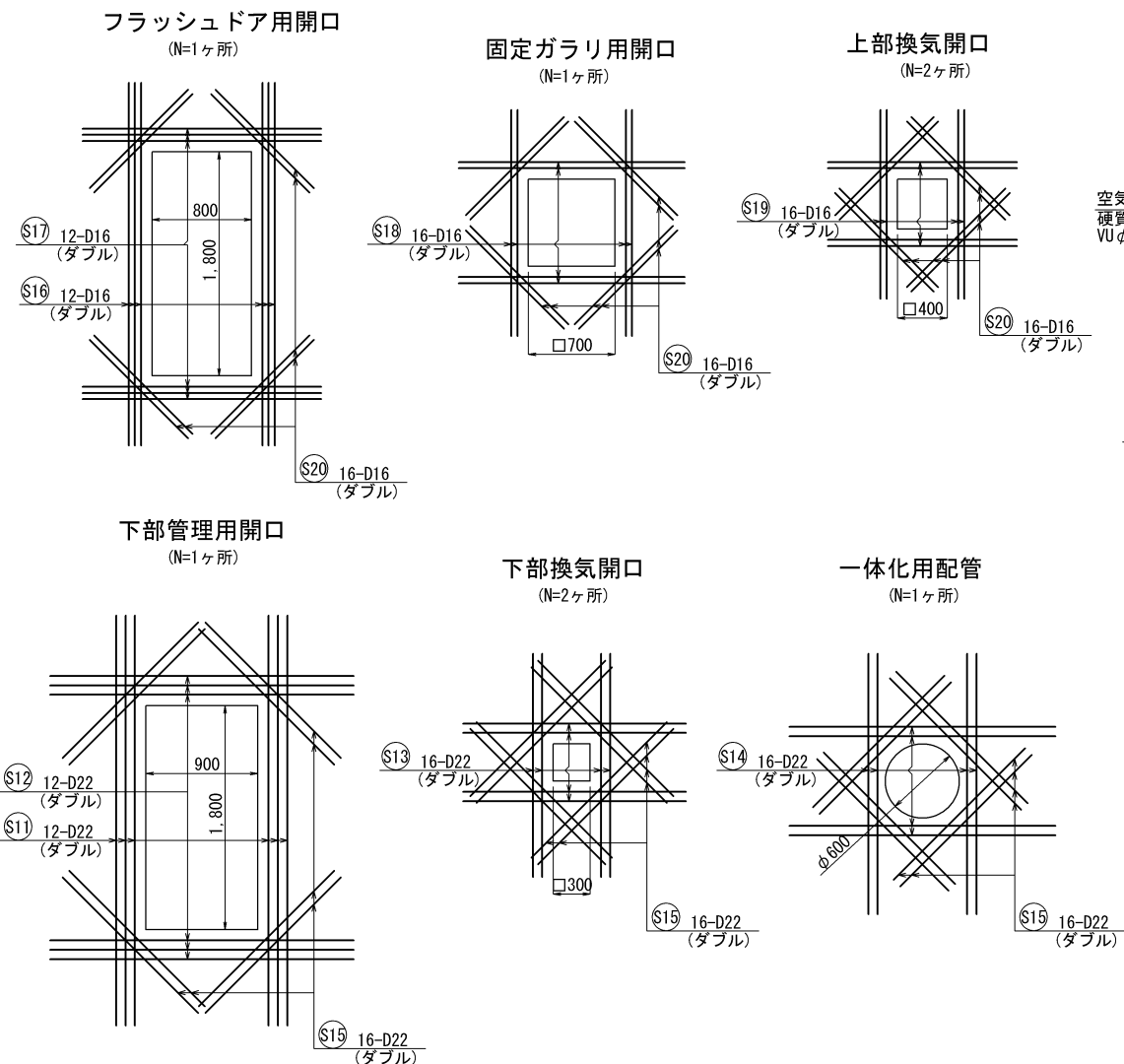
(a部)



位置図 S=1:60



開口補強筋 S=1:30

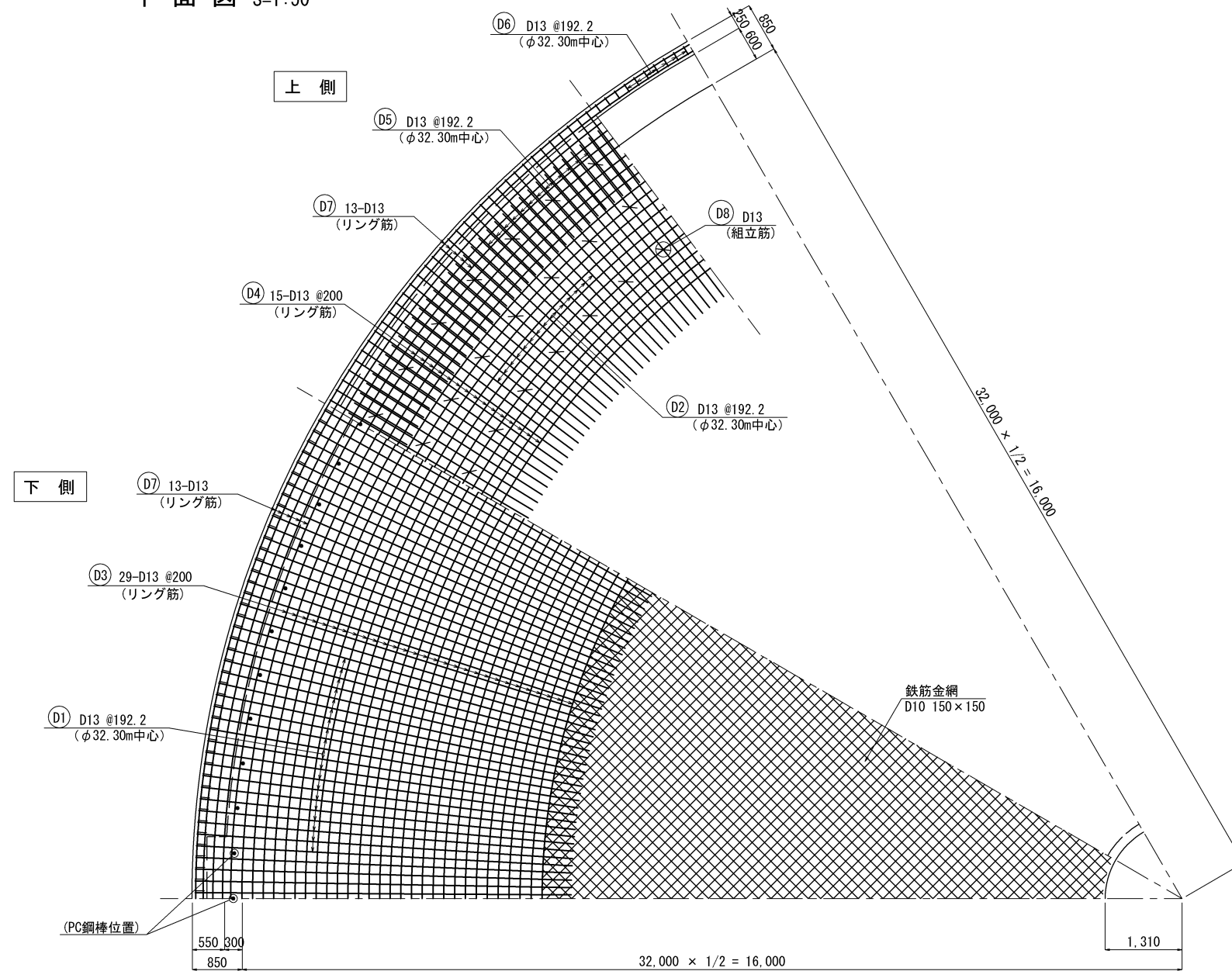


一体化用配管 材料表				
番号	名 称	形状寸法	備 考	
(1)	SUS-TP, Sch5S 両フランジ短管	600A×7.5KF 900L	バドル付	
(2)	SUS-TP, Sch5S フランジ蓋	600A×7.5KF		

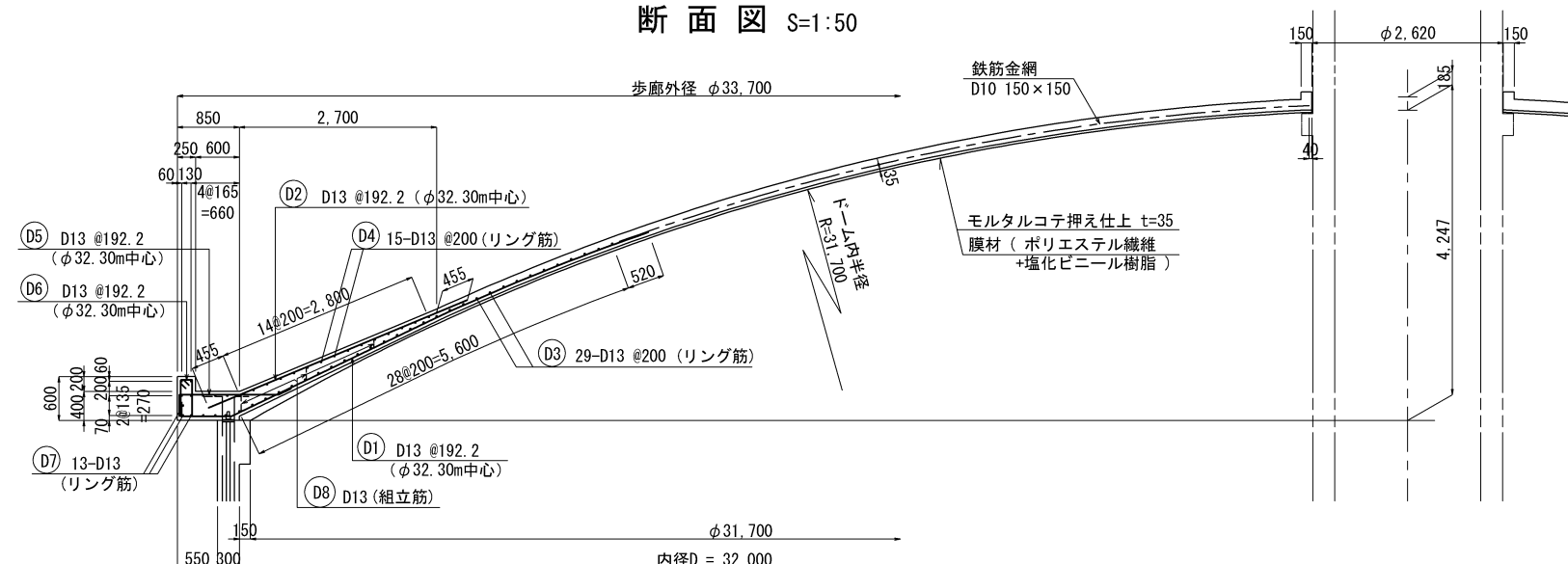
件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	新配水池 中央シャフト配筋図(2)			R-19
縮 尺	図示	承 認	設 計	製 図
平成 29 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				

新配水池 屋根歩廊配筋図(1)

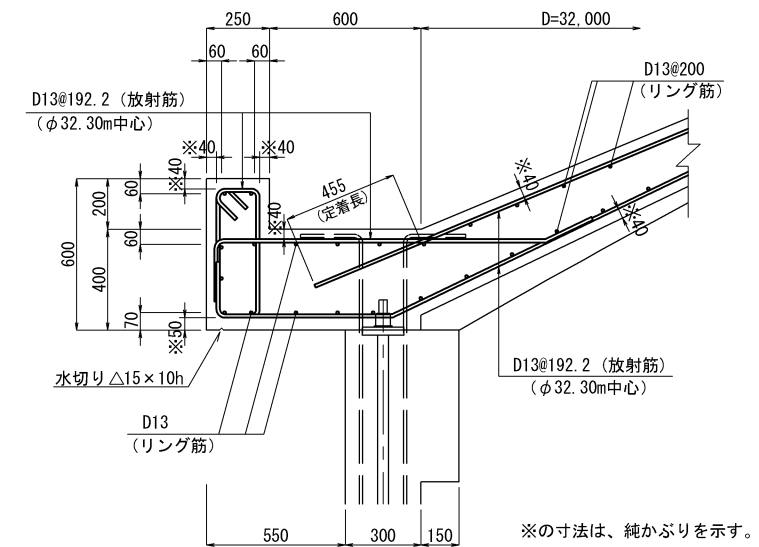
平面図 S=1:50



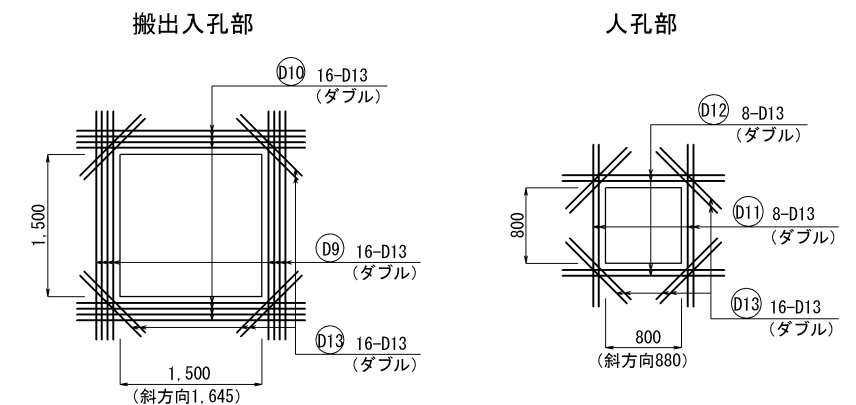
断面図 S=1:50



断面詳細図 S=1:15



開口部補強筋 S=1:40
(N=各1ヶ所)

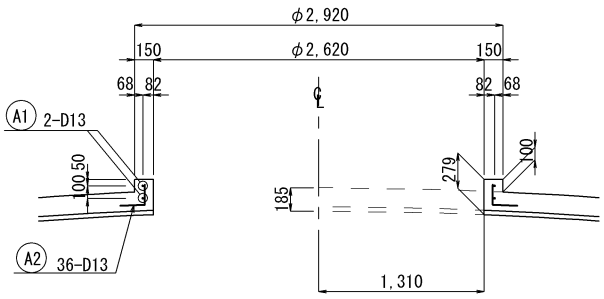


件 名							矢留配水池築造工事		
図 名		新配水池 屋根歩廊配筋図(1)					R-20		
縮 尺		図 示		承 認	設 計	製 図			
平成 29 年 月 日				認	計	図			
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課									

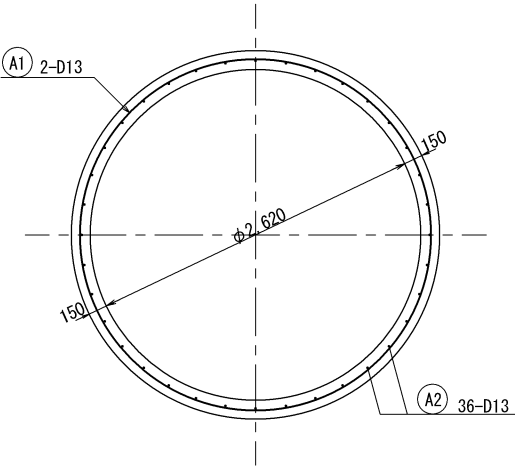
新配水池 屋根歩廊配筋図(2)

開口部配筋図 S=1:30
(各1ヶ所)

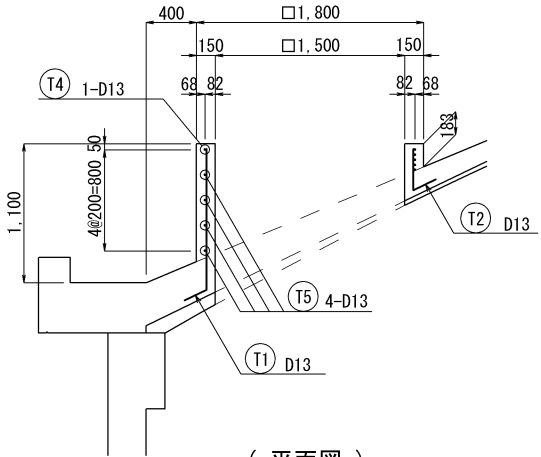
中央シャフト部



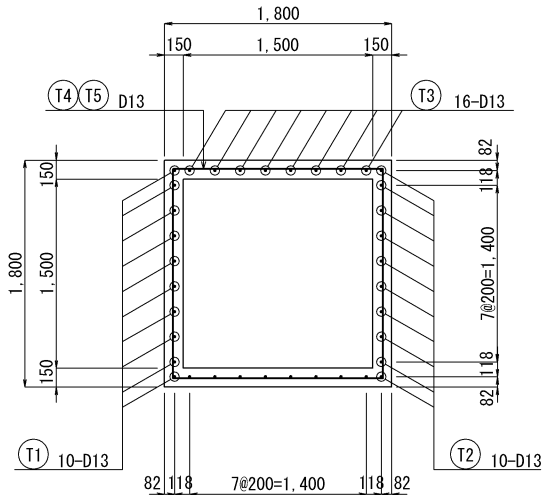
(平面図)



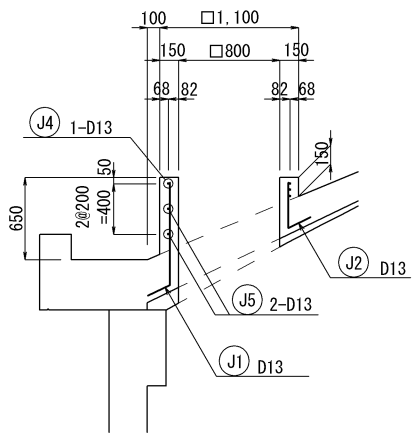
搬出入孔



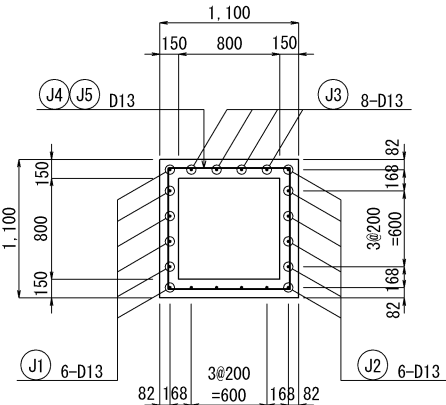
(平面図)



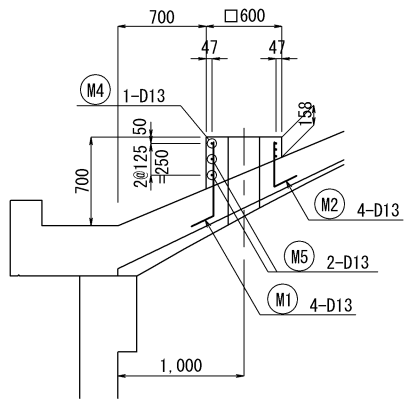
人孔



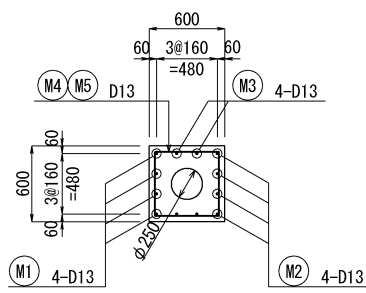
(平面図)



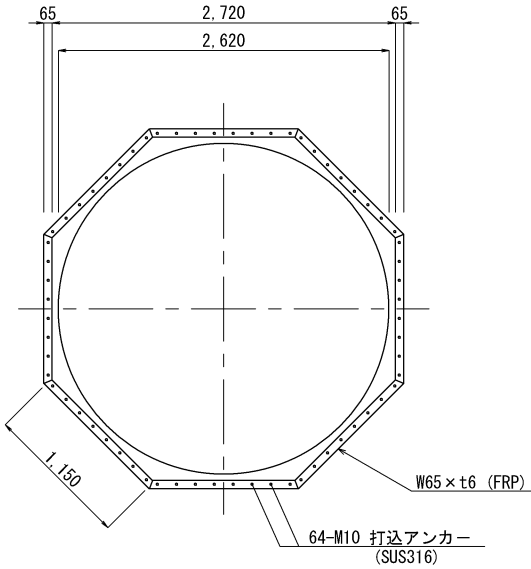
水位計架台



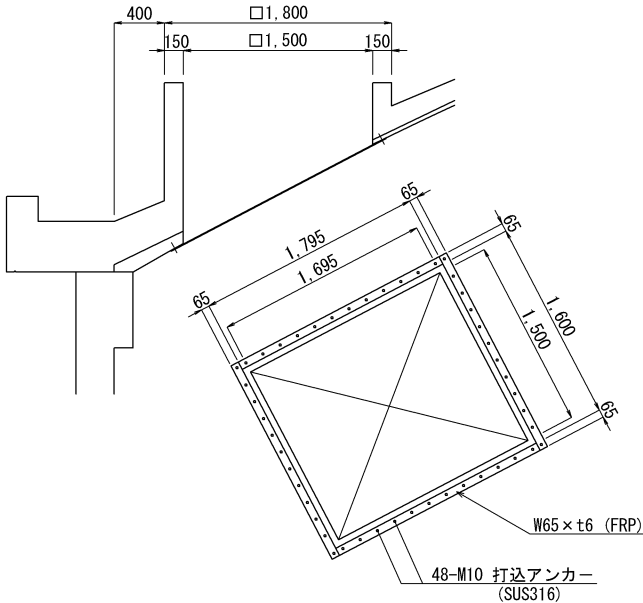
(平面図)



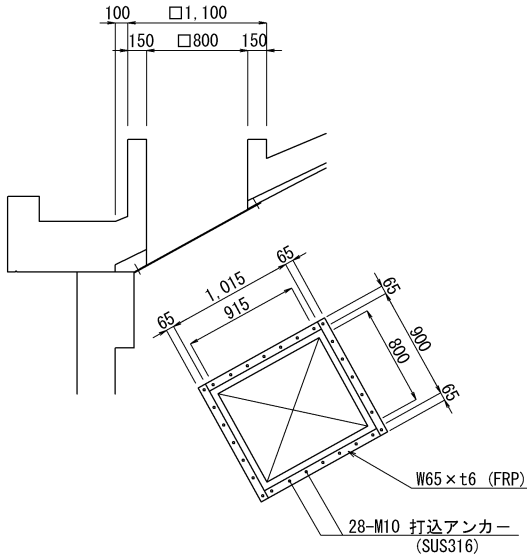
中央シャフト部



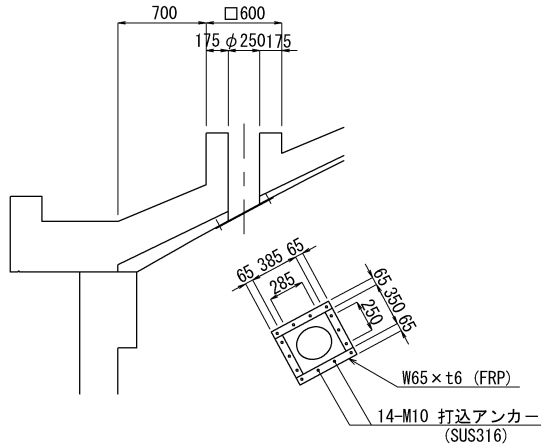
搬出入孔



人孔



水位計架台



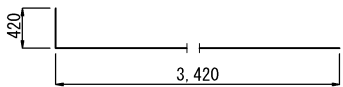
開口部当板 S=1:30
(FRP)

件名	矢留配水池築造工事			
図名	新配水池 屋根歩廊配筋図(2)			R-21
縮尺	図示	承認	設計	製図
平成 29 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

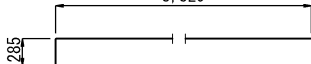
新配水池 鉄筋加工図(1)

基礎版

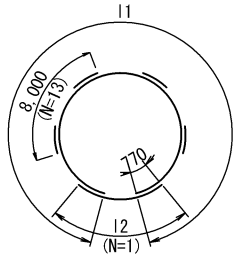
F1 528-D22×3,840



F2 528-D19×3,610



F3 15-D22×107,000 (平均長)



平均 $\phi=30,627$ (33254~28000)

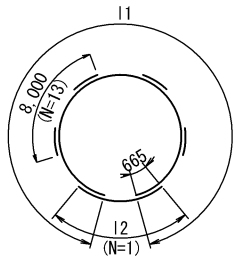
周長 $L=\pi \times 30627=96218$

(計算式) $l1=13@8000-12@770=94760$

$l2=96218-94760+2@770=2998$

$l=13@8000+2998=106998$

F4 14-D19×105,440 (平均長)



平均 $\phi=30,600$ (33200~28000)

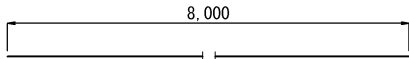
周長 $L=\pi \times 30600=96133$

(計算式) $l1=13@8000-12@665=96020$

$l2=96133-96020+2@665=1443$

$l=13@8000+1443=105443$

F5 1506-D22×8,000

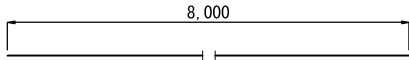


(計算式) $(29.54^2 \times \pi / 4 - (2.10 \times 1.50 + 1.50 \times 1.50)) \div 0.125 = 5439.6 \text{ m}$

$5439.6 \div (8.00 - 0.77) = 753 \text{本 (1方向)}$

$753 \times 2 = 1506 \text{本}$

F6 754-D22×8,000

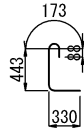


(計算式) $(29.54^2 \times \pi / 4 - (2.10 \times 1.50 + 1.50 \times 1.50)) \div 0.25 = 2719.8 \text{ m}$

$2719.8 \div (8.00 - 0.77) = 377 \text{本 (1方向)}$

$377 \times 2 = 754 \text{本}$

F7 244-D22×1,030

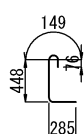


(計算式)

$4.40^2 \times \pi / 4$

$\div (0.25 \times 0.25) = 244 \text{本}$

F8 9523-D19×960

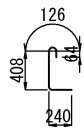


(計算式)

$((28.00^2 - 4.40^2) \times \pi / 4$

$- (2.10 \times 1.50 + 1.50 \times 1.50)) \div (0.25 \times 0.25) = 9523 \text{本}$

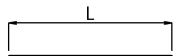
F9 6864-D16×840



(計算式)

$13 \times 528 = 6864 \text{本}$

F10 ~ F22

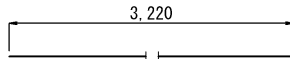


開口・配管補強筋

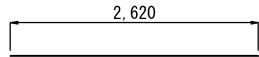
記号	本数	径	長さ (L)
F10	4	D22	3,420
F11	4	D22	2,820
F12	8	D22	2,820
F13	16	D22	1,320
F14	16	D22	1,670
F15	16	D22	1,720
F16	16	D22	1,570
F17	16	D22	1,820
F18	16	D22	1,820
F19	16	D22	1,720
F20	16	D22	1,520
F21	16	D22	1,720
F22	112	D22	1,320

(配水ビット)

P1 31-D22×3,220



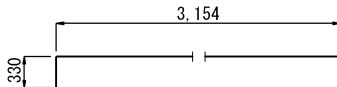
P2 37-D22×2,620



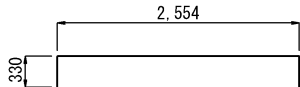
P3 128-D22×3,640 (平均長)



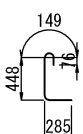
P4 48-D22×3,810



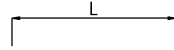
P5 48-D22×3,210



P6 216-D19×960



P7 ~ P9

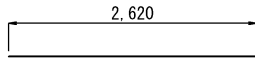


配管補強筋

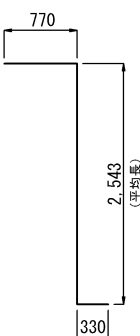
記号	本数	径	長さ (L)
P7	24	D22	2,020
P8	16	D22	1,320
P9	16	D22	1,520

(連絡ビット)

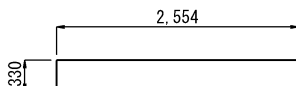
Q1 62-D22×2,620



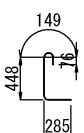
Q2 116-D22×3,640 (平均長)



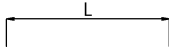
Q3 96-D22×3,210



Q4 180-D19×960



Q5 ~ Q7

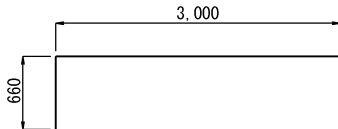


配管補強筋

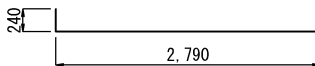
記号	本数	径	長さ (L)
Q5	16	D22	1,820
Q6	16	D22	1,320
Q7	16	D22	1,520

水底板

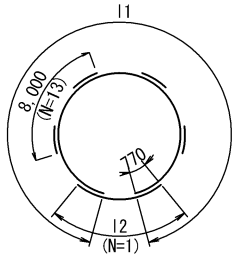
B1 528-D22×3,660



B2 528-D16×3,030



B3 11-D22×105,030 (平均長)



平均 $\phi=30,000$ (32000~28000)

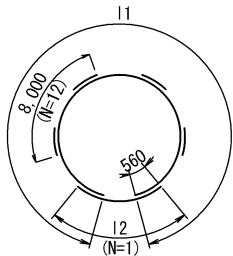
周長 $L=\pi \times 30000=94248$

(計算式) $l1=13@8000-12@770=94760$

$l2=94248-94760+2@770=1028$

$l=13@8000+1028=105028$

B4 11-D16×101,530 (平均長)



平均 $\phi=30,000$ (32000~28000)

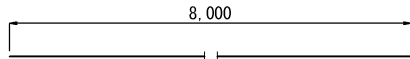
周長 $L=\pi \times 30000=94248$

(計算式) $l1=12@8000-11@560=89840$

$l2=94248-89840+2@560=5528$

$l=12@8000+5528=101528$

B5 1506-D22×8,000



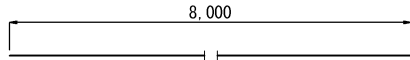
(計算式) $(29.54^2 - 2.60^2) \times \pi / 4$

$\div 0.125 = 5440.3 \text{ m}$

$5440.3 \div (8.00 - 0.77) = 753 \text{本 (1方向)}$

$753 \times 2 = 1506 \text{本}$

B6 752-D22×8,000



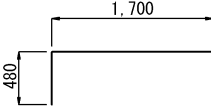
(計算式) $(29.54^2 - 2.86^2) \times \pi / 4$

$\div 0.25 = 2715.7 \text{ m}$

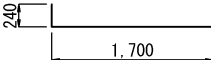
$2715.7 \div (8.00 - 0.77) = 376 \text{本 (1方向)}$

$376 \times 2 = 752 \text{本}$

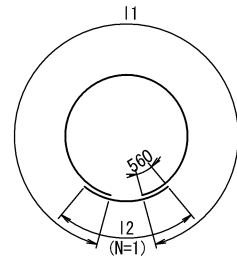
B7 72-D16×2,180



B8 72-D16×1,940



B9 12-D16×11,800 (平均長)



平均 $\phi=3,400$ (4400~2400)

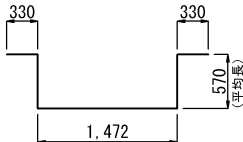
周長 $L=\pi \times 3400=10681$

(計算式) $l1=8,000$

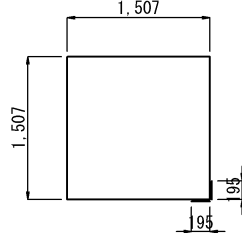
$l2=10681-8000+2@560=3801$

$l=8000+3801=11801$

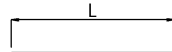
B12 (14*68本) 952-D22×3,270



B13 (1*68本) 68-D13×6,420



B14 ~ B20



配管補強筋

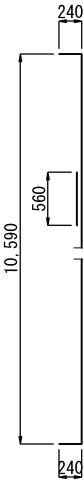
記号	本数	径	長さ (L)
B14	16	D22	1,670
B15	16	D22	1,720
B16	16	D22	1,570
B17	16	D22	1,820
B18	16	D22	1,720
B19	16	D22	1,520
B20	80	D22	1,320

件名	矢留配水池築造工事				
図名	新配水池 鉄筋加工図(1)			R-22	
縮尺	図示	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

新配水池 鉄筋加工図(2)

側 壁

W1 528-D16×11,630



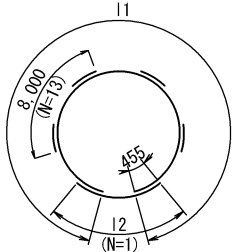
W2 528-D13×11,440



W3 528-D13×2,260

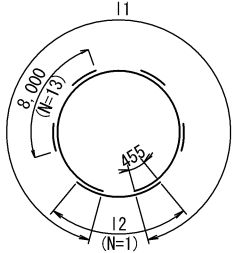


W4 34-D13×108,460



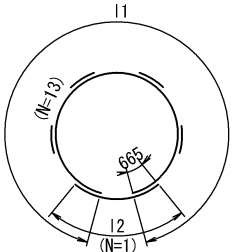
φ=32,495
周長 $L = \pi \times 32495 = 102086$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 455 = 98540$
 $l2 = 102086 - 98540 + 2 \times 455 = 4456$
 $l = 13 \times 8000 + 4456 = 108456$

W5 31-D13×107,230



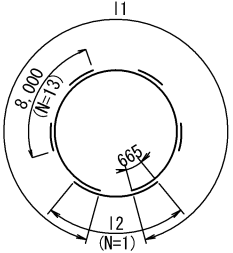
φ=32,105
周長 $L = \pi \times 32105 = 100861$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 455 = 98540$
 $l2 = 100861 - 98540 + 2 \times 455 = 2321$
 $l = 13 \times 8000 + 3231 = 107231$

W6 12-D19×111,420



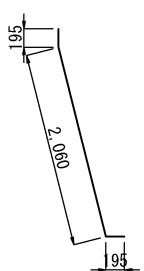
φ=32,501
周長 $L = \pi \times 32501 = 102105$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 102105 - 96020 + 2 \times 665 = 7415$
 $l = 13 \times 8000 + 7415 = 111415$

W7 7-D19×110,150

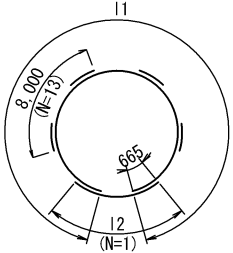


φ=32,099
周長 $L = \pi \times 32099 = 100842$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 100842 - 96020 + 2 \times 665 = 6152$
 $l = 13 \times 8000 + 6152 = 110152$

W8 528-D13×2,450

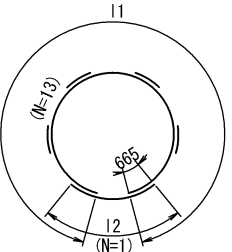


W9 12-D19×109,220 (平均長)



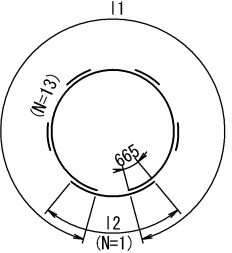
平均 φ=31,803 (32078~31528)
周長 $L = \pi \times 31803 = 99912$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 99912 - 96020 + 2 \times 665 = 5222$
 $l = 13 \times 8000 + 5222 = 109222$

W10 10-D19×111,420



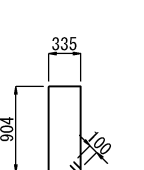
φ=32,501
周長 $L = \pi \times 32501 = 102105$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 102105 - 96020 + 2 \times 665 = 7415$
 $l = 13 \times 8000 + 7415 = 111415$

W11 12-D19×111,420

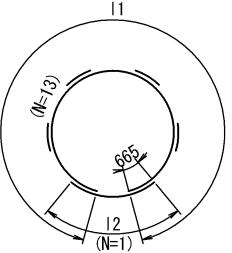


φ=32,501
周長 $L = \pi \times 32501 = 102105$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 102105 - 96020 + 2 \times 665 = 7415$
 $l = 13 \times 8000 + 7415 = 111415$

W12 528-D16×2,680

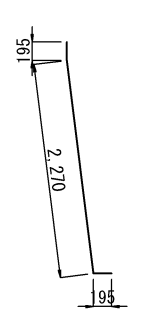


W13 5-D19×109,310

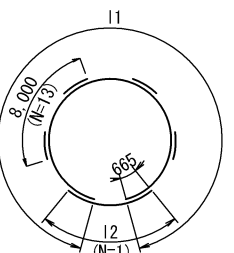


φ=31,831
周長 $L = \pi \times 31831 = 100000$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 100000 - 96020 + 2 \times 665 = 5310$
 $l = 13 \times 8000 + 5310 = 109310$

W14 528-D13×2,660

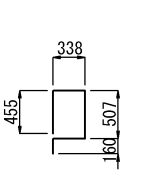


W15 12-D19×109,680 (平均長)

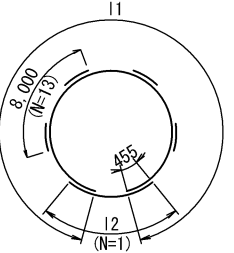


平均 φ=31,950 (32088~31812)
周長 $L = \pi \times 31950 = 100374$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 665 = 96020$
 $l2 = 100374 - 96020 + 2 \times 665 = 5684$
 $l = 13 \times 8000 + 5684 = 109684$

W16 528-D13×1,800



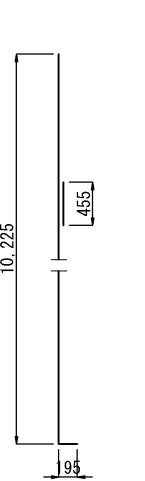
W17 4-D13×106,330



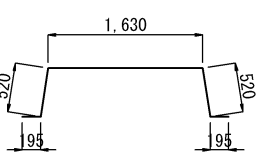
φ=31,819
周長 $L = \pi \times 31819 = 99962$
(計算式) $l1 = 13 \times 8000 - 12 \times 455 = 98540$
 $l2 = 99962 - 98540 + 2 \times 455 = 2332$
 $l = 13 \times 8000 + 2332 = 106332$

(ピラスター)

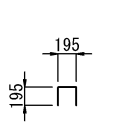
W19 (10×6本)
60-D13×10,880



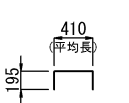
W20 (51×6本)
306-D13×3,060



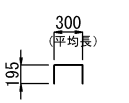
W18-1 742-D13×590



W18-2 212-D13×800 (平均長)

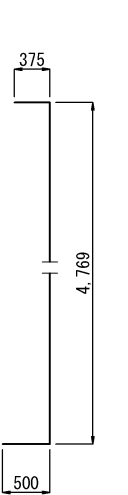


W18-3 212-D13×690 (平均長)

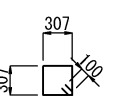


柱

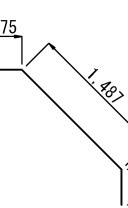
C1-1 (12×24本(端部))
288-D25×5,640



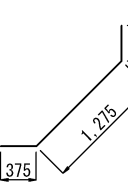
C2 (32×68本)
2176-D13×1,430



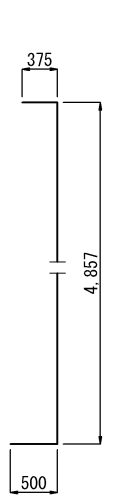
C4-1 (8×24本(端部))
192-D25×2,240



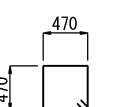
C5-1 (8×24本(端部))
192-D25×2,030



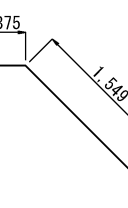
C1-2 (12×44本(中央部))
528-D25×5,730



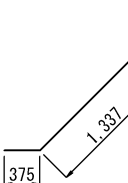
C3 (4×68本)
272-D13×2,080 (平均長)



C4-2 (8×44本(中央部))
352-D25×2,300



C5-2 (8×44本(中央部))
352-D25×2,090

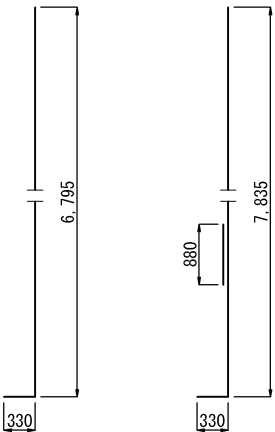


件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 鉄筋加工図(2)				R-23
縮 尺	図 示	承 認	設 計	製 図	
平成 29 年 月 日					
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

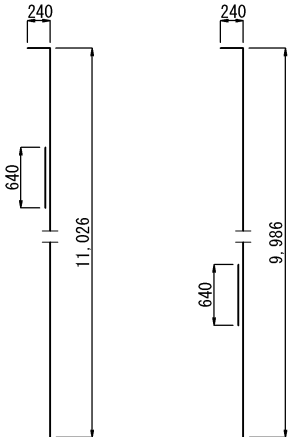
新配水池 鉄筋加工図(3)

中央シャフト

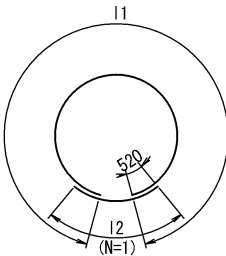
S1-1 36-D22×7,130 S1-2 36-D22×9,050



S2-1 36-D16×11,910 S2-2 36-D16×10,870

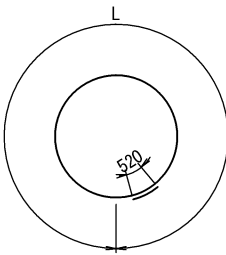


S3 91-D13×8,880



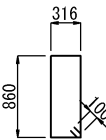
φ=2,495
周長 L=π x2495=7838
l1=7,000
l2=7838-7000+2@520=1878
l=7000+1878=8878

S4 102-D13×7,130

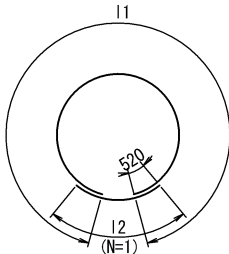


φ=2,105
周長 L=π x2105=6613
l=6613+520=7133

S5 36-D16×2,550

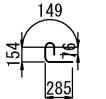


S6 5-D13×9,640

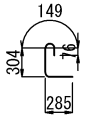


φ=2,737
周長 L=π x2737=8598
l1=8,000
l2=8598-8000+2@520=1638
l=8000+1638=9638

S9-1 558-D19×660



S9-2 90-D19×810

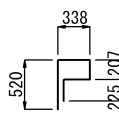


(開口部控除)

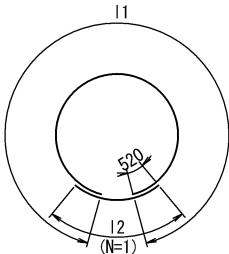
10 -D22×1800
4*2 -D22×300
2 -D22×1409

1 -D22×23,220

S7 36-D13×1,630

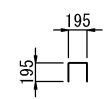


S8 2-D13×9,780

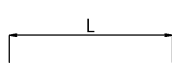


φ=2,781
周長 L=π x2781=8737
l1=8,000
l2=8737-8000+2@520=1777
l=8000+1777=9777

W10 99-D13×590



(S11)~(S20)

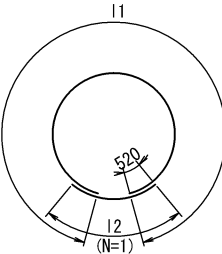


開口補強筋

記号	本数	径	長さ (L)
S11	12	D22	3,340
S12	12	D22	2,440
S13	32	D22	1,840
S14	16	D22	2,140
S15	64	D22	1,540
S16	12	D16	2,920
S17	12	D16	1,920
S18	16	D16	1,820
S19	32	D16	1,520
S20	64	D16	1,120

(屋根スラブ)

R1 4-D13×10,470 (平均長)

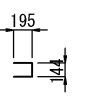


φ=3,000 (平均)
周長 L=π x3000=9425
l1=8,000
l2=9425-8000+2@520=2465
l=8000+2465=10465

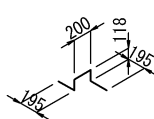
R2 60-D13×2,890 (平均長)

2,886
(計算式) $3.32^2 \times \pi / 4 \div 0.20 = 43.3 \text{ m}$
43.3m ÷ 15本= 2.886m (平均長)
15×2 (方向) × 2 (上下)= 60本

R3 44-D13×530

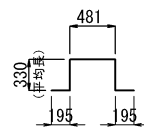


R4 9-D13×830

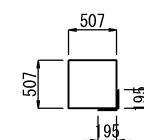


(避雷針基礎)

E1 6-D13×1,530 (平均長)

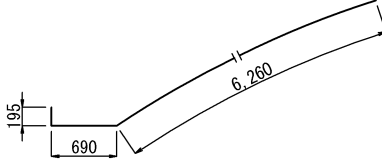


E2 1-D13×2,420

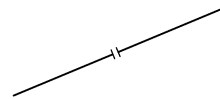


屋根・歩廊

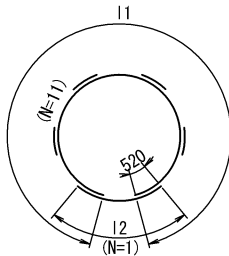
D1 528-D13×7,150



D2 528-D13×3,840

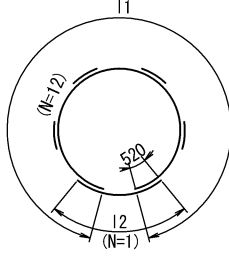


D3 29-D13×90,730 (平均長)



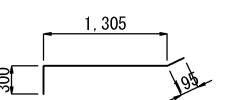
平均 φ=26,893 (32000~21786)
周長 L=π x26893=84487
(計算式) l1=11@8000-10@520=82800
l2=84487-82800+2@520=2727
l=11@8000+2727=90727

D4 15-D13×99,140 (平均長)



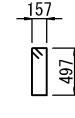
平均 φ=29,404 (32000~26808)
周長 L=π x29404=92375
(計算式) l1=12@8000-11@520=90280
l2=92375-90280+2@520=3135
l=12@8000+3135=99135

D5 528-D13×1,800

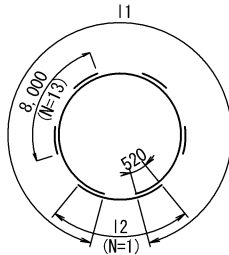


(開口部控除) 8 -D13×800
8 -D13×880
16 -D13×1500
16 -D13×1650
1 -D13×63,840

D6 528-D13×1,510



D7 13-D13×110,810 (平均長)

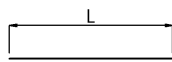


平均 φ=32,956 (33581~32330)
周長 L=π x32956=103534
(計算式) l1=13@8000-12@520=97760
l2=103534-97760+2@520=6814
l=13@8000+6814=110814

D8 318-D13×540 (平均長)



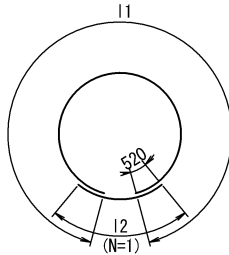
(D9)~(D13)



開口補強筋

記号	本数	径	長さ (L)
D9	16	D13	2,410
D10	16	D13	2,560
D11	8	D13	1,710
D12	8	D13	1,790
D13	32	D13	910

A1 2-D13×9,790



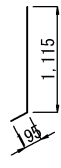
φ=2,784
周長 L=π x2784=8746
l1=8,000
l2=8746-8000+2@520=1786
l=8000+1786=9786

A2 36-D13×360



(開口部)

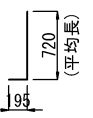
T1 10-D13×1,310



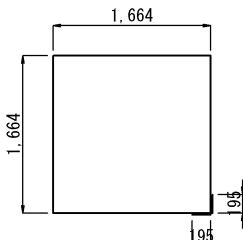
T2 10-D13×520



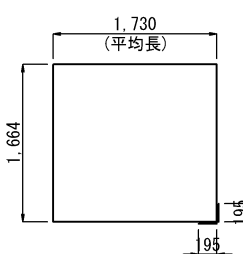
T3 16-D13×920 (平均長)



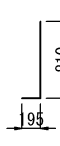
T4 1-D13×7,050



T5 4-D13×7,180 (平均長)



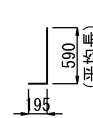
J1 6-D13×1,010



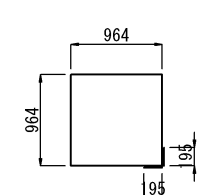
J2 6-D13×560



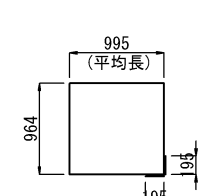
J3 8-D13×790 (平均長)



J4 1-D13×4,250



J5 2-D13×4,310 (平均長)



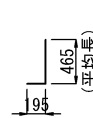
M1 4-D13×780



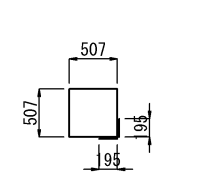
M2 4-D13×550



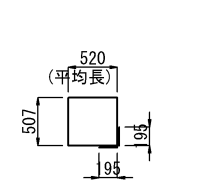
M3 4-D13×660 (平均長)



M4 1-D13×2,420



M5 2-D13×2,440 (平均長)



件名	矢留配水池築造工事				
図名	新配水池 鉄筋加工図(3)			R-24	
縮尺	図示	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

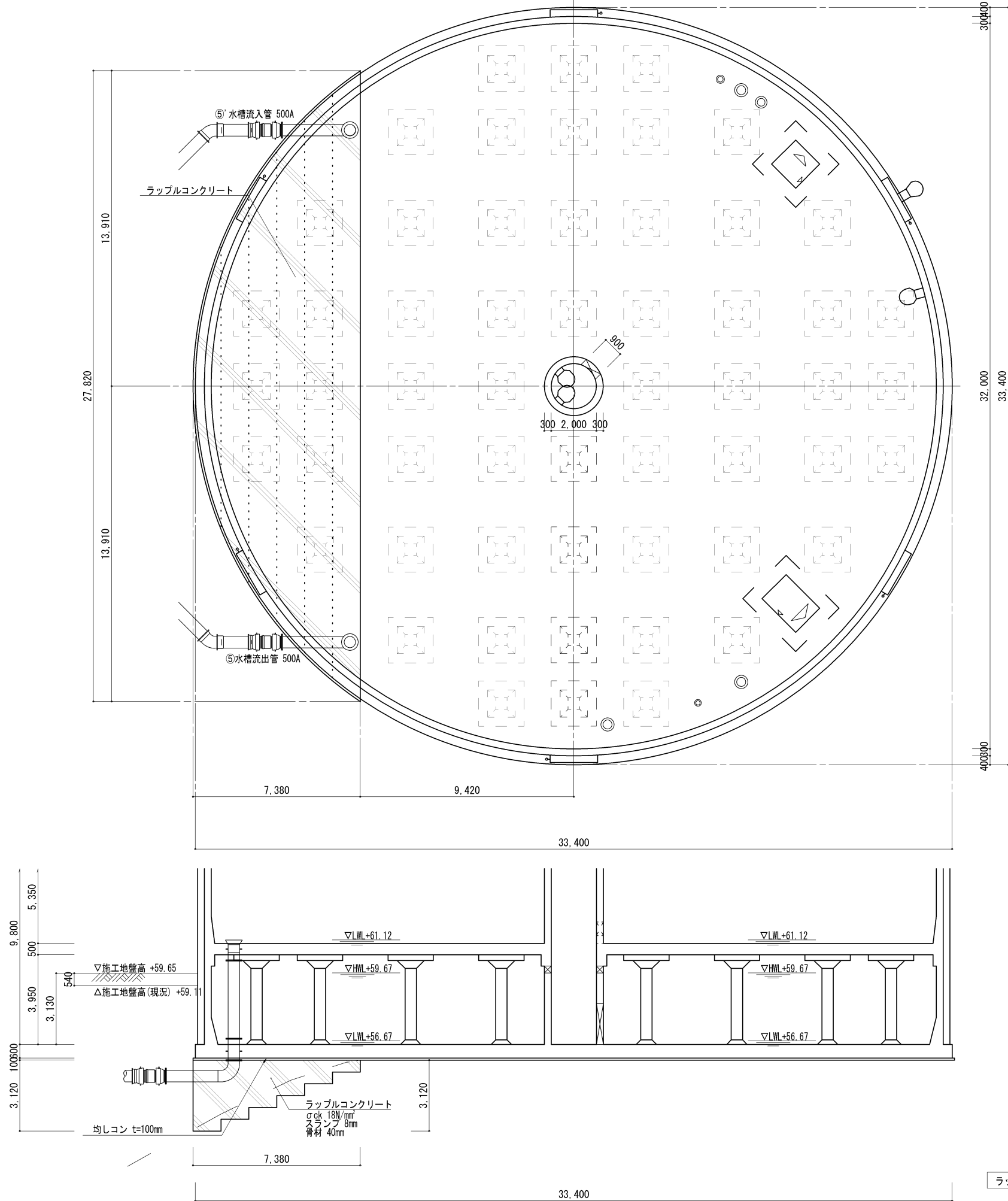
新配水池 鉄筋加工図(4)

記号	径	長さ (m)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)		備考
						D13以下	D16～25	
基礎版								
F1	D22	3.840	528	3.04	11.674		6,164	┐
F2	D19	3.610	528	2.25	8.123		4,289	┐
F3	D22	107.000	15	3.04	325.280		4,879	○ 平均長
F4	D19	105.440	14	2.25	237.240		3,321	○ 平均長
F5	D22	8.000	1506	3.04	24.320		36,626	――
F6	D22	8.000	754	3.04	24.320		18,337	――
F7	D22	1.030	244	3.04	3.131		764	┐
F8	D19	0.960	9523	2.25	2.160		20,570	┐
F9	D16	0.840	6864	1.56	1.310		8,992	┐
(開口・配管補強筋)								
F10	D22	3.420	4	3.04	10.397		42	――
F11	D22	2.820	4	3.04	8.573		34	――
F12	D22	2.820	8	3.04	8.573		69	――
F13	D22	1.320	16	3.04	4.013		64	――
F14	D22	1.670	16	3.04	5.077		81	――
F15	D22	1.720	16	3.04	5.229		84	――
F16	D22	1.570	16	3.04	4.773		76	――
F17	D22	1.820	16	3.04	5.533		89	――
F18	D22	1.820	16	3.04	5.533		89	――
F19	D22	1.720	16	3.04	5.229		84	――
F20	D22	1.520	16	3.04	4.621		74	――
F21	D22	1.720	16	3.04	5.229		84	――
F22	D22	1.320	112	3.04	4.013		449	――
(ビット)								
P1	D22	3.220	31	3.04	9.789		303	――
P2	D22	2.620	37	3.04	7.965		295	――
P3	D22	3.640	128	3.04	11.066		1,416	┐ 平均長
P4	D22	3.810	48	3.04	11.582		556	┐
P5	D22	3.210	48	3.04	9.758		468	┐
P6	D19	0.960	216	2.25	2.160		467	┐
P7	D22	2.020	24	3.04	6.141		147	――
P8	D22	1.320	16	3.04	4.013		64	――
P9	D22	1.520	16	3.04	4.621		74	――
Q1	D22	2.620	62	3.04	7.965		494	――
Q2	D22	3.640	116	3.04	11.066		1,284	┐ 平均長
Q3	D22	3.210	96	3.04	9.758		937	┐
Q4	D19	0.960	180	2.25	2.160		389	┐
Q5	D22	1.820	16	3.04	5.533		89	――
Q6	D22	1.320	16	3.04	4.013		64	――
Q7	D22	1.520	16	3.04	4.621		74	――
(基礎版集計) D13以下 ― kg								
D16～25 112,382 "								
側壁								
W1	D16	11.630	528	1.56	18.143		9,580	┐
W2	D13	11.440	528	0.995	11.383	6,010		┐
W3	D13	2.260	528	0.995	2.249	1,187		┐
W4	D13	108.460	34	0.995	107.918	3,669		○
W5	D13	107.230	31	0.995	106.694	3,308		○
W6	D19	111.420	12	2.25	250.695		3,008	○
W7	D19	110.150	7	2.25	247.838		1,735	○
W8	D13	2.450	528	0.995	2.438	1,287		○
W9	D19	109.220	12	2.25	245.745		2,949	○ 平均長
W10	D19	111.420	10	2.25	250.695		2,507	○
W11	D19	111.420	12	2.25	250.695		3,008	○
W12	D13	2.680	528	0.995	2.667	1,408		┐
W13	D19	109.310	5	2.25	245.948		1,230	○
W14	D13	2.660	528	0.995	2.647	1,398		○
W15	D19	109.680	12	2.25	246.780		2,961	○ 平均長
W16	D13	1.800	528	0.995	1.791	946		┐
W17	D13	106.330	4	0.995	150.798	423		○
W18-1	D13	0.590	742	0.995	0.587	436		┐
W18-2	D13	0.800	212	0.995	0.796	169		┐ 平均長
W18-3	D13	0.690	212	0.995	0.687	146		┐ 平均長
(ピラスト)								
W19	D13	10.880	60	0.995	10.826	650		┐
W20	D13	3.060	306	0.995	3.045	932		┐

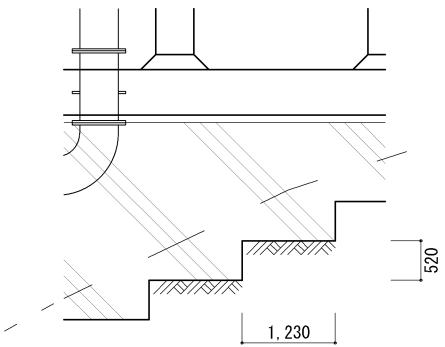
記号	径	長さ (m)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重量 (kg)		備考
						D13以下	D16～25	
(側壁集計)					D13以下	21,969 kg		
					D16～25	26,978 "		
柱								
C1-1	D25	5.640	288	3.98	22.447		6,465	┐
C1-2	D25	5.730	528	3.98	22.805		12,041	┐
C2	D13	1.430	2176	0.995	1.423	3,096		┐
C3	D13	2.080	272	0.995	2.070	563		┐ 平均長
C4-1	D25	2.240	192	3.98	8.915		1,712	┐
C4-2	D25	2.300	352	3.98	9.154		3,222	┐
C5-1	D25	2.030	192	3.98	8.079		1,551	┐
C5-2	D25	2.090	352	3.98	8.318		2,928	┐
(柱集計)					D13以下	3,659 kg		
					D16～25	27,919 "		
水底版								
B1	D22	3.660	528	3.04	11.126		5,875	┐
B2	D16	3.030	528	1.56	4.727		2,496	┐
B3	D22	105.030	11	3.04	319.291		3,512	○ 平均長
B4	D16	101.530	11	1.56	158.387		1,742	○ 平均長
B5	D22	8.000	1506	3.04	24.320		36,626	――
B6	D22	8.000	752	3.04	24.320		18,289	――
B7	D16	2.180	72	1.56	3.401		245	┐
B8	D16	1.940	72	1.56	3.026		218	┐
B9	D16	11.800	12	1.56	18.408		221	○
B10	D19	0.860	9609	2.25	1.935		18,593	┐
B11	D16	0.740	5496	1.56	1.154		6,342	┐
B12	D22	3.270	952	3.04	9.941		9,464	┐ 平均長
B13	D13	6.420	68	0.995	6.388	434		┐
(配管補強筋)								
B14	D22	1.670	16	3.04	5.077		81	――
B15	D22	1.720	16	3.04	5.229		84	――
B16	D22	1.570	16	3.04	4.773		76	――
B17	D22	1.820	16	3.04	5.533		89	――
B18	D22	1.720	16	3.04	5.229		84	――
B19	D22	1.520	16	3.04	4.621		74	――
B20	D22	1.320	80	3.04	4.013		321	――
(水底版集計)					D13以下	434 kg		
					D16～25	104,432 "		
中央シャフト								
S1-1	D22	7.130	36	3.04	21.675		780	┐
S1-2	D22	9.050	36	3.04	27.512		990	┐
S2-1	D16	11.910	36	1.56	18.580		669	┐
S2-2	D16	10.870	36	1.56	16.957		610	┐
S3	D13	8.880	91	0.995	8.836	804		○
S4	D13	7.130	102	0.995	7.094	724		○
S5	D16	2.550	36	1.56	3.978		143	┐
S6	D13	9.640	5	0.995	9.592	48		○
S7	D13	1.630	36	0.995	1.622	58		┐
S8	D13	9.780	2	0.995	9.731	19		○
S9-1	D19	0.660	558	2.25	1.485		829	┐
S9-2	D19	0.810	90	2.25	1.823		164	┐
S10	D13	0.590	99	0.995	0.587	58		┐
控除	D22	23.220	1	3.04	70.589		-71	
控除	D16	23.200	1	1.56	36.192		-36	
控除	D13	58.250	1	0.995	57.959	-58		
(屋根スラブ)								
R1	D13	10.470	4	0.995	10.418	42		○ 平均長
R2	D13	2.890	60	0.995	2.876	173		―― 平均長
R3	D13	0.530	44	0.995	0.527	23		┐
R4	D13	0.830	9	0.995	0.826	7		┐
(避雷針基礎)								
E1	D13	1.530	6	0.995	1.522	9		┐ 平均長
E2	D13	2.420	1	0.995	2.408	2		┐

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量 (kg)		備考
		(m)		(kg/m)	(kg/本)	D13以下	D16～25	
(中央シャフト)開口補強筋								
S11	D22	3.340	12	3.04	10.154		122	――
S12	D22	2.440	12	3.04	7.418		89	――
S13	D22	1.840	32	3.04	5.594		179	――
S14	D22	2.140	16	3.04	6.506		104	――
S15	D22	1.540	64	3.04	4.682		300	――
S16	D16	2.920	12	1.56	4.555		55	――
S17	D16	1.920	12	1.56	2.995		36	――
S18	D16	1.820	16	1.56	2.839		45	――
S19	D16	1.520	32	1.56	2.371		76	――
S20	D16	1.120	64	1.56	1.747		112	――
(中央シャフト集計)					D13以下	1,909 kg		
					D16～25	5,196 "		
屋根・歩廊								
D1	D13	7.150	528	0.995	7.114	3,756		✓
D2	D13	3.840	528	0.995	3.821	2,017		┐
D3	D13	90.730	29	0.995	90.276	2,618		○ 平均長
D4	D13	99.140	15	0.995	98.644	1,480		○ 平均長
D5	D13	1.800	528	0.995	1.791	946		┐
D6	D13	1.510	528	0.995	1.502	793		┐
D7	D13	110.810	13	0.995	110.256	1,433		○ 平均長
D8	D13	0.540	318	0.995	0.537	171		┐ 平均長
控除	D13	63.840	1	0.995	63.521	-64		
(開口補強筋)								
D9	D13	2.410	16	0.995	2.398	38		――
D10	D13	2.560	16	0.995	2.547	41		――
D11	D13	1.710	8	0.995	1.701	14		――
D12	D13	1.790	8	0.995	1.781	14		――
D13	D13	0.910	32	0.995	0.905	29		――
(開口部)								
A1	D13	9.790	2	0.995	9.741	19		○
A2	D13	0.360	36	0.995	0.358	13		┐
T1	D13	1.310	10	0.995	1.303	13		┐
T2	D13	0.520	10	0.995	0.517	5		┐
T3	D13	0.920	16	0.995	0.915	15		┐ 平均長
T4	D13	7.050	1	0.995	7.015	7		┐
T5	D13	7.180	4	0.995	7.144	29		┐ 平均長
J1	D13	1.010	6	0.995	1.005	6		┐
J2	D13	0.560	6	0.995	0.557	3		┐
J3	D13	0.790	8	0.995	0.786	6		┐ 平均長
J4	D13	4.250	1	0.995	4.229	4		┐
J5	D13	4.310	2	0.995	4.288	9		┐ 平均長
M1	D13	0.780	4	0.995	0.776	3		┐
M2	D13	0.550	4	0.995	0.547	2		┐
M3	D13	0.660	4	0.995	0.657	3		┐ 平均長
M4	D13	2.420	1	0.995	2.408	2		┐
M5	D13	2.440	2	0.995	2.428	5		┐ 平均長
(屋根歩廊集計)					D13以下	13,430 kg		
					D16～25	―― "		

新配水池 地盤改良図 S=1:100



ラッブルコンクリート平面範囲図 1/100



ラッブルコンクリート下面段切り要領図 1/50
※法面勾配が1:4以下の場合は省略できる

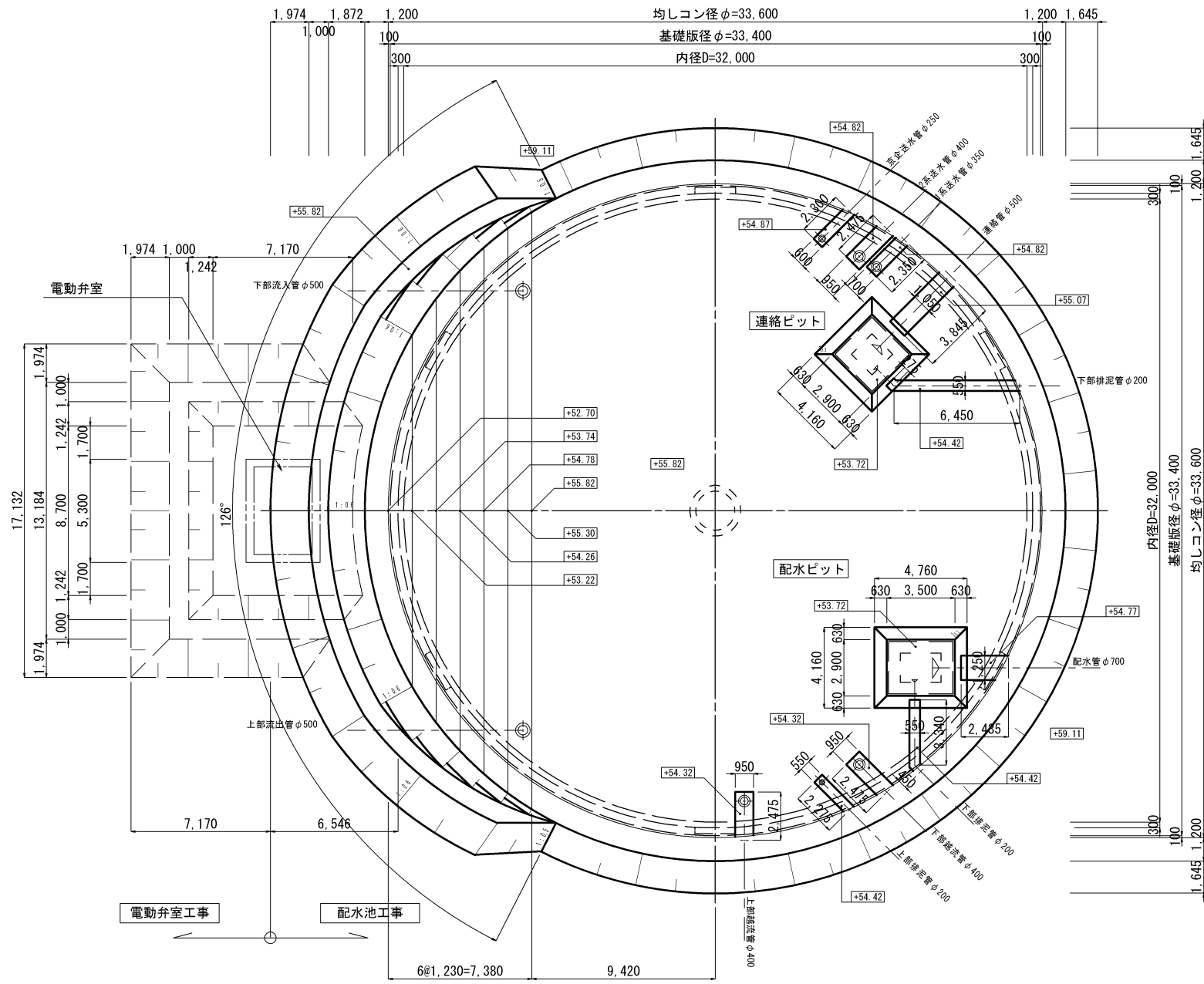
ラッブルコンクリート断面図 1/100

件名	矢留配水池築造工事				
図名	新配水池 地盤改良図			R-26	
縮尺	1/100	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

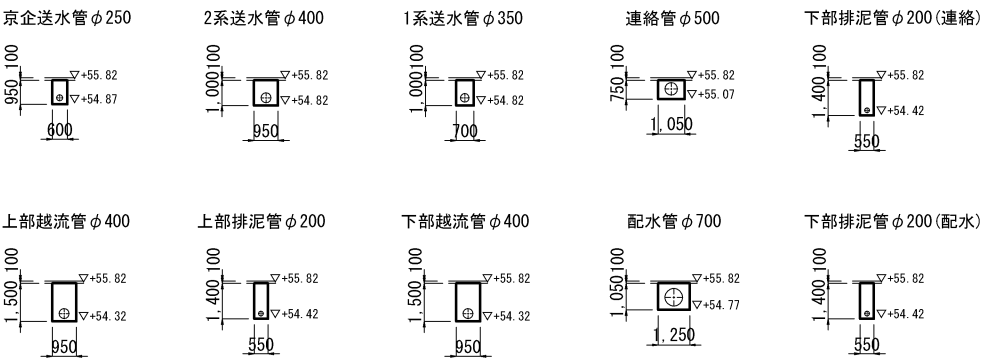
新配水池 土工図

S=1:150

平面図



管保護コンクリート断面図



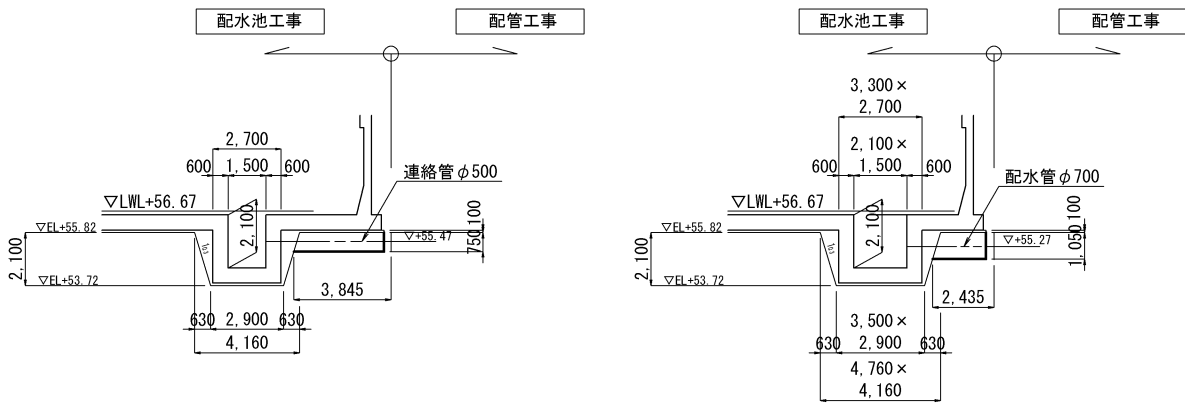
ピット詳細図

連絡ピット

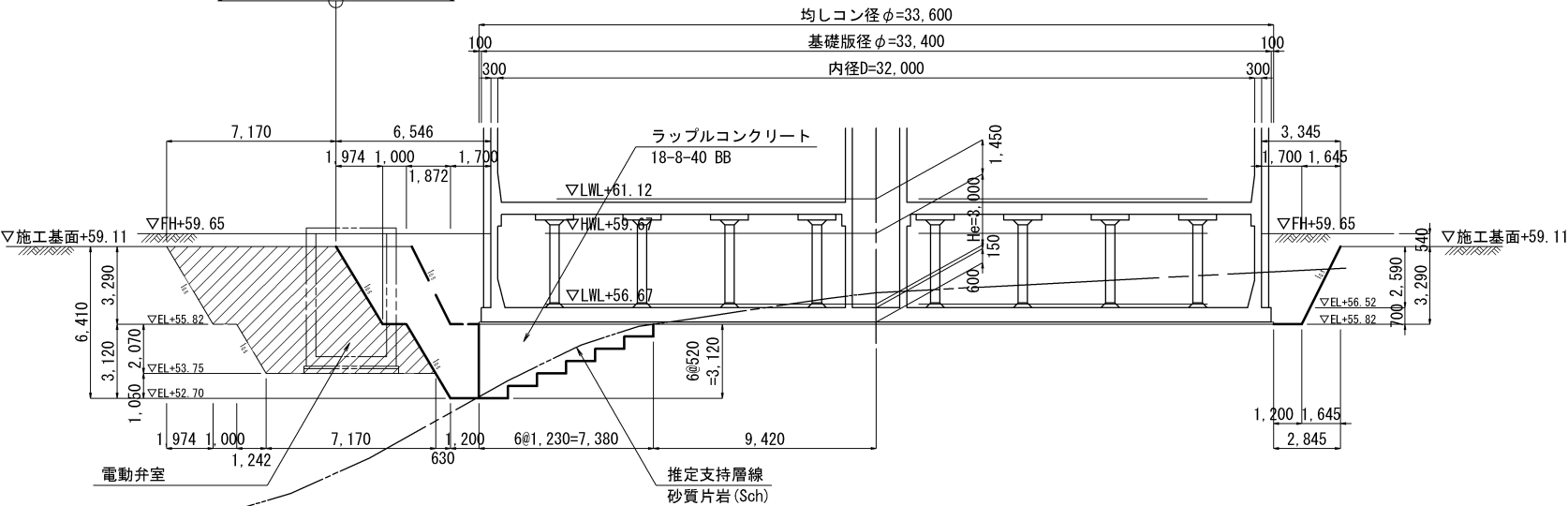
(1,500×1,500×2,100h)

配水ピット

(1,500×1,500×2,100h)



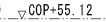
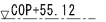
断面図



件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	新配水池 土工図			R-27	
縮 尺	1/150	承	設	製	
平成 29 年 月 日					
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

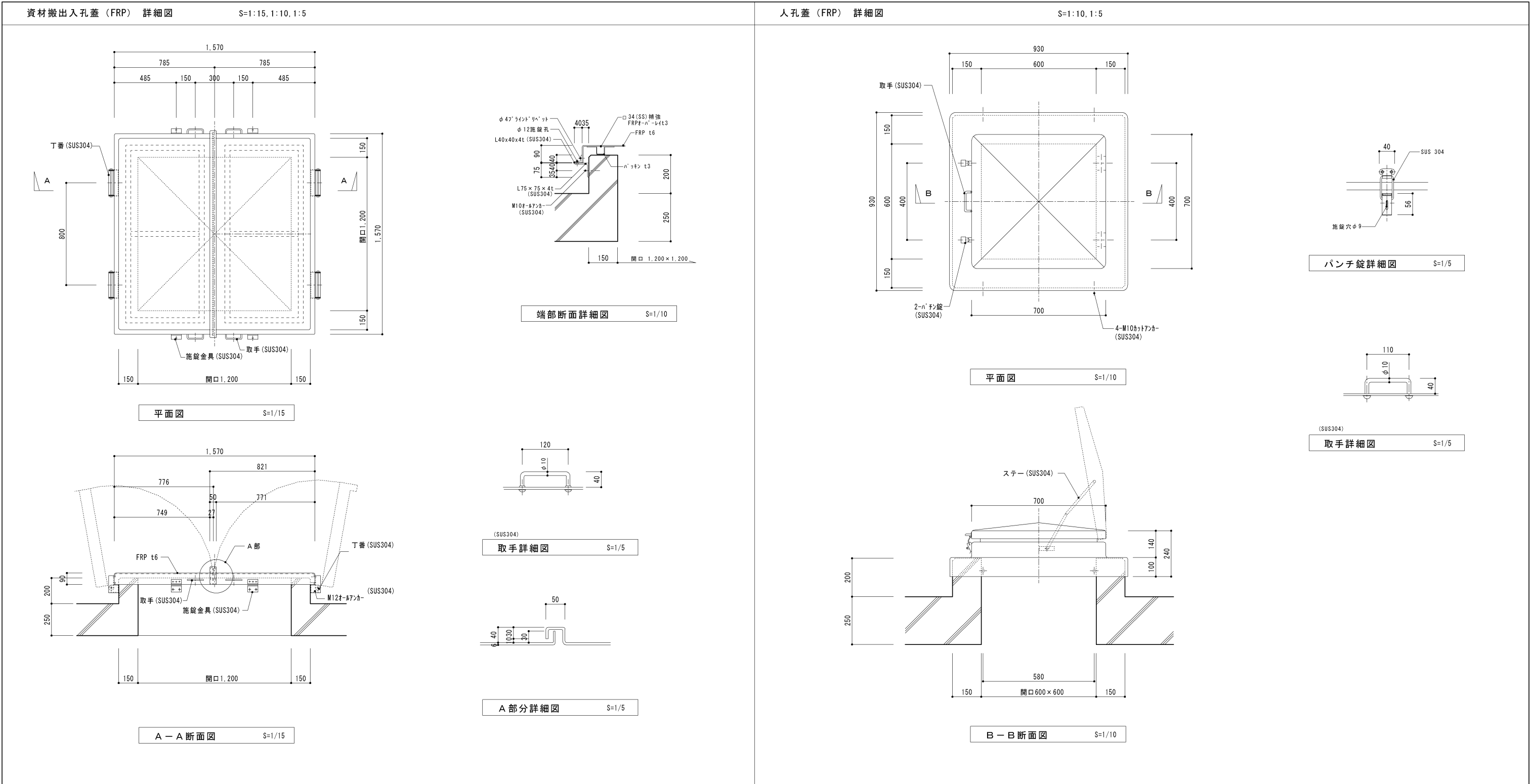
 $S=1/50$ 

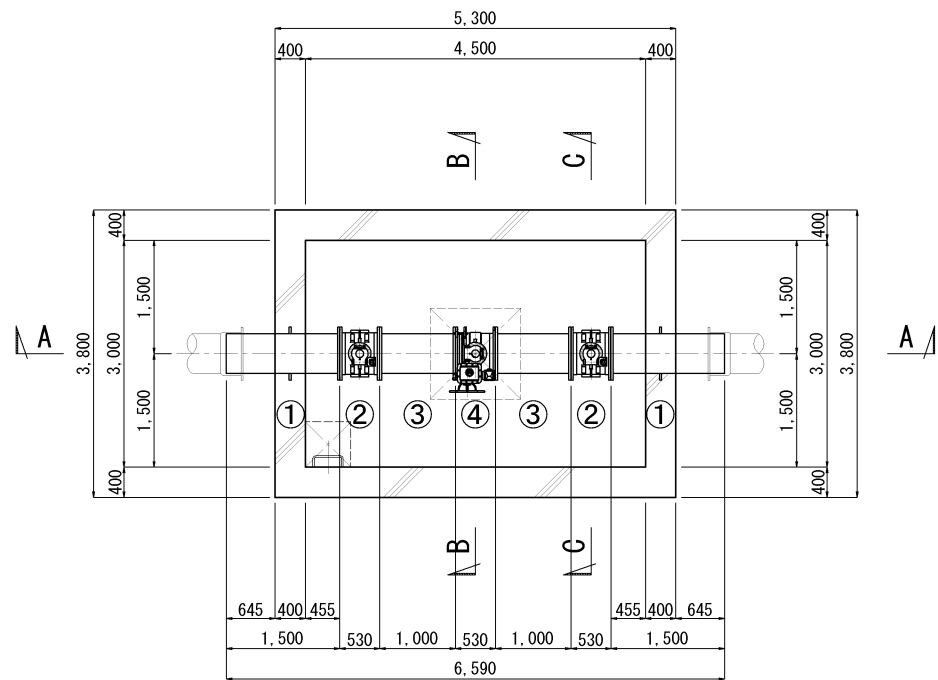
S=1/50

 $S=1/50$  $S=1/50$ 

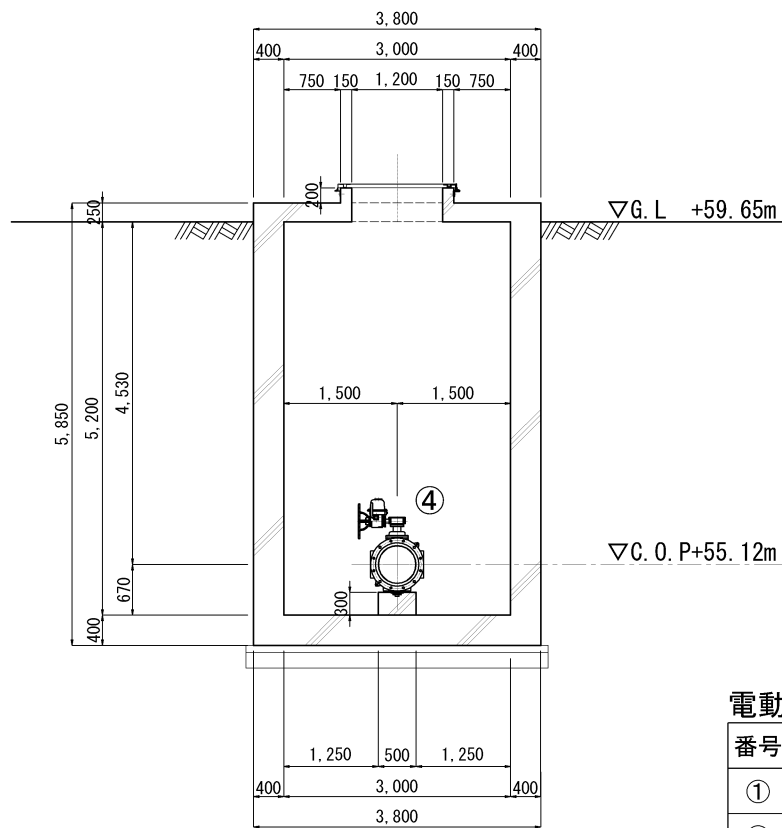
$S=1/50$

行橋市環境水道部上水道課

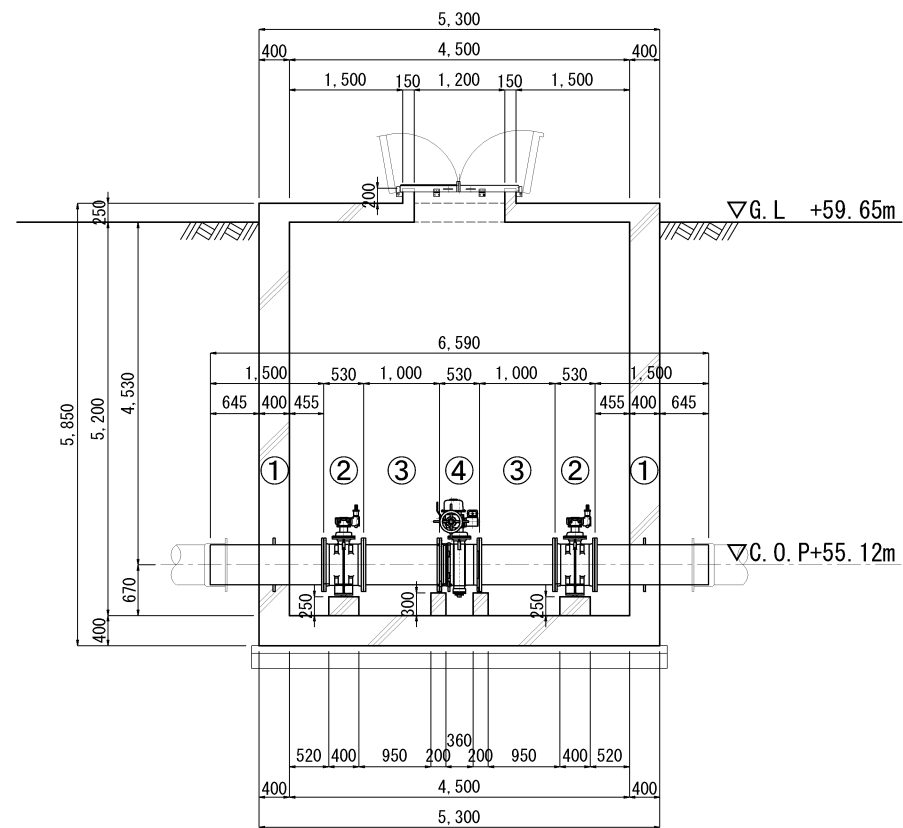




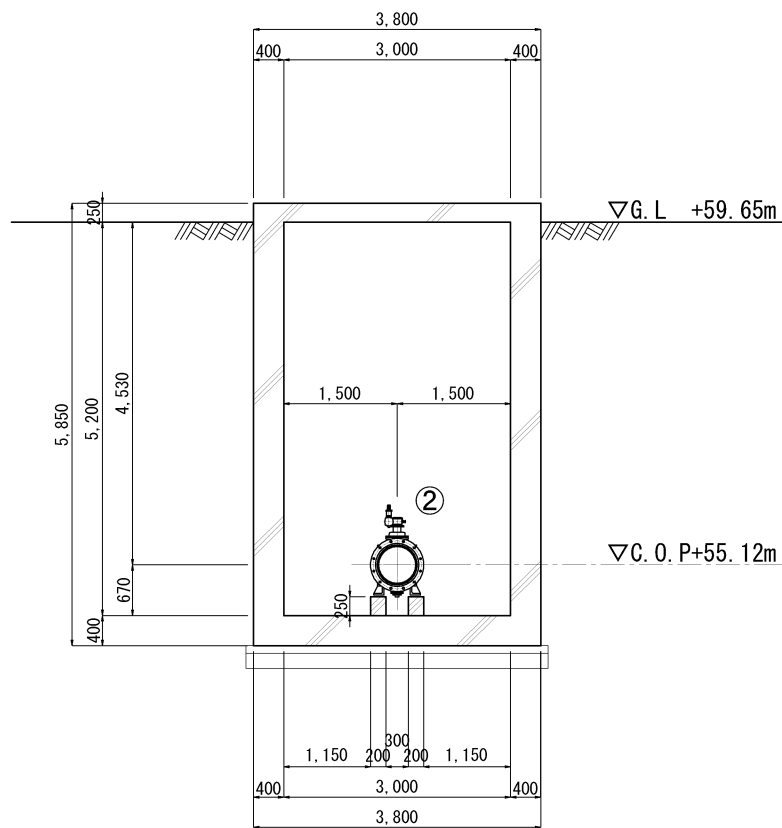
配管平面図



B-B断面図



A-A断面図



C-C断面図

電動弁室配管 材料表

番号	名 称	形 状 寸 法	備 考
①	DCIP 片フランジ短管	φ500×7.5KF 1,500L, 挿口N S加工	躯体埋込み
②	FCD 手動バタフライ弁	φ500×7.5KF, 縦型キャップ式	
③	DCIP 両フランジ短管	φ500×7.5KF 1,000L	
④	FCD 電動バタフライ弁	φ500×7.5KF, 縦型, 面間調整機能付	

※フランジ継手材は、SUS製とする。

件 名	矢留配水池築造工事				
図 名	電動弁室 付帯配管図			V-3	
縮 尺	1/50	承	設	製	
平成 29 年 月 日		認		図	
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課					

注記：弁基礎は、採用する弁形状に適宜合せること。

構造関係共通図

1. 1 適用範圍

- | | | | |
|----------|--------------------|------|--------|
| 土木
工事 | 1) 土木工事特記仕様書 | | |
| | 2) 図面（下記 3）以外の図面 | | |
| | 3) 構造関係共通図（配筋標準図） | | |
| | 4) コンクリート標準示方書・施工編 | 土木学会 | 2012年版 |
| | 5) コンクリート標準示方書・設計編 | 土木学会 | 2012年版 |

- ## 1. 2 鉄筋の仕様

1. 2. 1表 鉄筋の種類及び継手

1. 3 コンクリートの仕様

1. 3. 1 表 コンクリートの仕様

注1：無筋コンクリートには均しコンクリート、捨てコンクリートを含む。

- 碎石及び均しコンクリート、捨てコンクリートの厚さは1. 4. 1表 による。

部 位	種 別	厚 さ (mm)
土 木 工 事	砂利または碎石	※ 200
	均しコンクリート	※ 100

1 記号及び符号

径 区分	D 10	D 13	D 16	D 19	D 22	D 25	D 29	D 32
建 築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	⊕
土 木	● 又は建築による。							

--	--	--

3. 1 鉄筋の曲げ加工

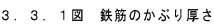
(2) d は、鉄筋直径（呼び名）を示す。

3. 2 異形鉄筋の末端部

3. 2. 1 図 異形鉄筋の末端部

3. 3 鉄筋のかぶり及び間隔

- 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



- 最小かぶり厚さは、3. 3. 1表による。

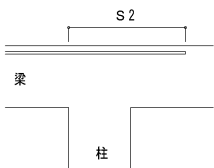
- (2) 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保して最小かぶり厚さを定める。

- (3) 溶接金網にも適用する。

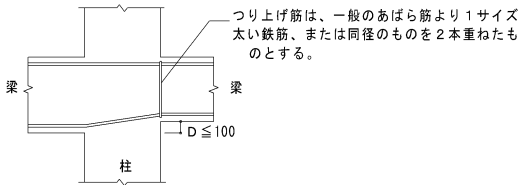
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	電動弁室構造関係共通図(1)					V-4
縮 尺	—		承 認	設 計	製 図	
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

3. 1 1 大梁筋の継手及び定着

3. 1 1. 1 一般事項
- (1) 継手長さ、定着長さ及び余長は、3. 1 1. 1 図から
3. 1 1. 1 0 図による。
- (2) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 1 1. 1 図のように対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- (3) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
- 上端筋：曲げ下ろす
- 下端筋：原則として曲げ上げる。
- 梁主筋のみ込み長さは、柱せいの3／4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)
- (4) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4とする。
- (5)  印は、継ぎ手及び余長を示す。
- (6) 破線は柱内定着の場合を示す。
- (7) 3. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。
- (8) 段違い梁は3. 1 1. 2 図による。



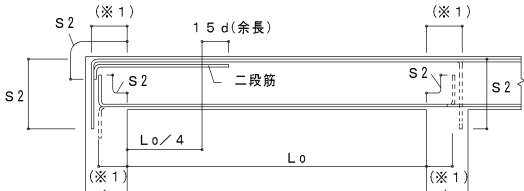
3. 1 1. 1 図 梁主筋を柱内定着



3. 1 1. 2 図 段違い梁

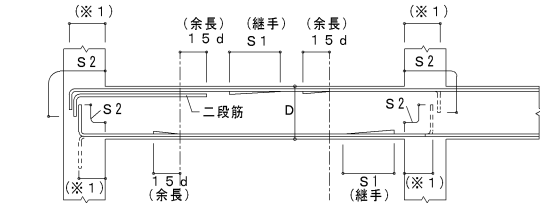
3. 1 1. 2 ハンチのない場合

(1) 最上階の場合

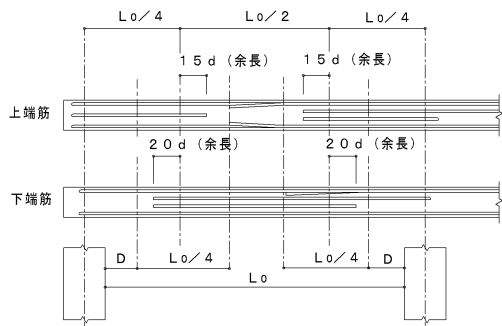


3. 1 1. 3 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

(2) 一般階の場合



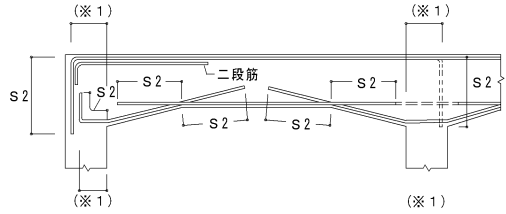
3. 1 1. 4 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3. 1 1. 5 図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

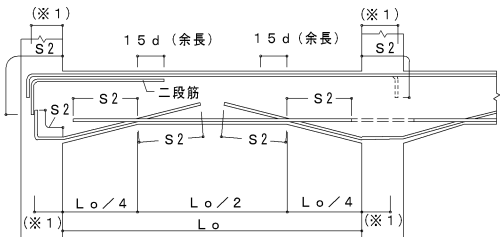
3. 1 1. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



3. 1 1. 6 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

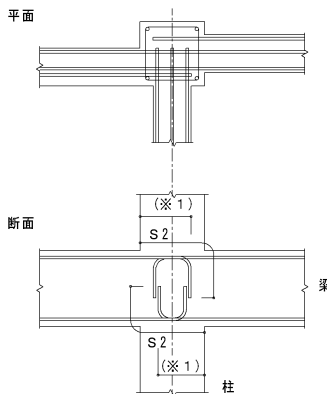
(2) 一般階の場合



3. 1 1. 7 図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

3. 1 1. 4 水平段差のある場合

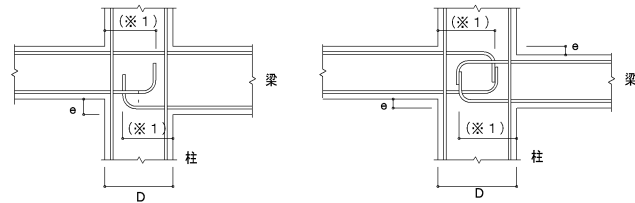
(1) 水平段差のある場合



3. 1 1. 8 図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

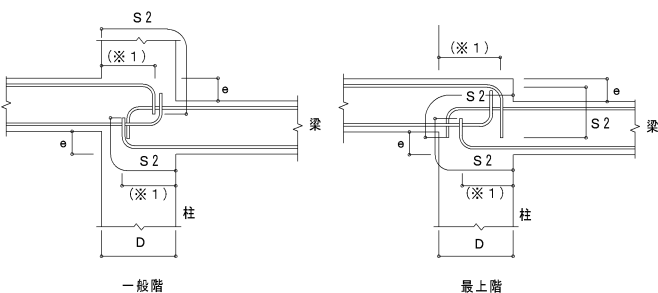
3. 1 1. 5 鉛直段差（e）のある場合

(1) e／D≦1／6の場合



3. 1 1. 9 図 鉛直段差梁（その1）

(2) e／D>1／6の場合



3. 1 1. 10 図 鉛直段差梁（その2）

3. 1 2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3. 1 2. 1 一般事項

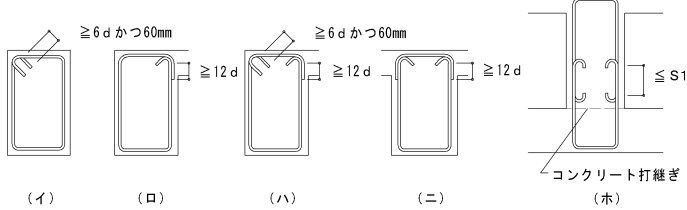
- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- (2) 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS1、定着長さをS2とする。
- (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13－1000mmピッチ程度とする。
- (5) 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1 2. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (1) 形は、3. 1 2. 1 図（イ）を標準とする。
- ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。
- a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）
- b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

(2) フックの位置

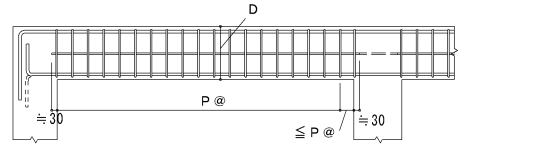
- a. （イ）の場合は交互とする。
- b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側
- 床版が両側に付く場合は交互
- c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げる。
- d. （ホ）は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1.5m以上の場合に適用することが出来る。（基礎梁）



3. 1 2. 1 図 あばら筋組立の形及びフックの位置

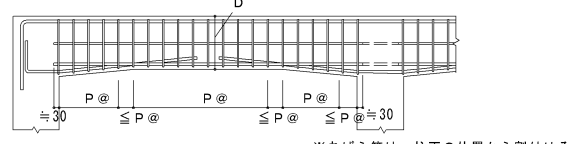
3. 1 2. 3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一律でハンチのない場合



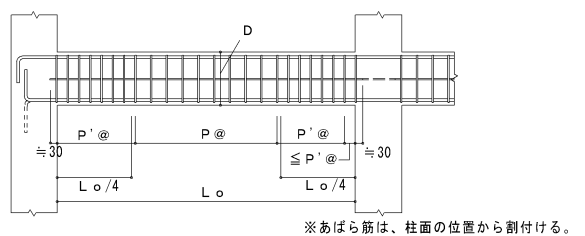
3. 1 2. 2 図 あばら筋の割付け（その1）

(2) 間隔が一律でハンチのある場合



3. 1 2. 3 図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

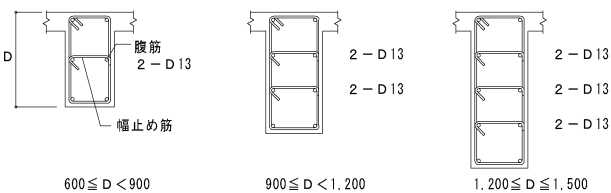


3. 1 2. 4 図 あばら筋の割付け（その3）

3. 1 2. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



3. 1 2. 5 図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

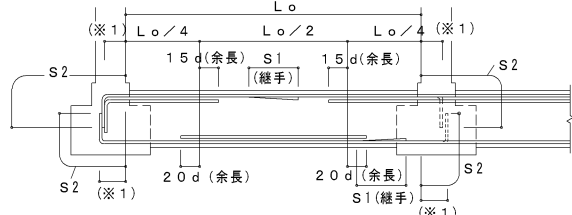
3. 1 3 基礎梁及び底版の継手及び定着

3. 1 3. 1 一般事項

- (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、3. 1 1. 1 (3) による。
- (3) 柱幅<梁幅の場合の定着は、3. 1 3. 3 図による。
- (4)  印は、継ぎ手及び余長を示す。
- (5) 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1 3. 2 基礎梁の場合

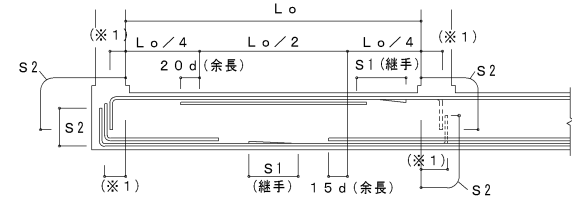
(1) 基礎梁の継手及び定着



3. 1 3. 1 図 主筋の継手、定着及び余長（その1）

3. 1 3. 3 連続基礎及びべた基礎の場合

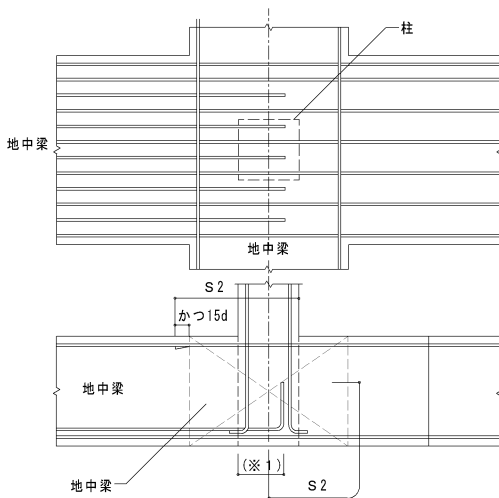
(1) 柱幅≧梁幅の場合



3. 1 3. 2 図 主筋の継手、定着及び余長（その2）

(2) 柱幅<梁幅の場合

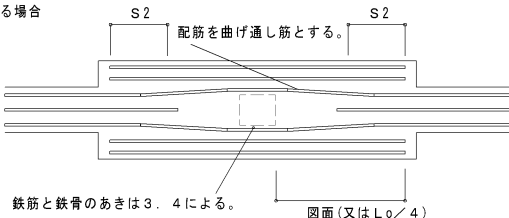
(a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3. 1 3. 3 図 主筋の継手、定着及び余長（その3）

3. 1 3. 4 梁形を設けない場合の基礎底版

- (1) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3. 1 3. 4 図 主筋の継手、定着及び余長（その4）

件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	電動弁室構造関係共通図 (3)					V-6
縮 尺	—		承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

3. 1 4 小梁及び片持梁の配筋要領

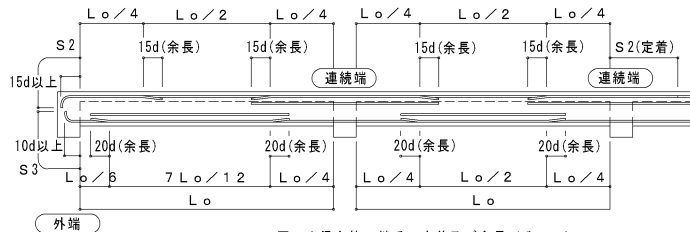
3. 1 4. 1 一般事項

- (1) 図面でない事項は大梁、梁のあば筋、及び基礎梁の項に準ずる。
(2)  印は、余長位置を示す。

3. 1 4. 2 小 梁

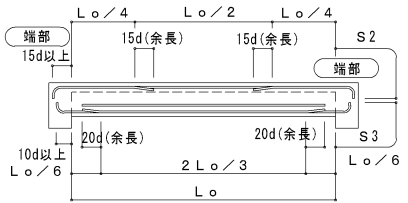
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

(1) 連続小梁の場合



3. 1 4. 1 図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その1）

(2) 単独小梁の場合

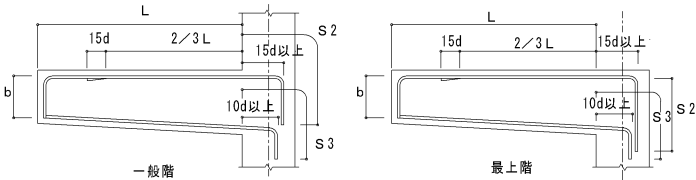


3. 1 4. 2 図 小梁主筋の継手、定着及び余長（その2）

3. 1 4. 3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

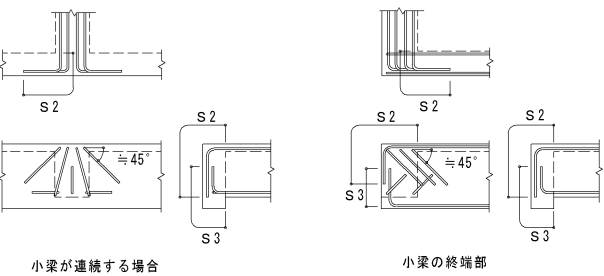
- a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



3. 1 4. 3 図 片持梁主筋の定着及び余長（先端に小梁がない場合）

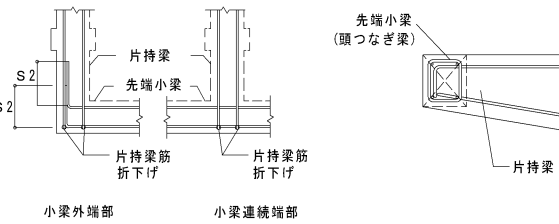
(2) 先端に小梁がある場合

- a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



小梁が連続する場合

小梁の終端部



小梁外端部

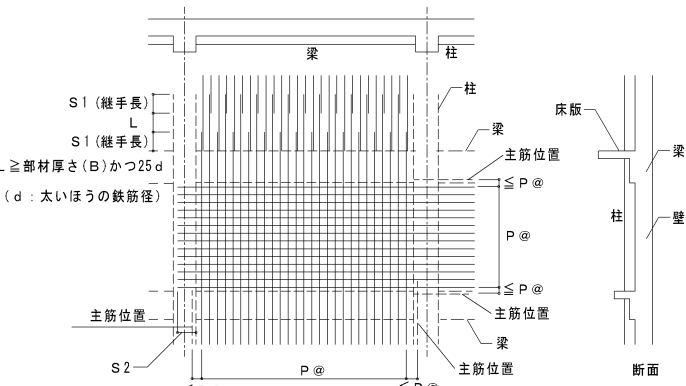
小梁連続端部

3. 1 4. 4 図 片持梁主筋の定着

3. 1 5 壁の配筋要領

3. 1 5. 1 一般事項

- (1) 壁配筋の継手長さをS1、定着の長さは、S2とする。
(2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをS1、定着長さをS2とする。
(3) 幅止め筋は、縦、横ともD13-@1000mmを標準とする。
(4) 一般部壁筋は、3. 1 5. 1 図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手をつける場合は、3. 6 項に従うものとする。



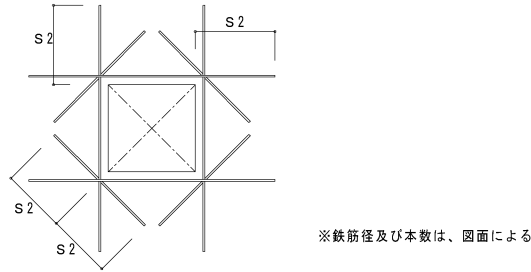
3. 1 5. 1 図 壁の配筋

3. 1 5. 2 耐震壁の開口

- (1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。
(2) やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

3. 1 5. 3 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3. 1 5. 2 図を標準とする。



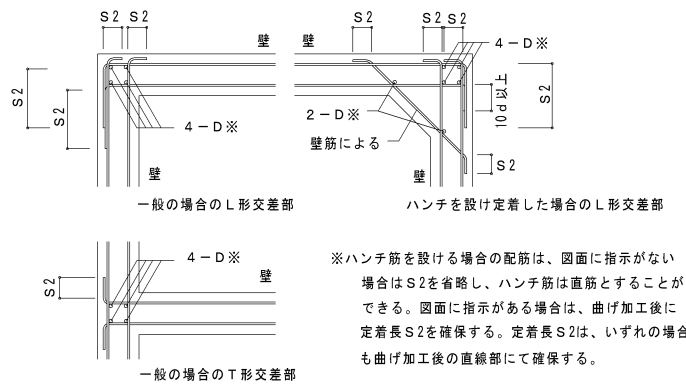
3. 1 5. 2 図 壁開口部の補強要領

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3. 1 5. 4 壁の交差部及び端部

- (1) 壁と壁の交差部は3. 1 5. 3 図による。

- a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



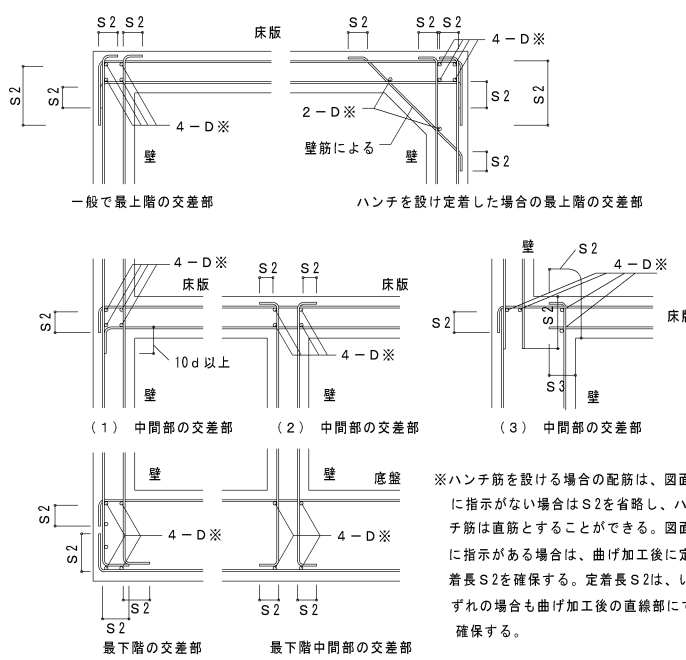
一般の場合のT形交差部

※ハンチ筋を設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はS2を省略し、ハンチ筋は直筋とすることができる。図面に指示がある場合は、曲げ加工後に定着長S2を確保する。定着長S2は、いずれの場合も曲げ加工後の直線部にて確保する。

3. 1 5. 3 図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

- (2) 壁と床版の交差部は3. 1 5. 4 図による。

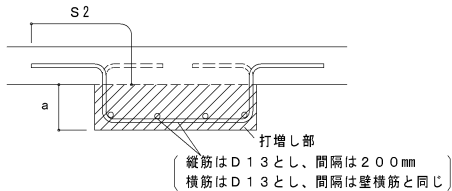
- a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



3. 1 5. 4 図 壁と床の交差部及び端部の配筋

3. 1 7 壁の打増し要領

- (1) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、3. 1 7. 1 図による。打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。200mmを越える場合は、特記による。

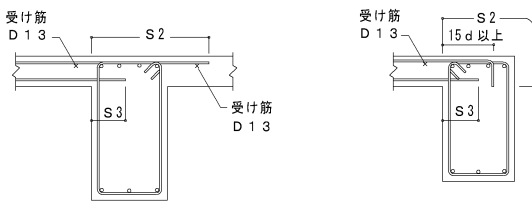


3. 1 7. 1 図 壁の打増し補強配筋

3. 1 8 床の配筋要領

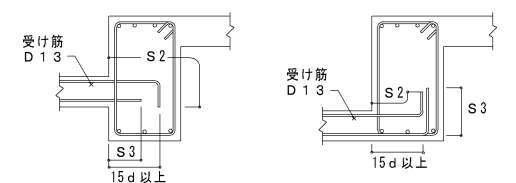
3. 1 8. 1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、S1とする。
(2) 定着長さ及び受け筋は、3. 1 8. 1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、3. 1 8. 2 図、3. 1 8. 3 図により梁内に定着する。
(3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面になければ3. 2 0. 5 図による。



3. 1 8. 1 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その1）

3. 1 8. 2 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その2）

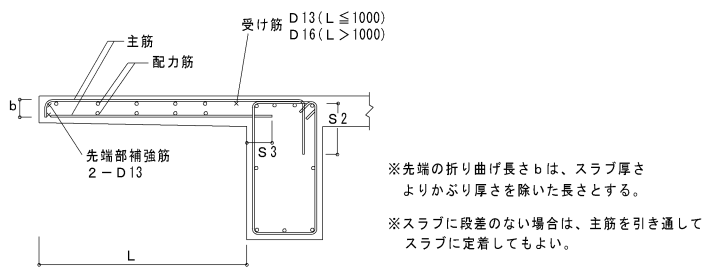


一般床版

3. 1 8. 3 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その3）

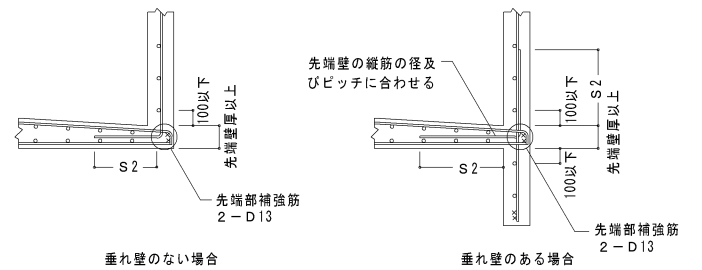
3. 1 8. 2 片持スラブ

- (1) 片持スラブの配筋



3. 1 8. 4 図 片持スラブの配筋

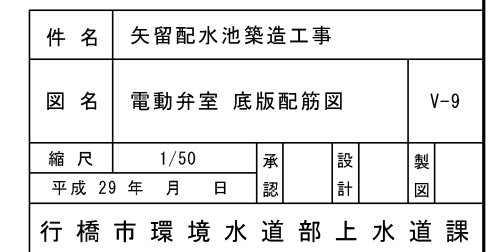
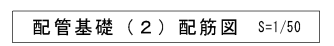
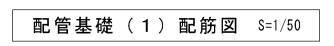
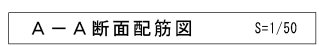
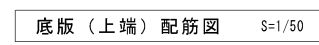
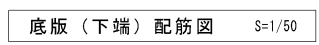
- (2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合

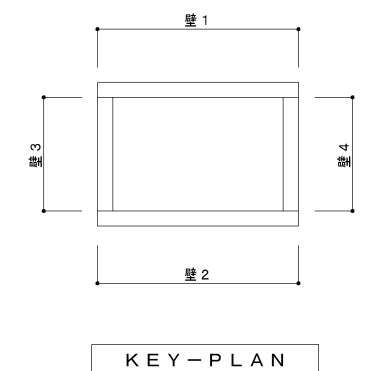
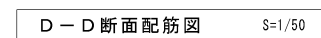
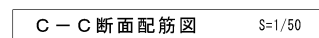
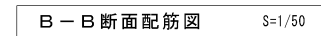
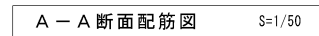


3. 1 8. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋

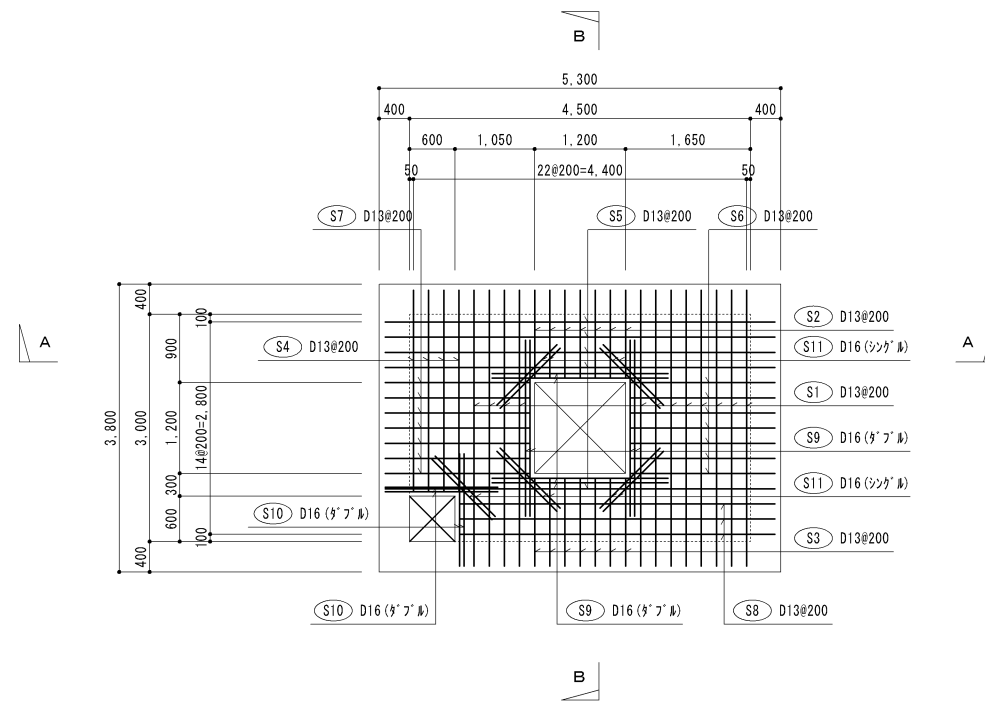
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	電動弁室構造関係共通図 (4)					V-7
縮 尺	—		承 認	設 計	製 図	
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	電動弁室構造関係共通図 (5)					V-8
縮 尺	一	承 認		設 計	製 図	
平成 29 年 月 日						
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

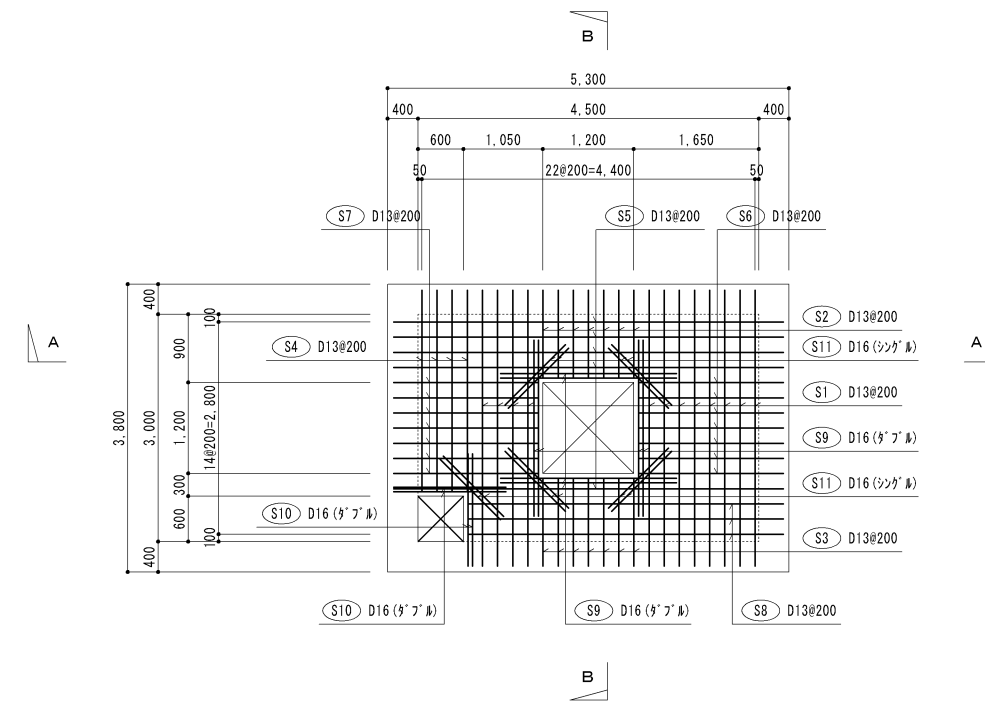




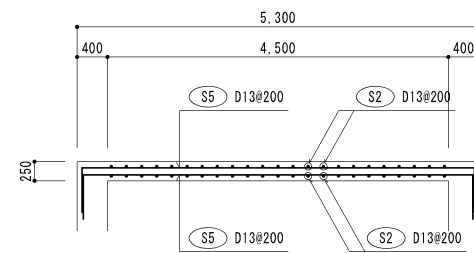
件 名		矢留配水池築造工事					
図 名		電動弁室 壁配筋図					V-10
縮 尺		1/50	承 認		設 計		製 図
平成 29 年 月 日			認		計		図
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課							



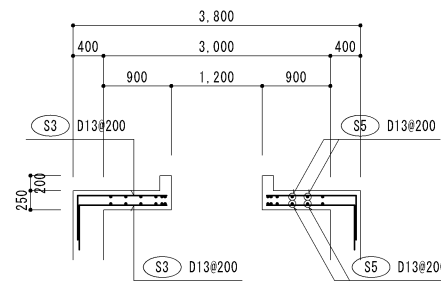
頂版（下端）配筋図 S=1/50



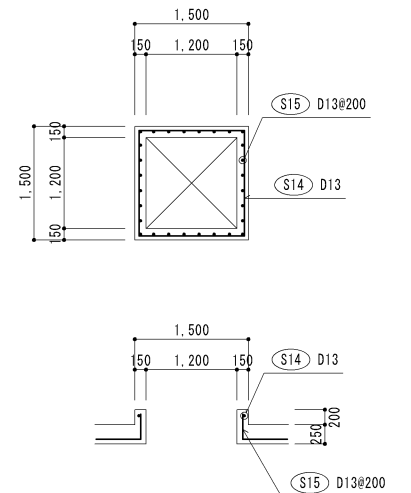
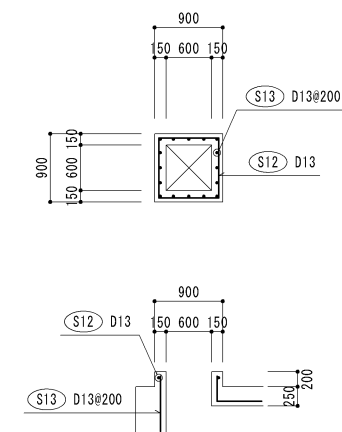
頂版（上端）配筋図 S=1/50



A-A断面配筋図 S=1/50

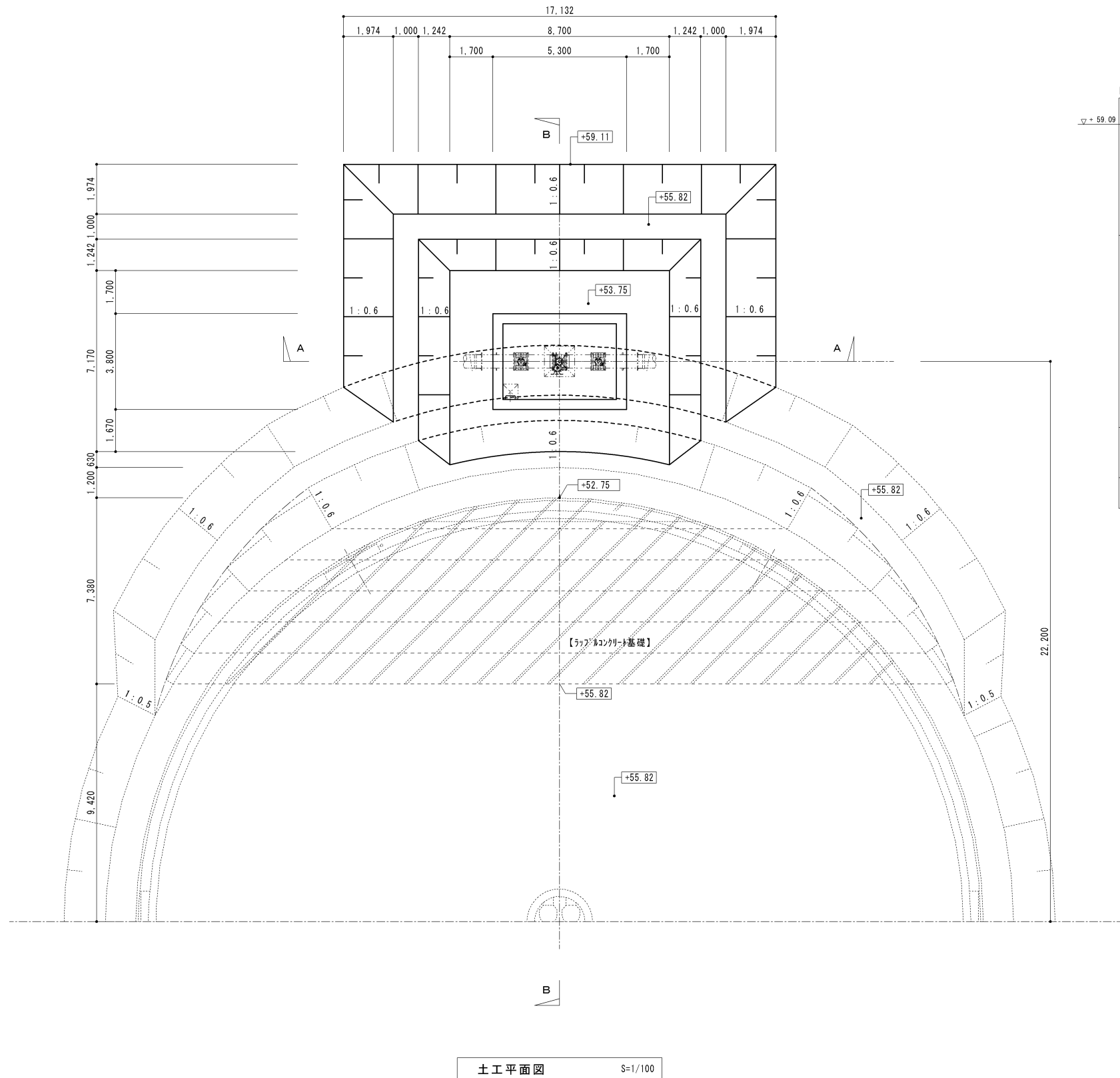


B-B断面配筋図 S=1/50

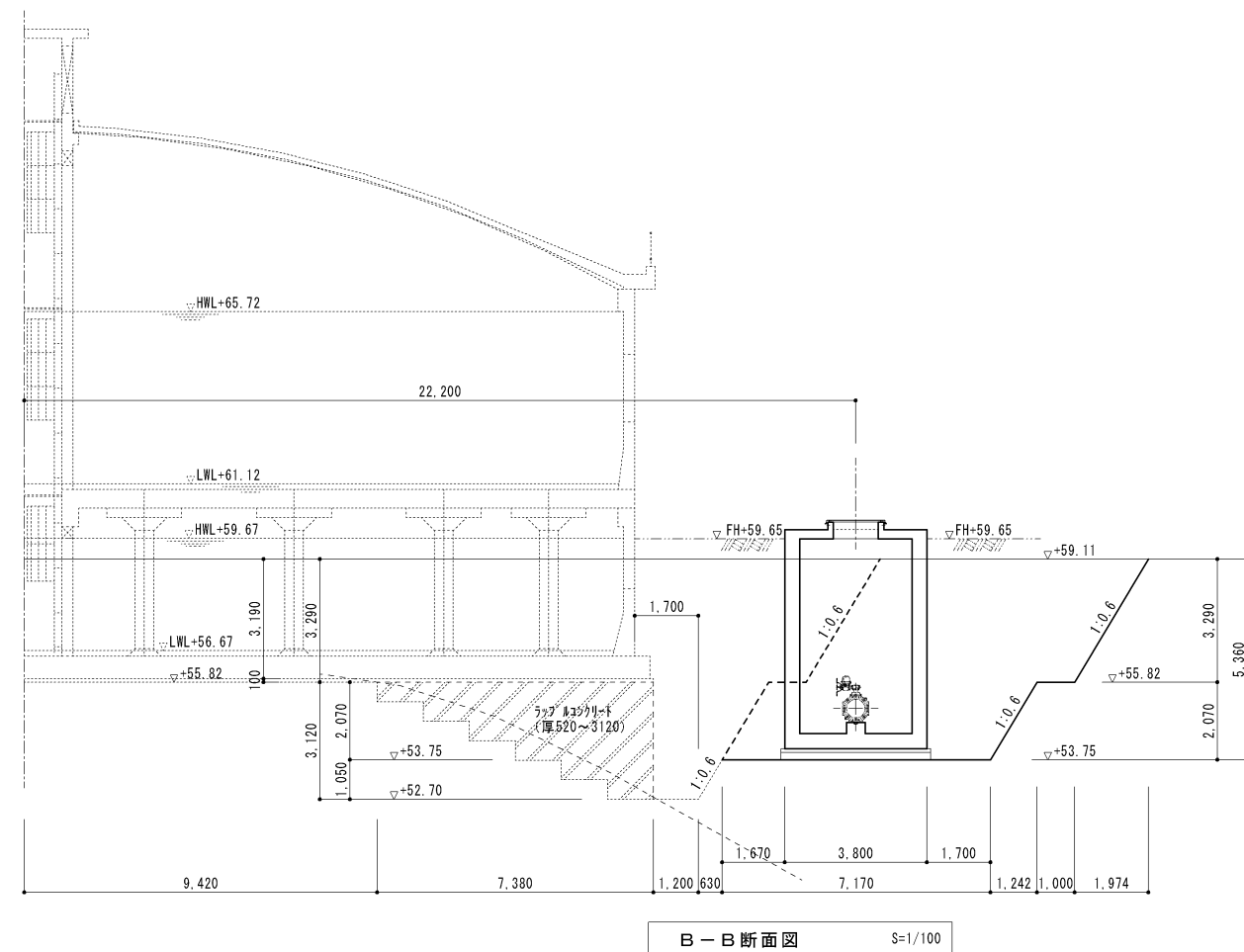
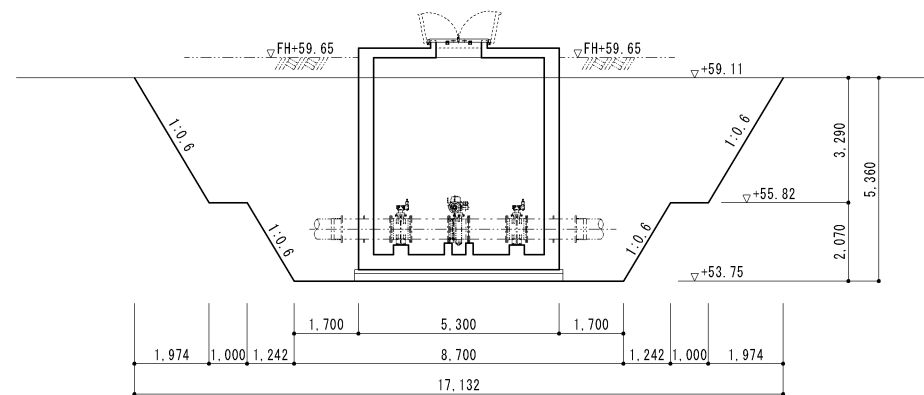


開口立上り部配筋図 S=1/50

件名	矢留配水池築造工事				
図名	電動弁室 頂版配筋図				V-11
縮尺	1/50	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

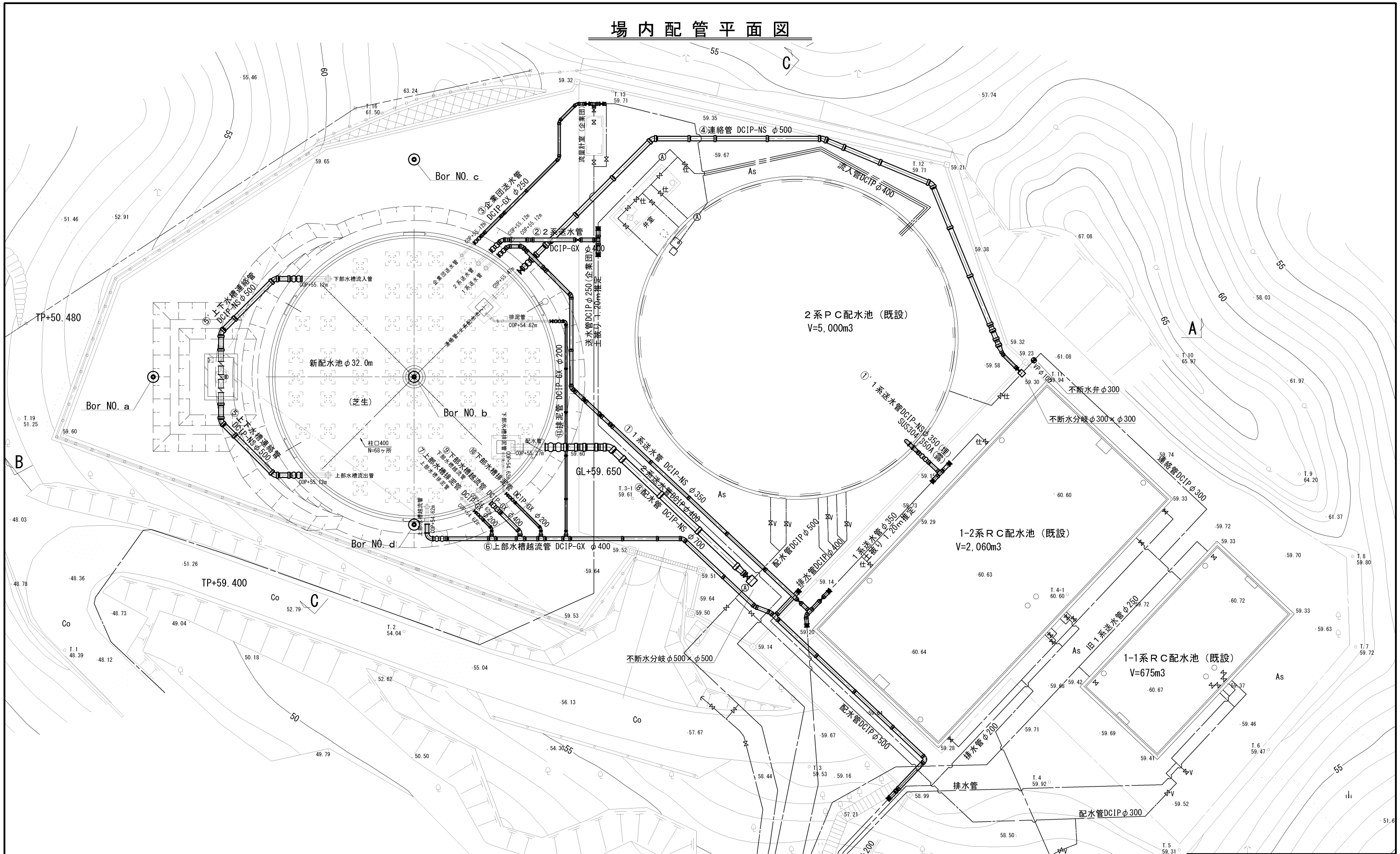


Bor-N o. a				N 値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
▽ + 59.09	標 高	層 厚	土 質 名	土 質 記 号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					



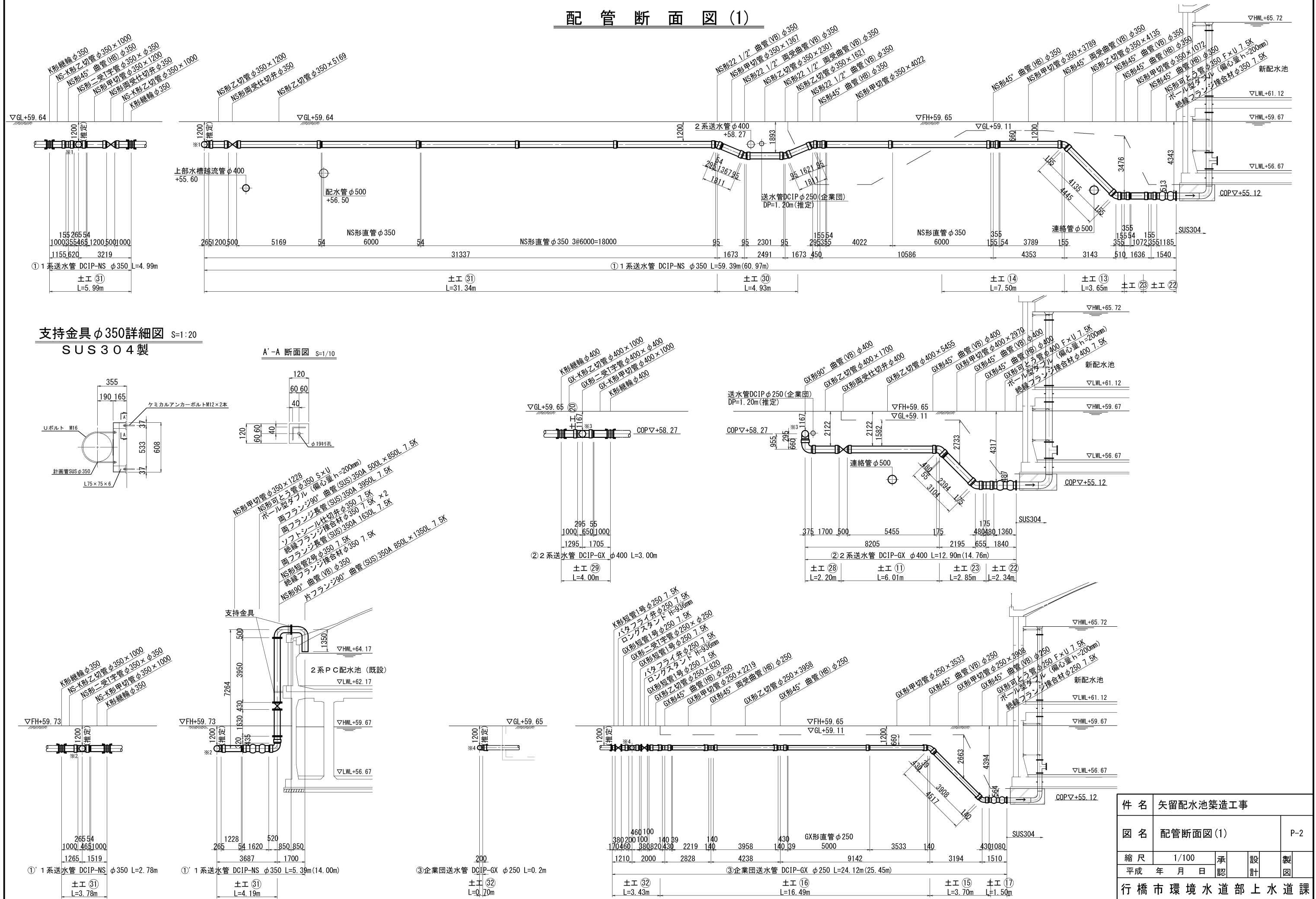
件名	矢留配水池築造工事				
図名	電動弁室 土工図				V-12
縮尺	1/100	承認	設計	製図	
平成 29 年 月 日					
行橋市環境水道部上水道課					

場内配管平面図



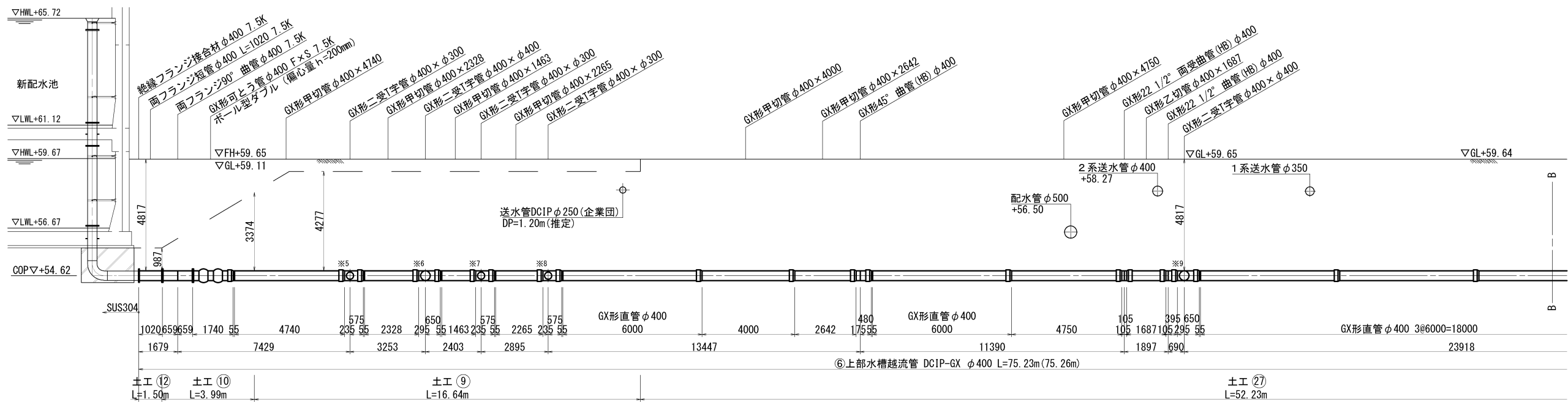
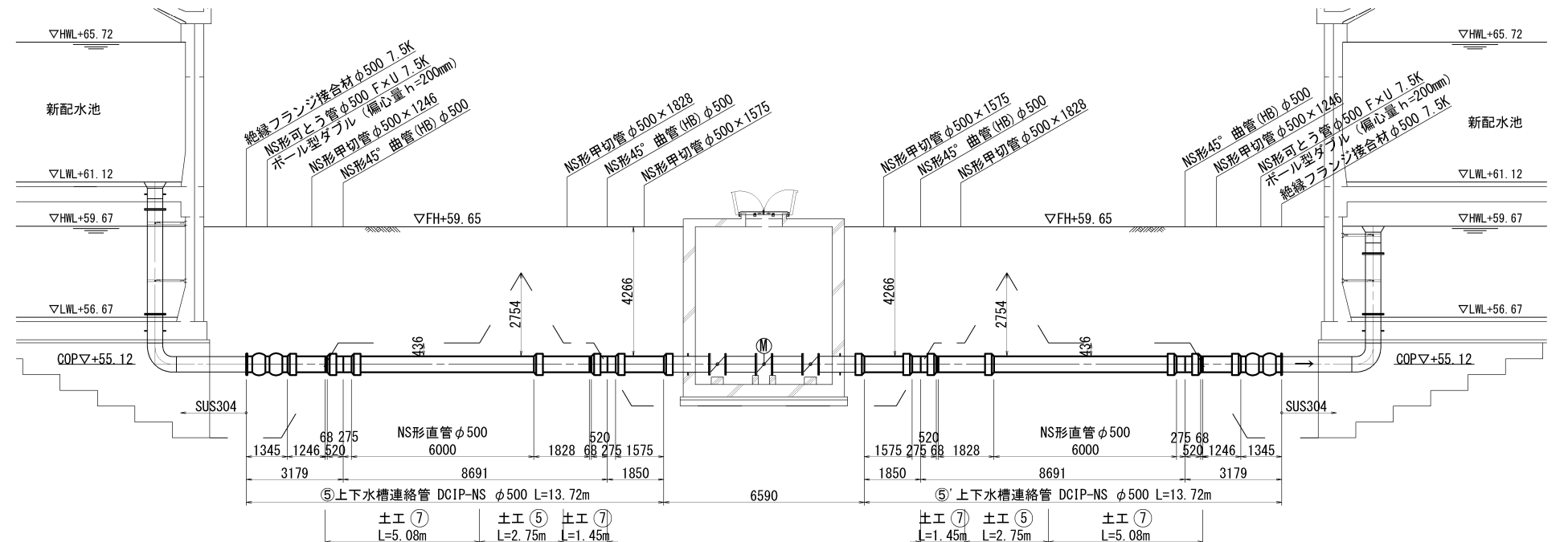
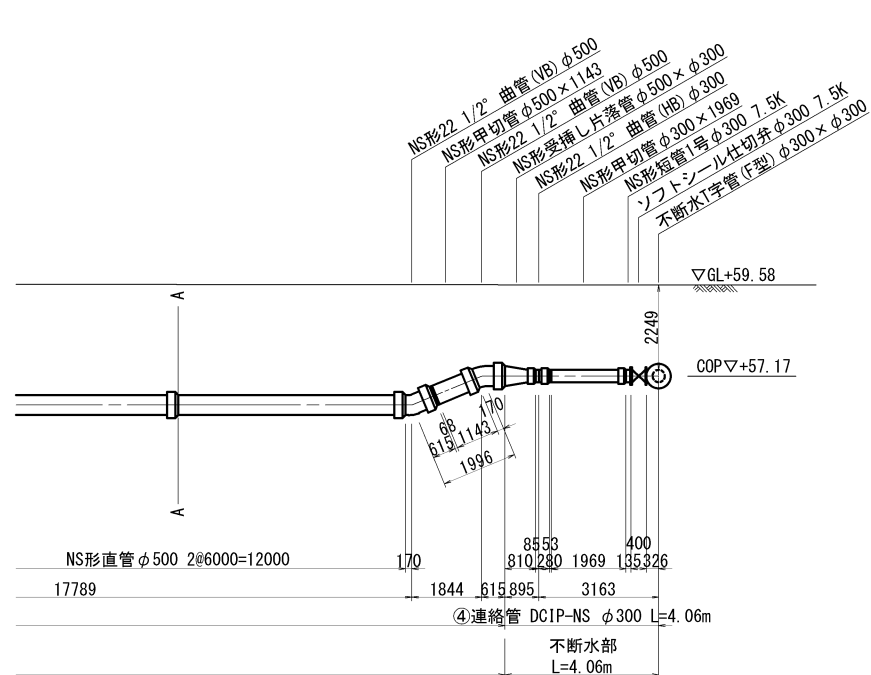
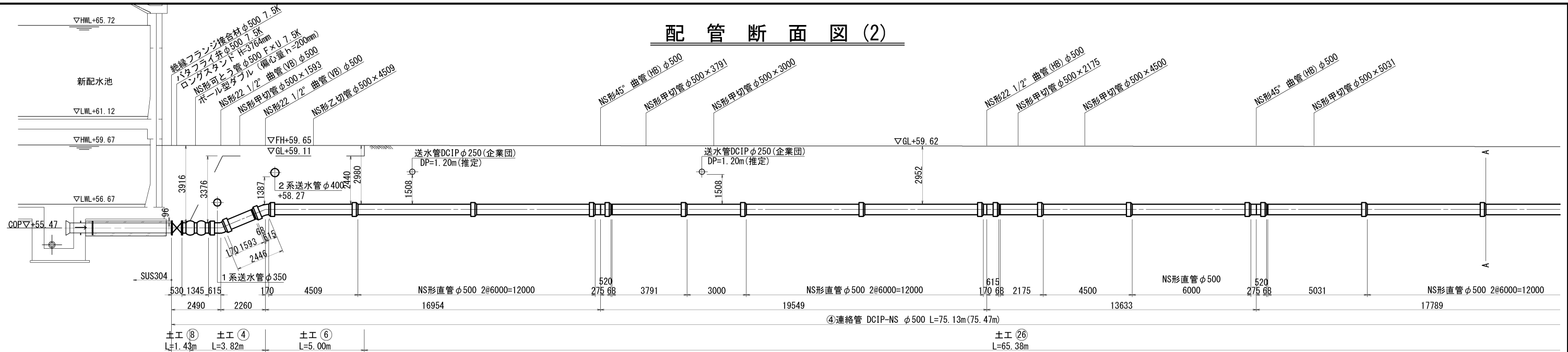
件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	場内配管平面図			P-1
縮 尺	1/200	承	設	製
平成	年	月	日	認
行橋市環境水道部上水道課				

配管断面図(1)



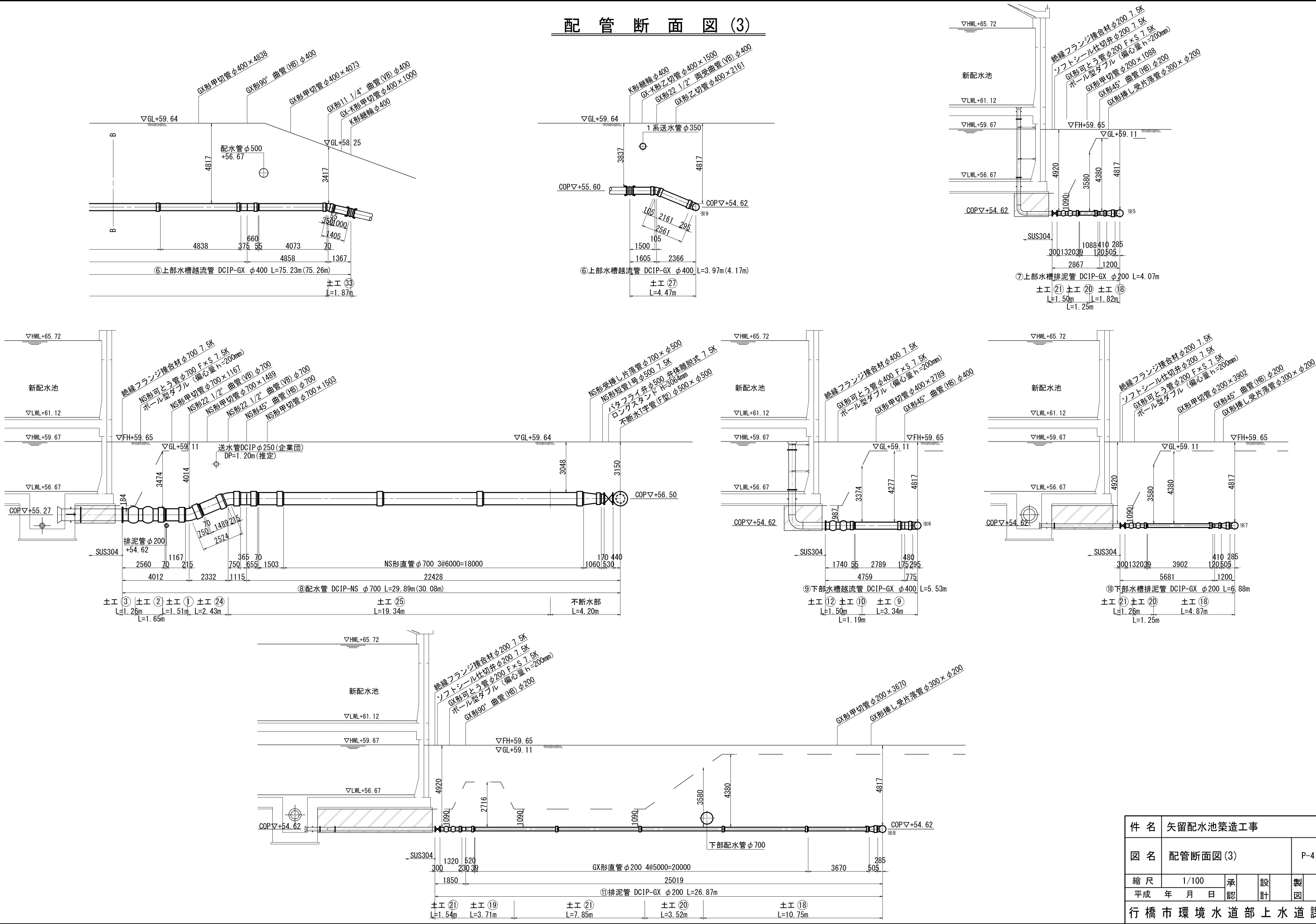
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	配管断面図(1)					P-2
縮 尺	1/100		承 認	設 計	製 図	
平成	年	月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

配管断面図 (2)



件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	配管断面図(2)					P-3
縮 尺	1/100		承 認	設 計	製 図	
平成	年	月	日			
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

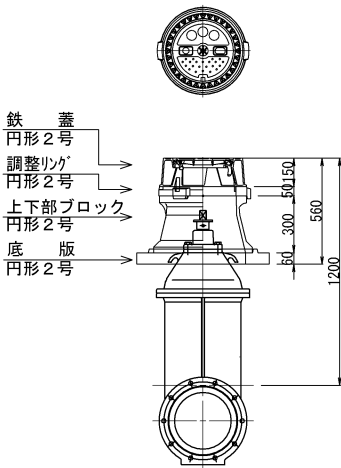
配管断面図(3)



仕切弁室標準図

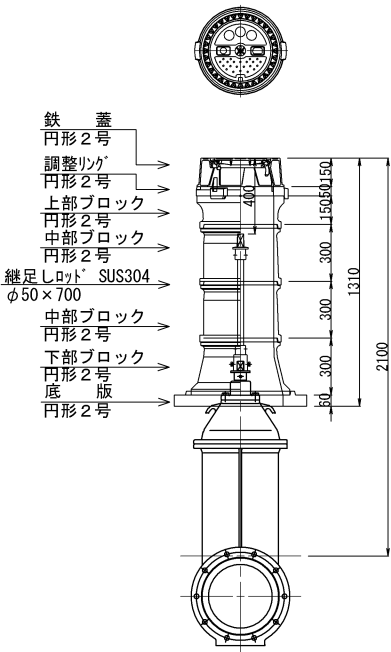
① 1系送水管 2箇所

H=1.20m
φ 350



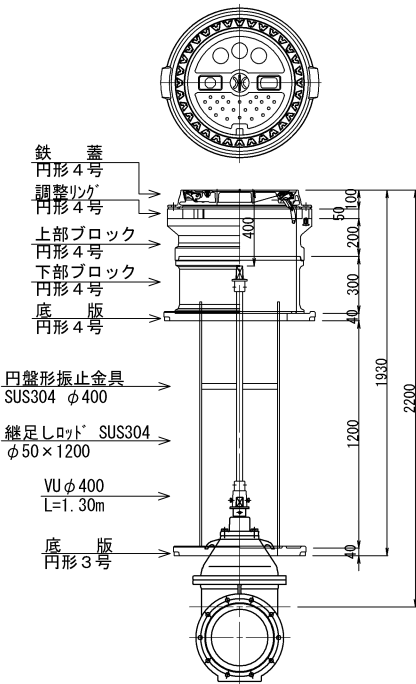
② 2系送水管 1箇所

H=2.10m
φ 400



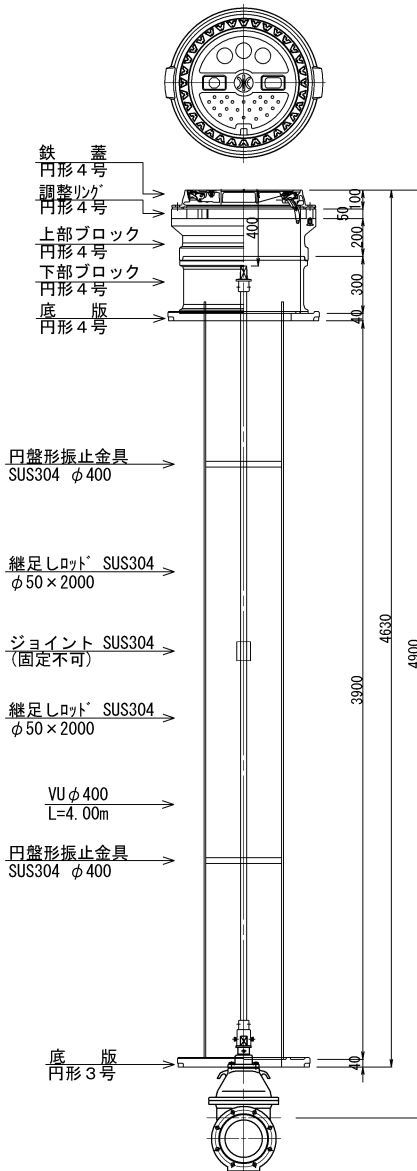
④ 連絡管 2箇所

H=2.20m
φ 300



⑦ 上部水槽排泥管 1箇所
⑩ 下部水槽排泥管 1箇所
⑪ 排泥管 1箇所

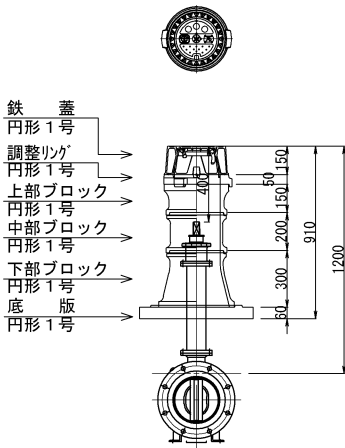
H=4.90m
φ 200



バタフライ弁室標準図

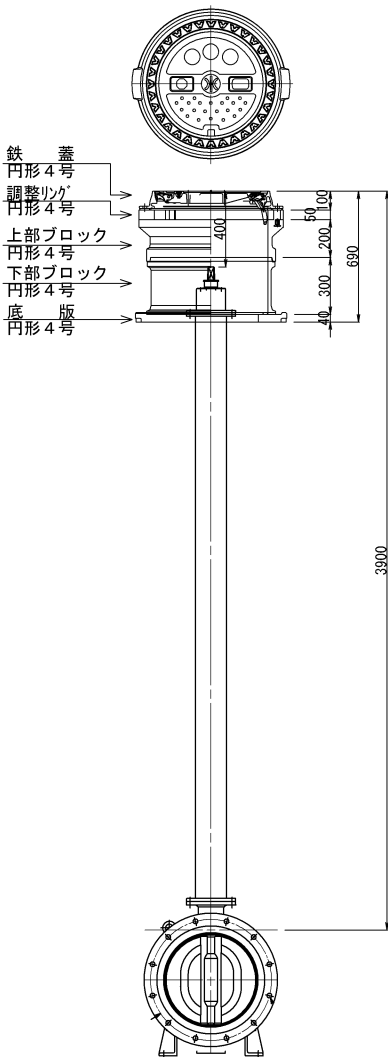
③ 企業団送水管 2箇所

H=1.20m
φ 250



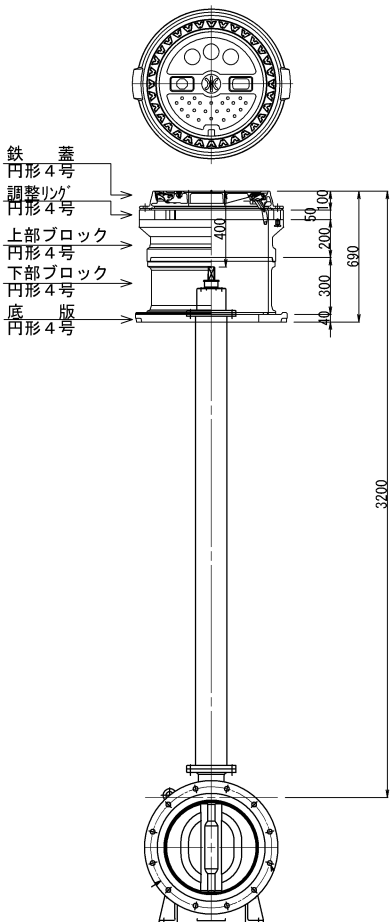
④ 連絡管 1箇所

H=3.90m
φ 500



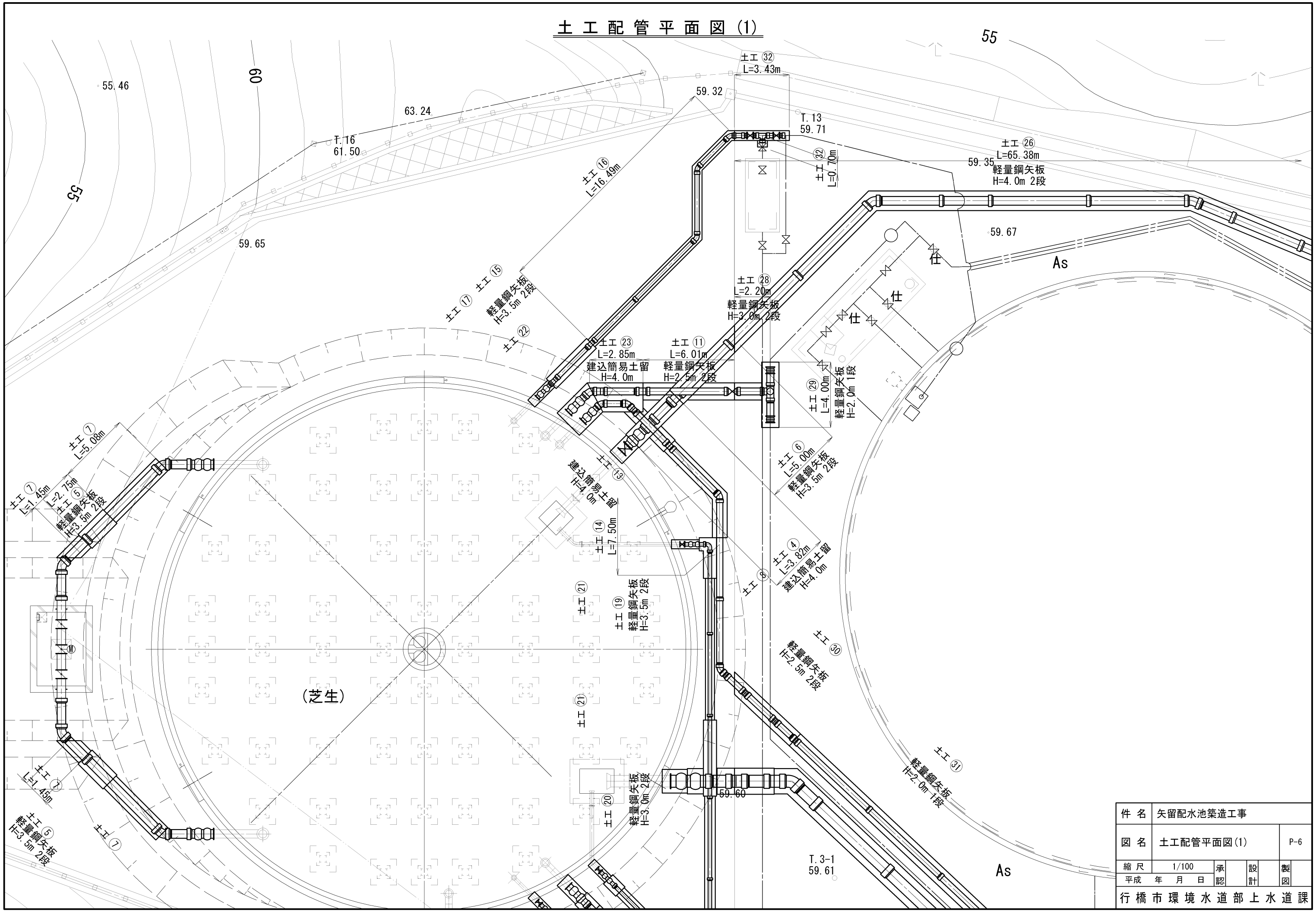
⑧ 配水管 1箇所

H=3.20m
φ 500



件名	矢留配水池築造工事			
図名	仕切弁・バタフライ弁室標準図			P-5
縮尺	1/20	承認	設計	製図
平成	年	月	日	
行橋市環境水道部上水道課				

土工配管平面図(1)



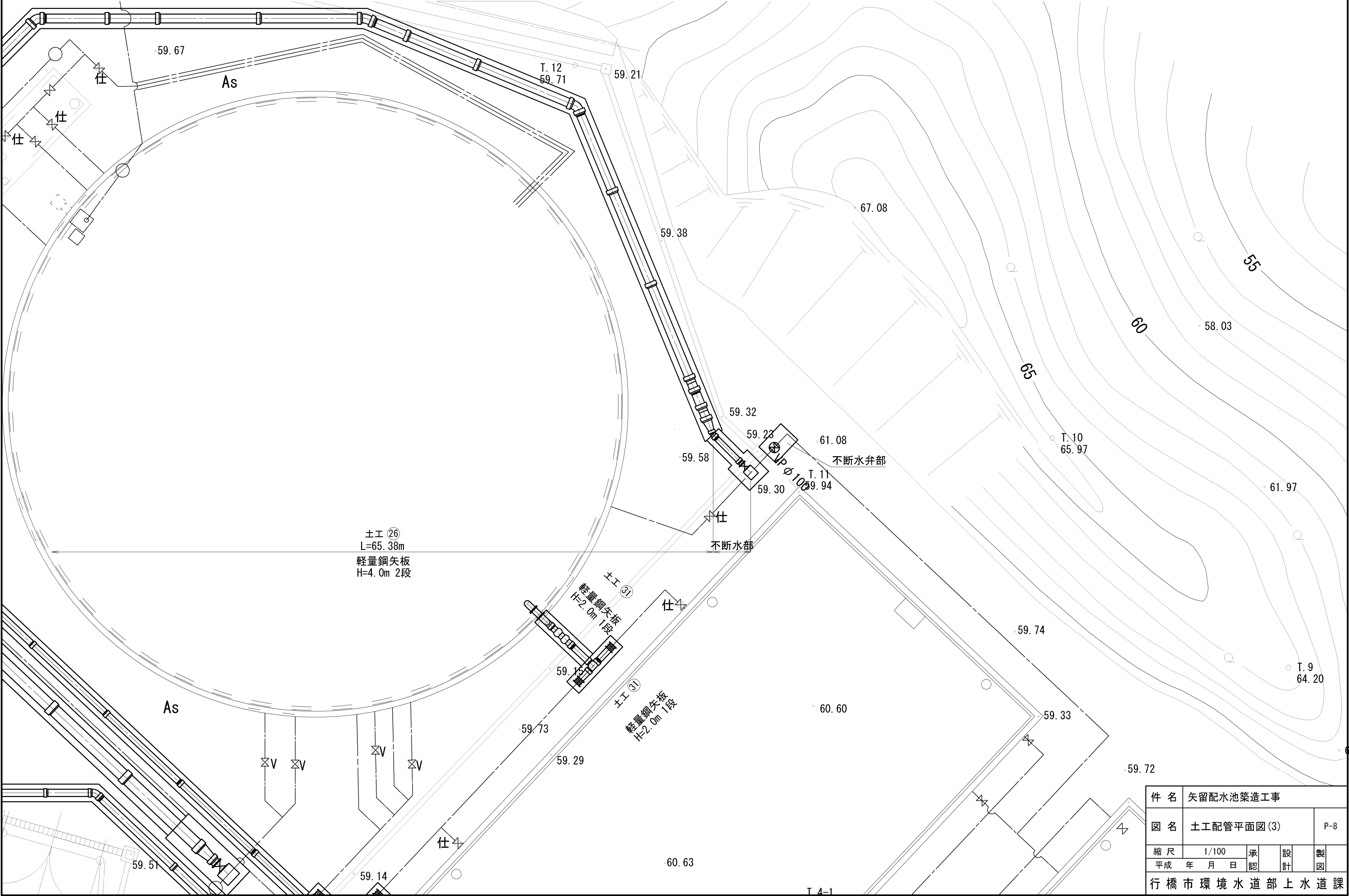
件名	矢留配水池築造工事			
図名	土工配管平面図(1)			P-6
縮尺	1/100	承認	設計	製図
平成 年 月 日				
行橋市環境水道部上水道課				

土工配管平面图 (2)

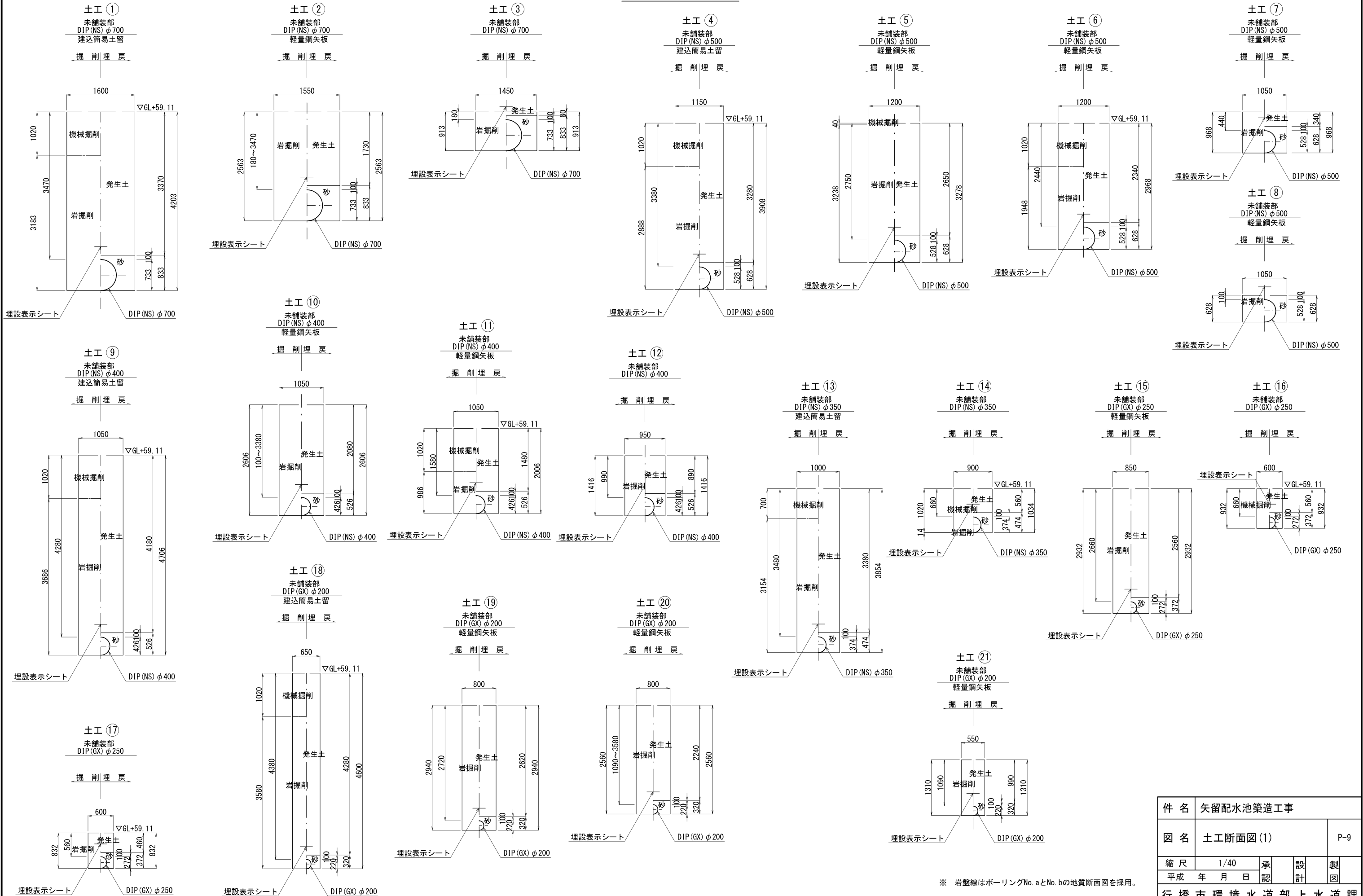


件 名						矢留配水池築造工事					
図 名			土工配管平面図(2)						P-7		
縮 尺		1/100		承 認		設 計		製 図			
平成		年 月 日		認		計		図			
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課											

土工配管平面図(3)



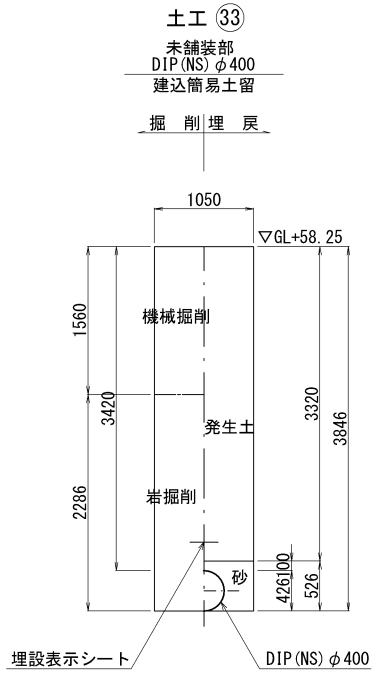
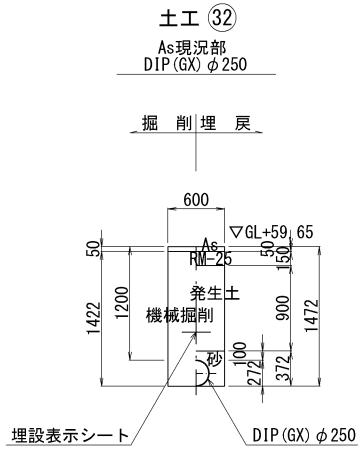
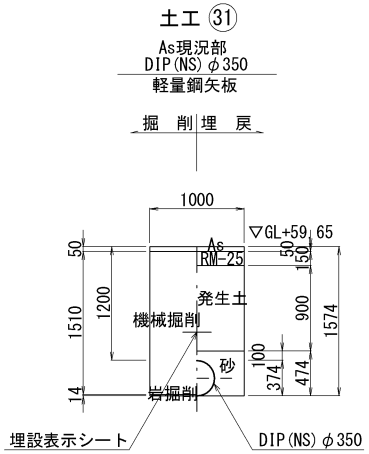
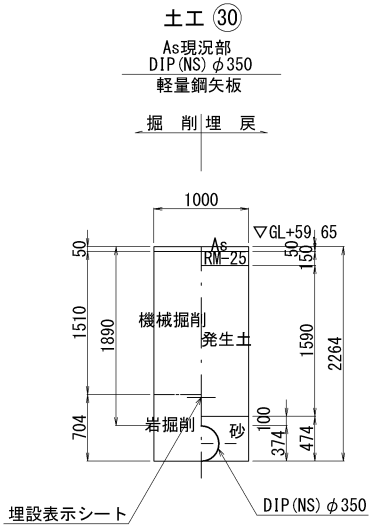
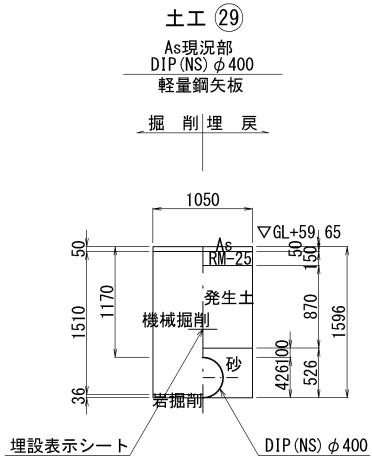
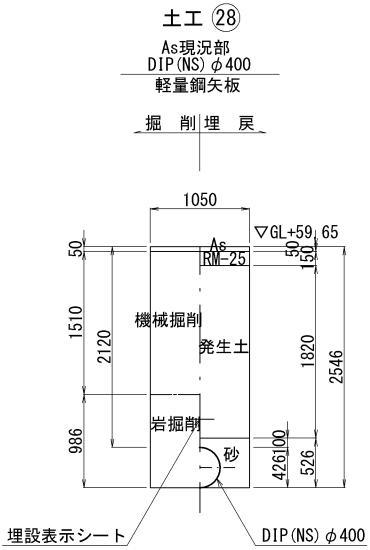
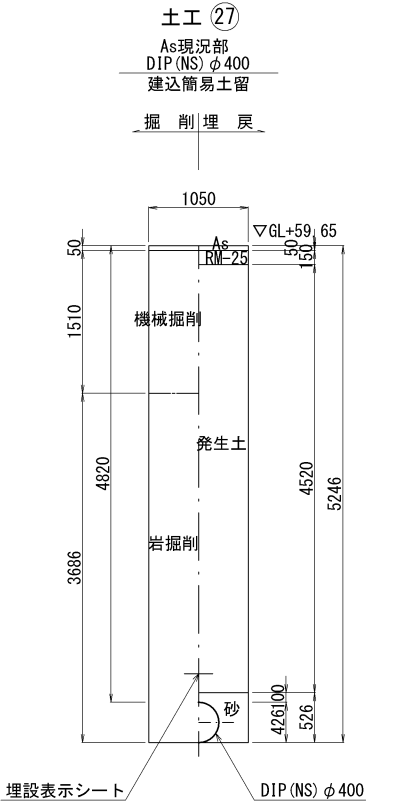
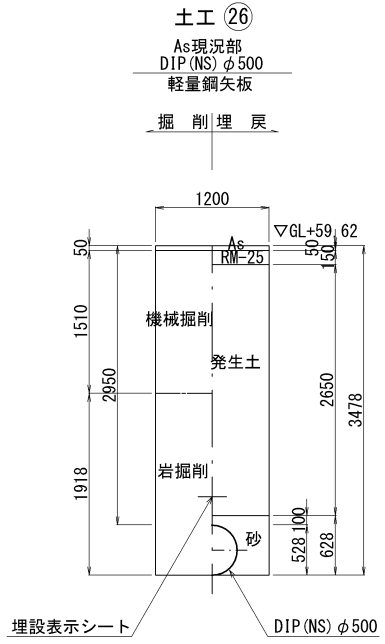
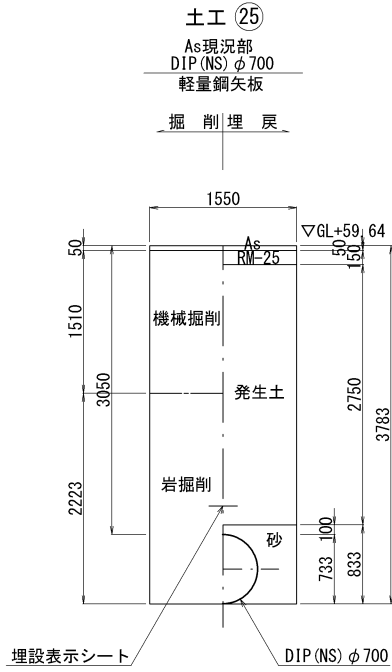
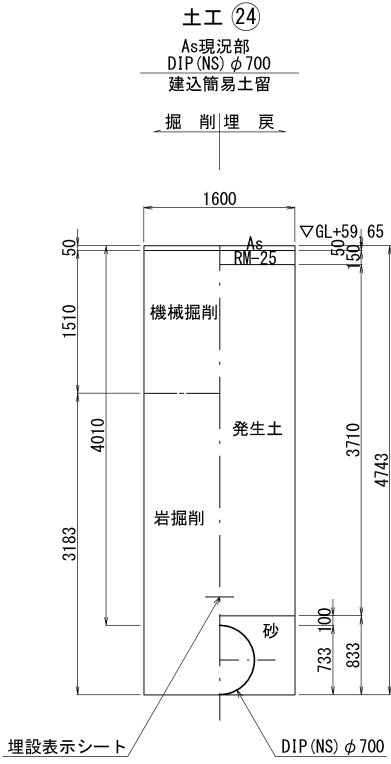
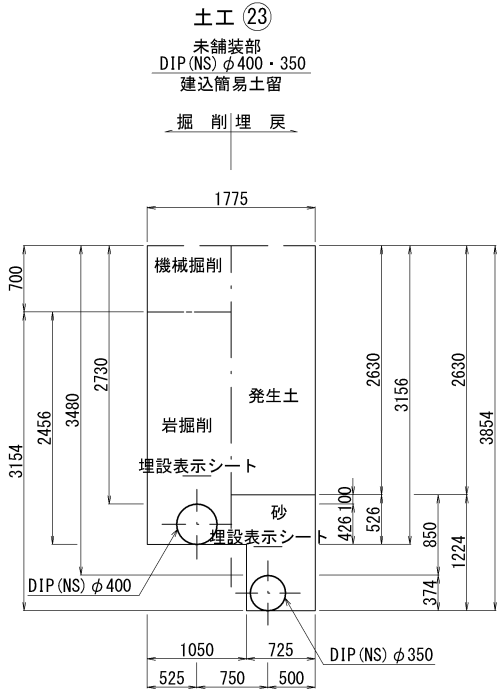
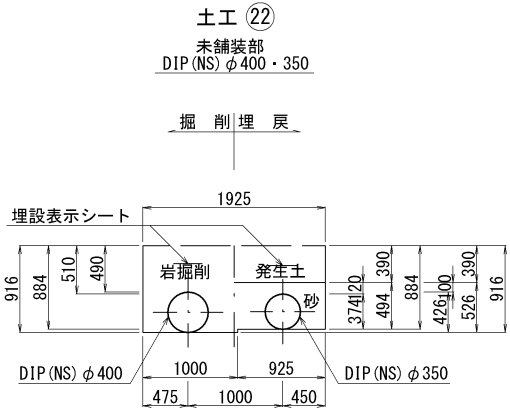
土工断面図(1)



※ 岩盤線はボーリングNo. aとNo. bの地質断面図を採用。

件名	矢留配水池築造工事			
図名	土工断面図(1)			P-9
縮尺	1/40	承認	設計	製図
平成	年	月	日	
行橋市環境水道部上水道課				

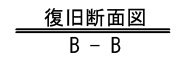
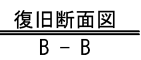
土工断面図(2)



件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	土工断面図(2)					P-10
縮 尺	1/40		承 認	設 計	製 図	
平成	年	月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

※ 岩盤線はボーリングNo. aとNo. bの地質断面図を採用。

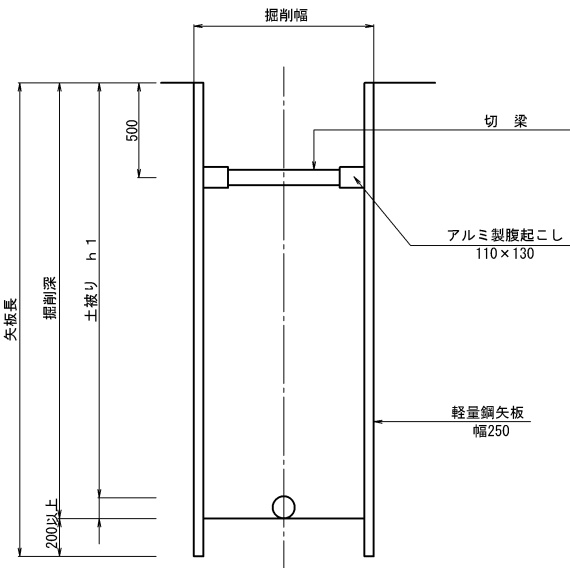
(参考図)



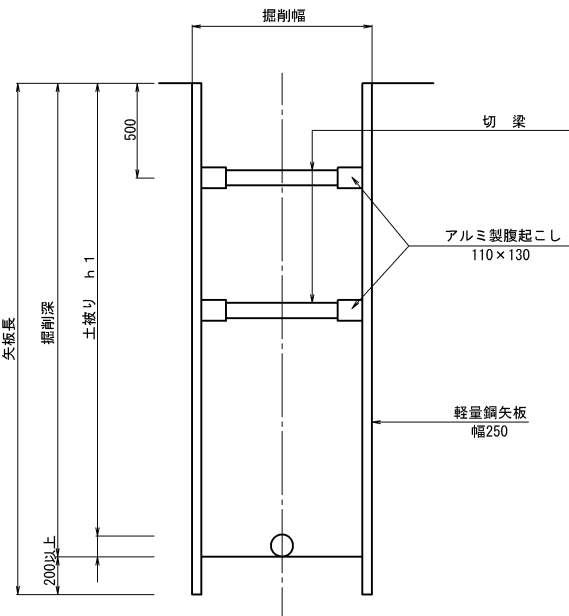
件 名	矢留配水池築造工事					
図 名	不斷水分歧掘削・復旧図					
縮 尺	1/40	承	設	製		
平成 年 月 日	認	計	図			
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課						

軽量鋼矢板土留工標準図

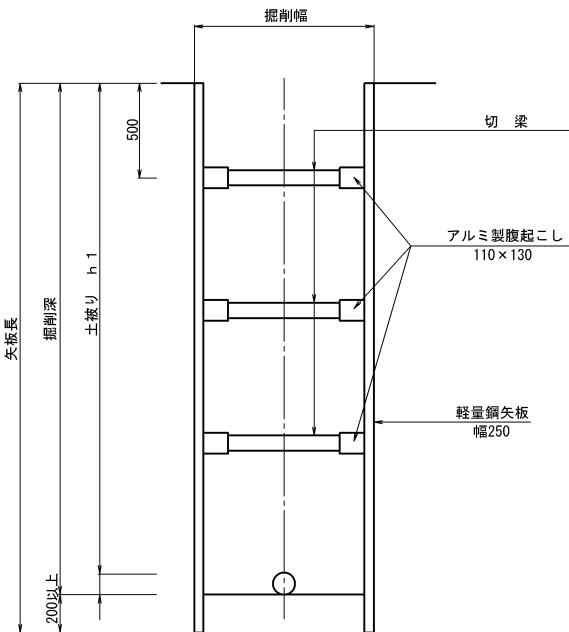
土留工（掘削深 1.50m～2.00m以下）
軽量鋼矢板 水圧式サポート 1 段



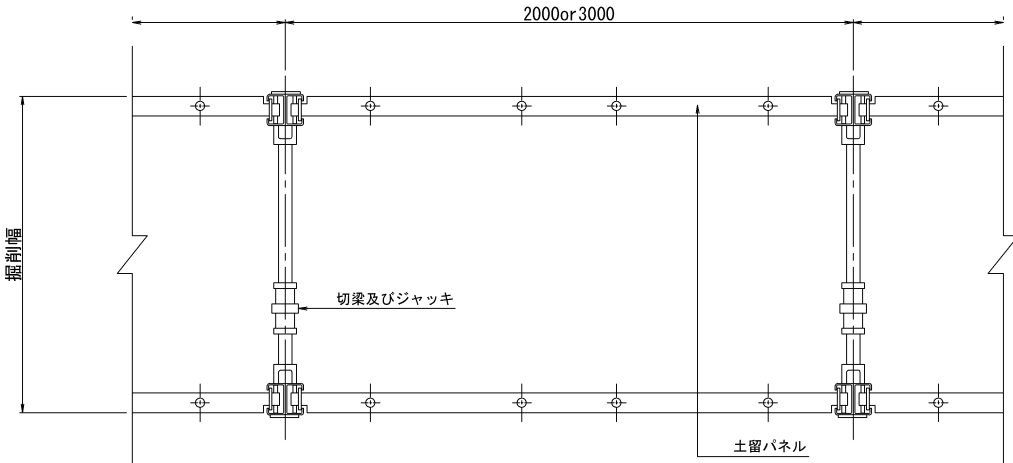
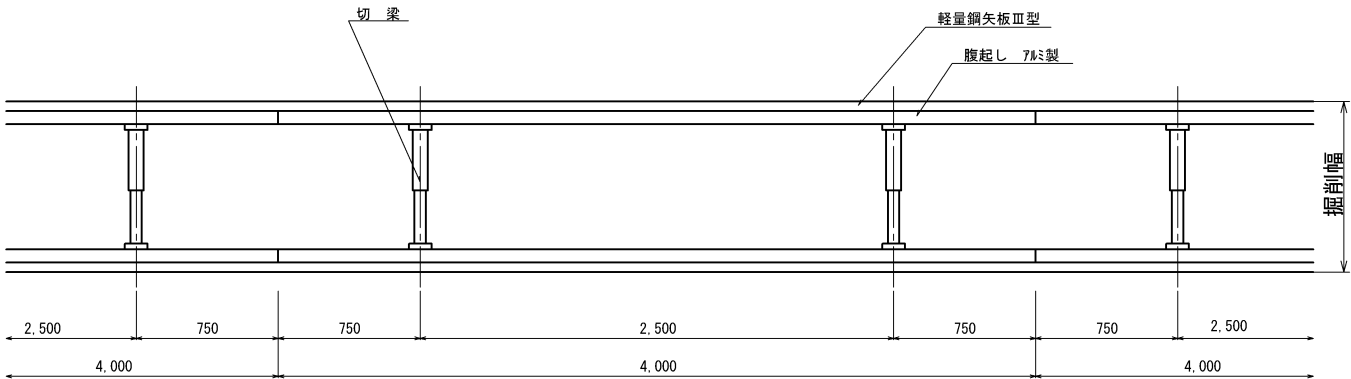
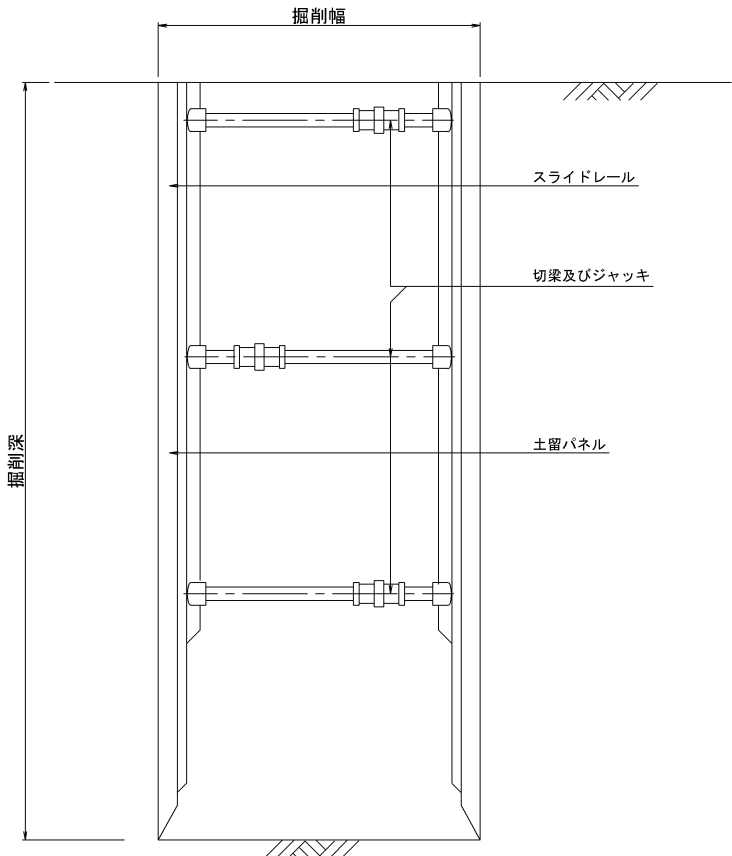
土留工（掘削深 2.00m～3.50m以下）
軽量鋼矢板 水圧式サポート 2 段



土留工（掘削深 3.50m～3.80m以下）
軽量鋼矢板 水圧式サポート 3 段



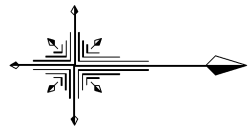
建込み簡易土留工標準図



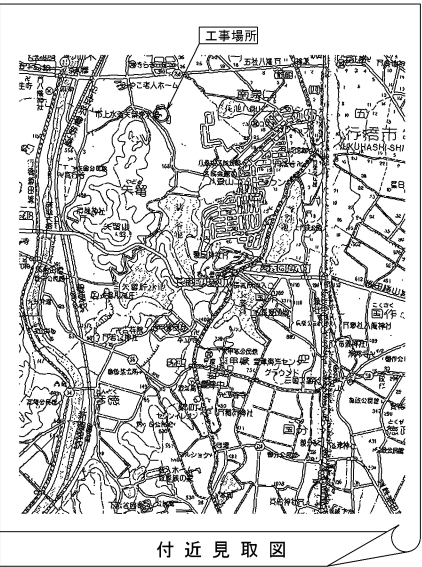
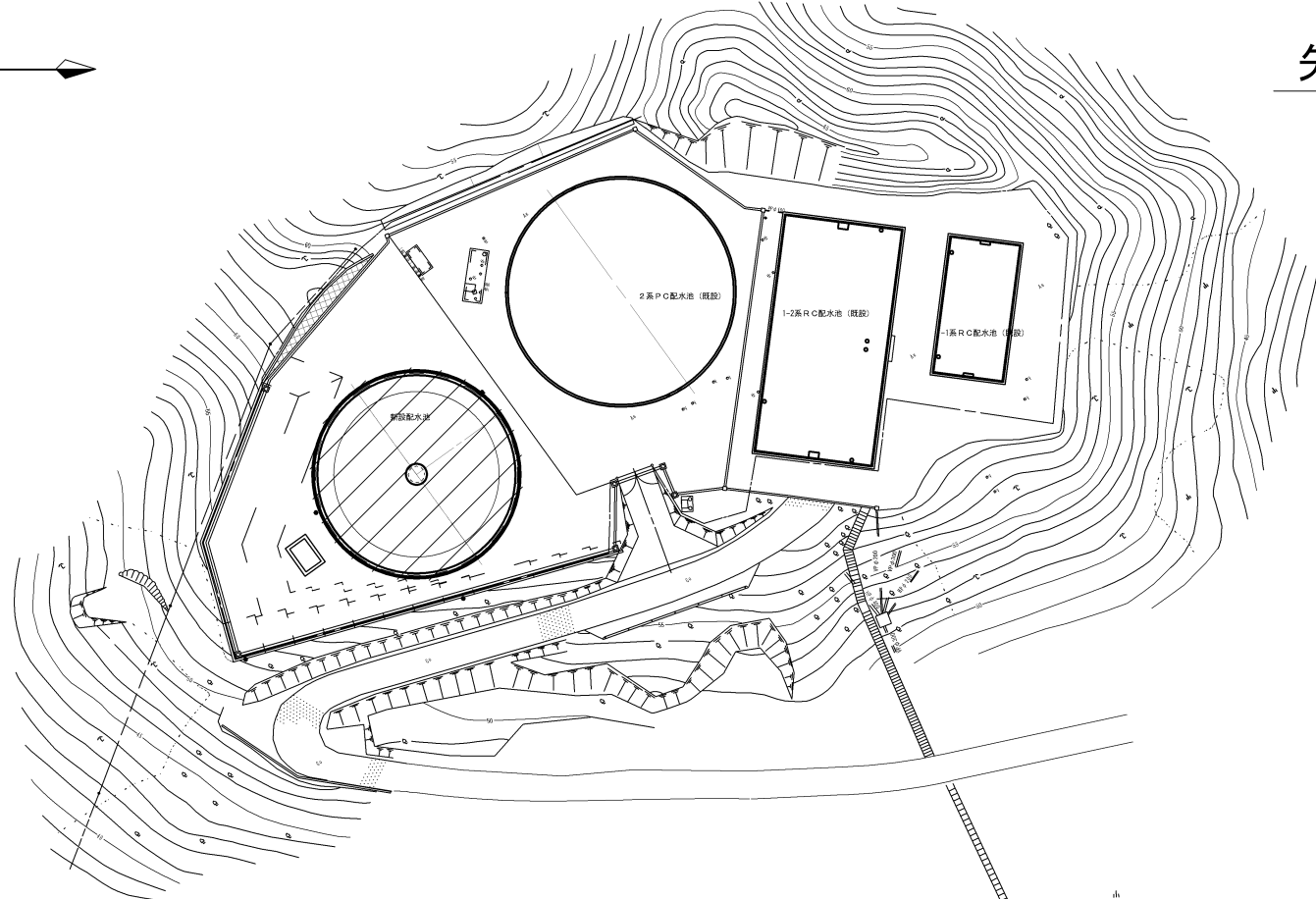
土留支保工材料表		
	支保工段数 (段)	掘 削 深
土留工（矢板長2.00m）	1	(H=1.50m～1.80m以下)
土留工（矢板長2.50m）	1	(H=1.80m～2.00m以下)
土留工（矢板長2.50m）	2	(H=2.00m～2.30m以下)
土留工（矢板長3.00m）	2	(H=2.30m～2.80m以下)
土留工（矢板長3.50m）	2	(H=2.80m～3.30m以下)
土留工（矢板長4.00m）	2	(H=3.30m～3.50m以下)
土留工（矢板長4.00m）	3	(H=3.50m～3.80m以下)

土留支保工材料表		
	支保工段数 (段)	掘 削 深
土留工（矢板長4.00m）	3	(H=3.80m～4.00m以下)
土留工（矢板長4.50m）	3	(H=4.00m～4.50m以下)
土留工（矢板長5.00m）	4	(H=4.50m～5.00m以下)
土留工（矢板長5.50m）	4	(H=5.00m～5.50m以下)
土留工（矢板長6.00m）	5	(H=5.50m～6.00m以下)

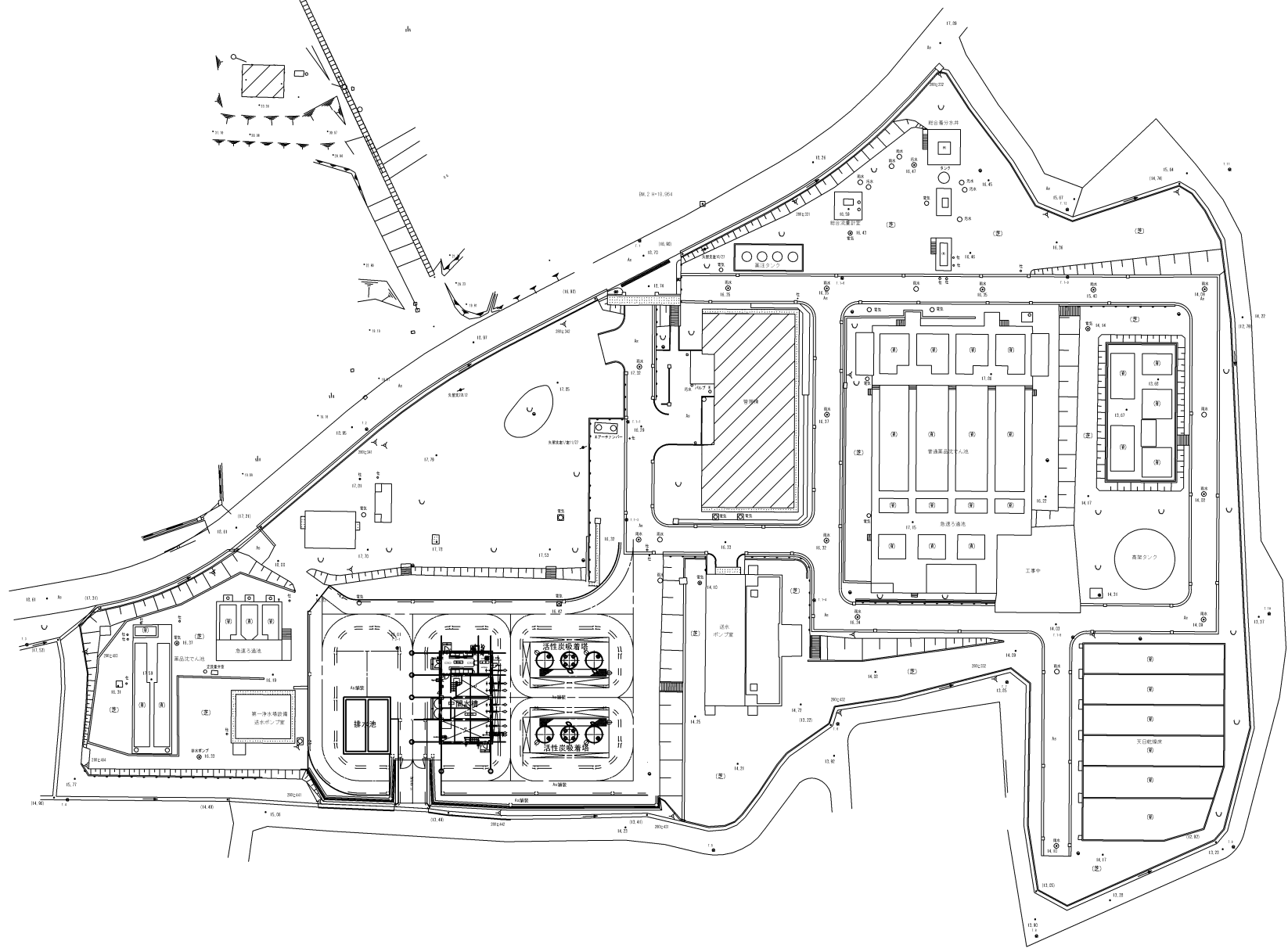
件 名	矢留配水池築造工事			
図 名	土留工標準図			P-12
縮 尺	1/20	承 認	設 計	製 図
平成 年 月 日				
行 橋 市 環 境 水 道 部 上 水 道 課				



矢留浄水場一般平面図 S=1:600

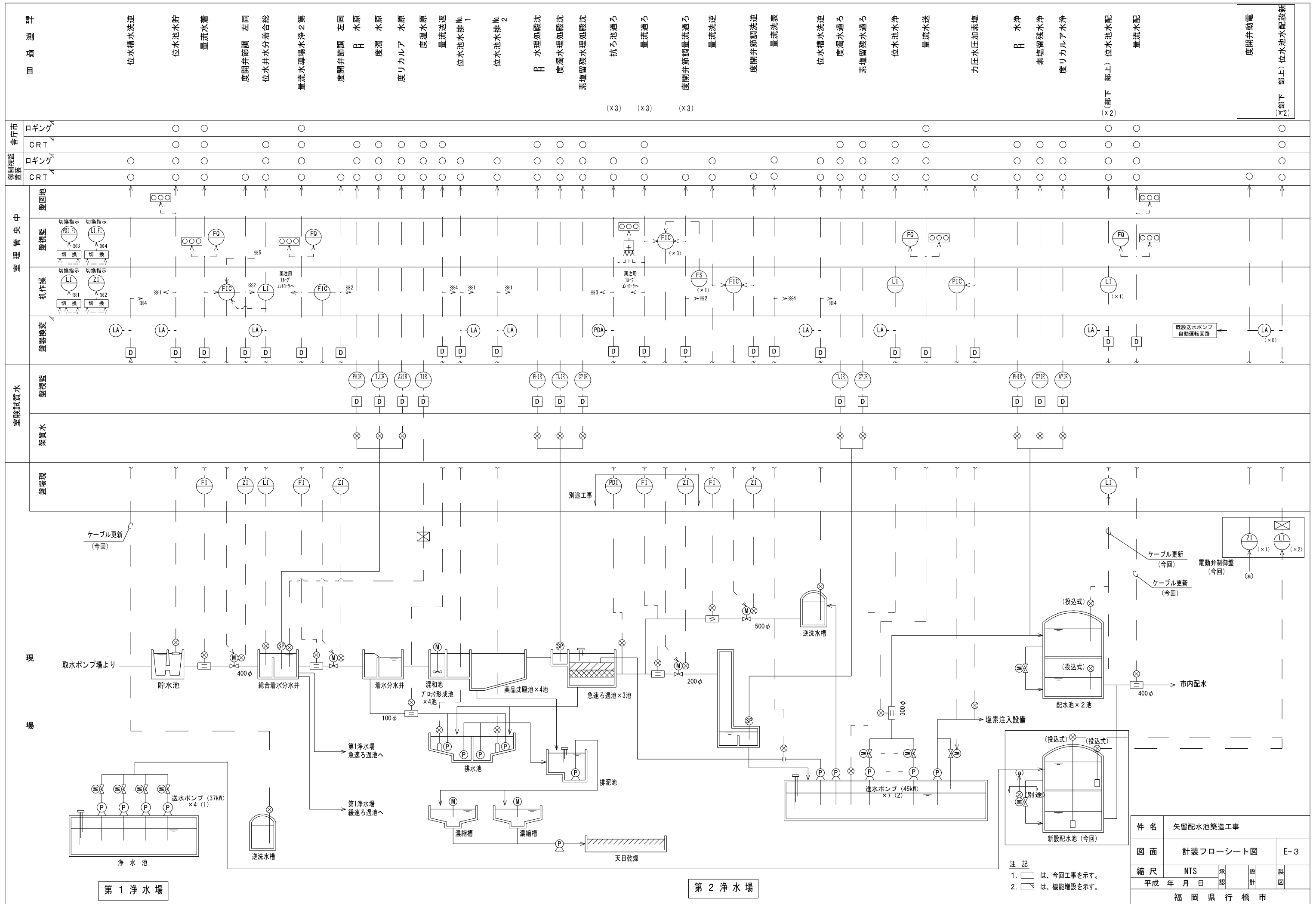


付近見取図



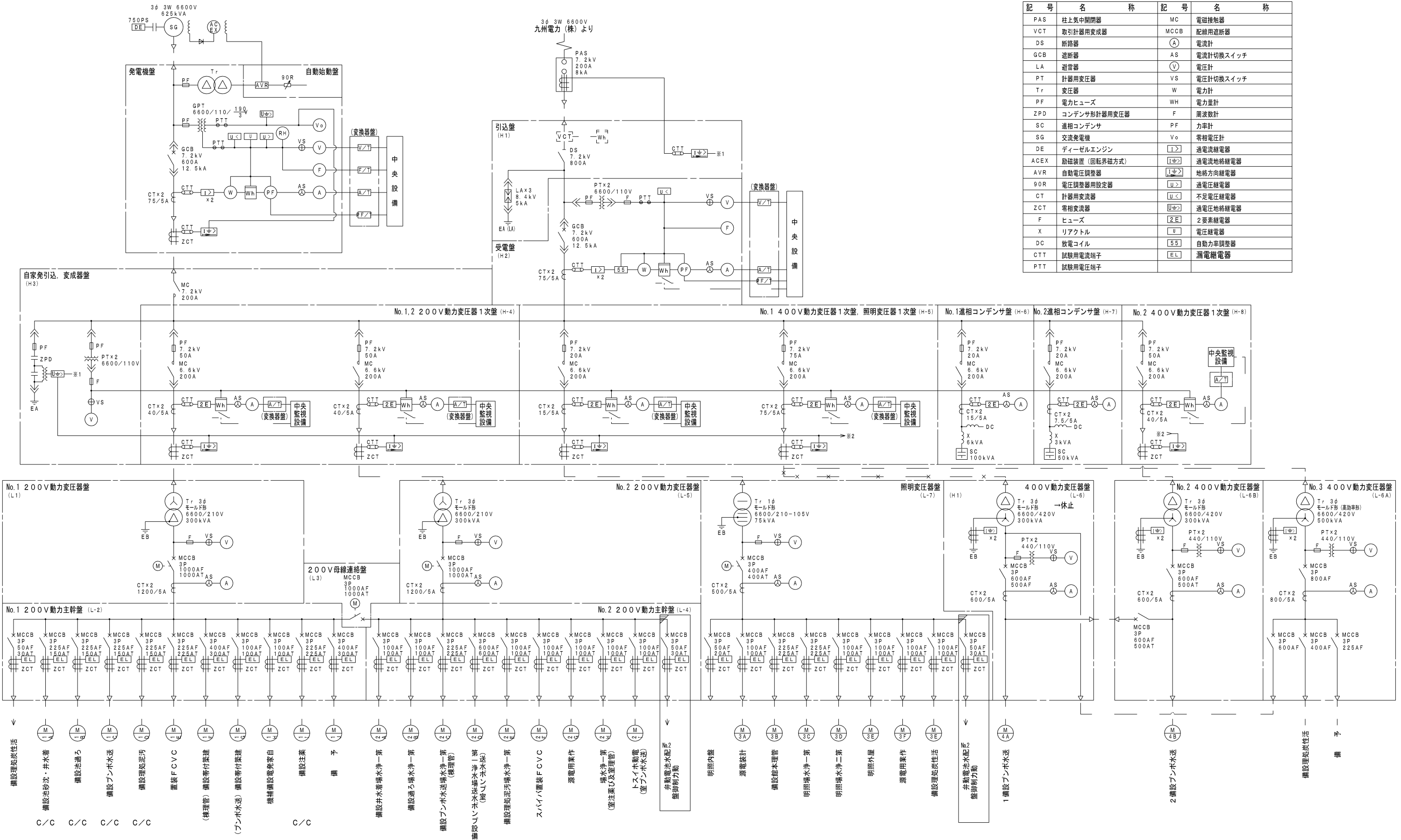
注 記
1. 斜線は、今回工事範囲を示す。

件 名	矢留配水池築造工事			
図 面	一般平面図			E-1
縮 尺	1:600	承	設	製
平成 年 月 日	認	計	図	
福岡県行橋市				



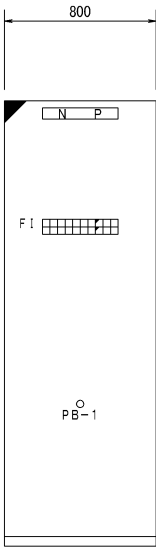
凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
PAS	柱上気中開閉器	MC	電磁接触器
VCT	取引計器用変成器	MCCB	配線用遮断器
DS	断路器	(A)	電流計
GCB	遮断器	AS	電流計切換スイッチ
LA	避雷器	(V)	電圧計
PT	計器用変圧器	VS	電圧計切換スイッチ
Tr	変圧器	W	電力計
PF	電力ヒューズ	WH	電力量計
ZPD	コンデンサ形計器用変圧器	F	周波数計
SC	進相コンデンサ	PF	力率計
SG	交流発電機	Vo	零相電圧計
DE	ディーゼルエンジン	[I>]	過電流継電器
ACEX	励磁装置 (回転界磁方式)	[I≠>]	過電流地絡継電器
AVR	自動電圧調整器	[I≠>]	地絡方向継電器
90R	電圧調整器用設定器	[U>]	過電圧継電器
CT	計器用変流器	[U<]	不足電圧継電器
ZCT	零相変流器	[U≠>]	過電圧地絡継電器
F	ヒューズ	[2E]	2要素継電器
X	リアクトル	[U]	電圧継電器
DC	放電コイル	[55]	自動力率調整器
CTT	試験用電流端子	[EL]	漏電継電器
PTT	試験用電圧端子		

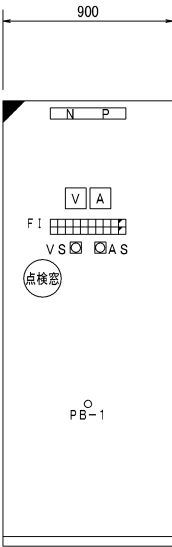


注 記
1. □ は、今回工事を示す。
2. ▨ は、機能増設を示す。

件 名	矢留配水池築造工事			
図 面	単線結線図			E-4
縮 尺	NTS	承 認	設 計	製 図
平成 年 月 日				
福岡県行橋市				



No. 2
200V動力主幹盤（L-4）
（管理棟1F電気室設置）



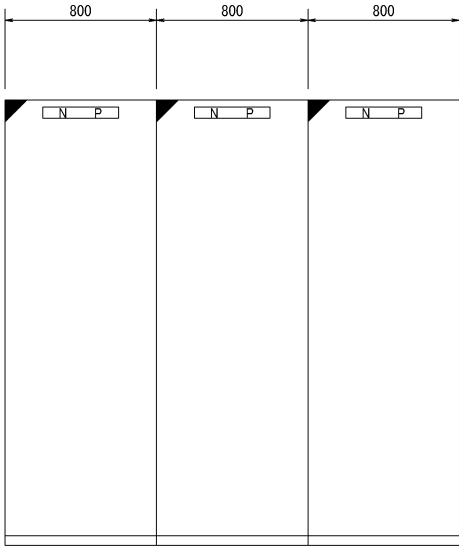
照明変圧器盤（L7）
（管理棟1F電気室設置）

凡 例

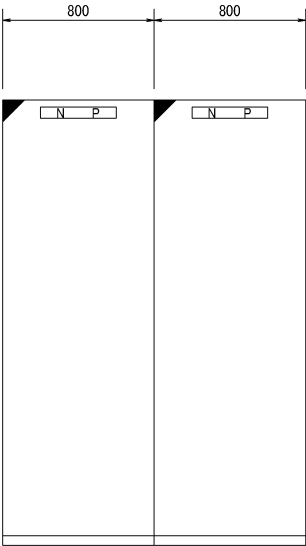
記 号	名 称
P B - 1	押釦スイッチ（ランプテスト）
V	交流電圧計
V S	同上切替スイッチ
A	交流電流計
A S	同上切替スイッチ

F I									
第1浄水場 着水井	第1浄水場 ろ過池	第1浄水場 送水ポンプ （ホッ室）	第1浄水場 送水ポンプ （管理棟）	第1浄水場 汚泥処理	CVC装置 バイパス	作業用 電 源	No.2配水池 電動弁 動力盤		漏電リレー 制御電源 断
MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	
第1浄水場 着水井	第1浄水場 ろ過池	第1浄水場 送水ポンプ （ホッ室）	第1浄水場 送水ポンプ （管理棟）	第1浄水場 汚泥処理	CVC装置 バイパス	作業用 電 源	No.2配水池 電動弁 動力盤	漏 電	予 備
漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電		

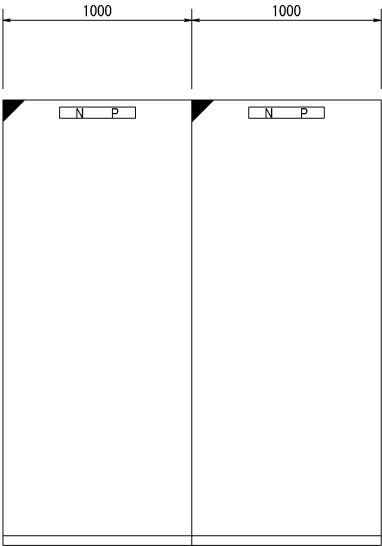
F I									
主 幹	計装電源	管理本館 照 明	第1浄水場 照 明	第2浄水場 照 明	屋外照明	作業用 電 源	壁内照明	活性炭 処理設備	No.2配水池 作業用電源
MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ	MCCBトリップ
変圧器	計装電源	管理本館 照 明	第1浄水場 照 明	第2浄水場 照 明	屋外照明	作業用 電 源	壁内照明	活性炭 処理設備	No.2配水池 作業用電源
温度上昇	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電	漏 電



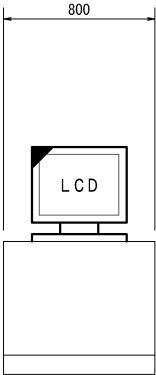
入出力制御盤
（管理棟2F監視室設置）



中継端子盤
（管理棟2F監視室設置）



変換器盤
（管理棟2F監視室設置）

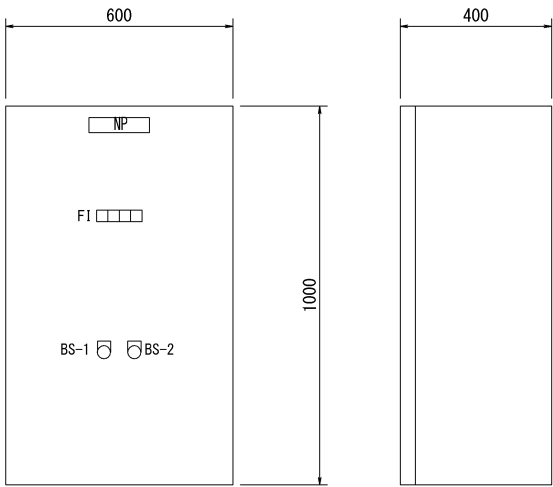


監視制御装置
（管理棟2F監視室設置）

注 記

- は、今回工事を示す。
- ◼ は、機能増設を示す。

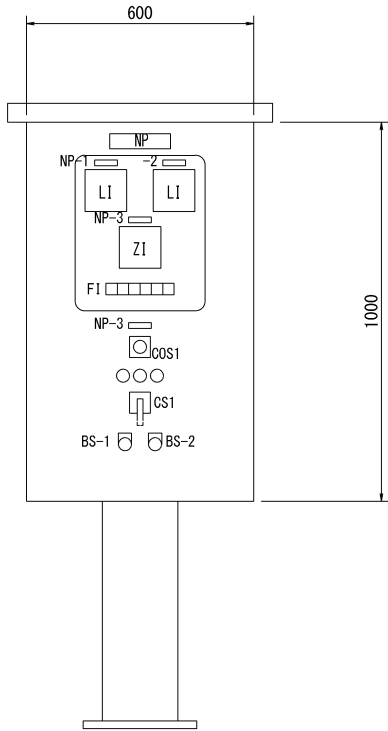
件 名	矢留配水池築造工事			
図 面	盤 改 良 図			E-5
縮 尺	1:20	承 認	設 計	製 図
平成 年 月 日				
福 岡 県 行 橋 市				



正面図
S=1/10

側面図

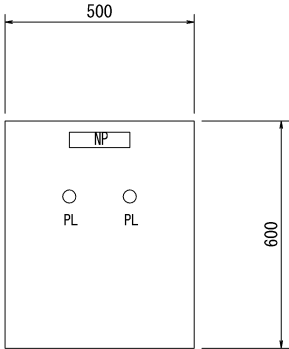
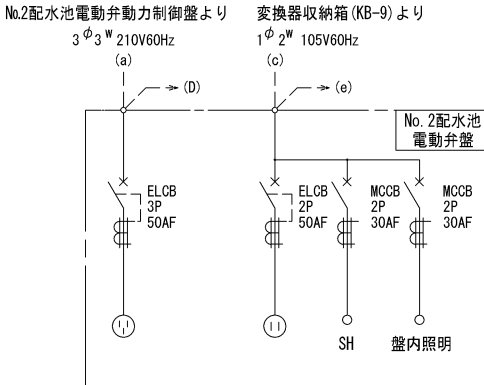
No.2配水池電動弁動力制御盤
(管理棟 1 F 電気室設置)



正面図
S=1/10

側面図

No.2配水池電動弁盤
(水位計変換器×2 収納)
(配水池設置)



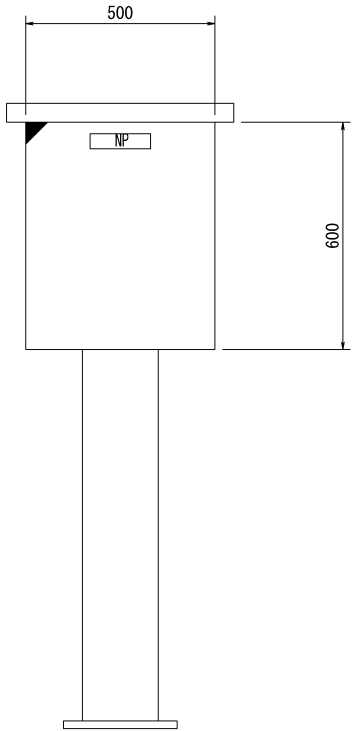
正面図
S=1/10

側面図

作業用電源箱
(配水池設置)

F1					
電動弁 電気故障	電動弁 過トルク	上部配水池 水位高	上部配水池 水位低	下部配水池 水位高	下部配水池 水位低

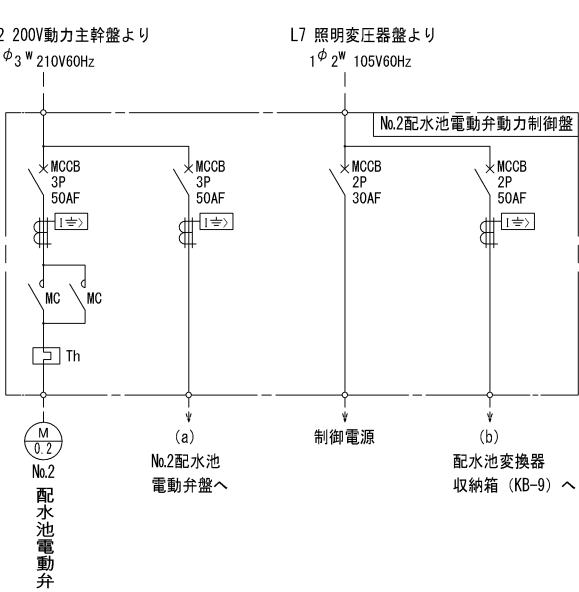
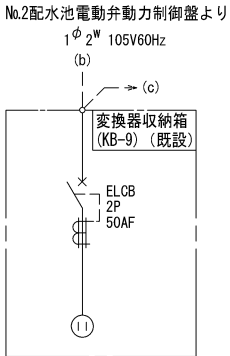
記 号	名 称
NP-1	配水池水位 上部
NP-2	配水池水位 下部
NP-3	配水池電動弁
COS-1	切換スイッチ 現場 - 中央
CS-1	操作スイッチ 閉 - 停 - 開
BS-1	押釦スイッチ ランプテスト
BS-2	押釦スイッチ 故障復帰



正面図
S=1/10

側面図

既設変換器収納箱
(既設：配水池設置)

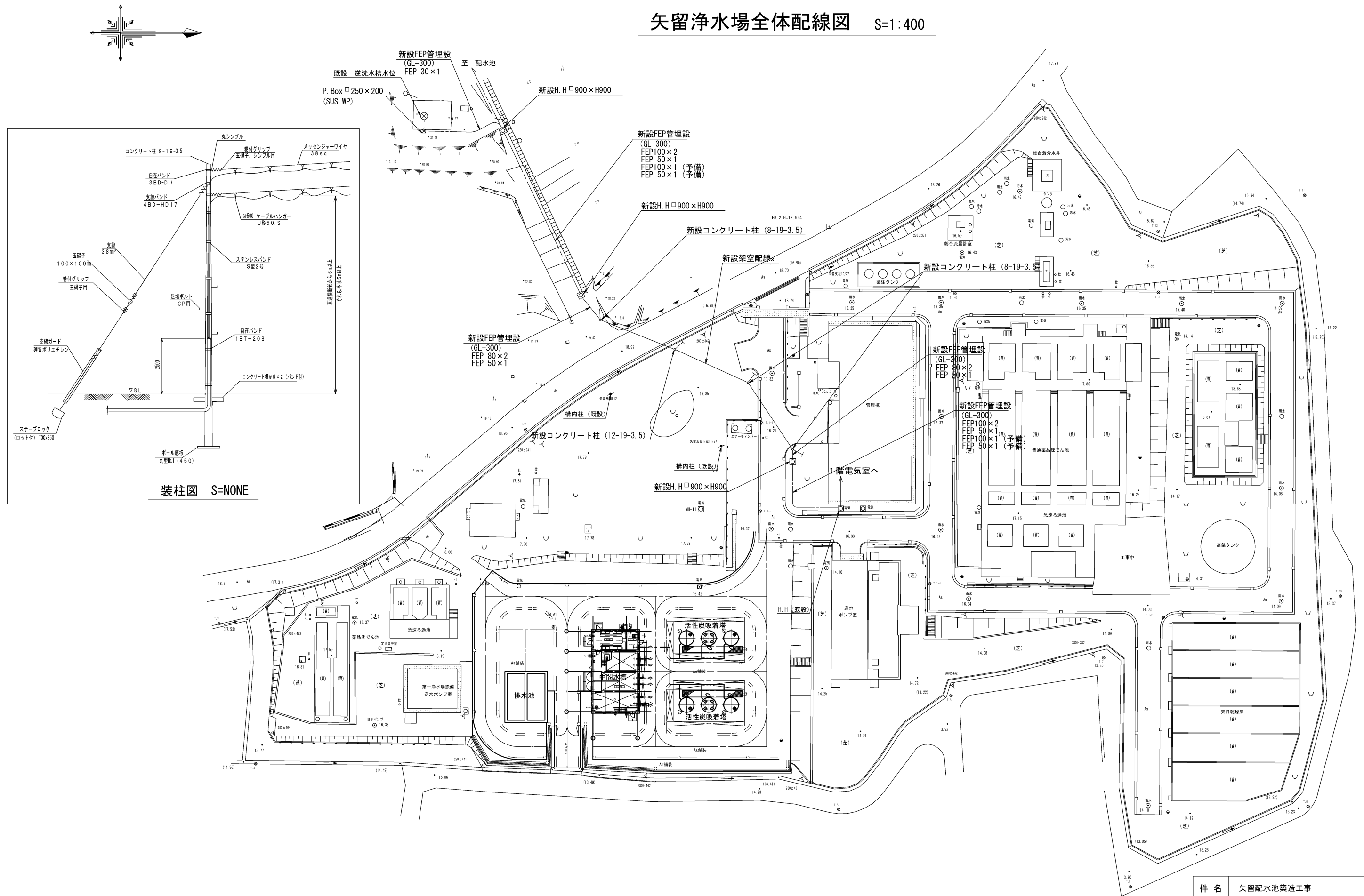


F1			
電動弁 電 源 MCCB断	作業用電源 200V MCCB断	制御電源 100V MCCB断	作業用電源 100V MCCB断

- 注 記
1. は、今回工事を示す。
 2. は、機能増設を示す。

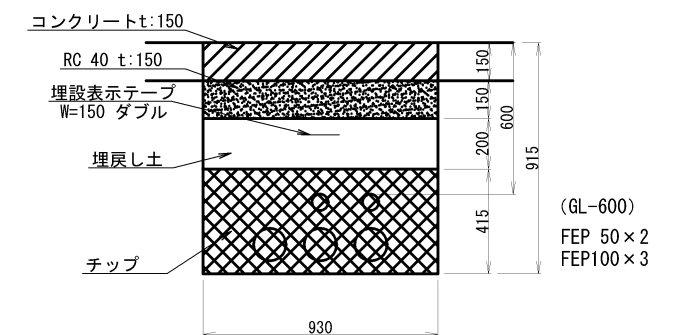
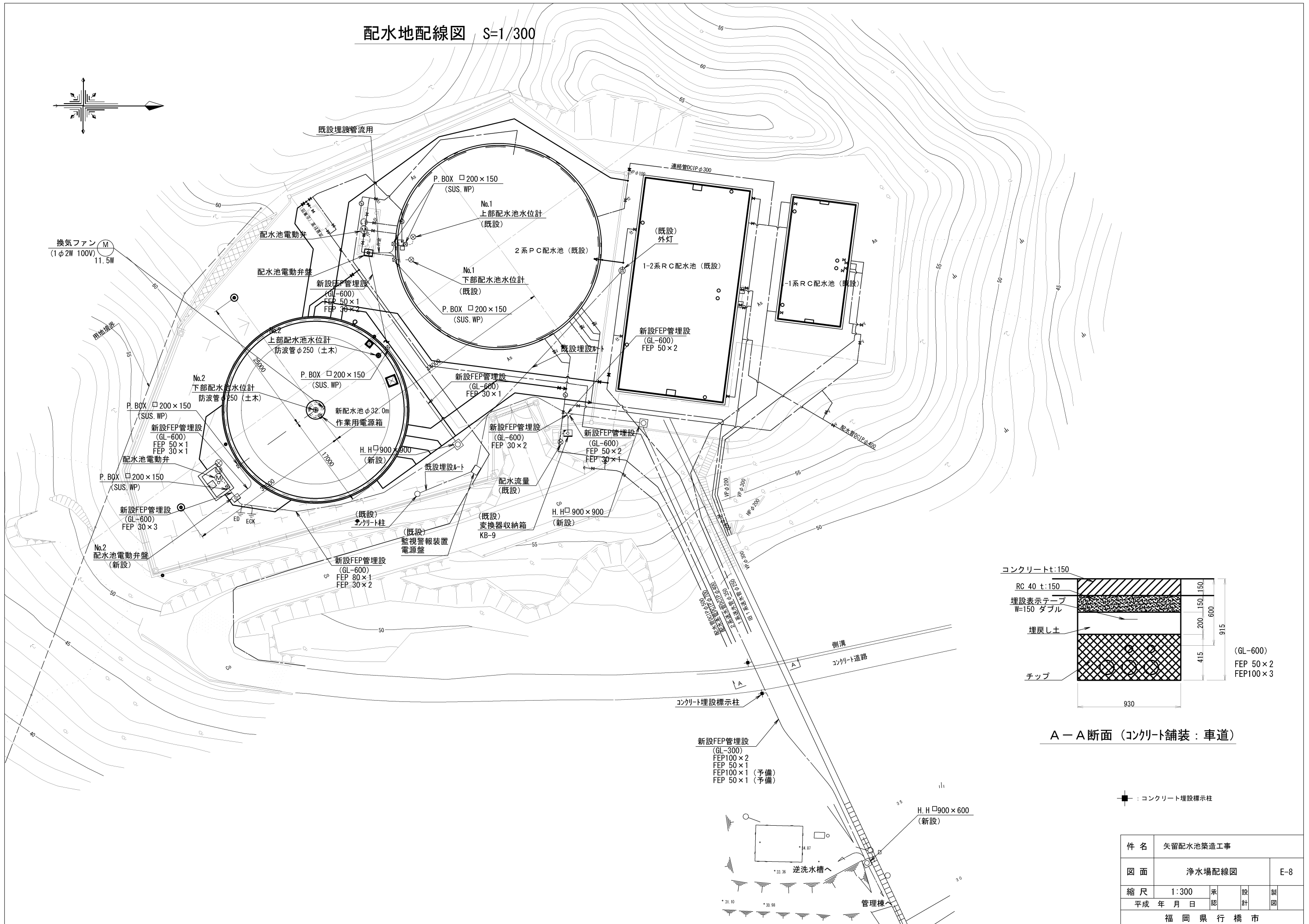
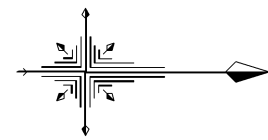
件 名	矢留配水池築造工事				
図 面	配水池電動弁現場盤姿図			E-6	
縮 尺	NTS	承 認	設 計	製 図	
平成	年 月 日				
福 岡 県 行 橋 市					

矢留浄水場全体配線図 S=1:400



件 名	矢留配水池築造工事					
図 面	全体配線図					E-7
縮 尺	1:400	承		設		製
平成	年 月 日	認		計		図
福岡県行橋市						

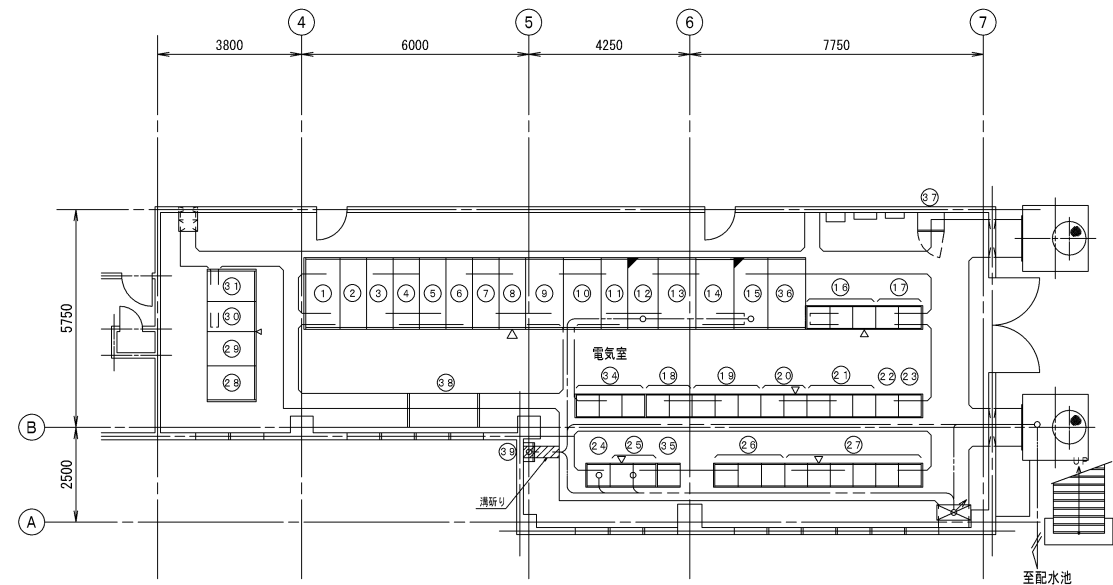
配水地配線図 S=1/300



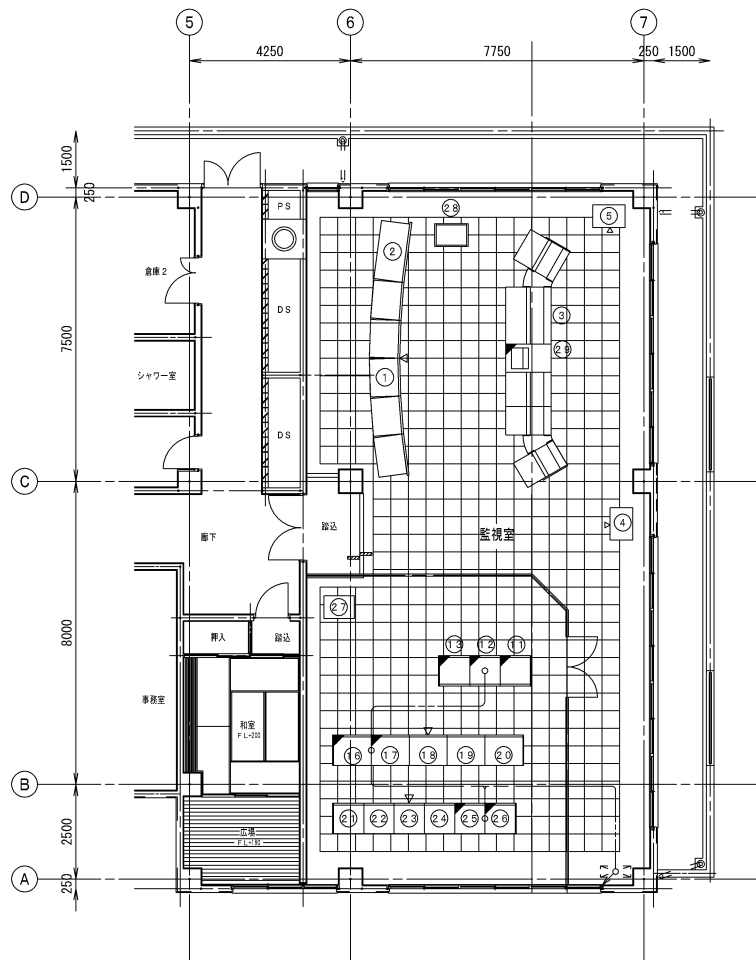
A-A断面 (コンクリート舗装：車道)

■：コンクリート埋設標示柱

件 名	矢留配水池築造工事				
図 面	浄水場配線図			E-8	
縮 尺	1:300	承	設	製	
平成	年	月	日	認	計
福岡県行橋市					



1階 電気室配線図 S=1／100



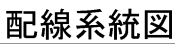
2階 監視室配線図 S=1／100

記号	機番	名称	備考	記号	機番	名称	備考
①	H 1	引込盤		②①	C 3 1	着水井・沈殿池設備コントロールセンタ	
②	H 2	受電盤		②②	L 8 2	第1．第2浄水場照明分岐盤	
③	H 3	自家発電・変成器盤		②③	L 8 1	動力照明作業電源分岐盤	
④	H 4	No. 1・2 200V動力変圧器1次盤		②④	R Y 4 2	送水ポンプ補機設備補助継電器盤	
⑤	H 5	400V動力変圧器1次盤・照明変圧器1次盤		②⑤	C 4 2	送水ポンプ補機設備コントロールセンタ	
⑥	H 6	No. 1 進相コンデンサ盤		②⑥	R Y 4 1	送水ポンプ設備補助継電器盤	
⑦	H 7	No. 2 進相コンデンサ盤		②⑦	C 4 1	送水ポンプ設備コントロールセンタ	
⑧	H 8	No. 2 400V動力変圧器1次盤		②⑧②⑨	D C-2	蓄電池盤	
⑨	L 1	No. 1 200V動力変圧器盤		③⑩	D C-2	整流器盤	
⑩	L 2	No. 1 200V動力主幹盤		③⑪	C V C F	C V C F 盤	
⑪	L 3	200V母線連絡盤		③⑫		屋外照明分岐盤	
⑫	L 4	No. 2 200V動力主幹盤	機能増設	③⑬		接地端子箱	
⑬	L 5	No. 2 200V動力変圧器盤		③⑭	C 4 1 B	送水ポンプ設備（2）コントロールセンタ	
⑭	L 6	No. 1 400V動力変圧器盤		③⑮	R Y 4 1 B	送水ポンプ設備（2）補助継電器盤	
⑮	L 7	照明変圧器盤	機能増設	③⑯	L 6 B	No. 2 400V動力変圧器盤	
⑯	C 5 1	汚泥処理設備コントロールセンタ		③⑰		監視警報装置電源盤	
⑰	R Y 5 1	汚泥処理設備補助継電器盤		③⑱	L 6 A	No. 3 400V動力変圧器盤	
⑱	R Y 4 3	薬注設備補助継電器盤		③⑲		No. 2 配水池電動弁動力制御盤	新設
⑲	C 4 3	薬注設備コントロールセンタ					
⑳	R Y 3 1	着水井・沈殿池設備補助継電器盤					

記号	機番	名称	備考
①	G P	監視盤	既設
②	M P	地図盤	〃
③	C D	中央操作デスク	〃
④	A. T W	アナウンスメントタイプライター	〃
⑤	L. T W	ロギングタイプライター	〃
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪	X-0106	No. 1 入出力制御盤	機能増設
⑫	X-0206	No. 2 入出力制御盤	〃
⑬	X-0306	No. 3 入出力制御盤	〃
⑭			
⑮			
⑯	T P 2	変換器盤-2	機能増設
⑰	T P 1	変換器盤-1	〃
⑱	R y 3	補助継電器盤-3	既設
⑲	R y 2	補助継電器盤-2	〃
㉑	R y 1	補助継電器盤-1	〃
㉒	T M 3	遠方監視制御盤-3	〃
㉓	T M 2	遠方監視制御盤-2	〃
㉔	T M 1	遠方監視制御盤-1	〃
㉕	B P	分電盤	〃
㉖	T B 2	中継端子盤-2	機能増設
㉗	T B 1	中継端子盤-1	〃
㉘		ローカルエンジニアリングWS	既設
㉙		コントローラ盤	〃
㉚		監視制御装置	機能増設

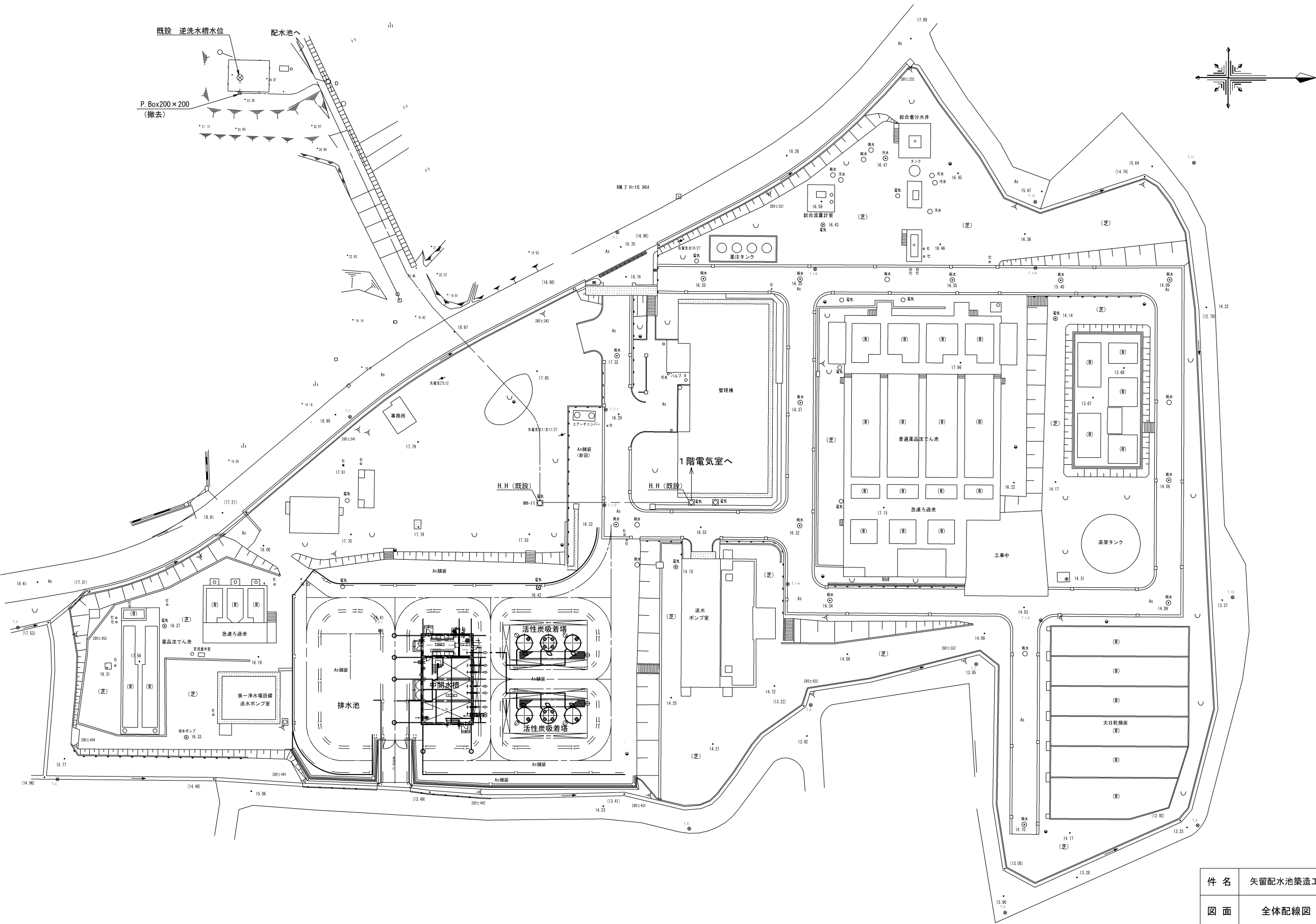
注 記
1. □ は今回を示す。
2. ◼ は機能増設を示す。

件名	矢留配水池築造工事			
図面	管理棟配線図			E-9
縮尺	1:100	承認	設計	製図
平成 年 月 日				
福岡県行橋市				



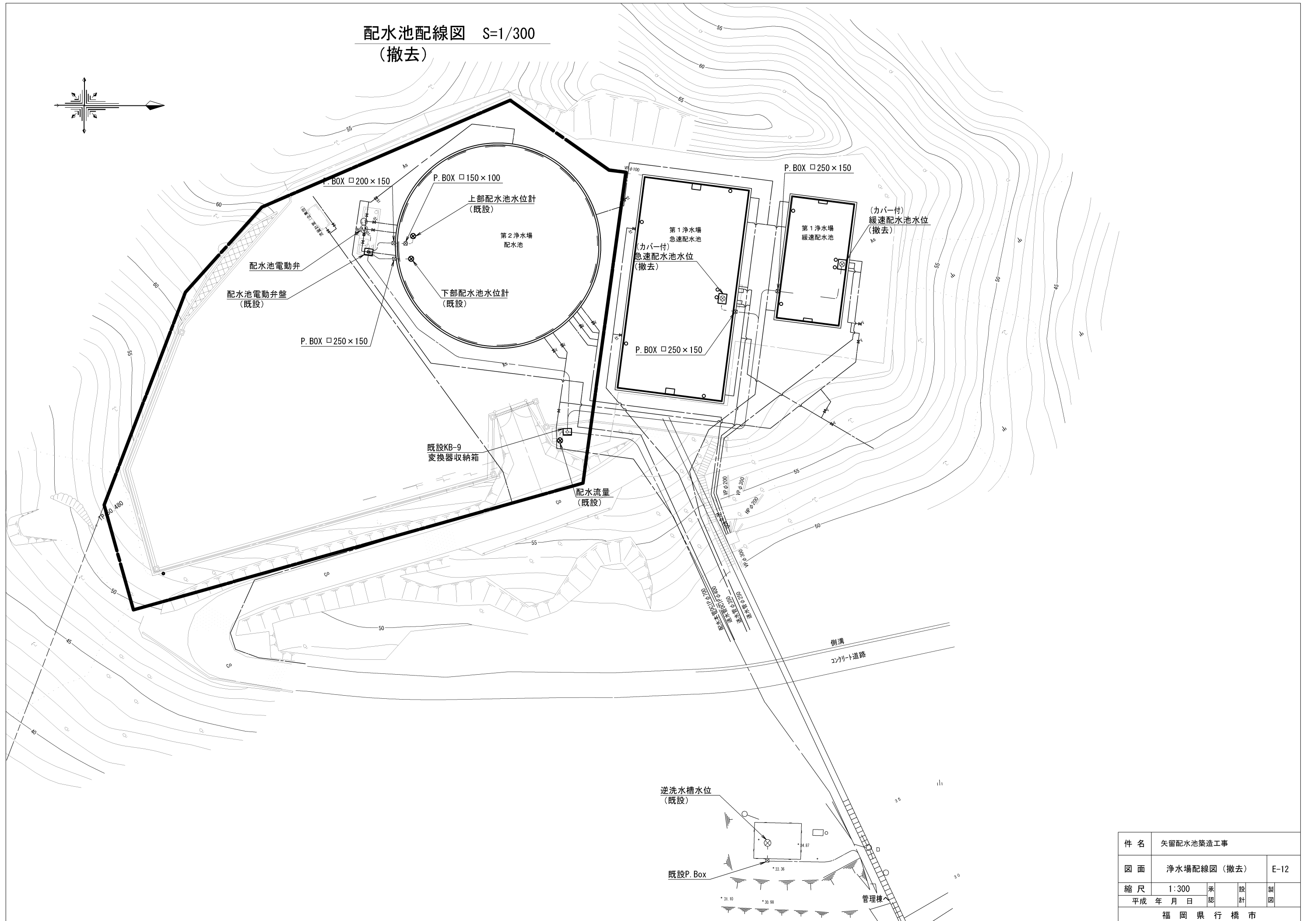
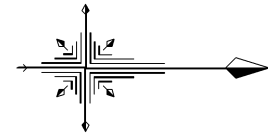
件 名	矢留配水池築造工事				
図 面	配線系統図				E-10
縮 尺	NTS	承	設	製	
平成	年 月 日	認	計	図	
福 岡 県 行 橋 市					

矢留浄水場全体配線図 S=1:400
(撤去)

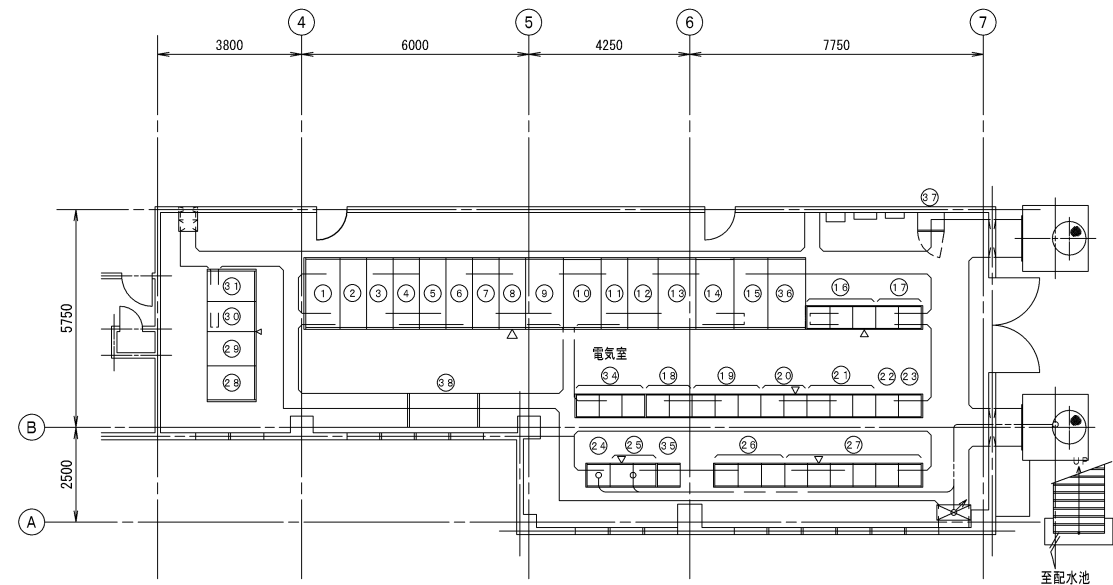


件名	矢留配水池築造工事			
図面	全体配線図（撤去）			E-11
縮尺	1:400	承認	設計	製図
平成 年 月 日				
福岡県行橋市				

配水池配線図 S=1/300
(撤去)

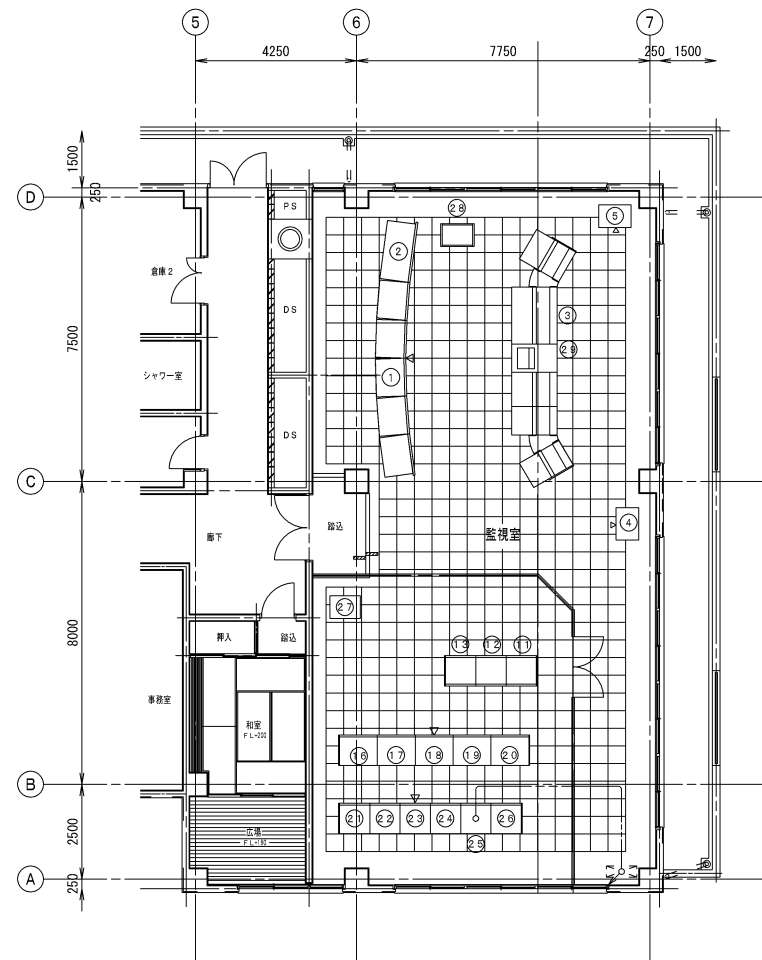


件 名		矢留配水池築造工事				
図 面		浄水場配線図（撤去）			E-12	
縮 尺		1:300		承認	設計	製 図
平成 年 月 日				認		
福 岡 県 行 橋 市						



1階 電気室配線図 S=1/100

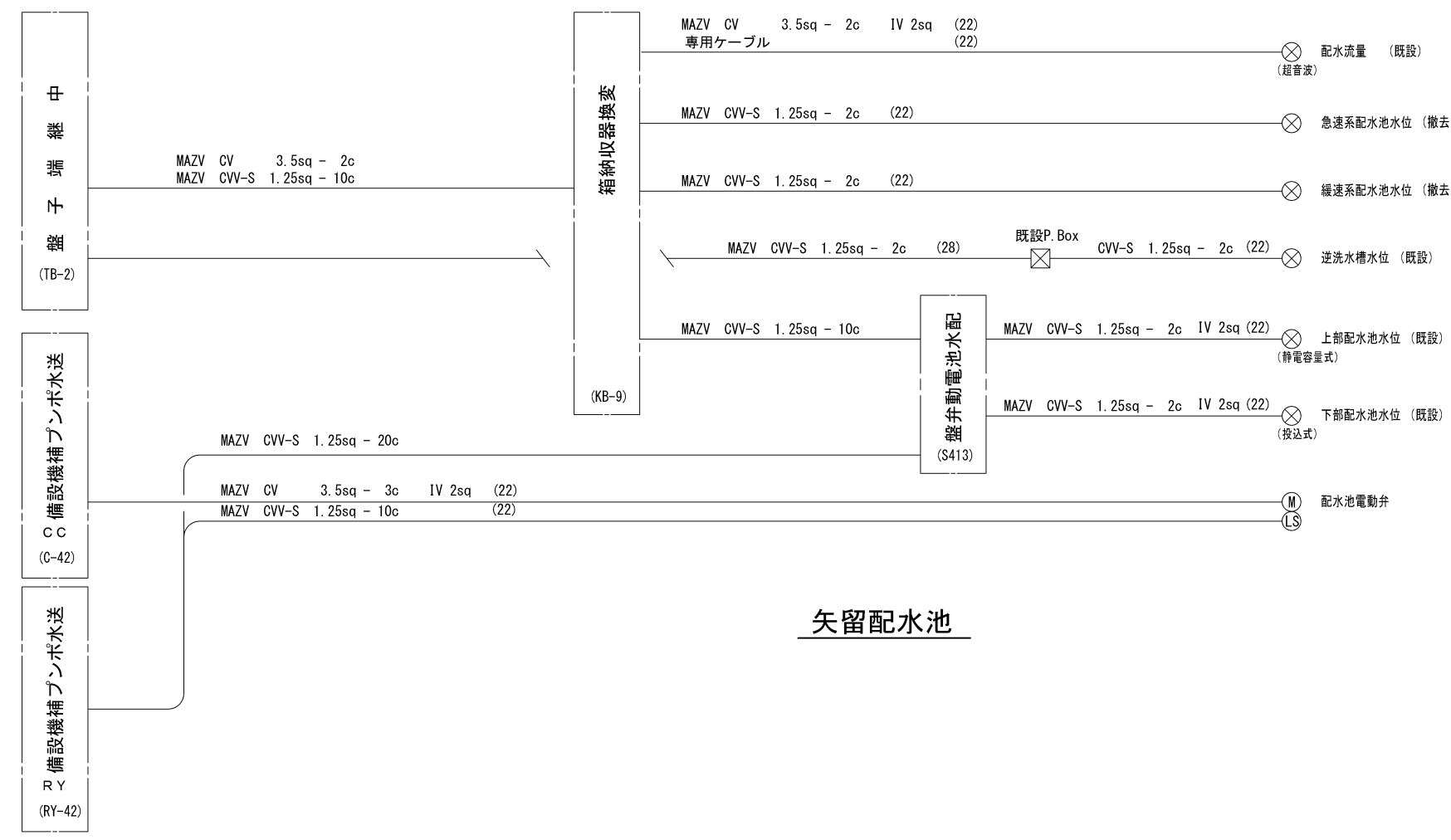
記号	機番	名称	備考	記号	機番	名称	備考
①	H1	引込盤		②①	C31	着水井・沈殿池設備コントロールセンタ	
②	H2	受電盤		②②	L82	第1、第2浄水場照明分岐盤	
③	H3	自家発引込・変成器盤		②③	L81	動力照明作業電源分岐盤	
④	H4	No.1・2 200V動力変圧器1次盤		②④	RY42	送水ポンプ補機設備補助継電器盤	
⑤	H5	400V動力変圧器1次盤・照明変圧器1次盤		②⑤	C42	送水ポンプ補機設備コントロールセンタ	
⑥	H6	No.1 進相コンデンサ盤		②⑥	RY41	送水ポンプ設備補助継電器盤	
⑦	H7	No.2 進相コンデンサ盤		②⑦	C41	送水ポンプ設備コントロールセンタ	
⑧	H8	No.2 400V動力変圧器1次盤		②⑧②⑨	DC-2	蓄電池盤	
⑨	L1	No.1 200V動力変圧器盤		③①	DC-2	整流器盤	
⑩	L2	No.1 200V動力主幹盤		③②	CVC F	CVC F 盤	
⑪	L3	200V母線連絡盤		③③		屋外照明分岐盤	
⑫	L4	No.2 200V動力主幹盤		③④		接地端子箱	
⑬	L5	No.2 200V動力変圧器盤		③⑤	C41B	送水ポンプ設備(2)コントロールセンタ	
⑭	L6	No.1 400V動力変圧器盤		③⑥	RY41B	送水ポンプ設備(2)補助継電器盤	
⑮	L7	照明変圧器盤		③⑦	L6B	No.2 400V動力変圧器盤	
⑯	C51	汚泥処理設備コントロールセンタ		③⑧	L6A	No.3 400V動力変圧器盤	
⑰	RY51	汚泥処理設備補助継電器盤					
⑱	RY43	薬注設備補助継電器盤					
⑲	C43	薬注設備コントロールセンタ					
⑳	RY31	着水井・沈殿池設備補助継電器盤					



2階 監視室配線図 S=1/100

記号	機番	名称	備考
①	GP	監視盤	既設
②	MP	地図盤	〃
③	CD	中央操作デスク	〃
④	A.TW	アナウンスメントタイプライター	〃
⑤	L.TW	ロギングタイプライター	〃
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪	X-0106	No.1 入出力制御盤	既設
⑫	X-0206	No.2 入出力制御盤	〃
⑬	X-0306	No.3 入出力制御盤	〃
⑭			
⑮			
⑯	TP2	変換器盤-2	既設
⑰	TP1	変換器盤-1	〃
⑱	Ry3	補助継電器盤-3	〃
⑲	Ry2	補助継電器盤-2	〃
㉑	Ry1	補助継電器盤-1	〃
㉒	TM3	遠方監視制御盤-3	〃
㉓	TM2	遠方監視制御盤-2	〃
㉔	TM1	遠方監視制御盤-1	〃
㉕	BP	分電盤	〃
㉖	TB2	中継端子盤-2	〃
㉗	TB1	中継端子盤-1	〃
㉘		ローカルエンジニアリングWS	〃
㉙		コントローラ盤	〃
㉚		監視制御装置	〃

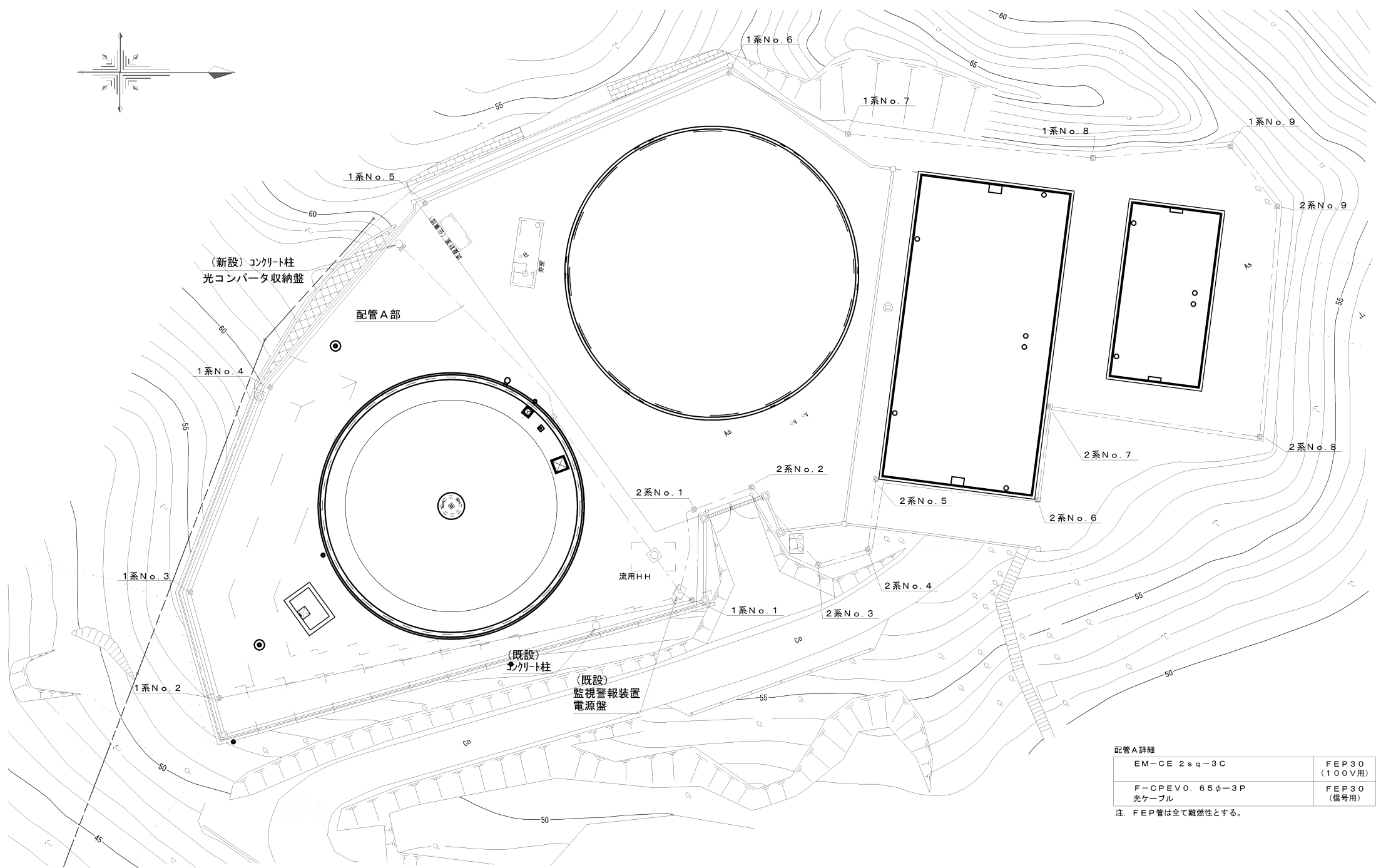
件名	矢留配水池築造工事			
図面	管理棟配線図(撤去)			E-13
縮尺	1:100	承認	設計	製図
平成 年 月 日				
福岡県行橋市				



配線系統図
(撤去)

件 名	矢留配水池築造工事				
図 面	配線系統図 (撤去)				E-14
縮 尺	NTS	承	設	製	
平成	年	月	日	認	計
福 岡 県 行 橋 市					

防犯設備構内配線図 S=1/300

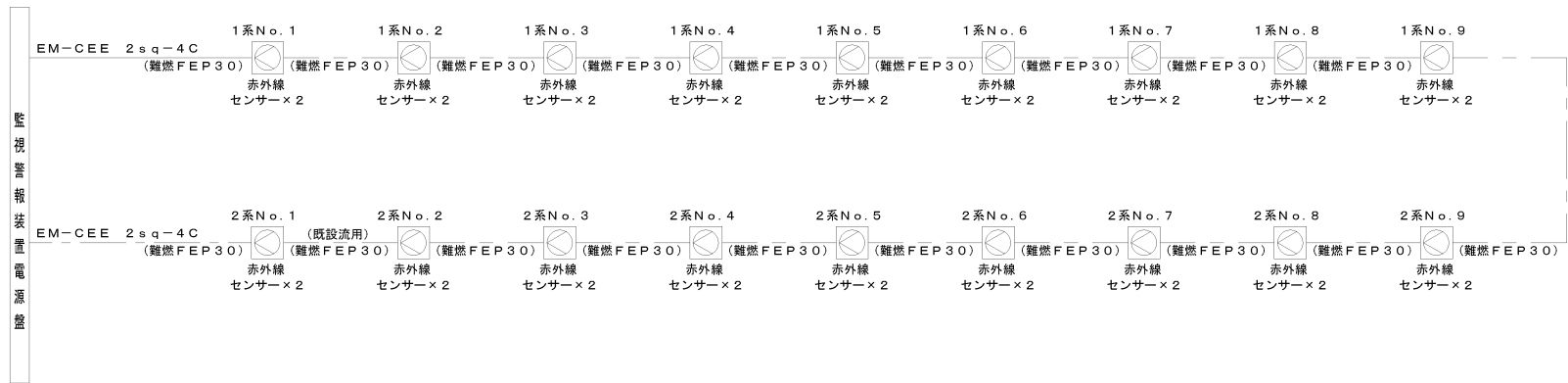


配管A詳細

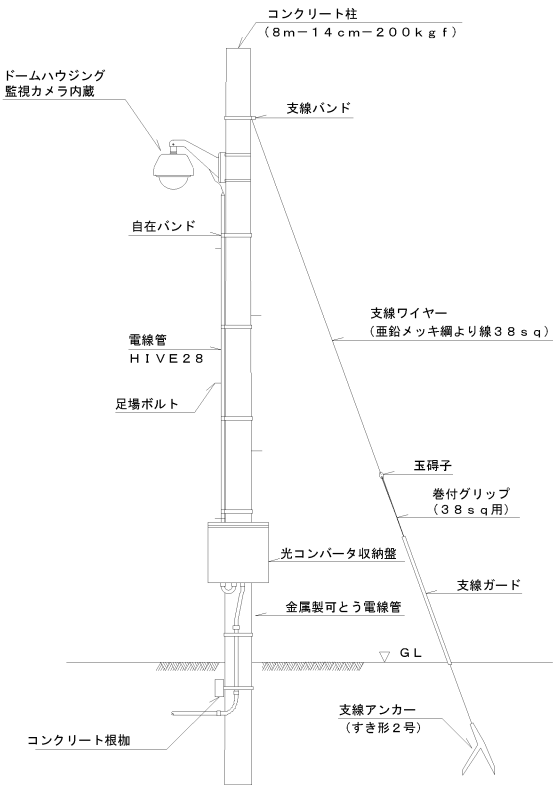
EM-CE 2sq-3C	FEP30 (100V用)
F-CPEV0.65φ-3P 光ケーブル	FEP30 (信号用)

注: FEP管は全て難燃性とする。

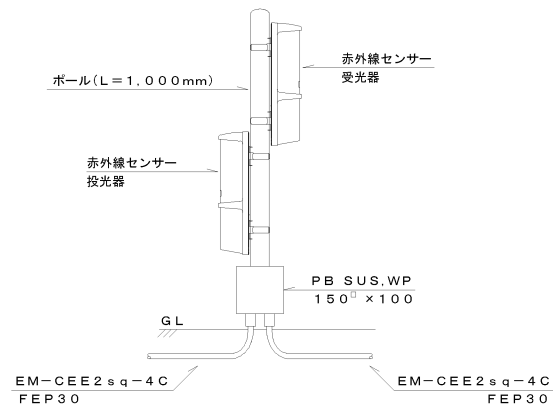
配線系統図



構内柱参考詳細図 S=Free



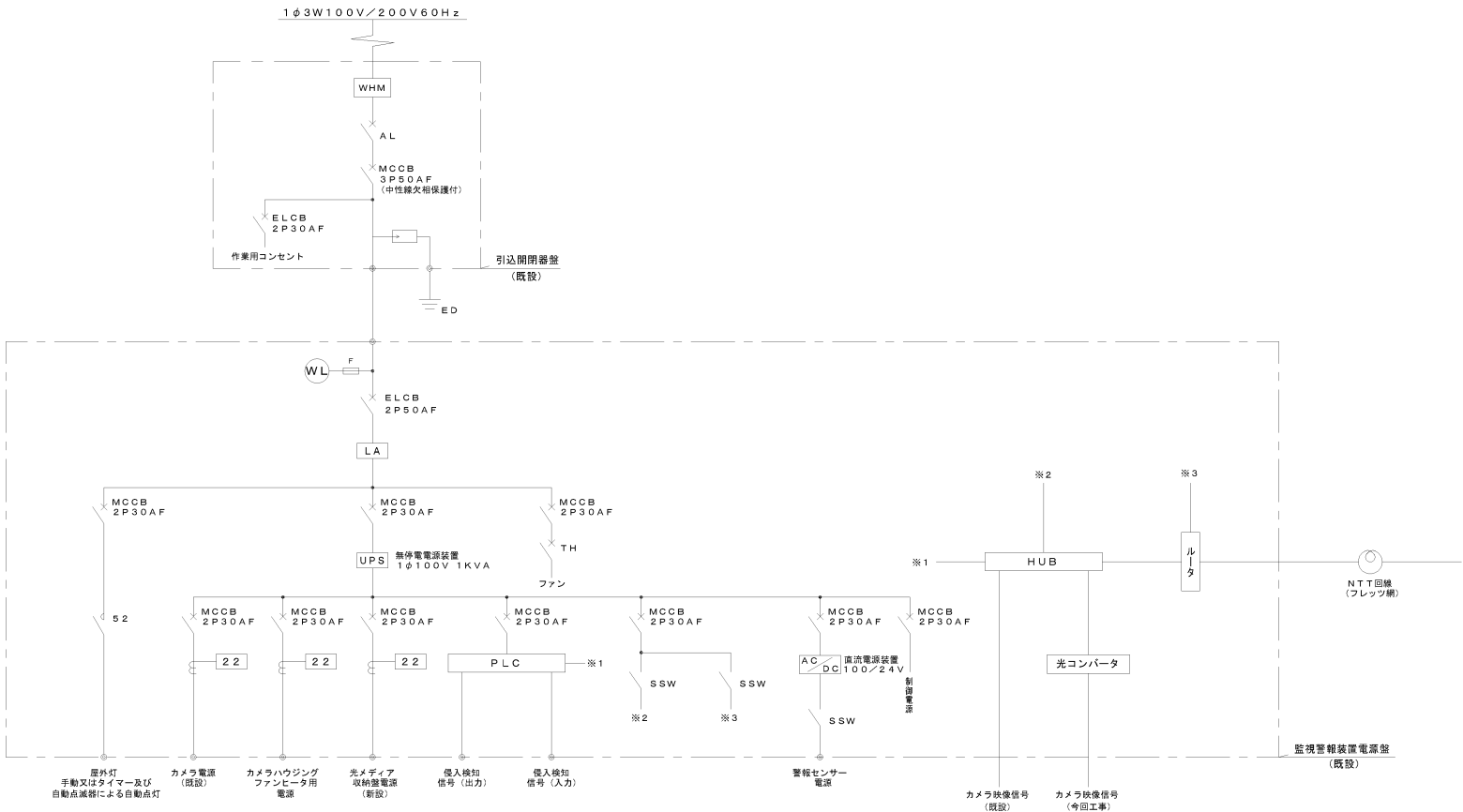
赤外線センサー参考詳細図 S=Free



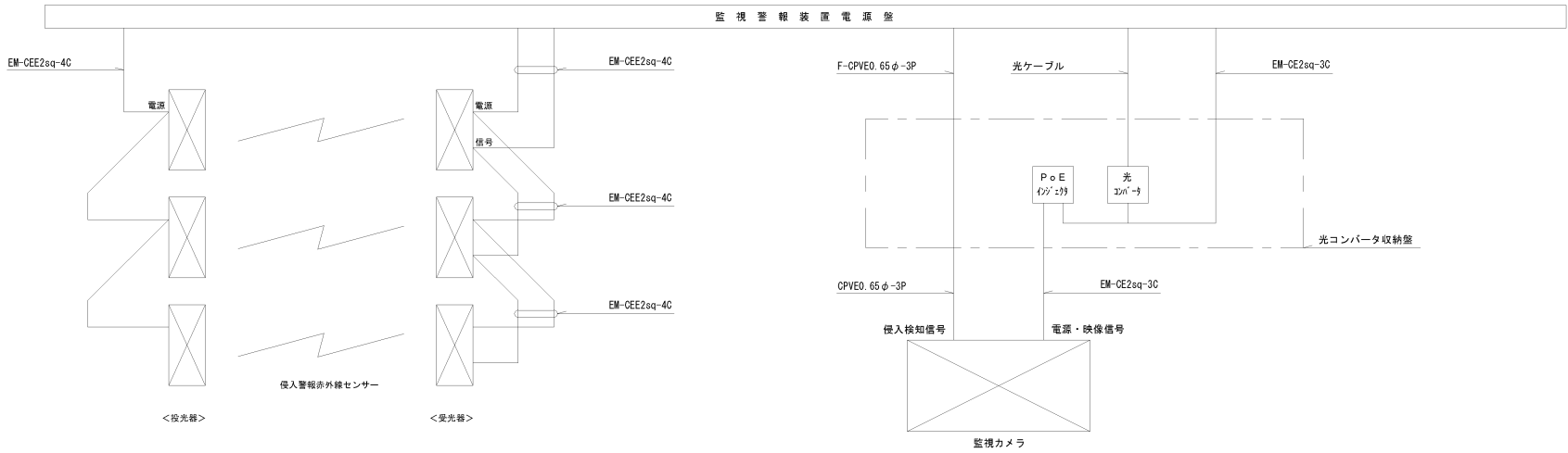
件 名	矢留配水池築造工事			
図 面	防犯設備構内配線図		ES-1	
縮 尺	1:300	承 認	設 計	製 図
平 成	年	月	日	
福 岡 県 行 橋 市				

主回路単線図

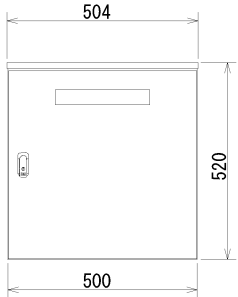
注：本図は参考とし、承諾図にて決定する事。



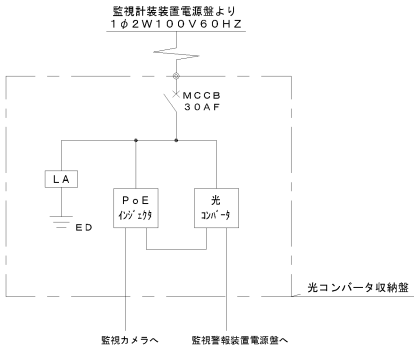
配線系統図



光コンバーター収納盤 S=1:10



材質	SUS製 (厚1.0t、本体1.0t以上)
塗装色	内外面 5Y7/1



件名	矢留配水池築造工事				
図面	主回路単線図				ES-2
縮尺	NTS, 1:10	承認	設計	製図	
平成 年 月 日					
福岡県行橋市					